

# 男女共同参画に関する市民意識調査 結果報告書

平成 21 年 10 月

亀 山 市



# 目 次

1	調査の概要	1
	(1) 調査の目的	1
	(2) 調査の方法	1
	(3) 配布・回収数	1
	(4) 調査結果の表示方法	1
2	調査の概要	2
3	属性別の傾向	3
	(1) 男女別	3
	(2) 年齢別	4
	(3) 職業別	5
	(4) 婚姻別	5
	(5) 共働き形態別	5
4	調査結果と目標指標	6
	(1) 亀山市男女共同参画基本計画の目標値	6
	(2) 属性別にみる目標値設定項目の状況	8
5	調査結果	18
	(1) 回答者属性	18
	(2) 男女平等について	23
	(3) 男女共同参画について	31
	(4) 家庭生活について	33
	(5) 子育てについて	45
	(6) 健康・介護について	59
	(7) 就労について	67
	(8) ワーク・ライフ・バランスについて	85
	(9) ドメスティック・バイオレンスなどについて	92
	(10) 社会参加について	111
	(11) 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて	117

参考資料	121
1 集計表	121
(1) 単純集計表	121
(2) クロス集計表	141
2 自由記述	161
(1) 自由記述回答の概要	161
(2) 自由記述回答（分類別）	162
3 調査票	174

# 1 調査の概要

## (1) 調査の目的

本調査は、「亀山市男女共同参画基本計画」(平成 21 年 3 月改訂)の進捗状況を確認するとともに、現状の市民意識を把握することを目的に実施したものである。

## (2) 調査の方法

- 調査対象地域 : 亀山市全域  
調査対象者 : 18 歳以上の亀山市在住者 1,500 人  
調査期間 : 平成 21 年 7 月 2 日～平成 21 年 7 月 31 日 (書面)  
サンプル抽出法 : 住民基本台帳から無作為抽出  
(地域・年代のバランスに応じた層化抽出による)  
調査方法 : 郵送による配布、回収

## (3) 配布・回収数

配布数 (件)	回収数 (件)	有効回答数 (件)	回収率 (%)	前回回収率 (%)
1,500	705	705	47.0%	44.1%

## (4) 調査結果の表示方法

- ・集計結果の%表示は、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ・複数回答が可能な設問の場合、母数を有効回答数として、各選択肢の比率を算出しているため、すべての比率の合計が 100.0%にならない場合がある。
- ・クロス集計については、比較対象に対し、5%以上の差異がある項目を中心にコメントしている。
- ・「N」は有効回答数(件)を示している。
- ・有効回答数(件)が少ないものは、分析、コメントを控えている場合がある。

## 2 調査の概要

### 3 属性別の傾向

#### (1) 男女別

男性は、女性に比べ、「男女共同参画社会」の認知度が高い。また男性は、男女の平等感について、家庭、職場、学校、地域、社会通念や風潮、法律や制度上、政治（政策決定）の場のあらゆる場面において「平等である」と感じている人の割合が女性に比べ高い。「男は仕事、女は家庭」という考え方には同感する人の割合が高く、子育てについても、「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」、「男の子は家事ができるように育てるのがよい」といった意見に賛同しない人の割合が高い。地域における社会活動への参加状況は女性に比べ高いが、子育てに関する地域活動への参加率は女性に比べ低い。

一方、女性は、男性に比べ家庭、職場、学校、地域、社会通念や風潮、法律や制度上、政治（政策決定）の場のあらゆる場面において「平等である」と感じている人の割合が低い。また、「男は仕事、女は家庭」という性別による固定的な役割分担に否定的な人の割合が高く、子育てについても、「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」、「男の子は家事ができるように育てるのがよい」、「女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」といった意見に賛同する人の割合が高い。

職場においては、男性に比べ女性で「男性の方が優遇されている」と感じており、平等だと感じない理由を、女性は「賃金」、「昇進、昇格」、「能力評価」、「教育訓練を受ける機会に差がある」としている。女性は家族の協力や理解、家事や育児との両立、老人や病人の介護・看護などを女性が働き続けていくうえでの障がいとしており、出生率低下の原因でも、仕事と子育ての両立が挙げられており、仕事と家庭生活の両立は大きな課題となっている。こうした中で、育児休業制度、介護休業制度を取得率は男女ともに1割に満たない低い数字となっている。

「ワーク・ライフ・バランス」という言葉は女性に比べ男性で認知度が高い。生活の中での、仕事、家庭生活、地域・個人の優先度を男女別にみると、男性は「家庭生活」の優先、女性は「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」のすべてをバランスよく優先させることを希望していても、現実には男性は仕事を優先し、女性が仕事や家庭生活を優先していることがうかがえる。社会活動に参加していない理由をみても、男性は仕事、女性は家事・育児・子どもの教育がそれぞれ忙しいことをあげており、この結果、今後、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくために必要なことを、男性は「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」としており、女性は「夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと」、「男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと」、「子どもに対し家事などを自分でできるようなしつけや育て方をすること」としている。

ドメスティック・バイオレンス（DV）については、男性に比べ女性で結婚相手や恋人から暴力を受けた経験がある人の割合が依然高くなっている。また、セクシュアル・ハラスメント（セクハラ）については、男性で、その内容について厳しく認識している状況がうかがえる。

## (2) 年齢別

女性の30歳代は「男女共同参画社会」の認知度が低い。

30歳代は、法律や制度上、政治（政策決定）の場、社会全体で男性の方が優遇されていると感じており、「男は仕事、女は家庭」という考え方、性別による固定的な役割分担に否定的な人の割合も高く、5割以上を占めている。また、子育てについての意見でも、30歳代では、「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」といった意見に賛同するの人の割合が高い。

さらに、女性の30歳代以下では就労している人の割合が低く、女性が働き続けていくうえで、大きな障がいになっているとされていることは、「家事や育児との両立が難しいこと」、「育児休業制度などの条件が整っていないこと」などとされている。出生率の低下の原因についても、他の年代に比べ30歳未満で「出産・子育てにお金がかかるから」、「地域の子育てサービス不足など、子育てをする社会環境がよくないから」の割合が、社会活動に参加していない理由としても、「家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない」の割合が高く、子育て支援の必要性がうかがえる。

60歳以上の高齢者層では、「男は仕事、女は家庭」という考え方に肯定的な人の割合が高く、特に60歳代で結婚や子育てを期に女性が家庭に入る考えが根付いていることがうかがえる。

一方、女性が働き続けていくうえで、大きな障がいになっているとされていることは、40歳代で「家族の協力や理解が得にくいこと」の割合が高くなっている。さらに、年齢が高くなるにつれて「老人や病人の介護・看護があること」の割合が高く、介護支援についての要望もうかがえる。

社会活動に参加していない理由は40歳代、50歳代で「仕事が忙しく余裕がない」の割合が高くなっている。生活の中での、仕事、家庭生活、地域・個人の優先度をみると、50歳代以下では「家庭生活」、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」の優先度が高いが、現実では「仕事」や「仕事と家庭生活」の割合が高く、中年層以上は、仕事と家庭生活が中心となっている。

この結果、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくために必要なことを、50歳代以下で「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」としている。

制度などについての認知度は、育児休業制度の内容については、50歳代、60歳代で高い。「ワーク・ライフ・バランス」は、30歳代以上で認知度が高く、ドメスティック・バイオレンス、DV防止法、デートDV、セクシュアル・ハラスメントなどは、年齢が高くなるにつれて認知度が低くなっている。

ドメスティック・バイオレンス（DV）については、女性の30歳代で結婚相手や恋人から暴力を受けた経験がある人の割合が高いが、相談窓口の認知度が低い。また、性犯罪や売買春（いわゆる「援助交際」を含む）、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等をなくすための施策として、40歳代以下では、「捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする」の割合が高くなっており、相談窓口の周知や相談しやすい窓口の充実が課題となる。



### (3) 職業別

病院および職場、学校等での健康診断の受診状況は、自営業（商工・サービス）、家事専業・家事手伝いで受診率が低くなっている。

職場での男女平等については、会社員で「男性の方が優遇されている」の割合が高く、平等感が低くなっている。

女性が働き続けていくうえで、大きな障がいとなっていることは、会社員で「企業が女性に責任ある仕事を任せないこと」、「育児休業制度などの条件が整っていないこと」、「女性自身の就労に対する意識が低いこと」の割合が高く、家事専業・家事手伝いでも「育児休業制度などの条件が整っていないこと」の割合が高くなっている。子育てに関する地域活動への参加率は会社員で低い。生活の中での、仕事、家庭生活、地域・個人の優先度をみると、会社員、自営（商工・サービス業）では「家庭生活」、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」の優先を希望しているものの、現実では「仕事」の割合が高くなっており、子育てと仕事の両立支援が課題となっている。

### (4) 婚姻別

結婚している人では、「男は仕事、女は家庭」という考え方に肯定的な人の割合が高くなっている。また、「子ども見守り活動」、「PTA役員や子ども会などの委員活動」など子育てに関する地域活動への参加がみられる。

将来、介護してほしい相手は、結婚している人で配偶者の介護を希望する割合が高く、結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない人で「介護施設、老人ホーム等」の割合が高い。

### (5) 共働き形態別

共働き家庭では、「男は仕事、女は家庭」という考え方に否定的な人の割合が高く、「食事の後片付け」、「洗濯」、「PTAや地域の行事参加」、「親戚とのつきあい」において女性中心の役割分担の割合は低い。

共働き家庭では、「子どもの世話の大部分は、男親にもできる」という考えに賛同する人の割合が高いが、「フルタイム/パートタイマー・アルバイト」、「フルタイム/その他就労」などでは、「子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」という考え方に賛同する人の割合が高い。

## 4 調査結果と目標指標

### (1) 亀山市男女共同参画基本計画の目標値

亀山市男女共同参画基本計画（平成 21 年 3 月改訂）に掲げられた平成 23 年度を目標年度とする目標値のうち、市民意識調査の結果から現状値が導き出されるものについて、それぞれの項目の状況と傾向をみる。

#### ア 男女共同参画を意識している人の割合

施 策：I 男女共同参画を実現する意識づくり				
目標項目：男女共同参画を意識している人の割合				
性別による固定的な役割分担意識の一つである「男は仕事、女は家庭」という考え方に対し、「同感しない」、「どちらかといえば同感しない」と思う人の割合				
前々回調査 (平成 17 年 2 月)	前回調査 (平成 19 年 6 月)	今回調査 (平成 21 年 7 月)	目標値 (平成 23 年度)	(参考) 三重県 (平成 18 年 2 月)
39.4%	43.1%	46.1%	80.0%	47.3%
「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合は、前回調査結果と比較すると、3.0%高くなっており、市民の意識は徐々に高まっていることがうかがえる。しかし、県の調査では、平成 18 年時点で 47.3%であるのに対し、亀山市がわずかに下回っている。平成 23 年度目標値に対しては、大きな差がある。				

#### イ 社会活動参加率

施 策：IV 家庭、地域における男女共同参画の推進				
目標項目：社会活動参加率				
自治会やコミュニティの活動、女性団体の活動、高齢者団体の活動、PTA活動や子ども会などの青少年活動、ボランティア活動、文化サークル活動、レクリエーションやスポーツのサークル活動などを行っている人の割合				
前々回調査 (平成 17 年 2 月)	前回調査 (平成 19 年 6 月)	今回調査 (平成 21 年 7 月)	目標値 (平成 23 年度)	(参考) 三重県 (平成 18 年 2 月)
37.6%	42.2%	45.4%	50.0%	—
社会活動に参加している人の割合は、前回調査結果と比較すると、3.2%高くなっている。なお、県の調査では同様の設問を設定していない。				

### ウ 子育てに関する地域活動に参加したことがある人のうち男性の比率

施 策：Ⅳ 家庭、地域における男女共同参画の推進				
目標項目：子育てに関する地域活動に参加したことがある人のうち男性の比率 子育てに関する地域活動に参加したことがある人の総数に対する男性の割合				
前々回調査 (平成17年2月)	前回調査 (平成19年6月)	今回調査 (平成21年7月)	目標値 (平成23年度)	(参考) 三重県 (平成18年2月)
—%	41.7%	37.5%	50.0%	—
子育てに関する地域活動に参加したことがある人のうち男性が占める割合は、前回調査結果と比較すると、4.2%低くなっている。なお、県の調査では、同様の設問を設定していない。				

### エ DV防止法認知度

施 策：Ⅴ 心身ともに健やかで、安心して暮らせる環境づくり				
目標項目：DV防止法認知度 DV防止法の内容について「よく知っている」、「少し知っている」とした人の割合				
前々回調査 (平成17年2月)	前回調査 (平成19年6月)	今回調査 (平成21年7月)	目標値 (平成23年度)	(参考) 三重県 (平成18年2月)
41.6%	52.6%	57.6%	60.0%	43.1%
DV防止法の認知度の割合は、前回調査結果と比較すると、5.0%高くなっており、市民への周知が拡大していることがうかがえる。県の調査は選択肢構成が若干異なるため直接の比較とはならないものの、その差異を除いても亀山市の認知度は高くなっている。				

### オ 健康診断受診率

施 策：Ⅴ 心身ともに健やかで、安心して暮らせる環境づくり				
目標項目：健康診断受診率 ここ1年間で、病院および職場、学校等で健康診断を受診した人の割合				
前々回調査 (平成17年2月)	前回調査 (平成19年6月)	今回調査 (平成21年7月)	目標値 (平成23年度)	(参考) 三重県 (平成18年2月)
74.3%	76.6%	78.0%	80.0%	—
ここ1年間で健康診断を受診した人の割合は、前回調査結果と比較すると、1.4%高くなっている。なお、県の調査では同様の設問を設定していない。				

## (2) 属性別にみる目標値設定項目の状況

### ①男女共同参画を意識している人の割合

#### 【男女別】

「男は仕事、女は家庭」という考え方に、「どちらかといえば同感しない」と「同感しない」をあわせた同感しない人の割合は、市全体では、46.1%となっている。また、男性で38.7%であるのに対し、女性で52.4%と10ポイント以上上回っている。性別による固定的な役割分担意識の一つである「男は仕事、女は家庭」という考え方に対して男性の方が否定的な意見が少ないことから、男女共同参画に対する意識は依然男性で低いことが考えられる。

#### 【年齢別】

「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合は、「～29歳」で52.0%、「30歳代」で56.1%、「40歳代」で48.3%、「50歳代」で49.7%、「60歳代」で36.2%、「70歳以上」で29.0%と、年齢が高くなるにつれて否定的な意見が少なくなる傾向があり、特に高齢者層で男女共同参画に対する意識が低いことが考えられる。

#### 【婚姻別】

「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合は、「結婚している」で45.2%、「結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない」で54.2%、「結婚していない」で50.0%と、婚姻の有無で意識の差が生じている。

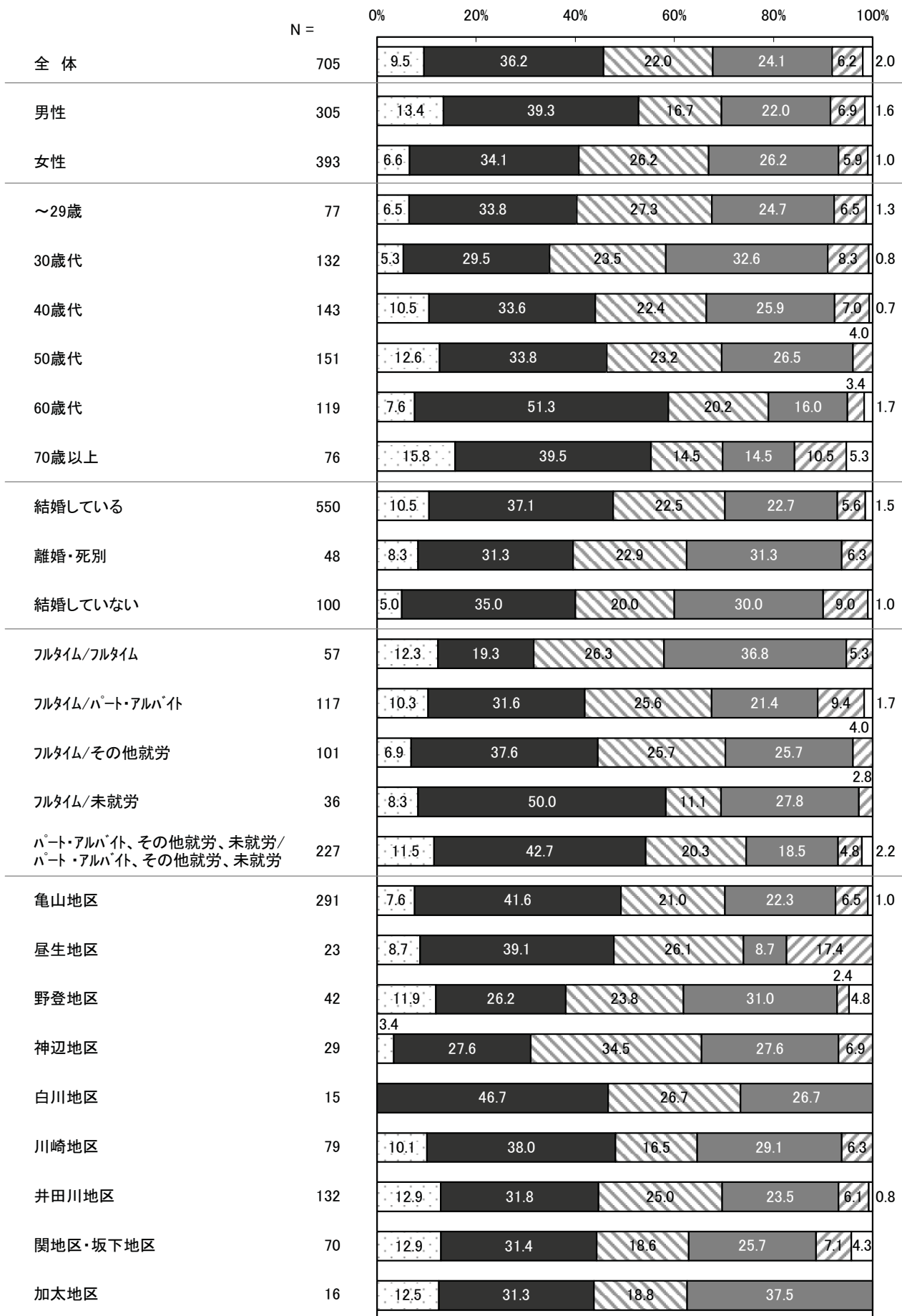
#### 【共働き形態別】

「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合は、「フルタイム/フルタイム」で63.1%、「フルタイム/パート・アルバイト」で47.0%、「フルタイム/その他就労」で51.4%、「フルタイム/未就労」で38.9%、「パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労」で38.8%と、フルタイム共働き家庭では、フルタイム・パートタイム、フルタイム・未就労の家庭に比べ性別による固定的な役割分担意識は低くなっている。

#### 【地区別】

「男は仕事、女は家庭」という考え方に同感しない人の割合は、「亀山地区」で43.3%、「昼生地区」で34.8%、「野登地区」で54.8%、「神辺地区」で62.1%、「白川地区」で53.4%、「川崎地区」で45.6%、「井田川地区」で48.5%、「関地区・坂下地区」で44.3%、「加太地区」で56.3%となっている。

同感する  
 どちらかといえば同感しない  
 わからない  
 どちらかといえば同感する  
 同感しない  
 無回答



## ②社会活動参加率

### 【男女別】

社会活動への参加率は、市全体では、45.4%となっている。また、男性で48.5%であるのに対し、女性で43.5%となっており、女性の参加率は高くなってきているものの、公的な場への参加は依然男性が担っていることがうかがえる。

### 【年齢別】

社会活動への参加率は、「～29歳」で19.5%、「30歳代」で44.7%、「40歳代」で54.5%、「50歳代」で47.0%、「60歳代」で50.4%、「70歳以上」で47.4%となっており、30歳未満で社会参加率が低くなっている。

### 【婚姻別】

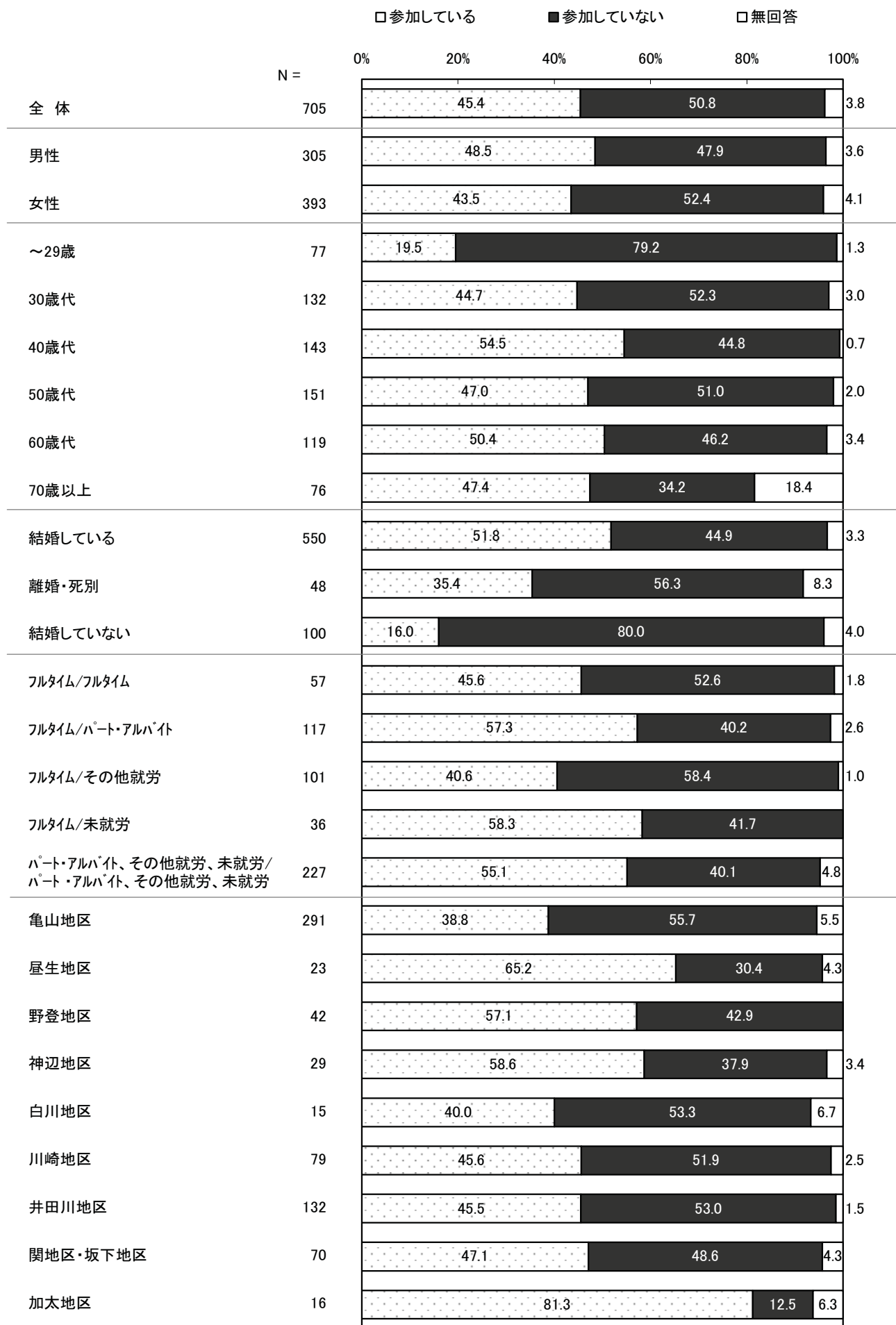
社会活動への参加率は、「結婚している」で51.8%、「結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない」で35.4%、「結婚していない」で16.0%となっており、婚姻状況が社会参加の状況へ影響していることがうかがえる。

### 【共働き形態別】

社会活動への参加率は、「フルタイム/フルタイム」で45.6%、「フルタイム/パート・アルバイト」で57.3%、「フルタイム/その他就労」で40.6%、「フルタイム/未就労」で58.3%、「パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労」で55.1%となっており、フルタイム共働き家庭、フルタイム・その他就労家庭で社会参加率が低くなっている。この結果、夫婦のどちらかが時間に融通のきく就労形態の場合に社会参加が可能になることがうかがえる。

### 【地区別】

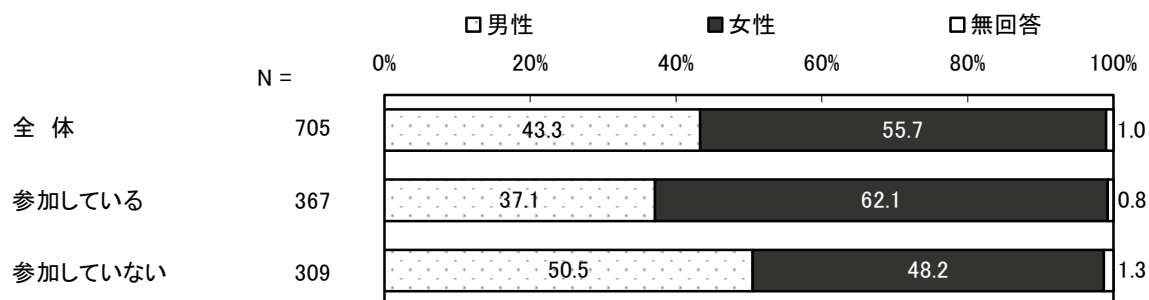
社会活動への参加率は、「亀山地区」で38.8%、「昼生地区」で65.2%、「野登地区」で57.1%、「神辺地区」で58.6%、「白川地区」で40.0%、「川崎地区」で45.6%、「井田川地区」で45.5%、「関地区・坂下地区」で47.1%、「加太地区」で81.3%となっている。



### ③子育てに関する地域活動に参加したことの人の比率

#### 【参加状況別男女比率】

子育てに関する地域活動に参加したことの人のうち、男性が 37.1%であるのに対し、女性は 62.1%となっており、参加者の男女比は女性が半数以上を占めている。



#### 【男女別】

子育てに関する地域活動に参加したことの人の割合は、市全体では、52.1%となっている。また、男性で 44.6%であるのに対し、女性で 58.0%となっており、依然女性の参加率が高い。

#### 【年齢別】

子育てに関する地域活動に参加したことの人の割合は、「～29歳」で 15.6%、「30歳代」で 29.5%、「40歳代」で 74.8%、「50歳代」で 71.5%、「60歳代」で 58.8%、「70歳以上」で 38.2%となっており、子育て期より少し上の 40歳代、50歳代で参加率が高くなっている。

#### 【婚姻別】

子育てに関する地域活動に参加したことの人の割合は、「結婚している」で 60.4%、「結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない」で 41.7%、「結婚していない」で 12.0%となっており、婚姻状況により子育てに関する地域活動の参加状況へ影響していることがうかがえる。

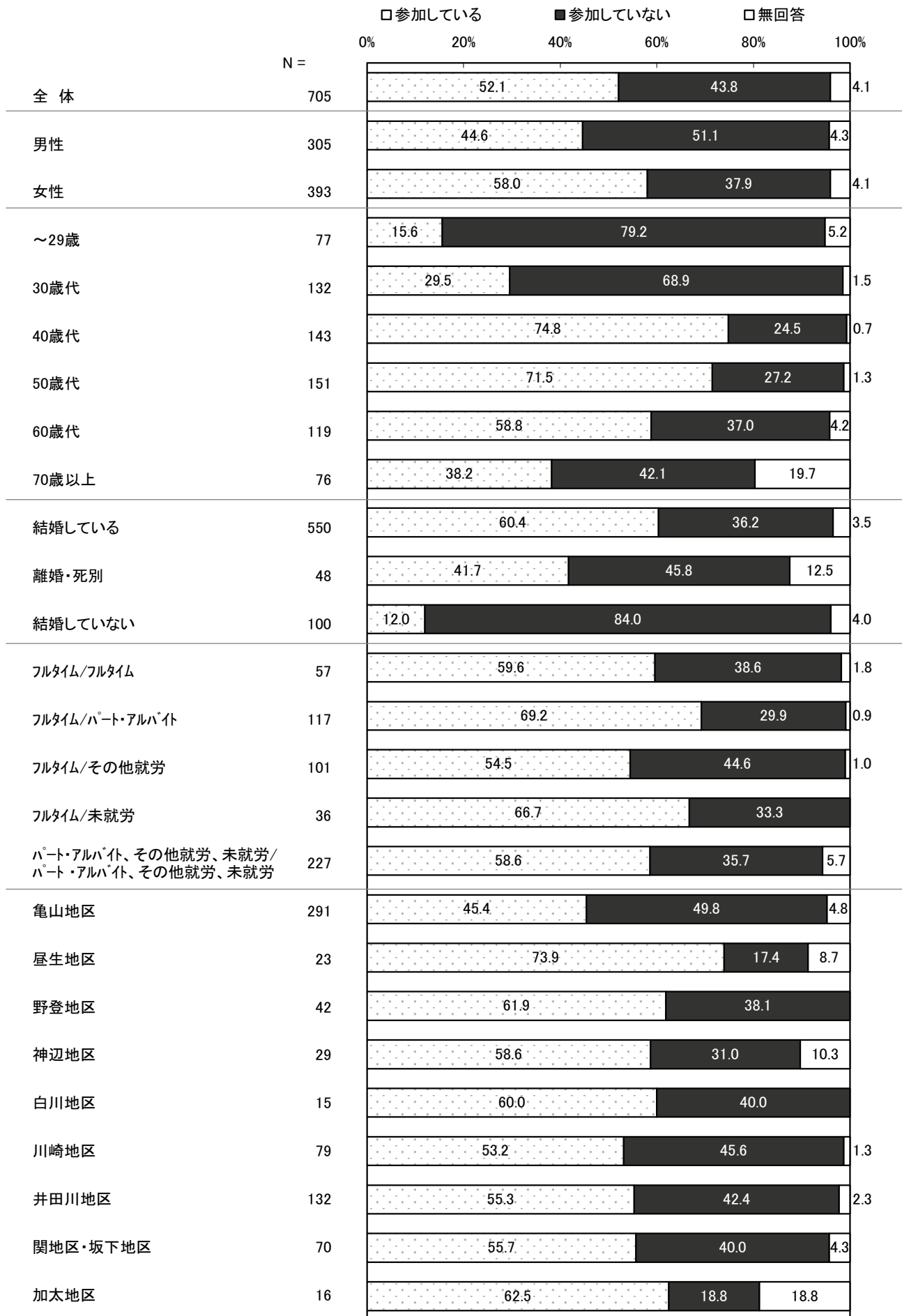
#### 【共働き形態別】

子育てに関する地域活動に参加したことの人の割合は、「フルタイム/フルタイム」で 59.6%、「フルタイム/パート・アルバイト」で 69.2%、「フルタイム/その他就労」で 54.5%、「フルタイム/未就労」で 66.7%、「パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労」で 58.6%となっており、フルタイム・パートタイム家庭、フルタイム・未就労家庭で参加率が高くなっている。

#### 【地区別】

子育てに関する地域活動に参加したことの人の割合は、「亀山地区」で 45.4%、「昼生地区」で 73.9%、「野登地区」で 61.9%、「神辺地区」で 58.6%、「白川地区」で 60.0%、「川崎地区」で 53.2%、「井田川地区」で 55.3%、「関地区・坂下地区」で 55.7%、「加太地区」で 62.5%となっている。





#### ④DV防止法認知度

##### 【男女別】

DV防止法について、「よく知っている」と「少し知っている」をあわせた認知している人の割合は、市全体では、57.6%となっている。また、男性で 58.3%、女性で 56.7%となっており、男女で大きな差異はみられない。

##### 【年齢別】

DV防止法について、認知している人の割合は、「～29歳」で 59.8%、「30歳代」で 59.9%、「40歳代」で 67.2%、「50歳代」で 64.3%、「60歳代」で 49.5%、「70歳以上」で 31.6%となっており、60歳代以上の高齢者層で認知度が低くなっている。

##### 【婚姻別】

DV防止法について、認知している人の割合は、「結婚している」で 57.6%、「結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない」で 60.4%、「結婚していない」で 57.0%となっており、「結婚している」と「結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない」で認知度が同程度となっている。

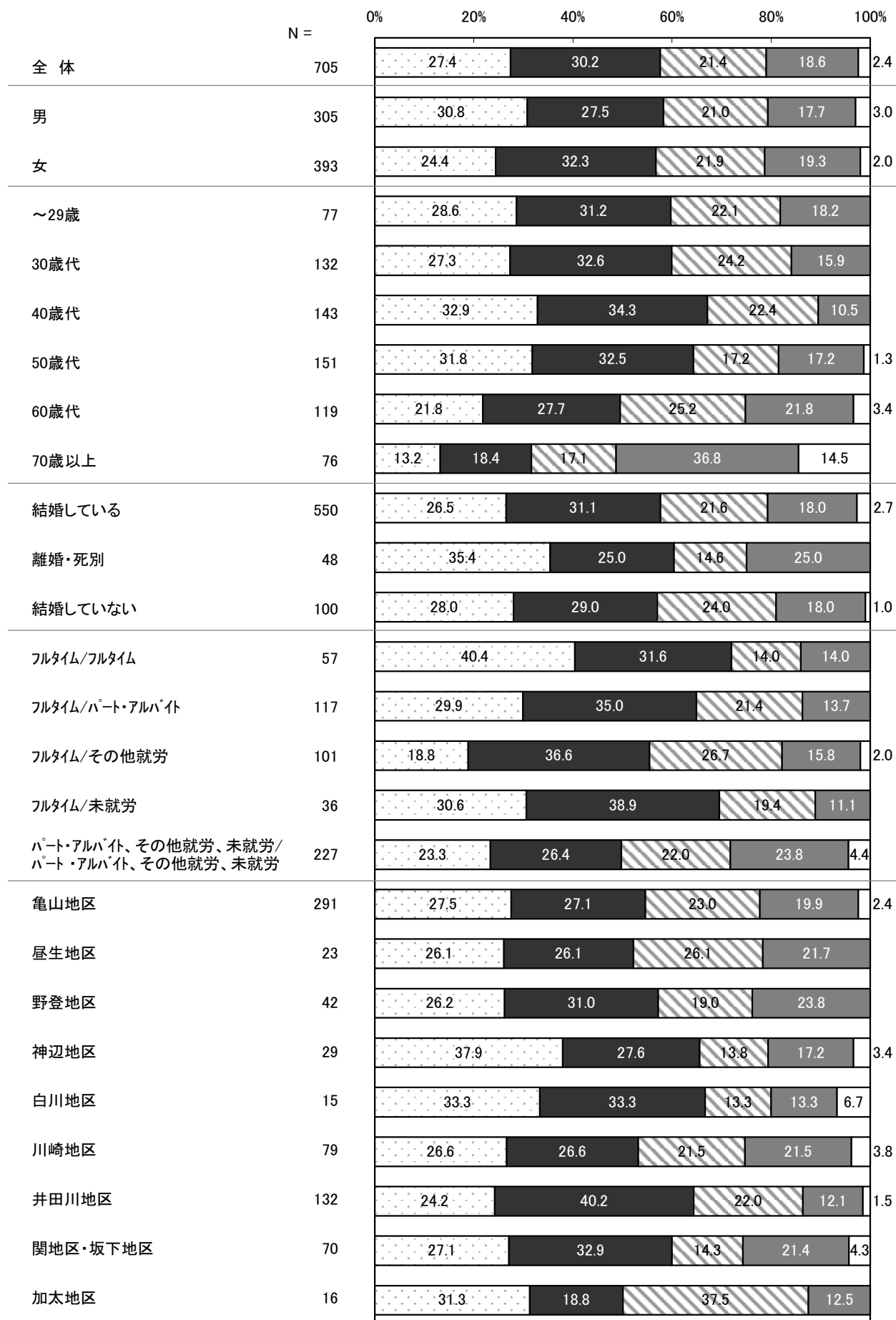
##### 【共働き形態別】

DV防止法について、認知している人の割合は、「フルタイム/フルタイム」で 72.0%、「フルタイム/パート・アルバイト」で 64.9%、「フルタイム/その他就労」で 55.4%、「フルタイム/未就労」で 69.5%、「パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労」で 49.7%となっており、夫婦ともにフルタイム就労ではない家庭で認知度が低くなっている。

##### 【地区別】

DV防止法について、認知している人の割合は、「亀山地区」で 54.6%、「昼生地区」で 52.2%、「野登地区」で 57.2%、「神辺地区」で 65.5%、「白川地区」で 66.6%、「川崎地区」で 53.2%、「井田川地区」で 64.4%、「関地区・坂下地区」で 60%、「加太地区」で 50.1%となっている。

□よく知っている                      ■少し知っている  
 □言葉を聞いたことがある程度      ■知らない  
 □無回答



## ⑤健康診断受診率

### 【男女別】

健康診断の受診率は、市全体では、78.0%となっている。また、男性で83.6%であるのに対し、女性で73.5%となっており、女性の受診率が低くなっている。

### 【年齢別】

健康診断の受診率は、「～29歳」で72.7%、「30歳代」で69.7%、「40歳代」で82.5%、「50歳代」で86.8%、「60歳代」で75.6%、「70歳以上」で75.0%となっており、40歳代、50歳代の就業率が高い年代で受診率が高いことがうかがえる。

### 【婚姻別】

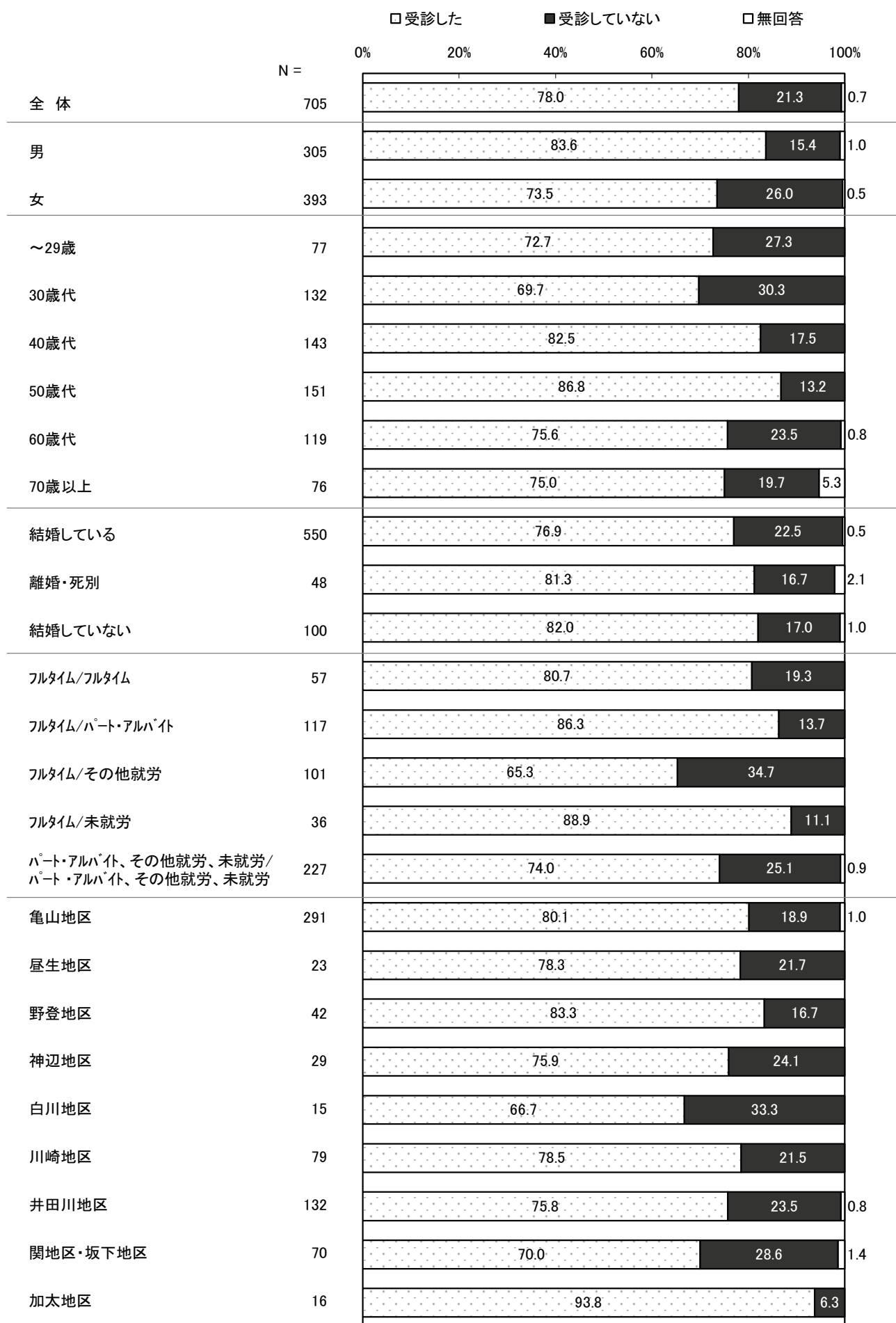
健康診断の受診率は、「結婚している」で76.9%、「結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない」で81.3%、「結婚していない」で82.0%となっており、「結婚している」人で受診率が低くなっている。

### 【共働き形態別】

健康診断の受診率は、「フルタイム/フルタイム」で80.7%、「フルタイム/パート・アルバイト」で86.3%、「フルタイム/その他就労」で65.3%、「フルタイム/未就労」で88.9%、「パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労」で74.0%となっており、フルタイム・その他就労家庭、夫婦ともにフルタイム就労ではない家庭で受診率が低くなっている。

### 【地区別】

健康診断の受診率は、「亀山地区」で80.1%、「昼生地区」で78.3%、「野登地区」で83.3%、「神辺地区」で75.9%、「白川地区」で66.7%、「川崎地区」で78.5%、「井田川地区」で75.8%、「関地区・坂下地区」で70.0%、「加太地区」で93.8%となっている。

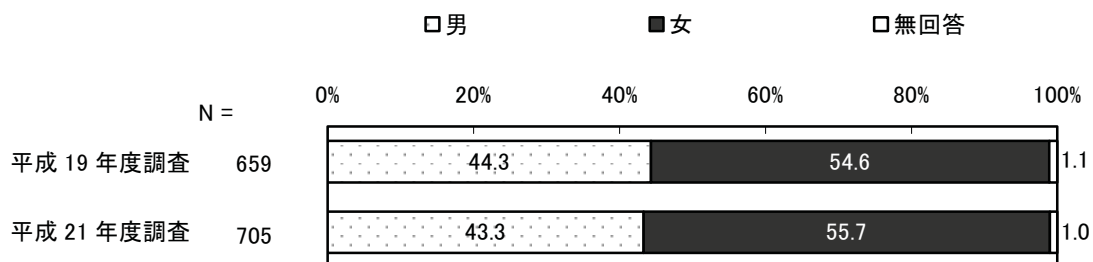


## 5 調査結果

### (1) 回答者属性

問1. あなたの性別をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。

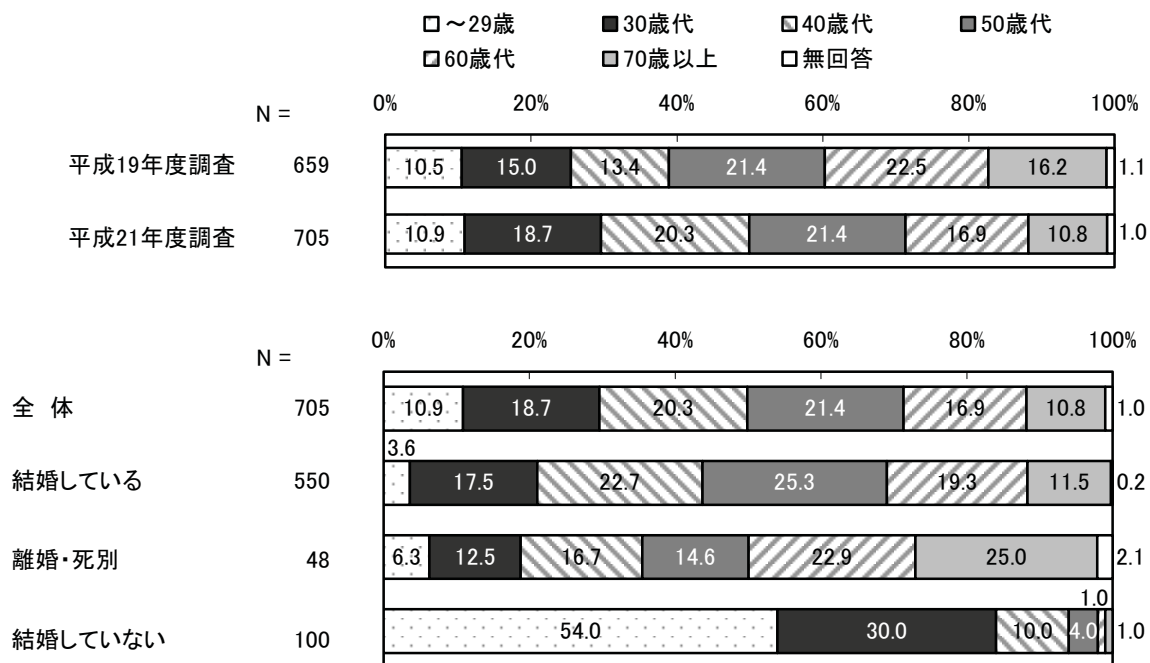
「男」の割合が43.3%、「女」の割合が55.7%となっており、女性のほうがやや多くなっている。



問2. あなたの年齢をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。

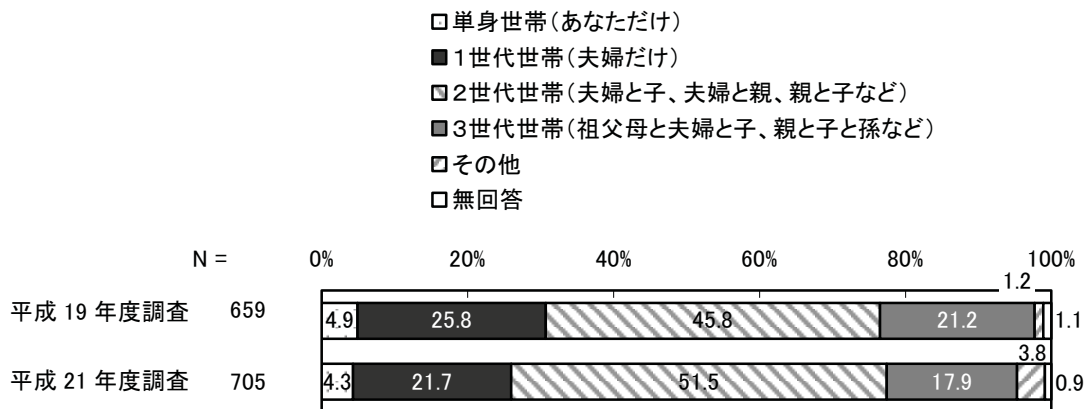
「～29歳代」の割合が10.9%、「30歳代」の割合が18.7%、「40歳代」の割合が20.3%、「50歳代」の割合が21.4%、「60歳代」の割合が16.9%、「70歳以上」の割合が10.8%となっている。

婚姻別にみると、結婚していない人は、「30歳代」が30.0%となっている。



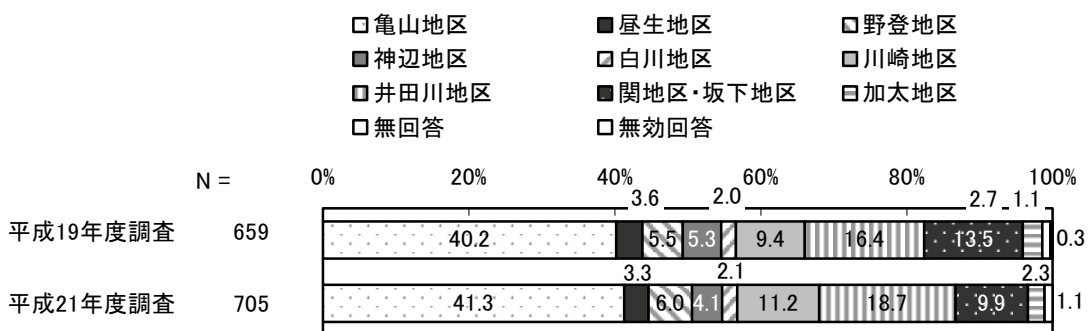
問3. あなたが現在生活しているご家庭の家族構成をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。

「2世代世帯（夫婦と子、夫婦と親、親と子など）」の割合が 51.5%と最も高く、次いで「1世代世帯（夫婦だけ）」の割合が 21.7%、「3世代世帯（祖父母と夫婦と子、親と子と孫など）」の割合が 17.9%、「単身世帯（あなただけ）」の割合が 4.3%となっている。



問4. あなたのお住まいの地区をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。

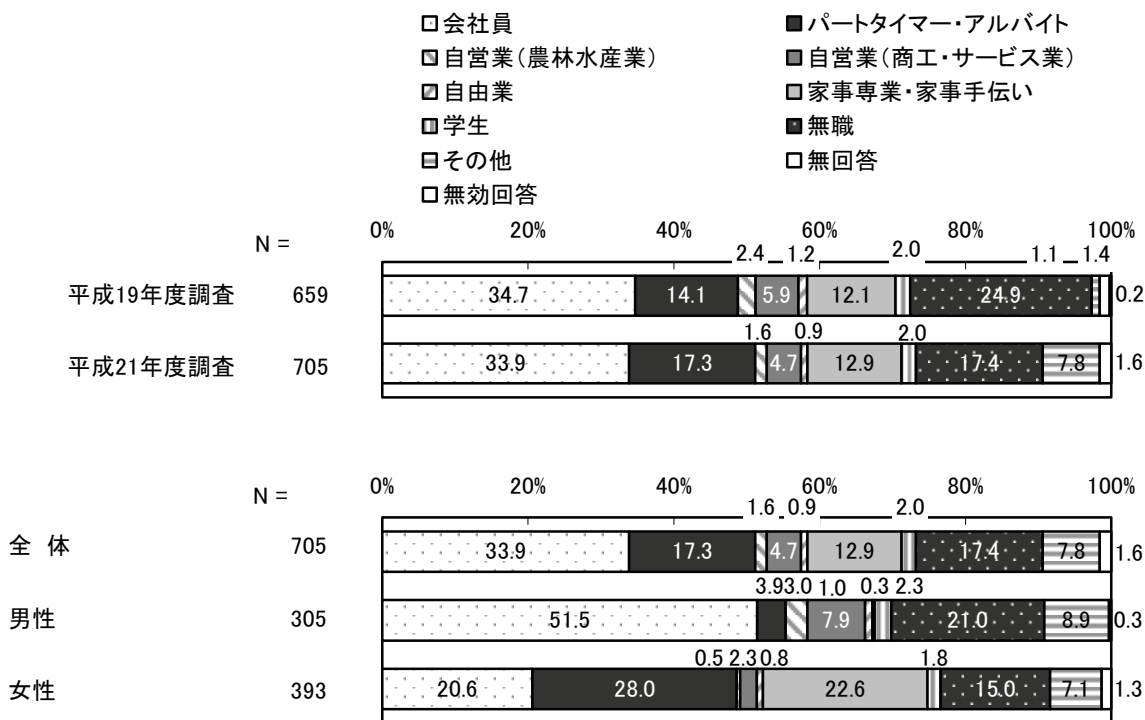
「亀山地区」の割合が 41.3%と最も高く、次いで「井田川地区」の割合が 18.7%、「川崎地区」の割合が 11.2%となっている。



問5. あなたの職業をお答えください。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「会社員」の割合が33.9%と最も高く、次いで「無職」の割合が17.4%、「パートタイマー・アルバイト」の割合が17.3%、「家事専業・家事手伝い」の割合が12.9%となっている。

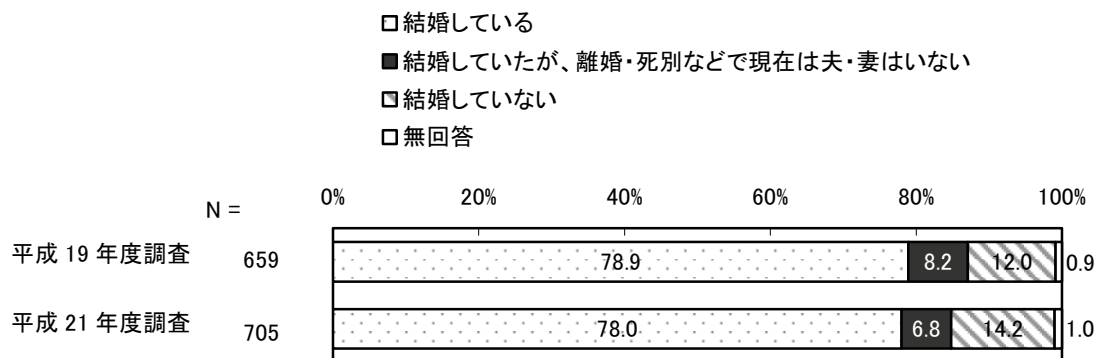
男女別にみると、男性で「会社員」が51.5%、女性で「家事専業・家事手伝い」が22.6%と高くなっている。





問6. あなたは結婚していますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「結婚している」の割合が78.0%と大半を占めており、「結婚していない」の割合が14.2%、「結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない」の割合が6.8%となっている。

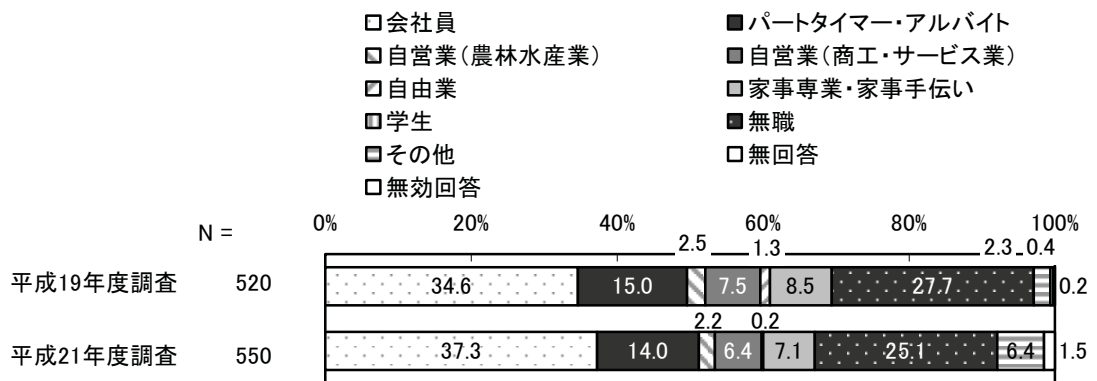


問6で「1. 結婚している」と答えた方にお聞きします。

**問6-1. あなたの配偶者の職業は何ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。**

「会社員」の割合が37.3%と最も高く、次いで「無職」の割合が25.1%、「パートタイマー・アルバイト」の割合が14.0%となっている。

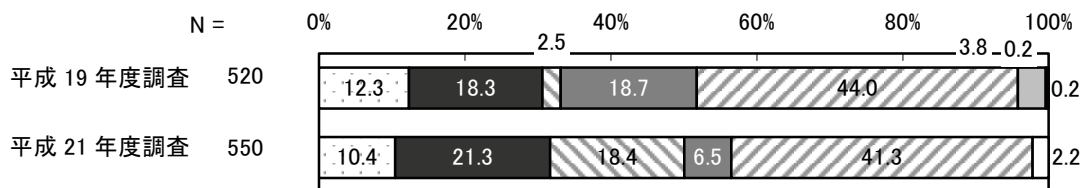
「パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労／パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労」の割合が41.3%と最も高く、次いで「フルタイム／パートタイマー・アルバイト」の割合が21.3%、「フルタイム／その他就労」の割合が18.4%となっている。



※平成19年度調査では、「会社員」ではなく「勤め人(フルタイム)」

**○共働き状態**

- フルタイム/フルタイム
- フルタイム/パートタイマー・アルバイト
- フルタイム/その他就労
- フルタイム/未就労
- パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労/パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労
- その他
- 無回答
- 無効回答



## (2) 男女平等について

問7. あなたは、次の分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。

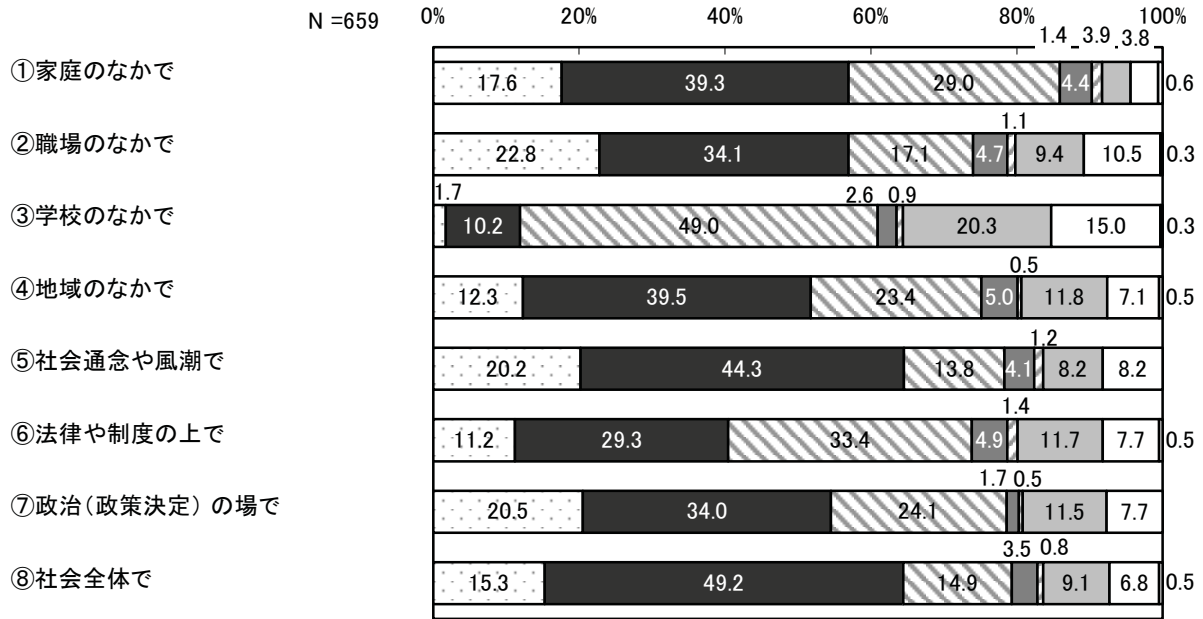
①～⑧のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

「③学校のなかで」では、「平等である」の割合が最も高く、49.5%となっている。それに対し、他の分野では、いずれも「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と「男性の方が優遇されている」をあわせた割合が高くなっており、なかでも、「⑤社会通念や風潮で」、「⑦政治（政策決定）の場で」、「⑧社会全体で」では、約6割を占めている。

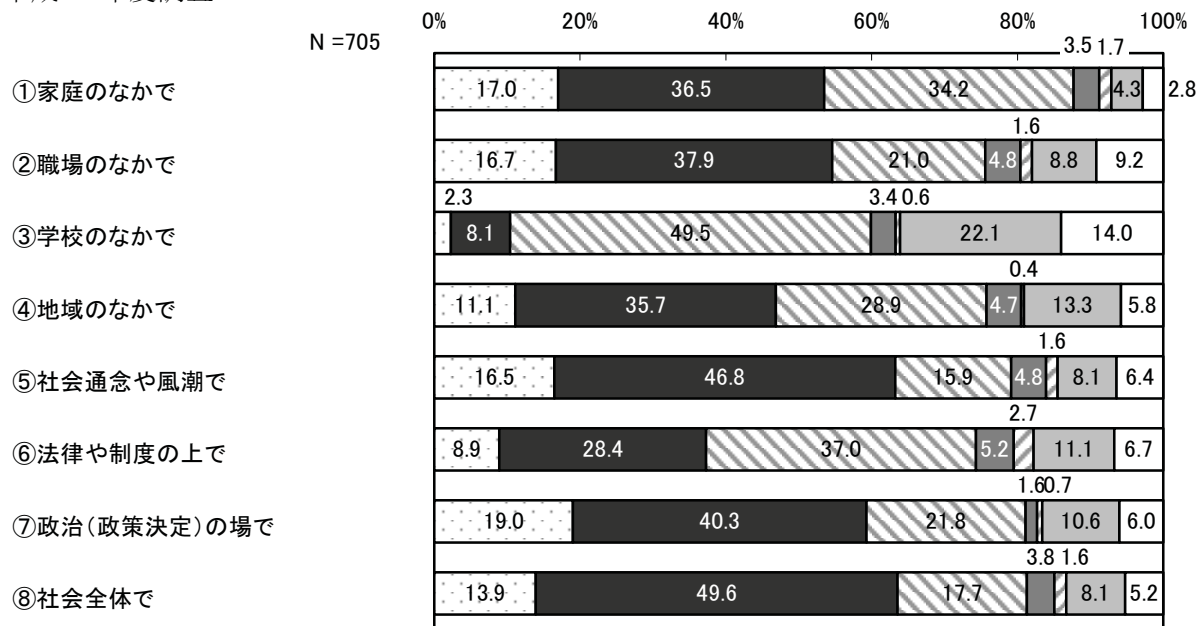
前回調査結果と比較すると、「⑦政治（政策決定）の場で」を除いたすべての分野で「平等である」の割合が高くなっており、特に「①家庭のなかで」、「④地域のなかで」では、前回調査結果を5.0ポイント以上上回っている。

- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答
- 無効回答

平成 19 年度調査



平成 21 年度調査



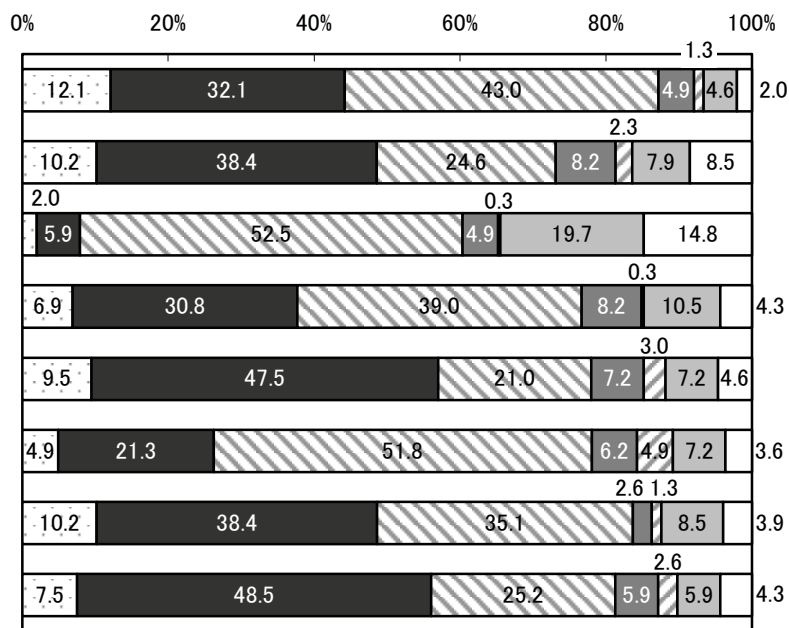
男女別にみると、「平等である」の割合は、女性に比べ男性で高くなっている。

【男女別】

- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答

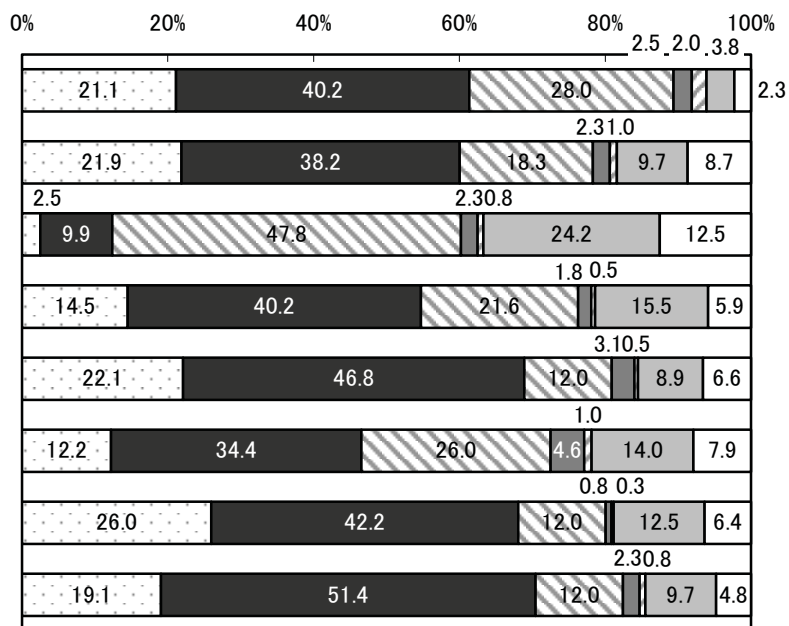
男性

N = 305



女性

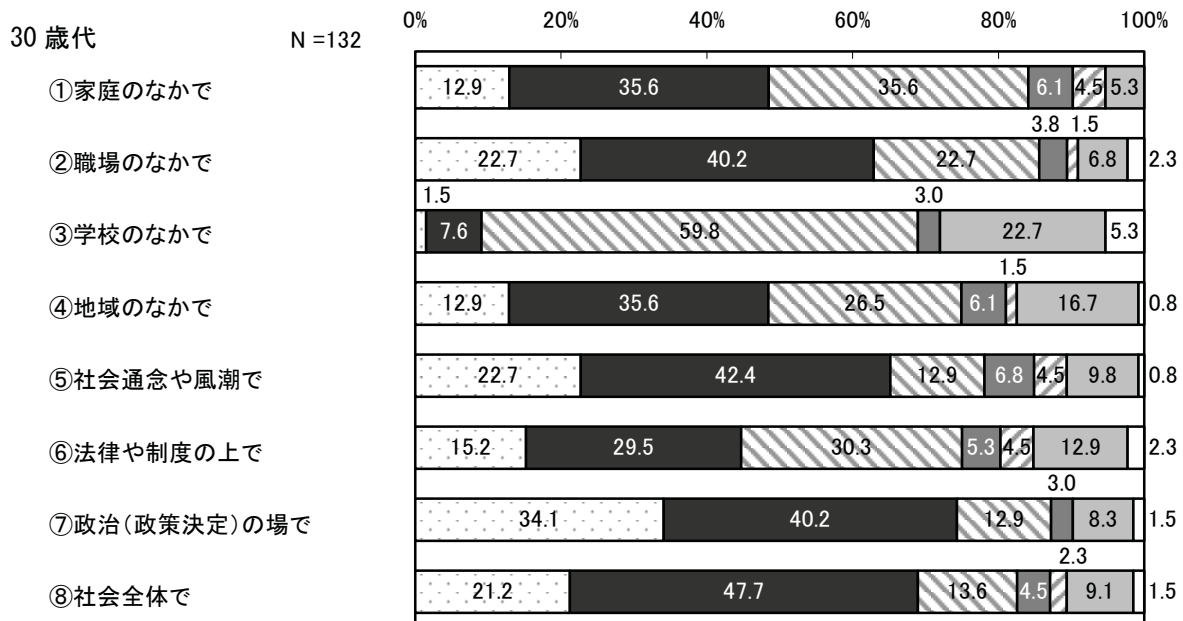
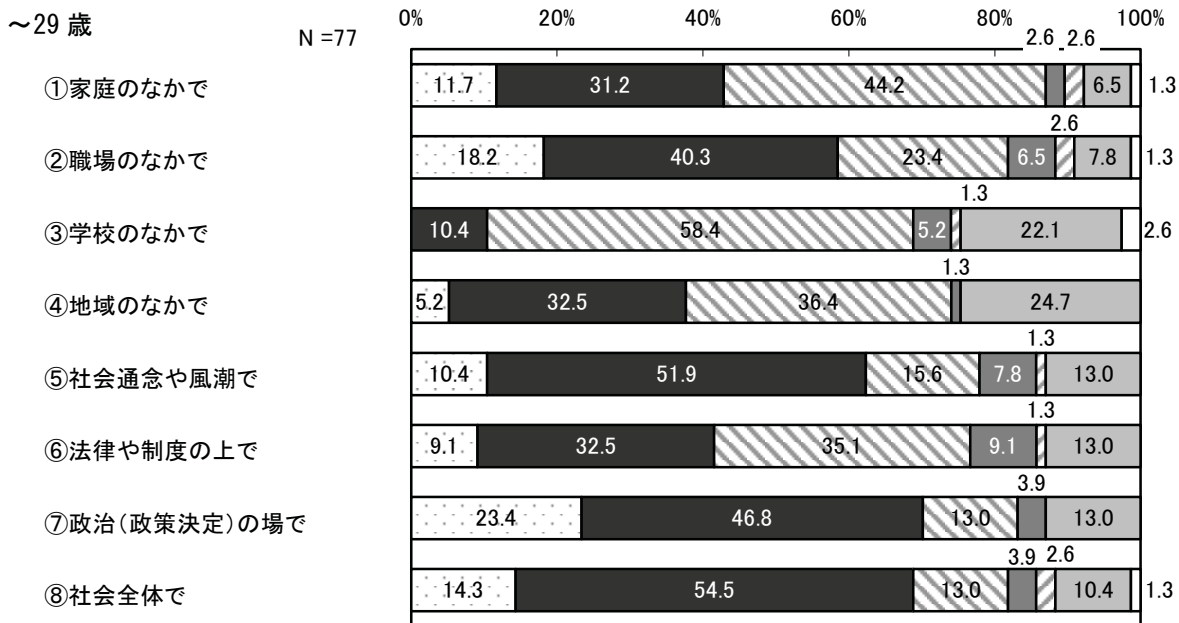
N = 393



年齢別にみると、「男性の方が優遇されている」の割合は、他の年代に比べ30歳代の「⑥法律や制度の上で」、「⑦政治（政策決定）の場で」、「⑧社会全体で」といった分野で高くなっている。また、「男性の方が優遇されている」と「どちらかといえば男性の方が優遇されている」をあわせた割合は、50歳代の「④地域のなかで」、「⑤社会通念や風潮で」、「⑧社会全体で」といった分野で高くなっている。

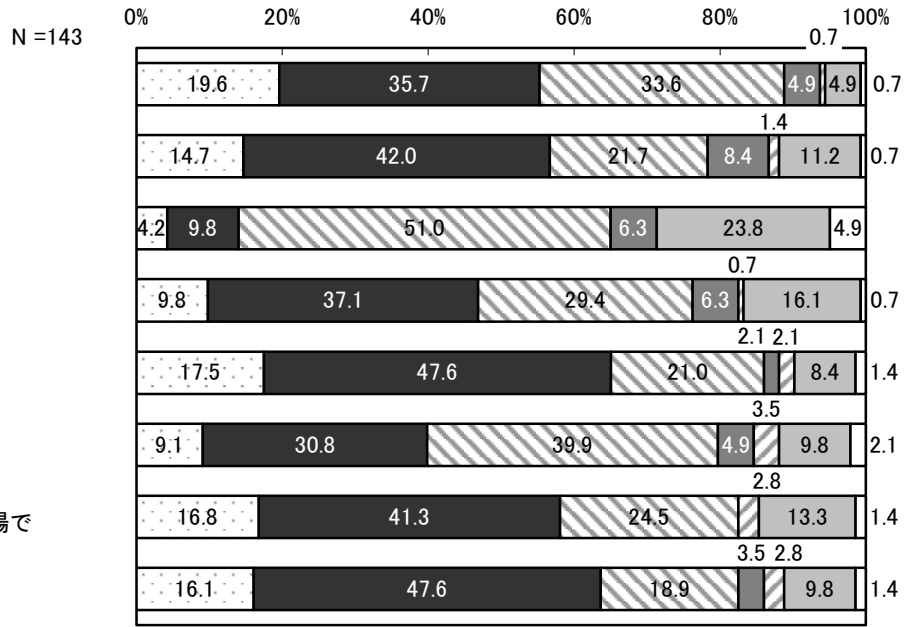
【年齢別】

- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答

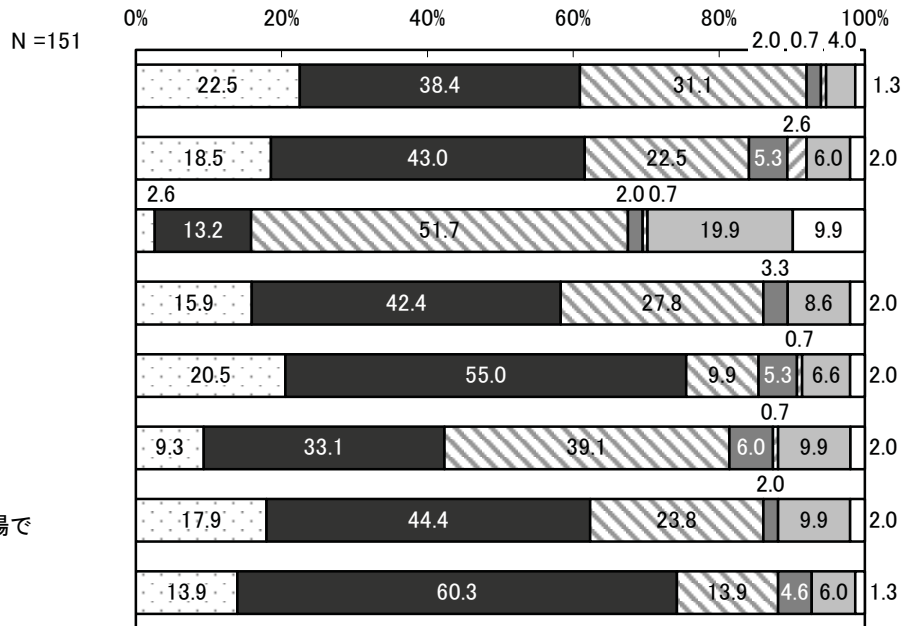


- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ 平等である
- ▩ どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答

40 歳代



50 歳代

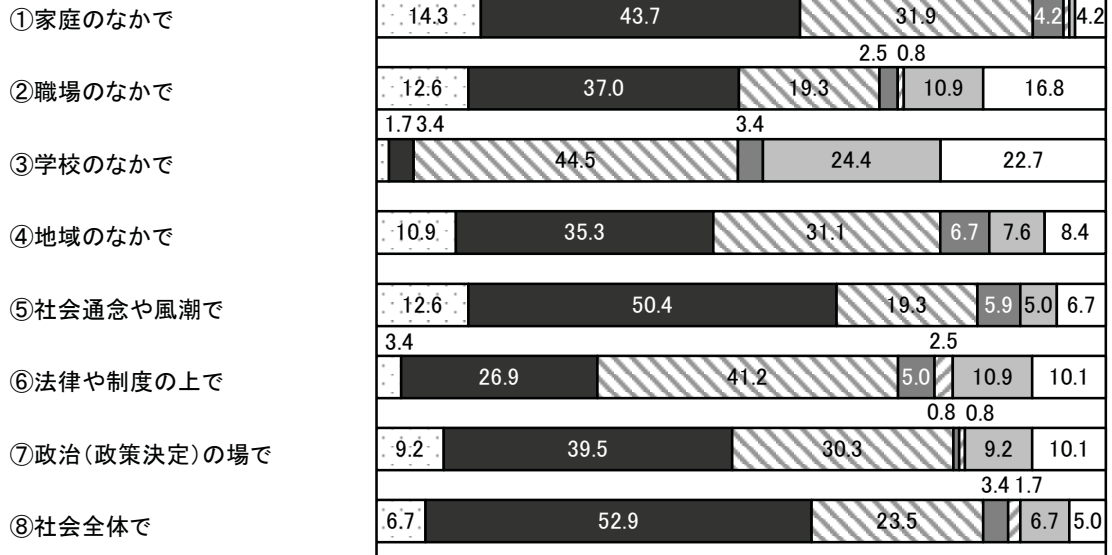


- 男性の方が優遇されている
- どちらかといえば男性の方が優遇されている
- ▨ 平等である
- どちらかといえば女性の方が優遇されている
- 女性の方が優遇されている
- わからない
- 無回答

60 歳代

N = 119

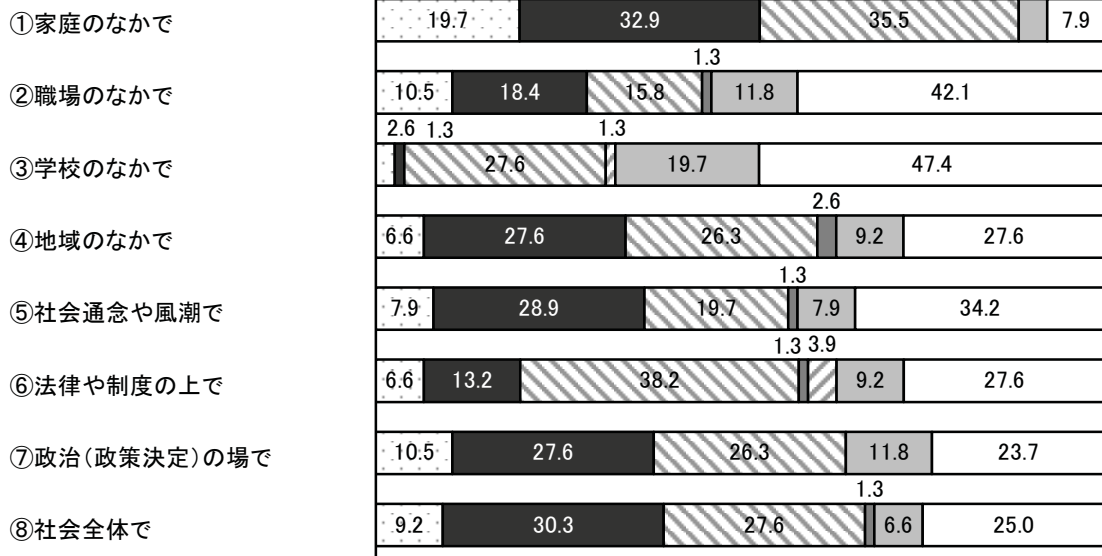
0% 20% 40% 60% 80% 100%



70 歳以上

N = 76

0% 20% 40% 60% 80% 100%





問8. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「どちらかといえば同感する」の割合が36.2%と最も高く、「同感する」と「どちらかといえば同感する」をあわせた肯定的意見の人の割合が45.7%となっている。一方、「どちらかといえば同感しない」と「同感しない」をあわせた否定的意見の人の割合が46.1%となっており、肯定的意見と否定的意見の人の割合が同程度となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

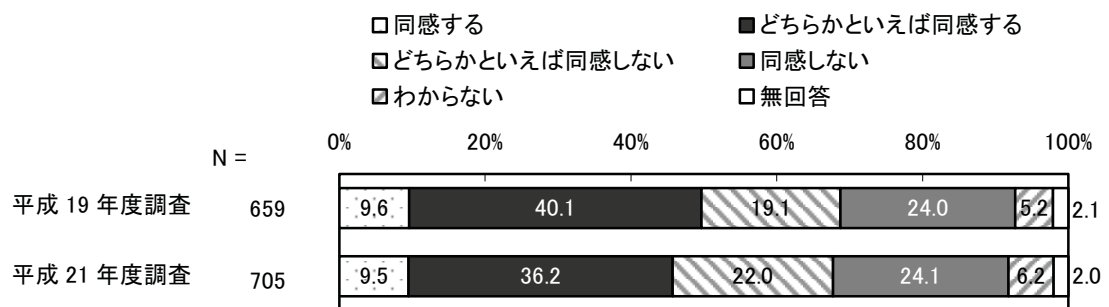
男女別にみると、「同感する」と「どちらかといえば同感する」をあわせた肯定的意見の人の割合は、男性で52.7%であるのに対し、女性で40.7%と10ポイント以上下回っている。

年齢別にみると、肯定的意見の人の割合は、他の年代に比べ60歳以上で約60%と高く、一方、30歳代以下では「どちらかといえば同感しない」と「同感しない」をあわせた否定的意見の人の割合が50%以上と高くなっている。

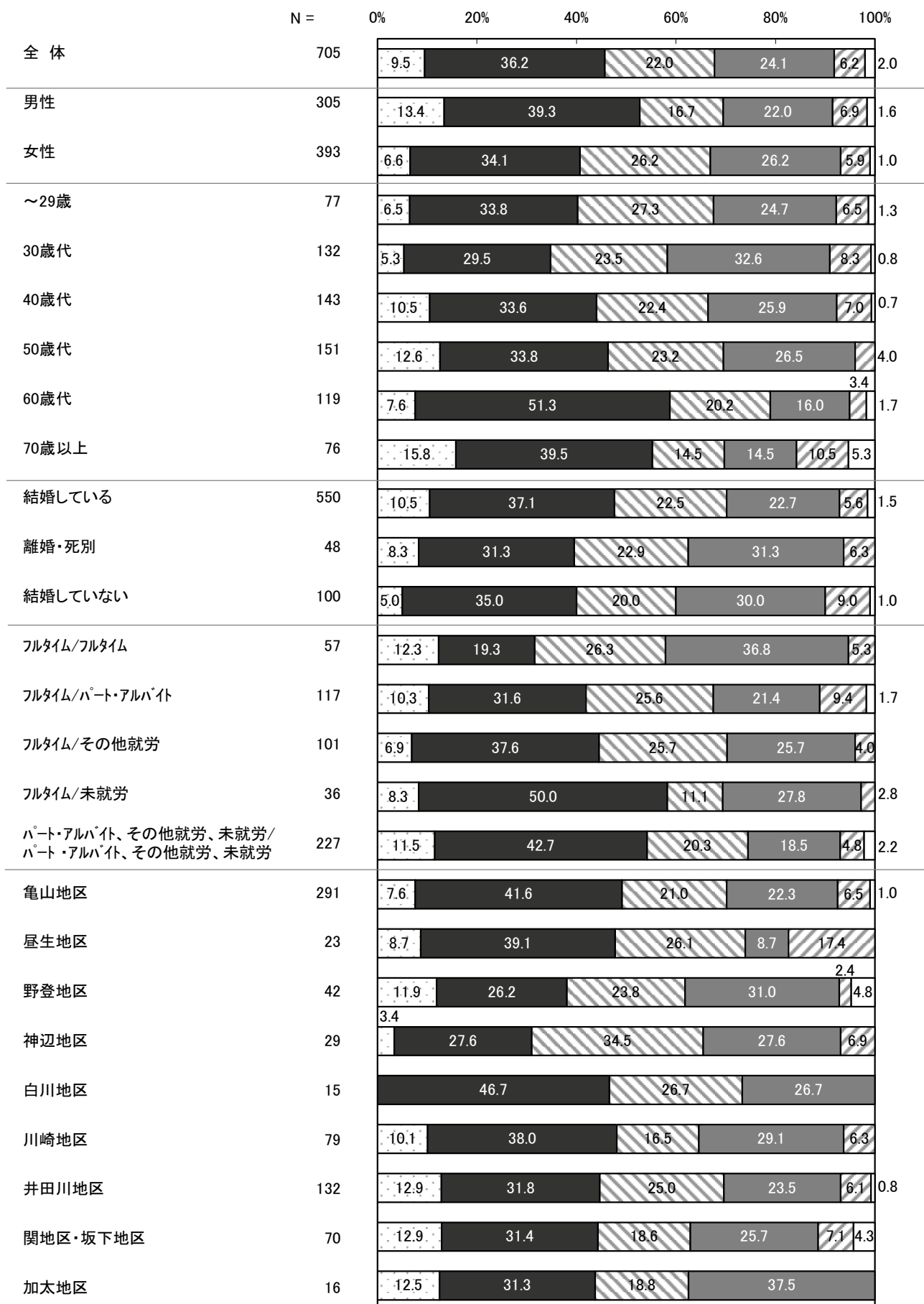
婚姻別にみると、肯定的意見の人の割合は、結婚している人で高くなっている。

共働き形態別にみると、「フルタイム/フルタイム」では、否定的意見の人の割合が60%以上を占め、肯定的意見の人の割合を大きく上回っている。「フルタイム/未就労」、「パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労」では、肯定的意見の人の割合が50%以上を占め、否定的意見の人の割合を上回っている。

地区別にみると、他の地区に比べ「野登地区」、「神辺地区」では、肯定的意見の人の割合が低くなっている。



同感する  
 どちらかといえば同感しない  
 わからない  
 どちらかといえば同感する  
 同感しない  
 無回答



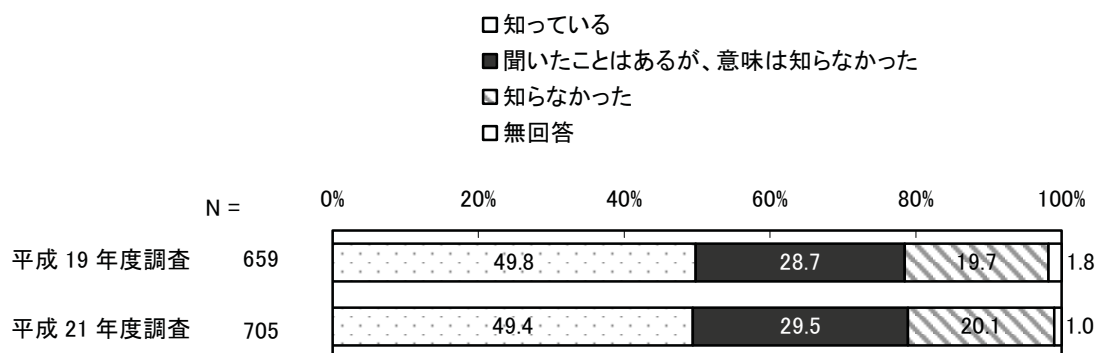
### (3) 男女共同参画について

問9. あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

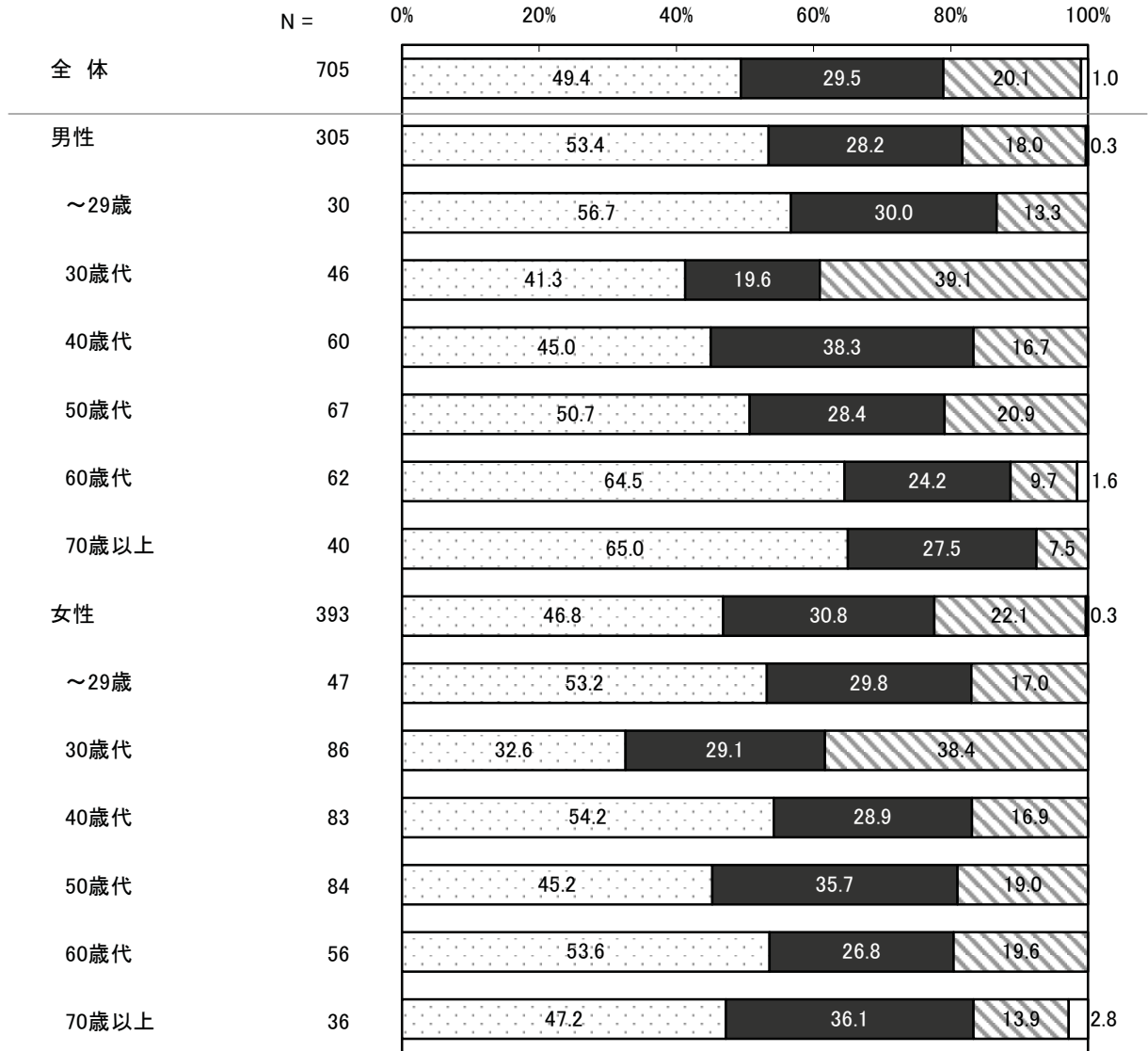
「知っている」の割合が49.4%と最も高く、次いで「聞いたことはあるが、意味は知らなかった」の割合が29.5%、「知らなかった」の割合が20.1%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

男女年齢別にみると、「知っている」の割合は、男性で53.4%、女性で46.8%と女性で低くなっている。女性の30歳代では「知っている」の割合が低くなっている。



- 知っている
- 聞いたことはあるが、意味は知らなかった
- ▨知らなかった
- 無回答



#### (4) 家庭生活について

問10. あなたの家庭では、家庭生活について、男女の間でどのように分担していますか。

①～⑬のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

「①食事の支度」、「②食事の後片付け」、「③家の掃除」、「④入浴の準備、風呂場の掃除」、「⑤日常の買い物」、「⑥日常の家計管理」、「⑦日常のゴミ捨て」、「⑧洗濯」では、「ほとんど女性がしている」の割合が最も高く、なかでも「①食事の支度」、「②食事の後片付け」、「⑥日常の家計管理」、「⑧洗濯」では、6割以上を占めている。これらの項目では、女性が中心的な役割を担っていることがうかがえる。

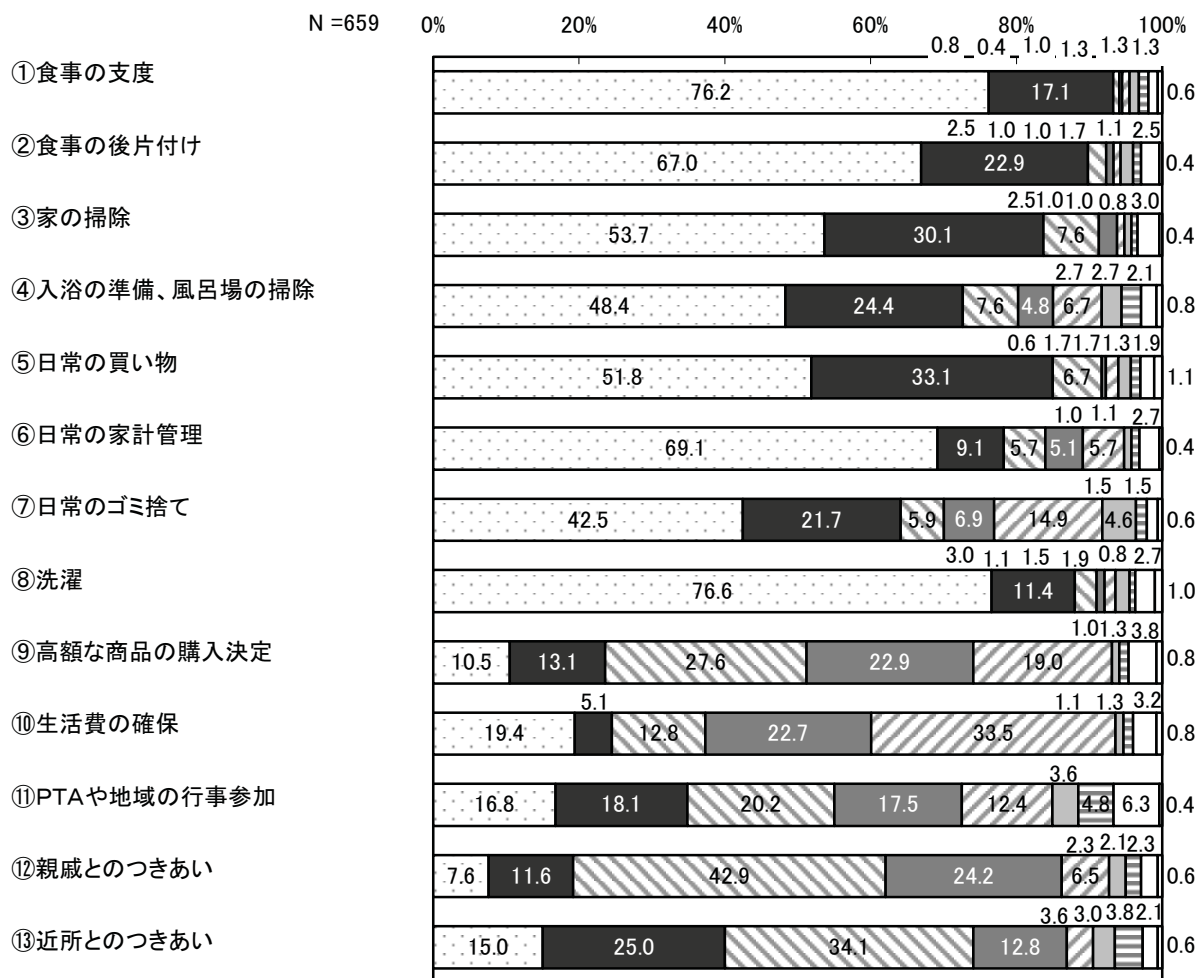
「⑨高額な商品の購入決定」、「⑩PTAや地域の行事参加」、「⑫親戚とのつきあい」、「⑬近所とのつきあい」では、「女性と男性が同程度」の割合が最も高く、なかでも「⑨高額な商品の購入決定」、「⑫親戚とのつきあい」、「⑬近所とのつきあい」では、4割以上を占めている。

また、「⑩生活費の確保」では、「ほとんど男性がしている」の割合が最も高くなっている。

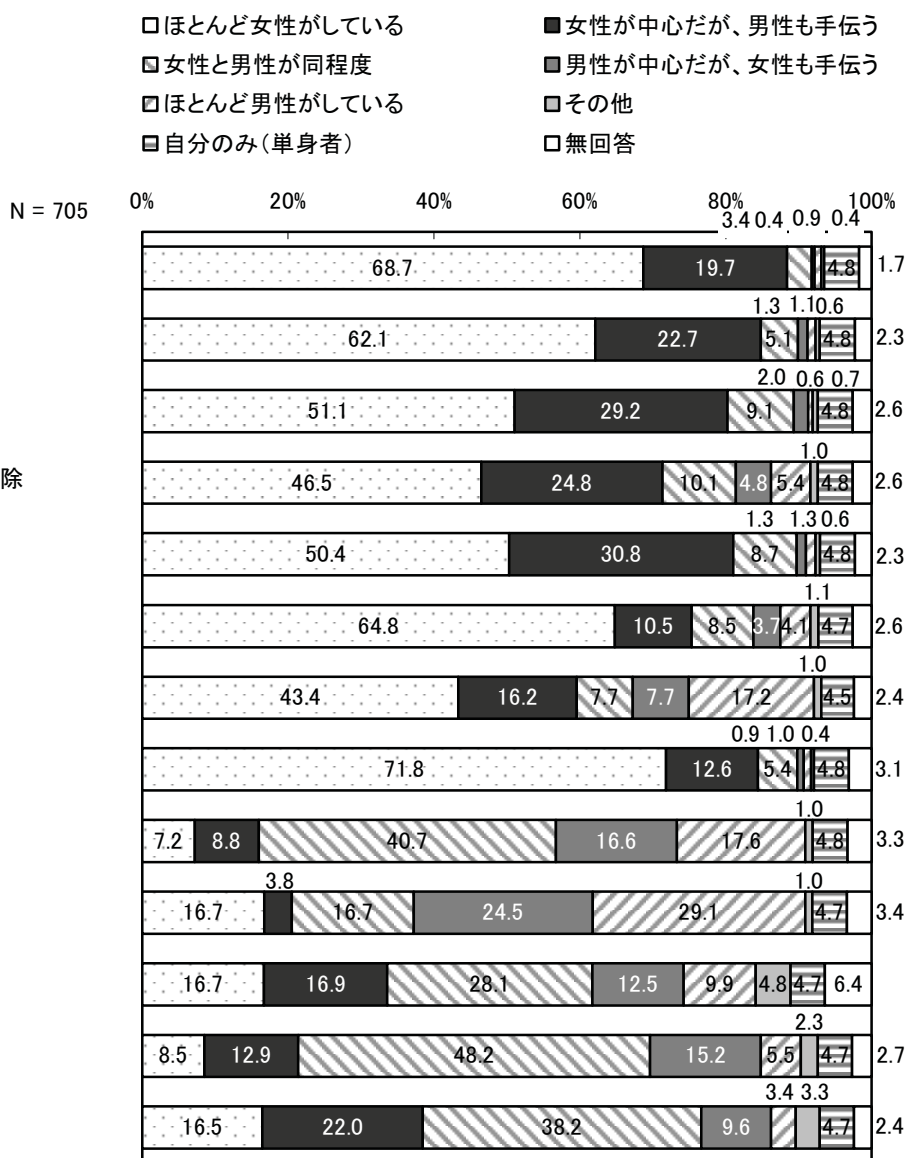
前回調査結果と比較すると、「①食事の支度」、「②食事の後片付け」、「③家の掃除」、「④入浴の準備、風呂場の掃除」、「⑤日常の買い物」、「⑥日常の家計管理」、「⑦日常のゴミ捨て」、「⑧洗濯」では、「ほとんど女性がしている」と「女性が中心だが、男性も手伝う」をあわせた割合が低くなっている。また、「⑨高額な商品の購入決定」、「⑩生活費の確保」、「⑪PTAや地域の行事参加」、「⑫親戚とのつきあい」、「⑬近所とのつきあい」では、「女性と男性が同程度」の割合が高くなっている。

平成 19 年度調査

- ほとんど女性がしている
- 妻が中心だが夫も手伝う
- 平等に分担している
- 夫が中心だが、妻も手伝う
- ほとんど夫がしている
- 夫婦ともほとんどしない(親、子ども、その他の人がしている)
- その他
- 無回答
- 無効回答



平成 21 年度調査



年齢別にみると、「ほとんど女性がしている」、「女性が中心だが男性も手伝う」をあわせた女性中心の役割分担の割合は、他の年代に比べ 30 歳代以下、70 歳以上の「②食事の後片付け」、「③家の掃除」において低くなっている。

また、「⑤日常の買い物」においては、他の年代に比べ 40 歳代、50 歳代で女性中心の役割分担の割合が高くなっている。

「⑩生活費の確保」においては、他の年代に比べ 30 歳代で女性中心の役割分担の割合が低くなっている。

「⑪PTAや地域の行事参加」においては、50 歳代以下で年齢が高くなるにつれて女性中心の役割分担の割合が高くなっている。

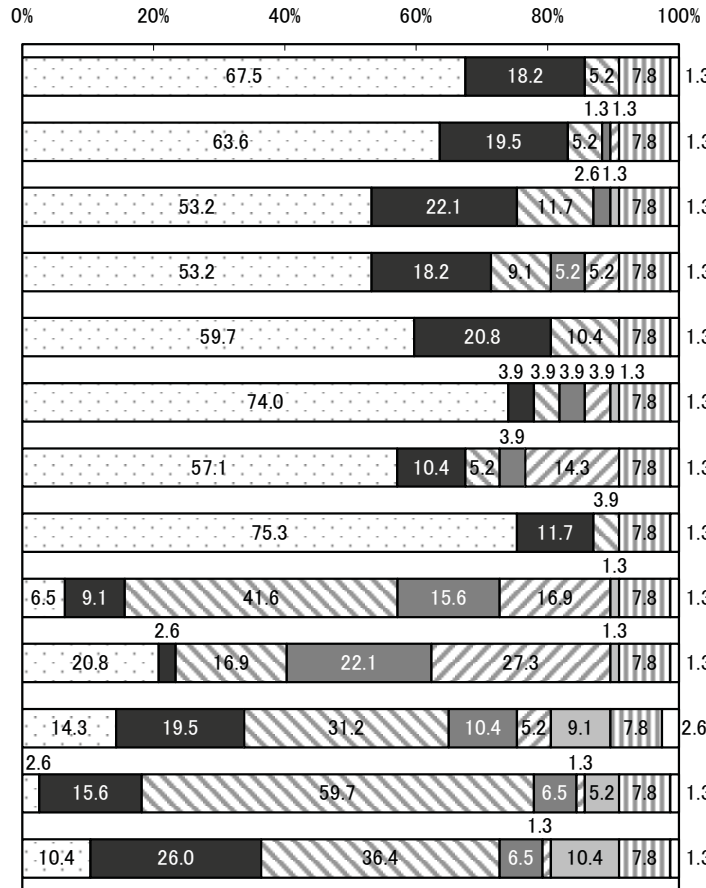
「⑫親戚とのつきあい」、「⑬近所とのつきあい」においては、50 歳代以下で年齢が高くなるにつれて男性中心の役割分担の割合が高くなっている。



【年齢別】

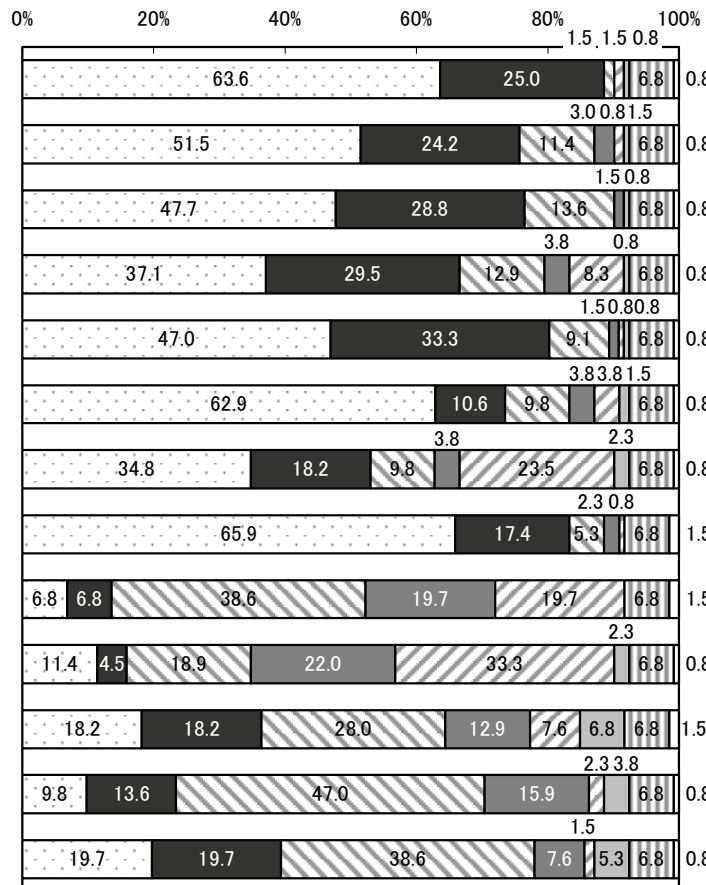
□ほとんど女性がしている  
 □女性と男性が同程度  
 □ほとんど男性がしている  
 □自分のみ(単身者)  
 ■女性が中心だが、男性も手伝う  
 ■男性が中心だが、女性も手伝う  
 □その他  
 □無回答

N = 77



30歳代

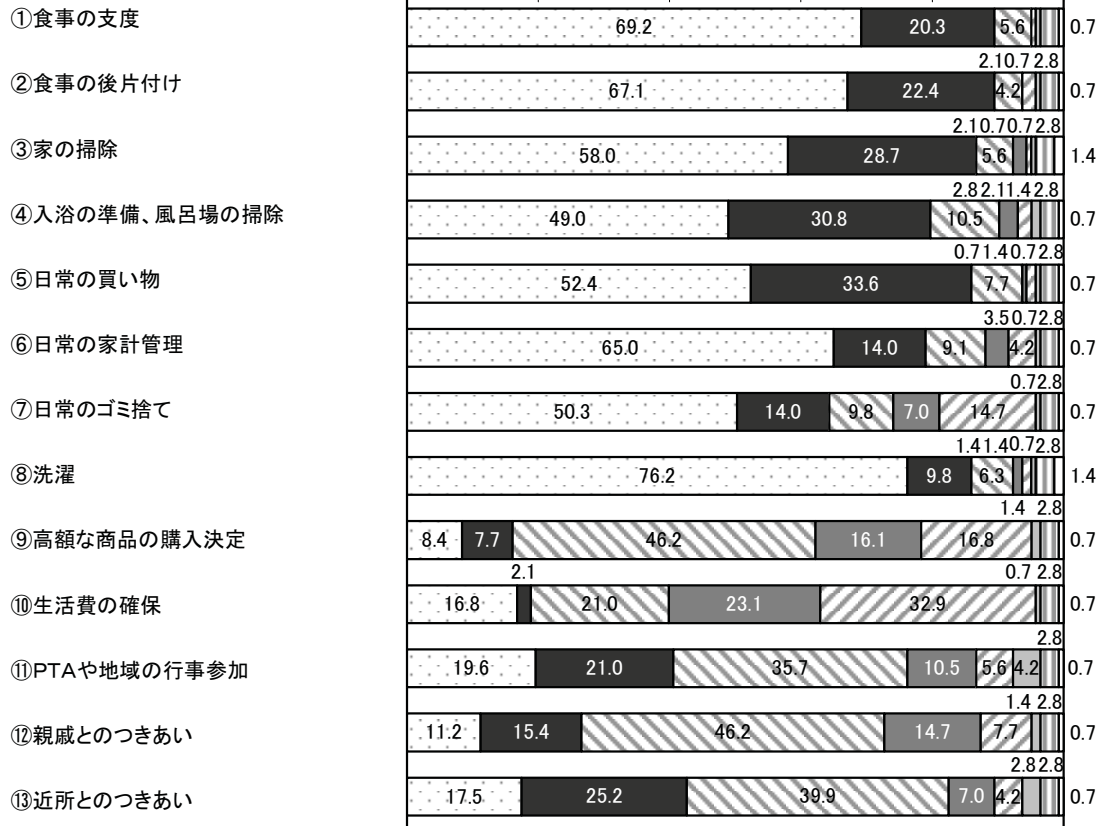
N = 132



□ほとんど女性がしている      ■女性が中心だが、男性も手伝う  
 □女性と男性が同程度      ■男性が中心だが、女性も手伝う  
 □ほとんど男性がしている      □その他  
 □自分のみ(単身者)      □無回答

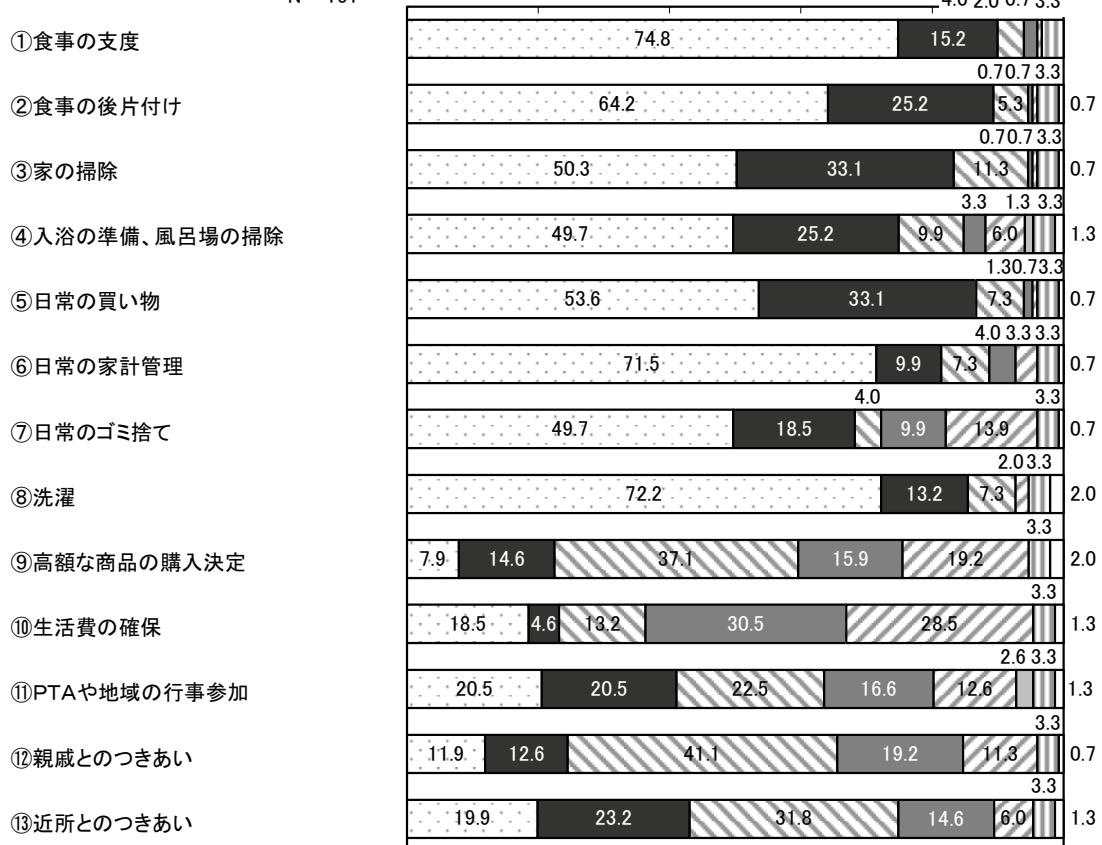
40 歳代

N = 143



50 歳代

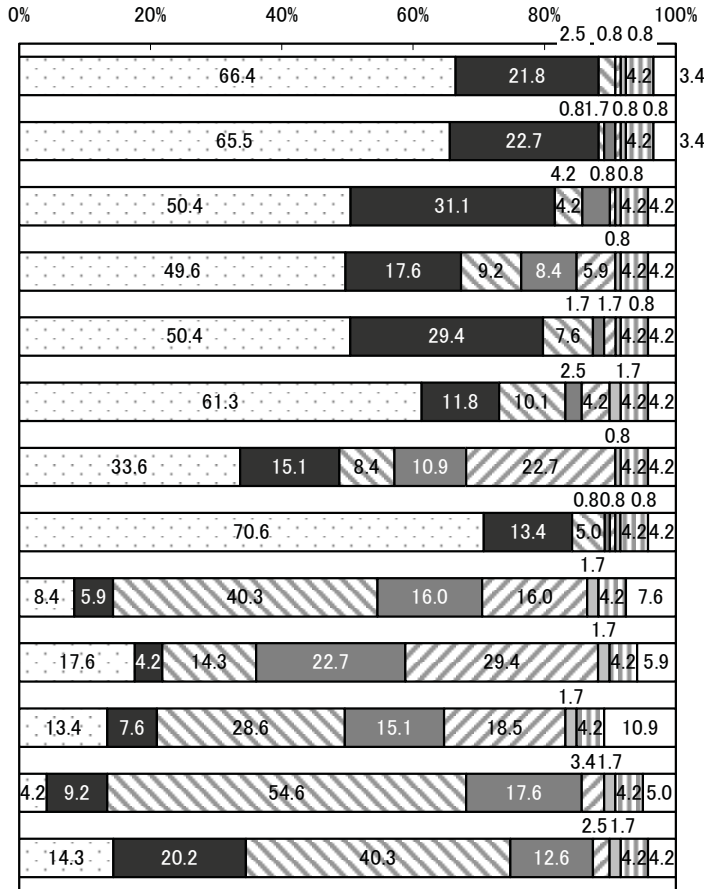
N = 151



□ほとんど女性がしている  
 □女性と男性が同程度  
 □ほとんど男性がしている  
 □自分のみ(単身者)  
 ■女性が中心だが、男性も手伝う  
 ■男性が中心だが、女性も手伝う  
 □その他  
 □無回答

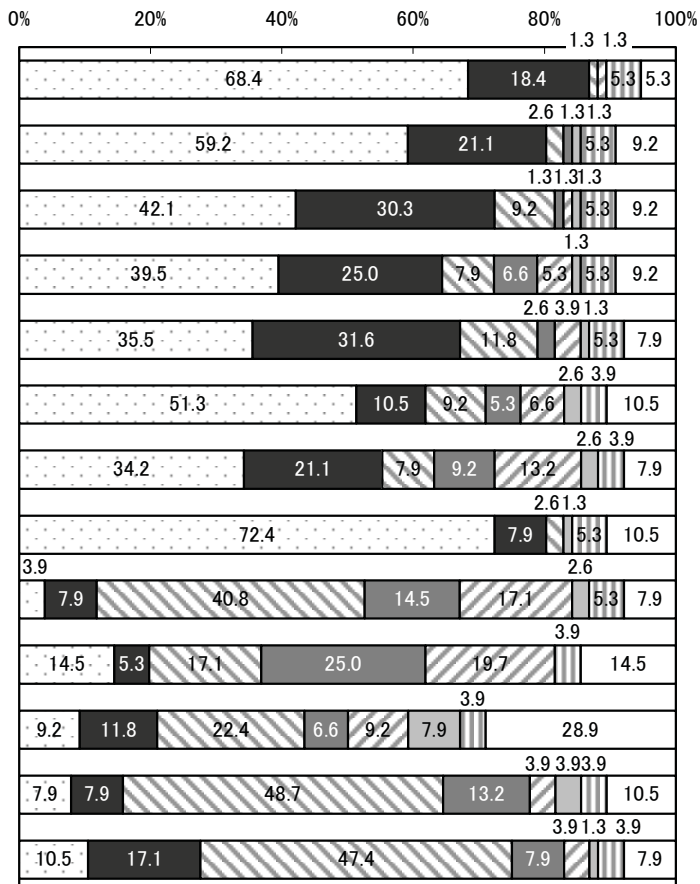
60 歳代

N = 119



70 歳以上

N = 76

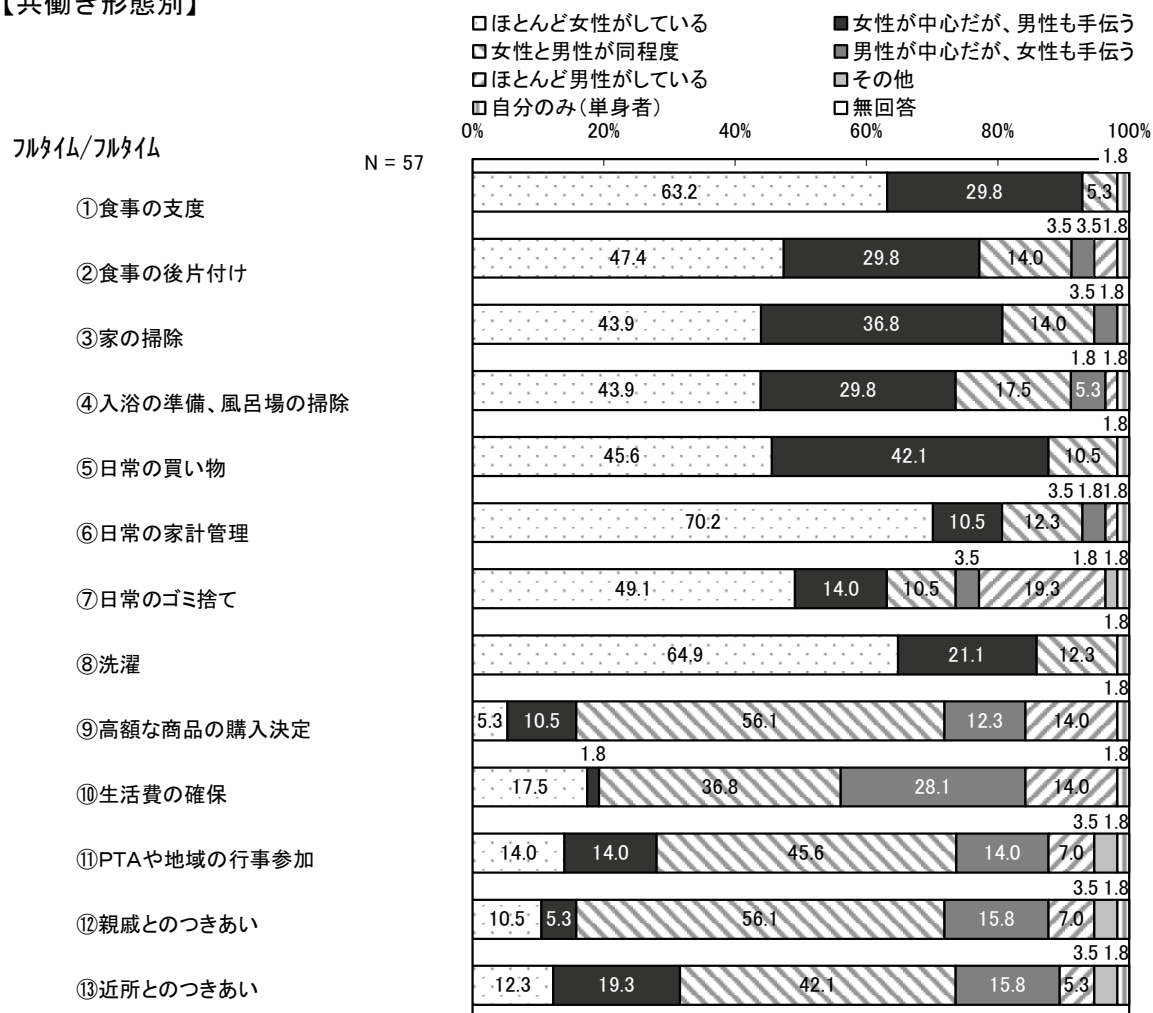


共働き形態別にみると、どの形態においても、「①食事の支度」では、「ほとんど女性がしている」の割合が高くなっている。

「ほとんど女性がしている」、「女性が中心だが男性も手伝う」をあわせた女性中心の役割分担の割合は、「フルタイム/フルタイム」で「②食事の後片付け」、「フルタイム/フルタイム」と「パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労/パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労」で「⑧洗濯」、「⑪PTAや地域の行事参加」、「⑫親戚とのつきあい」において低くなっている。

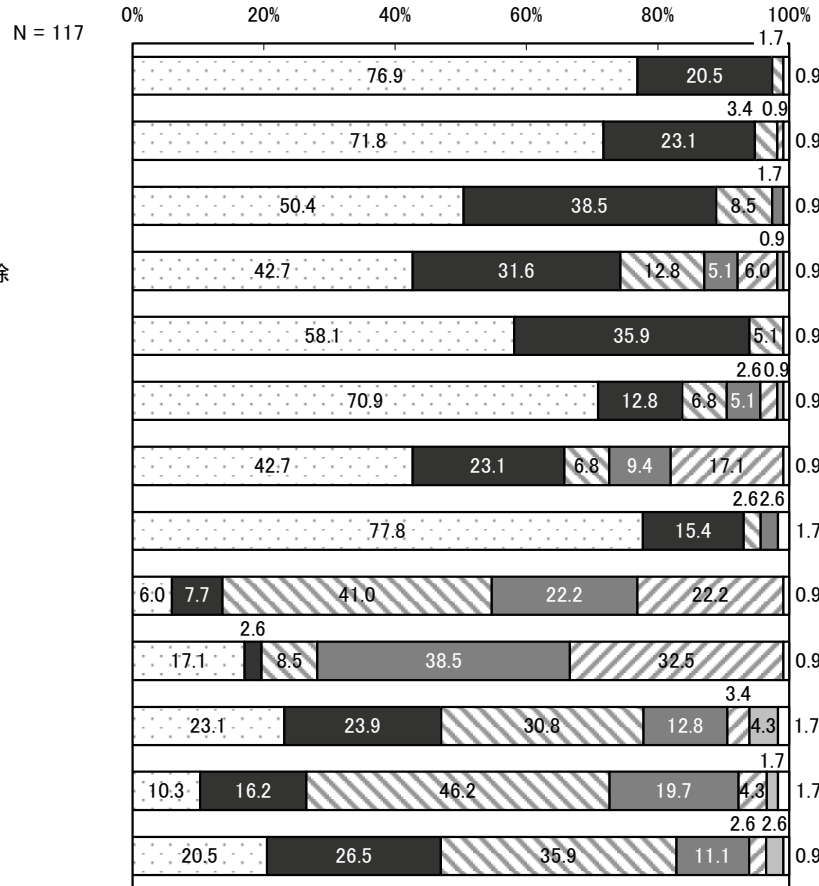
一方で、「フルタイム/フルタイム」では、「⑧洗濯」、「⑨高額な商品の購入決定」、「⑩生活費の確保」、「⑪PTAや地域の行事参加」において女性と男性が同程度の割合が高くなっている。また、「ほとんど男性がしている」、「女性が中心だが男性も手伝う」をあわせた男性中心の役割分担の割合は、「フルタイム/パート・アルバイト」で「⑨高額な商品の購入決定」、「⑩生活費の確保」において高くなっている。

【共働き形態別】

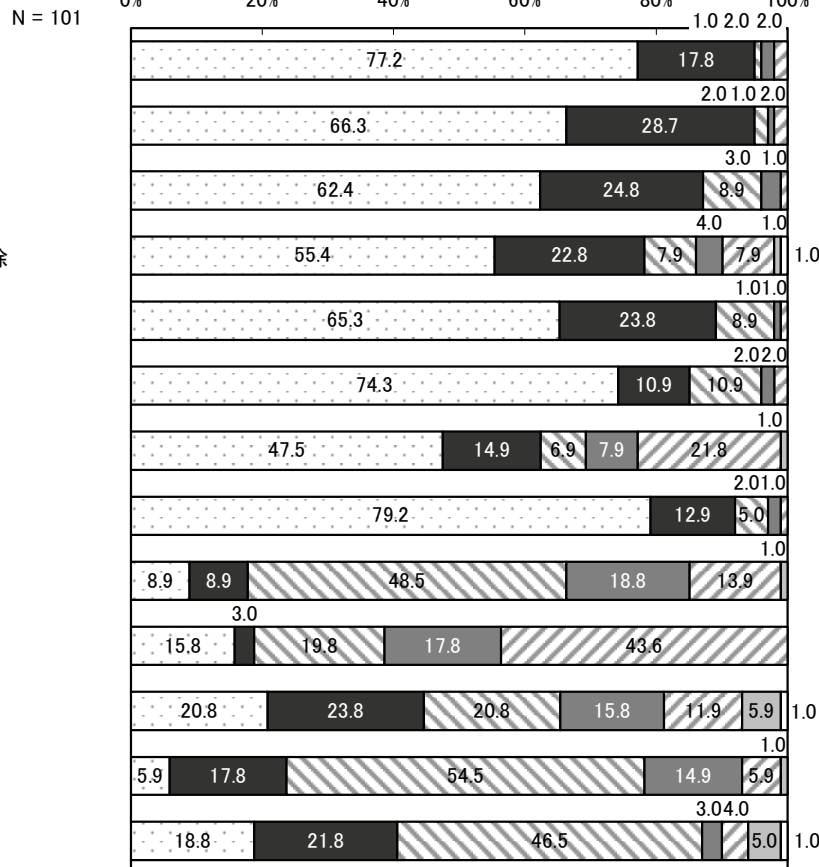


フルタイム/パート・アルバイト

- ほとんど女性がしている
- 女性と男性が同程度
- ほとんど男性がしている
- 自分のみ(単身者)
- 女性を中心だが、男性も手伝う
- 男性を中心だが、女性も手伝う
- その他
- 無回答



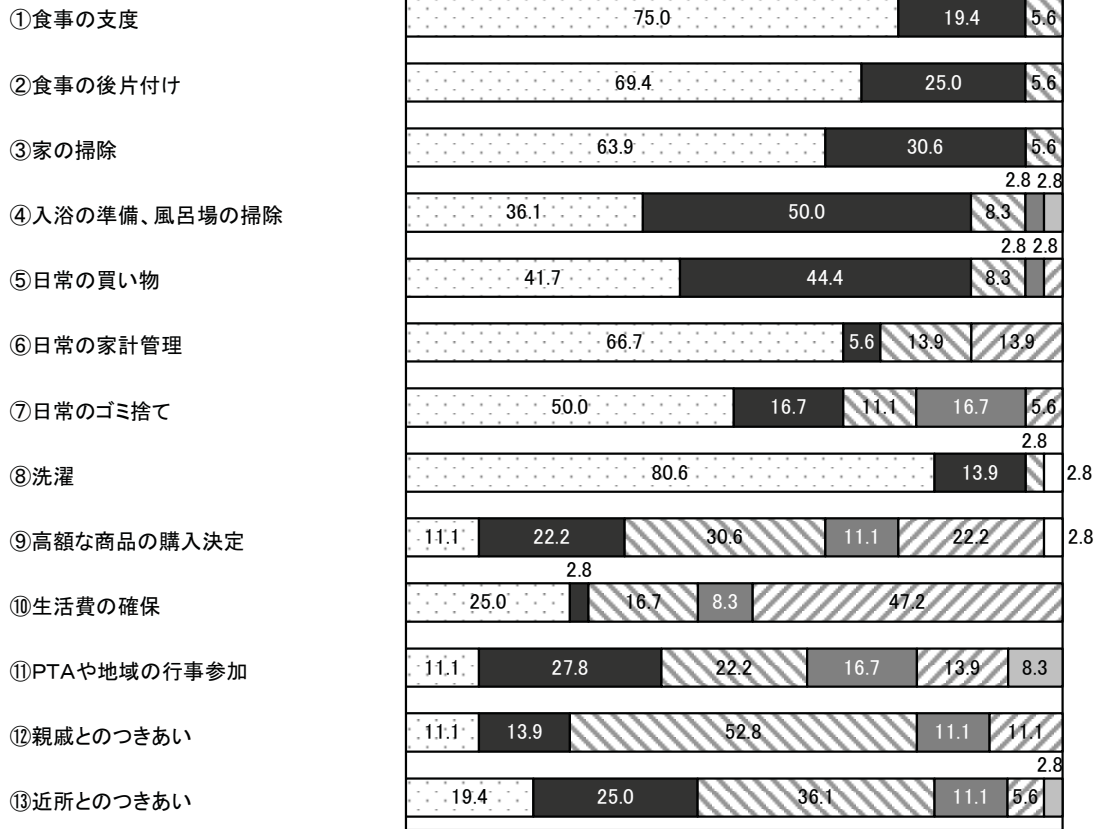
フルタイム/その他就労



フルタイム/未就労

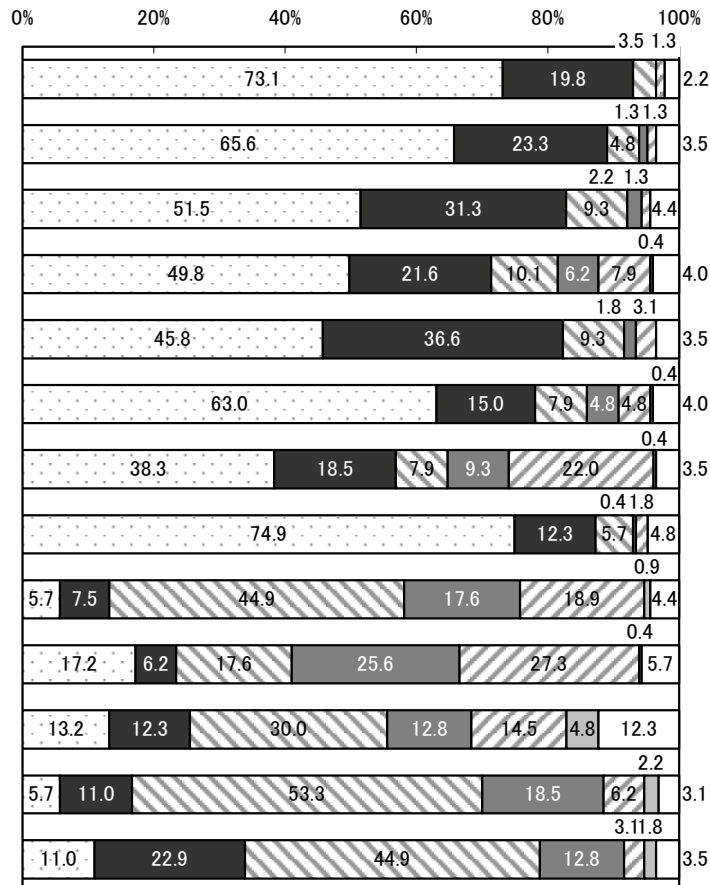
N = 36

ほとんど女性がしている  
 女性と男性が同程度  
 ほとんど男性がしている  
 自分のみ(単身者)  
 女性が中心だが、男性も手伝う  
 男性が中心だが、女性も手伝う  
 その他  
 無回答



パート・アルバイト、その他就労、未就労  
/パート・アルバイト、その他就労、未就労

N = 227



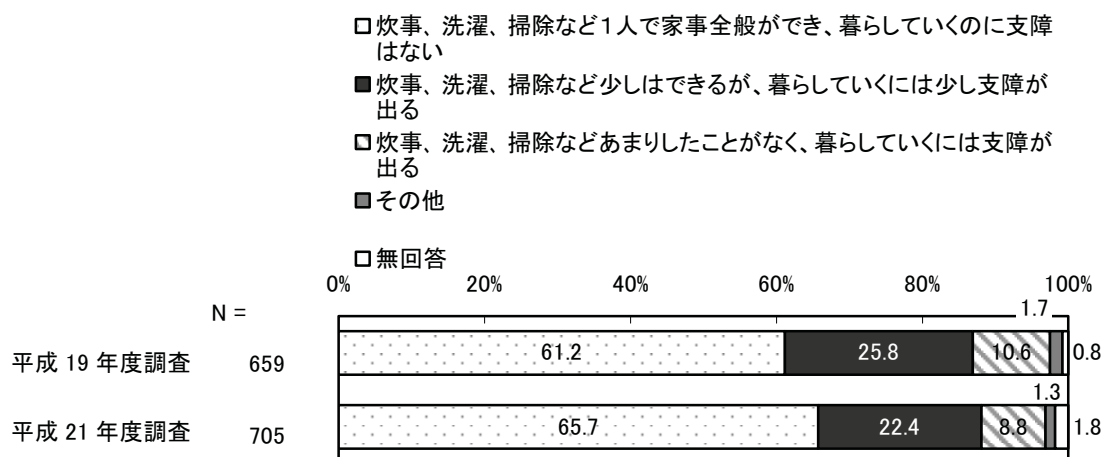
問 1 1. あなたは、もし一人暮らし生活になったら、炊事、洗濯、掃除などの家事全般ができますか。  
次の中から 1 つ選んで○印をつけてください。

「炊事、洗濯、掃除など 1 人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない」の割合が 65.7%と最も高く、次いで「炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る」の割合が 22.4%、「炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る」の割合が 8.8%となっており、一人暮らしをするのに何らかの支障があると回答している人の割合が 31.2%となっている。

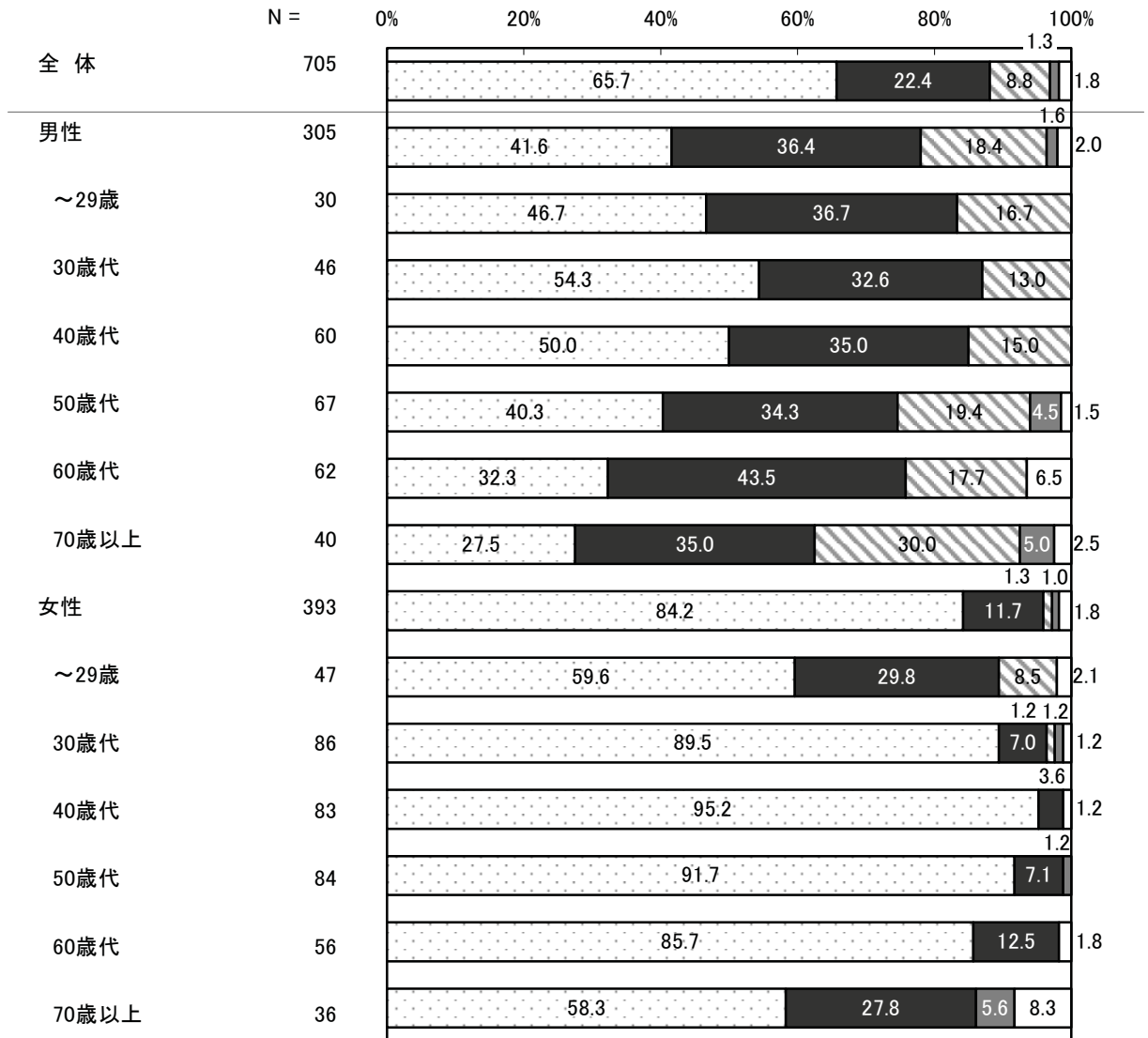
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

男女年齢別にみると、「炊事、洗濯、掃除など 1 人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない」の割合は、女性の 30 歳代～60 歳代では、8 割以上を占めているのに比べ、30 歳未満、70 歳以上で低く、約 6 割となっている。

また、男性では「炊事、洗濯、掃除など 1 人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない」の割合が 30 歳代、40 歳代をのぞき、5 割未満に留まっており、特に、60 歳代以上において低くなっている。



- 炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない
- 炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る
- ▨ 炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る
- その他
- 無回答





## (5) 子育てについて

問12. 子育てについて、あなたのご意見にもっとも近いものはどれですか。

①～⑦のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

「①子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」では、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた肯定的意見の人の割合が84.1%となっている。

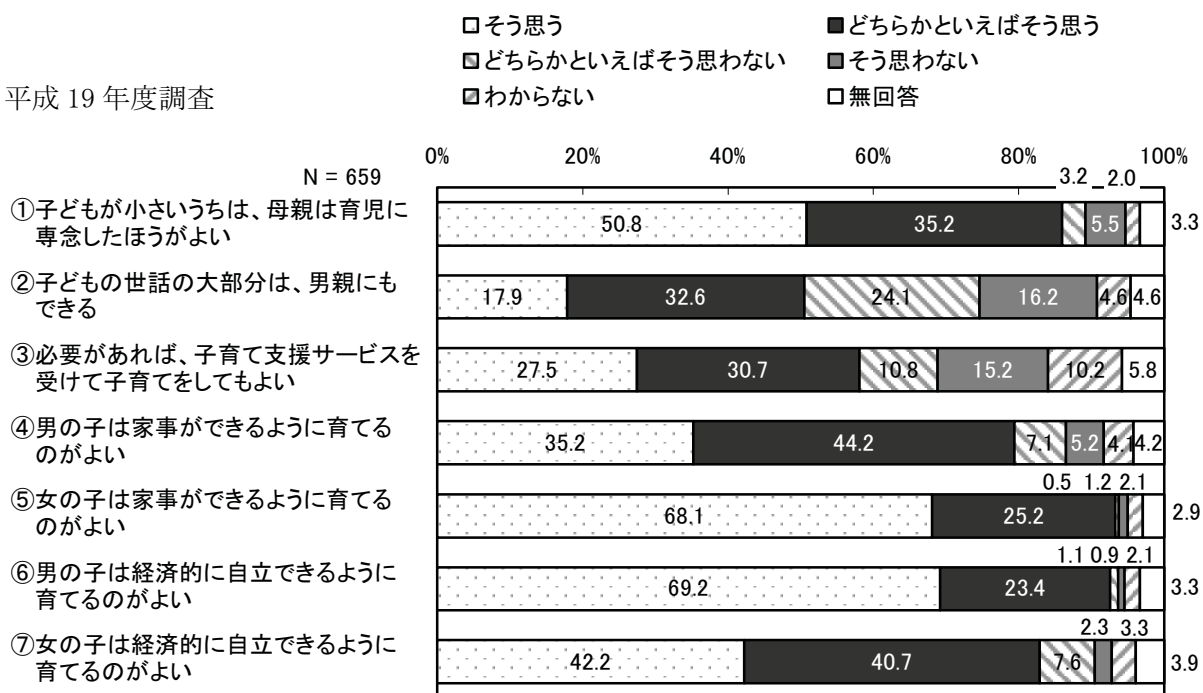
「②子どもの世話の大部分は、男親にもできる」、「③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」では、肯定的意見の人の割合が他の項目に比べてやや低く、「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた否定的意見の人の割合が高くなっている。

「⑤女の子は家事ができるように育てるのがよい」では、「そう思う」の割合が71.1%、「どちらかといえばそう思う」の割合が23.3%であるのに対して、「④男の子は家事ができるように育てるのがよい」では、「そう思う」の割合が37.9%、「どちらかといえばそう思う」の割合が44.7%となっている。

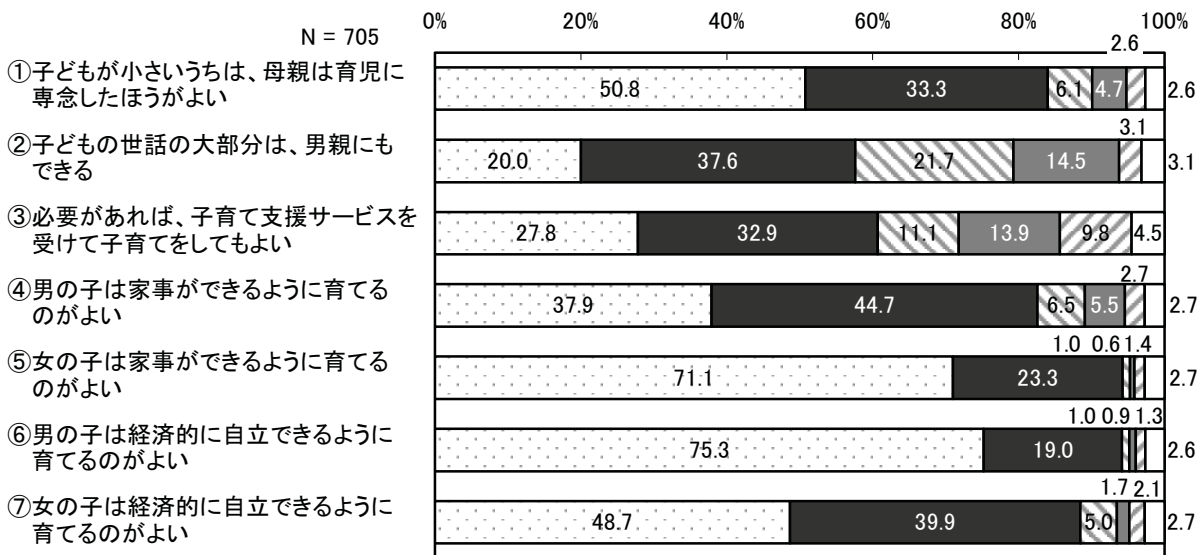
「⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」では、「そう思う」の割合が75.3%、「どちらかといえばそう思う」の割合が19.0%であるのに対して、「⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」では、「そう思う」の割合が48.7%、「どちらかといえばそう思う」の割合が39.9%となっている。

前回調査結果と比較すると、「②子どもの世話の大部分は、男親にもできる」では、肯定的意見の人の割合が高くなっている。また、「⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」、「⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」では、ともに「そう思う」の割合が高くなっている。

平成 19 年度調査



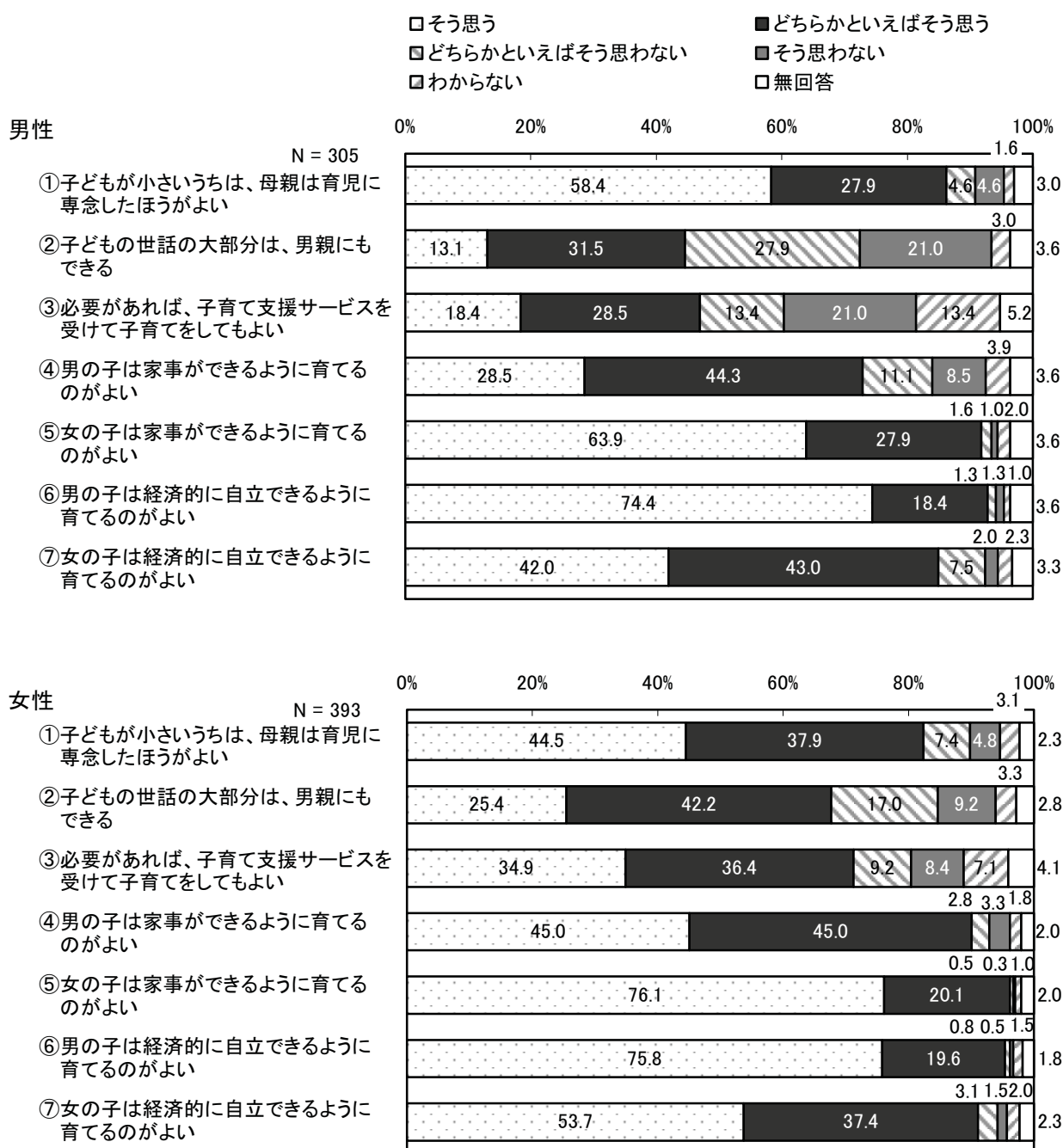
平成 21 年度調査



男女別にみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合は、男性に比べ女性で「②子どもの世話の大部分は、男親にもできる」、「③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」、「④男の子は家事ができるように育てるのがよい」、「⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」において高くなっている。

一方で、「②子どもの世話の大部分は、男親にもできる」、「③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」、「④男の子は家事ができるように育てるのがよい」においては、男性で「どちらかといえばそう思わない」と「そう思わない」をあわせた割合が高くなっている。

【男女別】



年齢別にみると、「②子どもの世話の大部分は、男親にもできる」においては、他の年代に比べ 30 歳代で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が高くなっている。

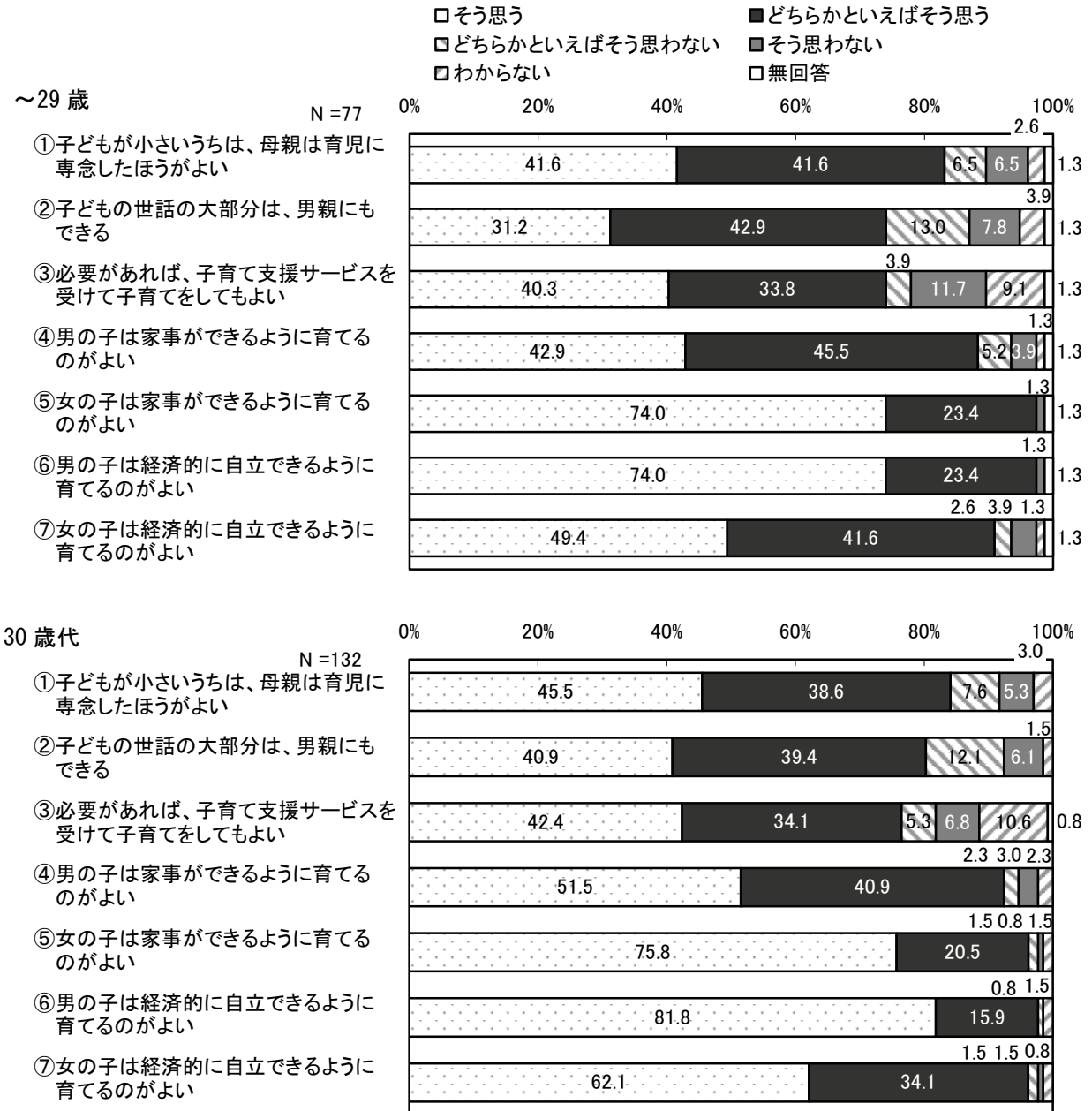
「③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」においては、年齢が高くなるにつれて「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が高くなる傾向がある。

「④男の子は家事ができるように育てるのがよい」においては、30 歳代以上で年齢が高くなるにつれて「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が低くなっている。

「⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」においては、他の年代に比べ 70 歳以上で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が低くなっている。

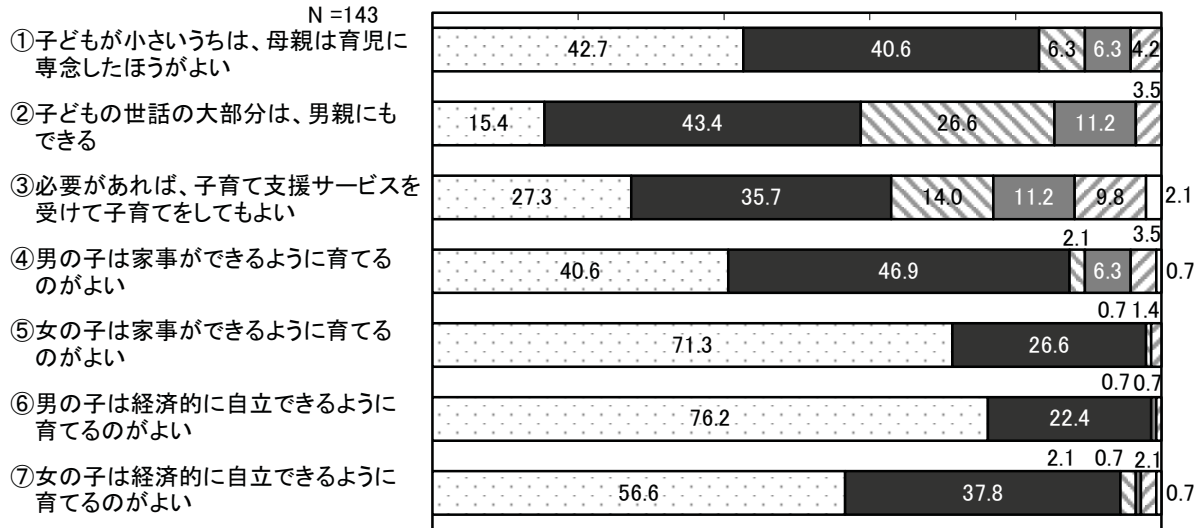
「⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」においては、30 歳代以上で年齢が高くなるにつれて「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が低くなっている。

【年齢別】

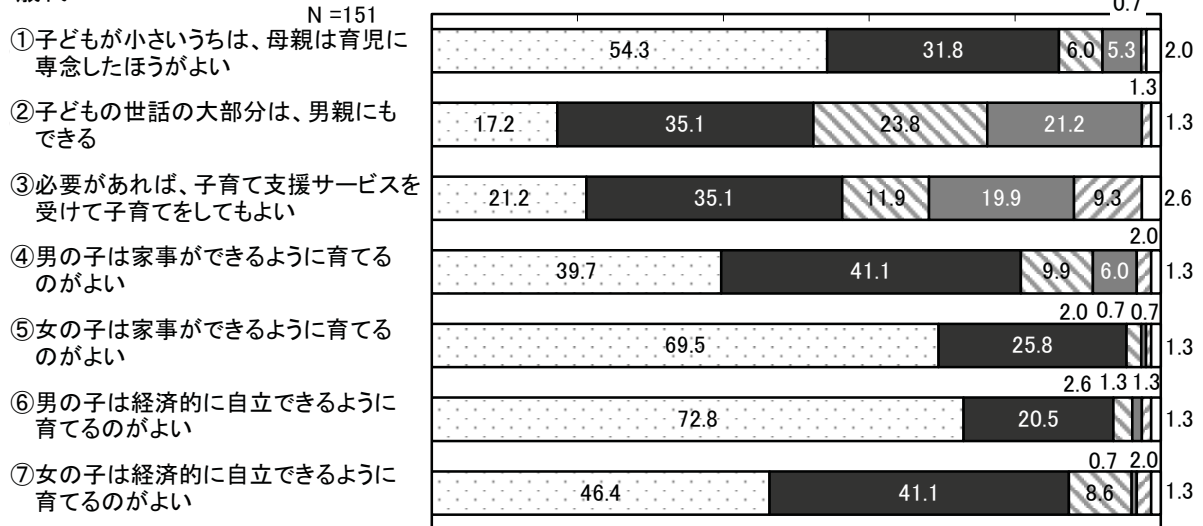


□ そう思う  
 ■ どちらかといえばそう思う  
 □ どちらかといえばそう思わない  
 ■ そう思わない  
 □ わからない  
 □ 無回答

40 歳代

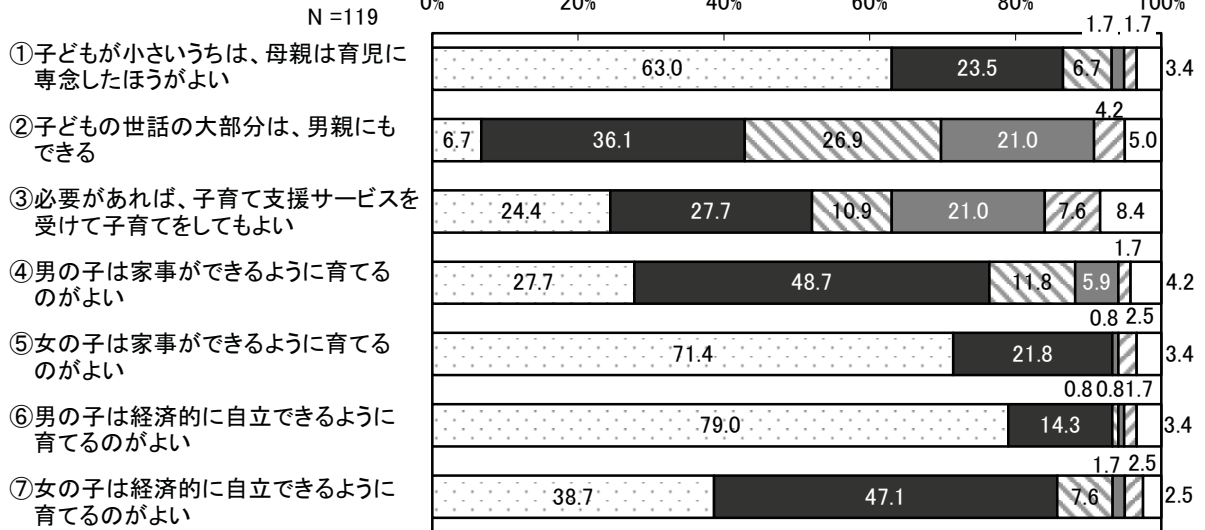


50 歳代

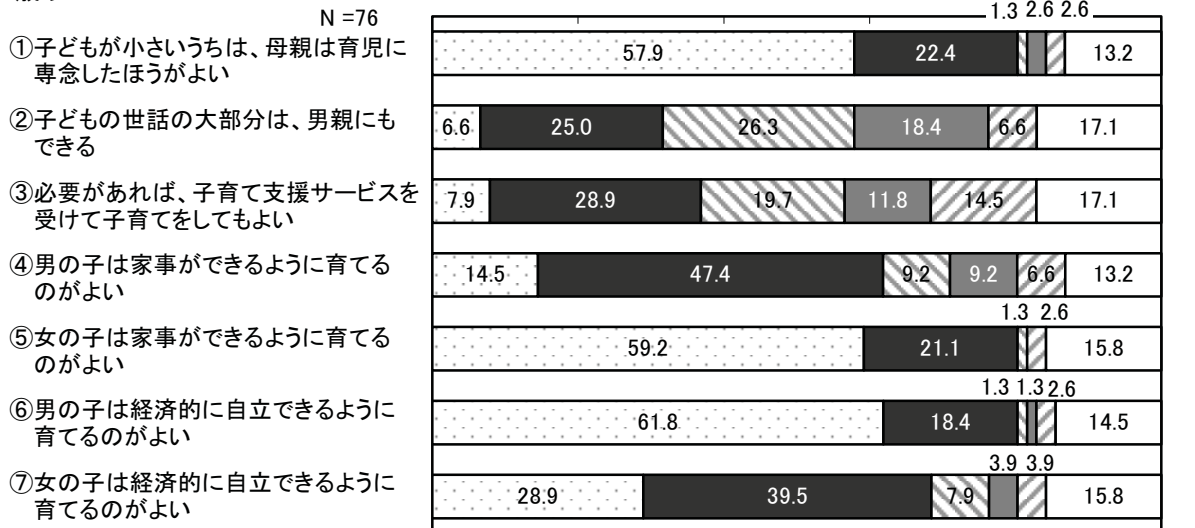


□ そう思う  
 □ どちらかといえばそう思う  
 □ どちらかといえばそう思わない  
 □ そう思わない  
 □ わからない  
 ■ どちらかといえばそう思う  
 ■ そう思わない  
 □ 無回答

60 歳代



70 歳以上



共働き形態別にみると、「①子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい」においては、「フルタイム/パートタイマー・アルバイト」、「フルタイム/その他就労」、「パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労/パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が高くなっている。

「②子どもの世話の大部分は、男親にもできる」においては、「フルタイム/フルタイム」、「フルタイム/その他就労」で「そう思う」、「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が高くなっている。

「③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい」においては、「フルタイム/フルタイム」、「フルタイム/パートタイマー・アルバイト」、「フルタイム/その他就労」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が高くなっている。

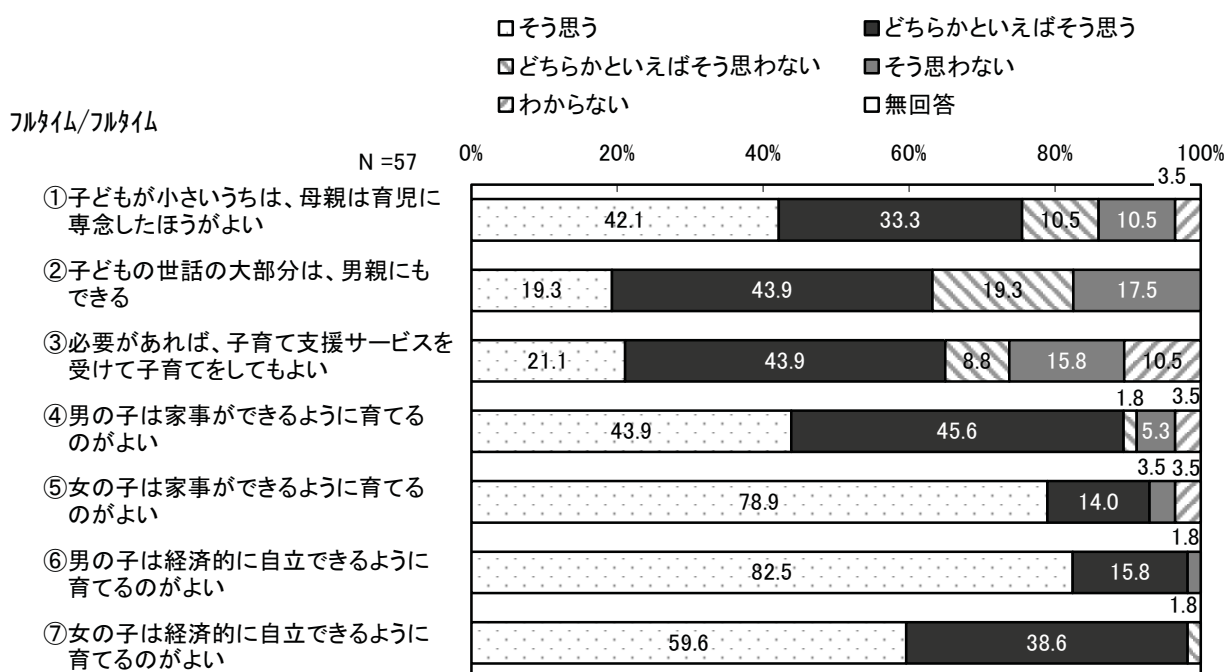
「④男の子は家事ができるように育てるのがよい」においては、「パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労/パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労」をのぞいた共働き形態で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が高くなっている。

「⑤女の子は家事ができるように育てるのがよい」においては、「フルタイム/パートタイマー・アルバイト」、「フルタイム/その他就労」、「フルタイム/未就労」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が高くなっている。

「⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」においては、「パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労/パートタイマー・アルバイト、その他就労、未就労」をのぞいた共働き形態で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が高くなっている。

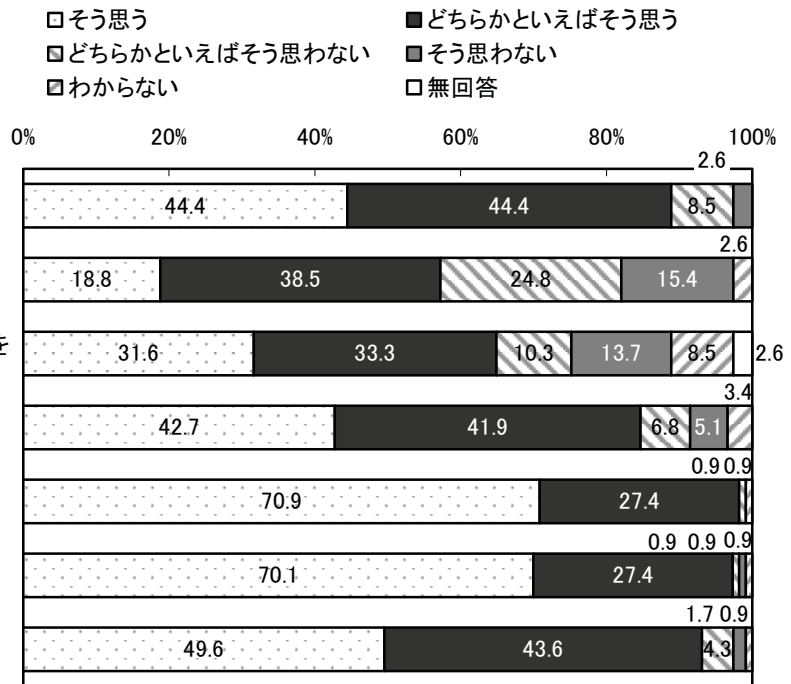
「⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい」においては、「フルタイム/フルタイム」、「フルタイム/パートタイマー・アルバイト」、「フルタイム/その他就労」で「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」をあわせた割合が高くなっている。

【共働き形態別】



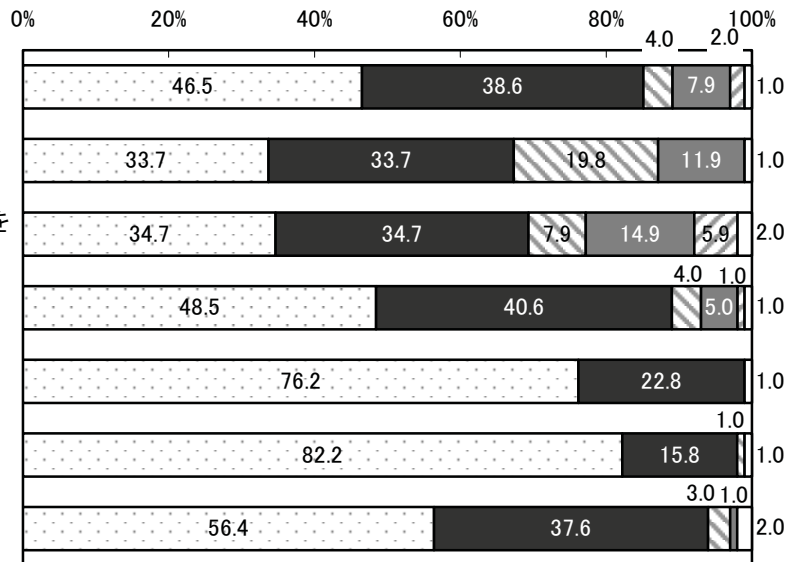
フルタイム/パート・アルバイト

- N=117
- ①子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい
  - ②子どもの世話の大部分は、男親にもできる
  - ③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい
  - ④男の子は家事ができるように育てるのがよい
  - ⑤女の子は家事ができるように育てるのがよい
  - ⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
  - ⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい



フルタイム/その他就労

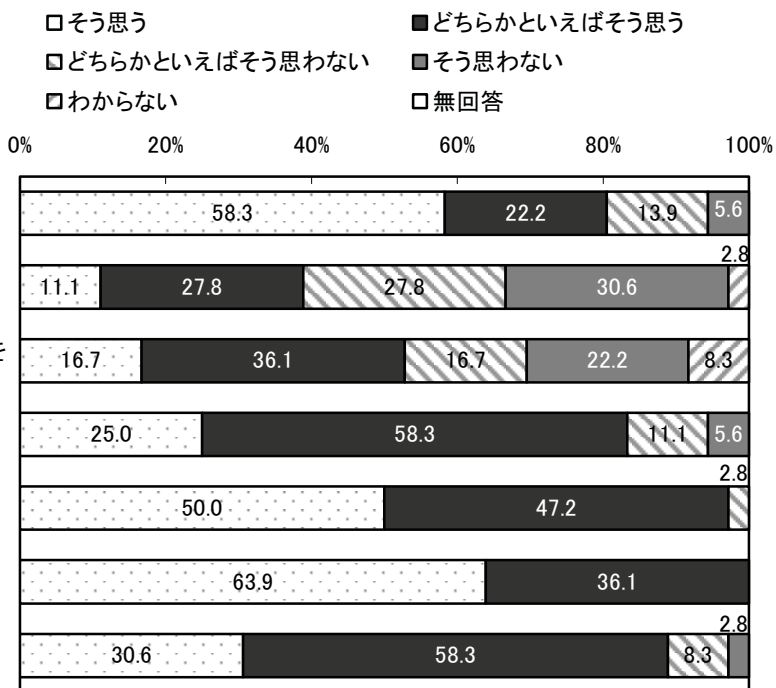
- N=101
- ①子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい
  - ②子どもの世話の大部分は、男親にもできる
  - ③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい
  - ④男の子は家事ができるように育てるのがよい
  - ⑤女の子は家事ができるように育てるのがよい
  - ⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
  - ⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい





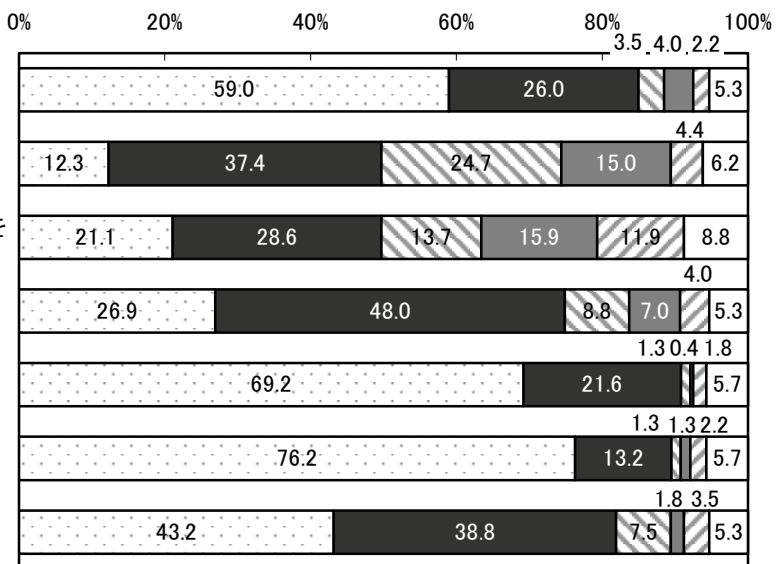
フルタイム/未就労

- N = 36
- ①子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい
  - ②子どもの世話の大部分は、男親にもできる
  - ③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい
  - ④男の子は家事ができるように育てるのがよい
  - ⑤女の子は家事ができるように育てるのがよい
  - ⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
  - ⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい



パート・アルバイト、その他就労、未就労  
/パート・アルバイト、その他就労、未就労

- N = 227
- ①子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい
  - ②子どもの世話の大部分は、男親にもできる
  - ③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい
  - ④男の子は家事ができるように育てるのがよい
  - ⑤女の子は家事ができるように育てるのがよい
  - ⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい
  - ⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい



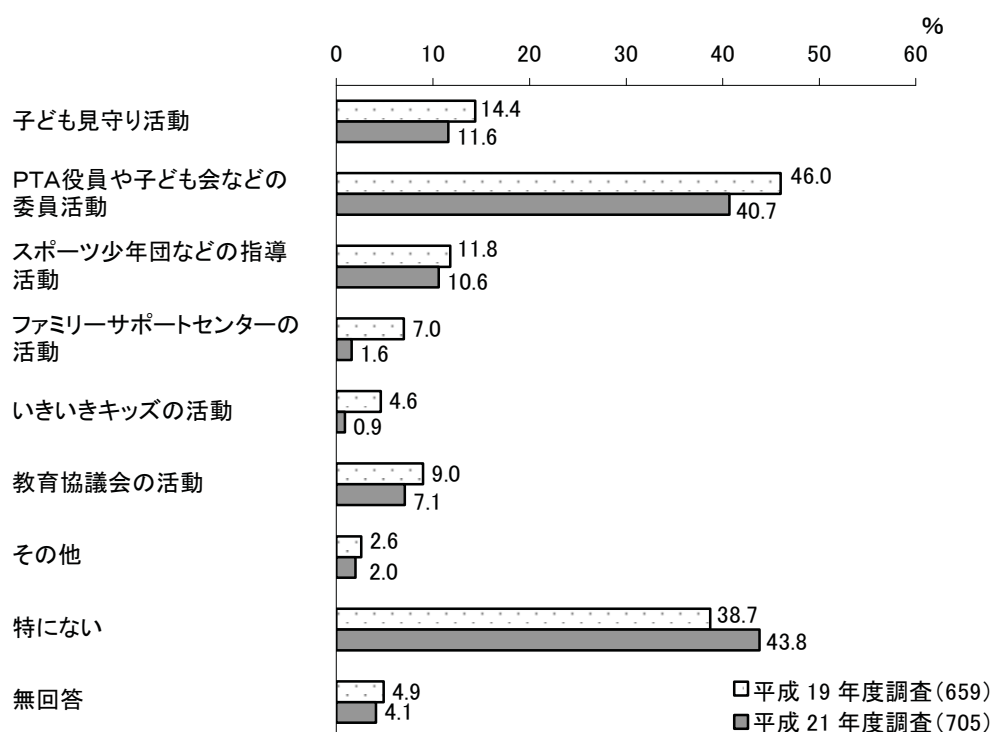
問 13. あなたは、子育てに関する地域活動に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

「PTA役員や子ども会などの委員活動」の割合が40.7%と最も高く、他の活動はいずれも10%前後、もしくはそれ以下の低い値となっている。また、「特にない」の割合も43.8%となっている。

前回調査結果と比較すると、「特にない」の割合が高くなっている。

男女年齢別にみると、女性に比べ男性で「スポーツ少年団などの指導活動」、「特にない」の割合が高く、男性に比べ女性で「PTA役員や子ども会などの委員活動」の割合が高くなっている。

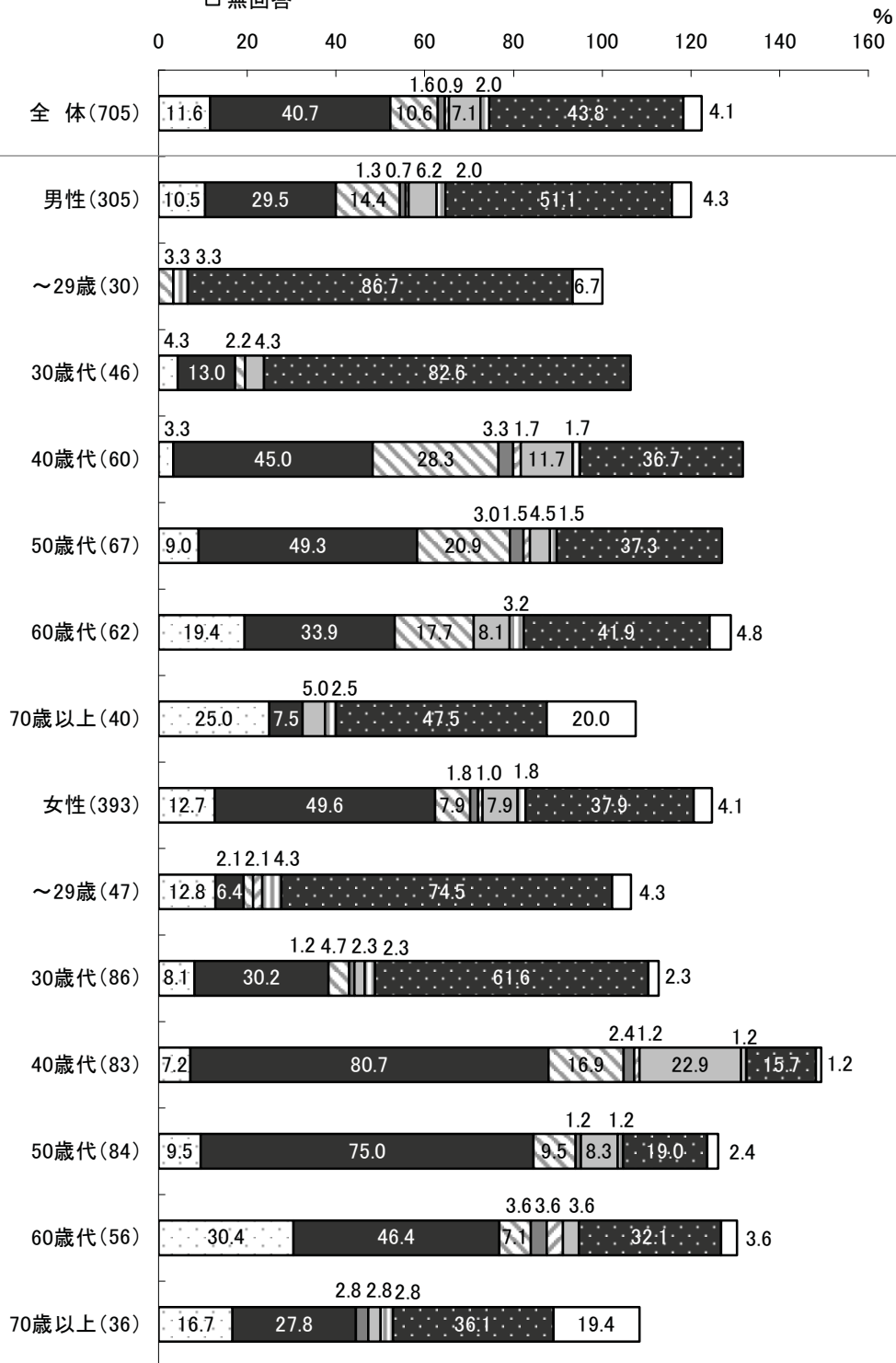
他の年代に比べ男女ともに30歳代以下で「特にない」、40歳代、50歳代で「PTA役員や子ども会などの委員活動」、60歳代以上で「子ども見守り活動」の割合が高くなっている。また男性の40歳代、50歳代では、「スポーツ少年団などの指導活動」の割合も高くなっている。



( )は有効回答数

※平成19年度では、「ファミリーサポートセンターの活動」は「子育て支援の活動」、「いきいきキッズの活動」は「子ども居場所づくりの活動」

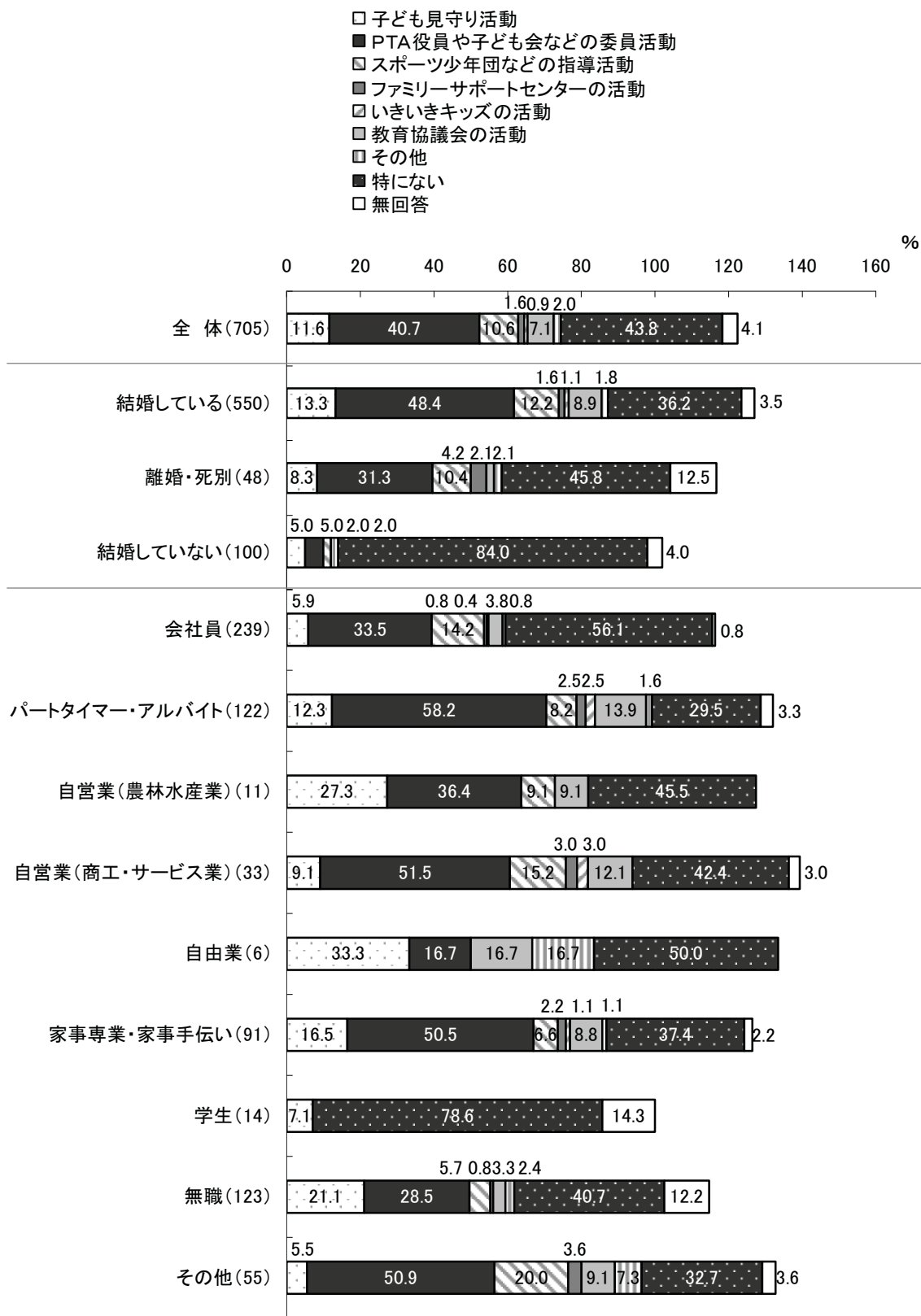
- 子ども見守り活動
- PTA役員や子ども会などの委員活動
- スポーツ少年団などの指導活動
- ファミリーサポートセンターの活動
- いきいきキッズの活動
- 教育協議会の活動
- その他
- 特にない
- 無回答



( )は有効回答数

婚姻別にみると、結婚している人で「子ども見守り活動」、「PTA役員や子ども会などの委員活動」、結婚していない人で「特にない」の割合が高くなっている。

職業別にみると、パートタイマー・アルバイトで「PTA役員や子ども会などの委員活動」、会社員で「特にない」の割合が高くなっている。

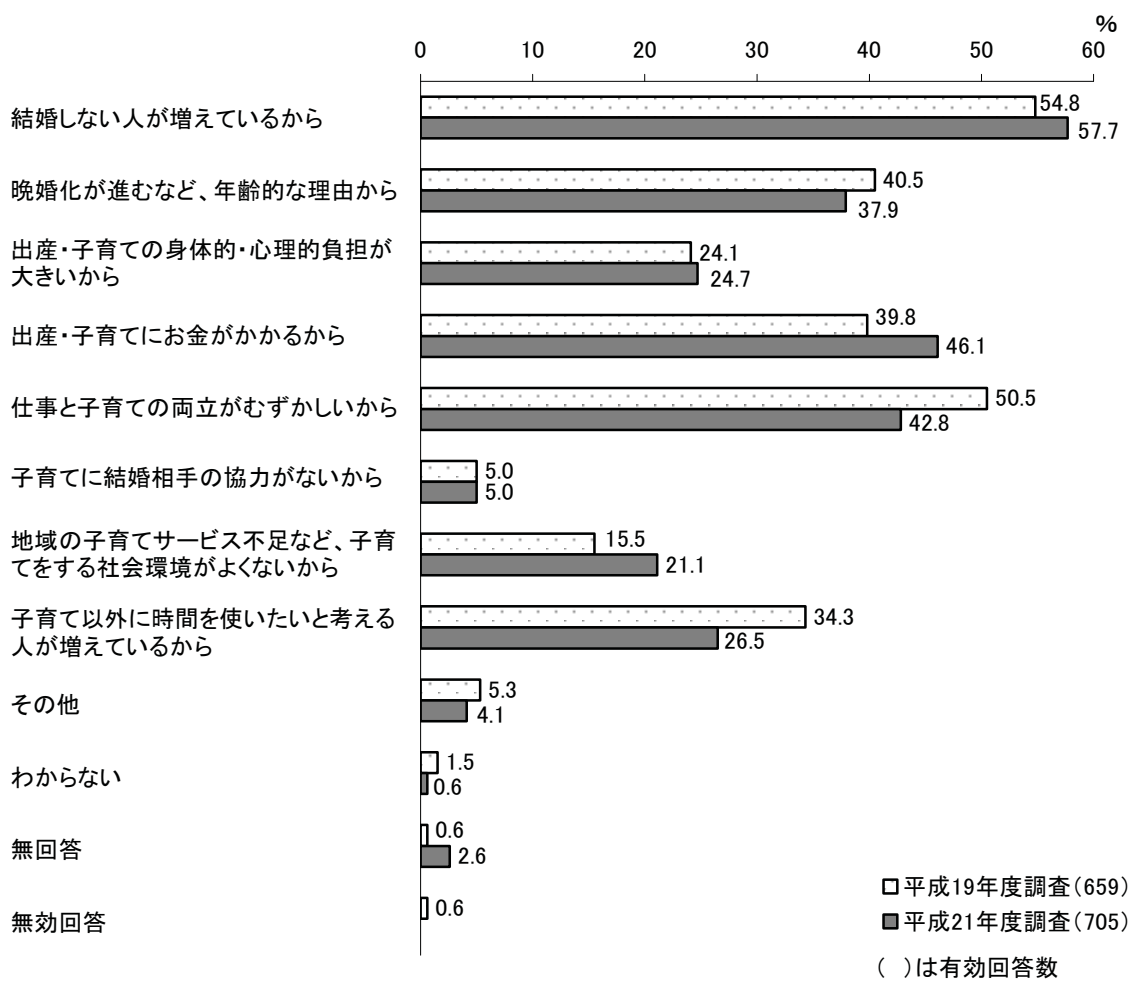


( )は有効回答数

問14. 出生率の低下が社会問題となっていますが、あなたは何が原因だと思いますか。次の中から  
 主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

「結婚しない人が増えているから」の割合が57.7%と最も高く、次いで「出産・子育てにお金がかかるから」の割合が46.1%、「仕事と子育ての両立がむずかしいから」の割合が42.8%となっている。

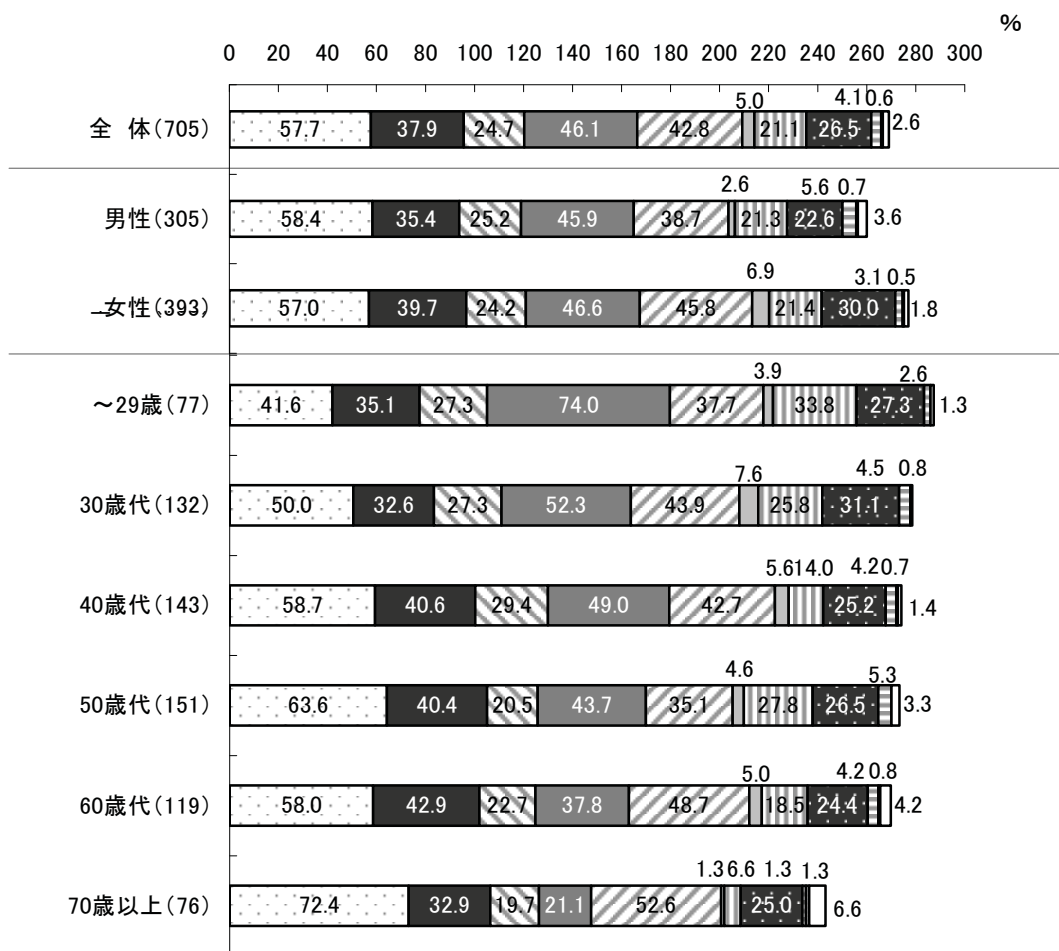
前回調査結果と比較すると、「出産・子育てにお金がかかるから」、「地域の子育てサービス不足など、子育てをする社会環境がよくないから」の割合が高く、「仕事と子育ての両立がむずかしいから」の割合が低くなっている。



男女別にみると、男性に比べ女性で「仕事と子育ての両立がむずかしいから」、「子育て以外に時間を使いたいと考える人が増えているから」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、他の年代に比べ 30 歳未満で「出産・子育てにお金がかかるから」、「地域の子育てサービス不足など、子育てをする社会環境がよくないから」、50 歳代、70 歳以上で「結婚しない人が増えているから」の割合が高くなっている。70 歳以上では「仕事と子育ての両立がむずかしいから」の割合も高くなっている。

- 結婚しない人が増えているから
- 晩婚化が進むなど、年齢的な理由から
- ▨ 出産・子育ての身体的・心理的負担が大きいから
- 出産・子育てにお金がかかるから
- 仕事と子育ての両立がむずかしいから
- 子育てに結婚相手の協力がなから
- 地域の子育てサービス不足など、子育てをする社会環境がよくないから
- 子育て以外に時間を使いたいと考える人が増えているから
- その他
- ▨ わからない
- 無回答



( )は有効回答数

## (6) 健康・介護について

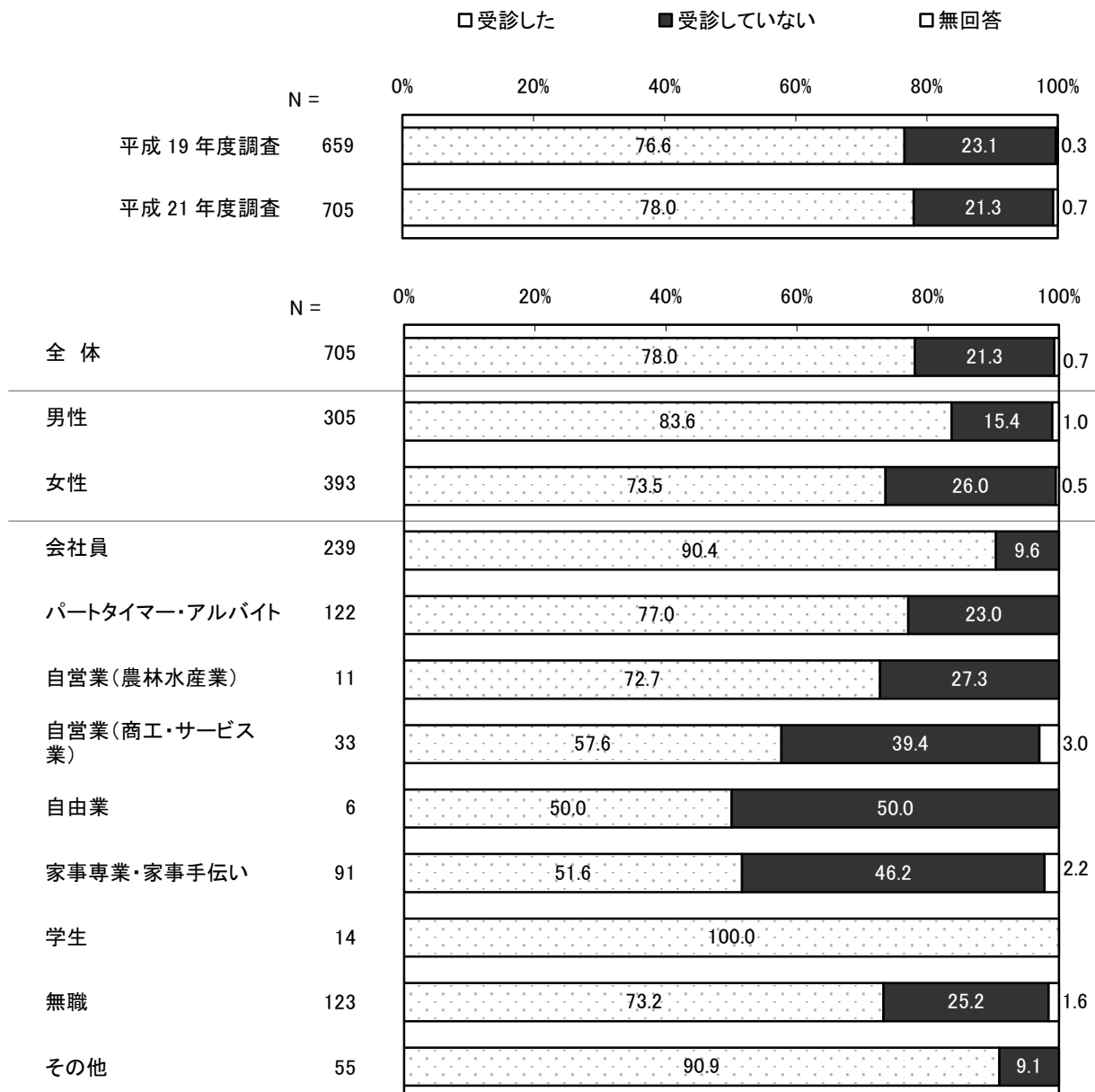
問15. あなたは、平成20年度（平成20年4月～平成21年3月）の1年間で、病院および職場、学校等での健康診断を受診しましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「受診した」の割合が78.0%と大半を占めており、「受診していない」の割合が21.3%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

男女別にみると、男性に比べ女性で「受診していない」の割合が高くなっている。

職業別にみると、自営業（商工・サービス）、家事専業・家事手伝いで「受診していない」の割合が高くなっている。

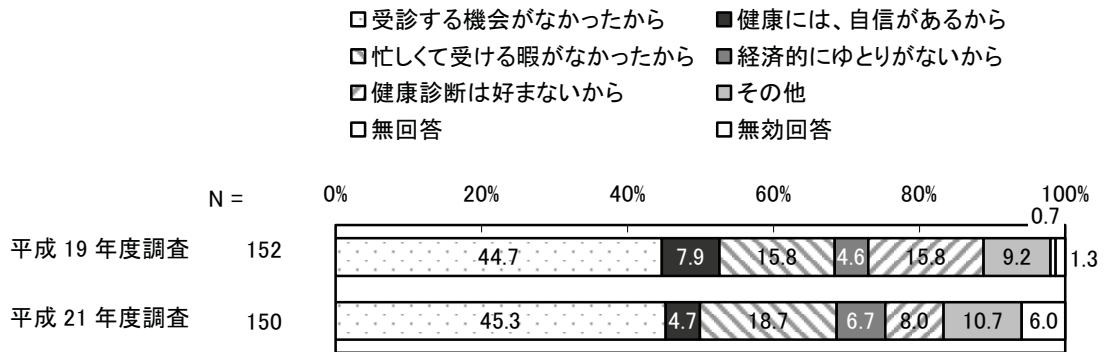


問15で「2. 受診していない」と答えた方にお聞きします。

問15-1. なぜ、受診しなかったのですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「受診する機会がなかったから」の割合が45.3%と最も高く、次いで「忙しくて受ける暇がなかったから」の割合が18.7%となっている。

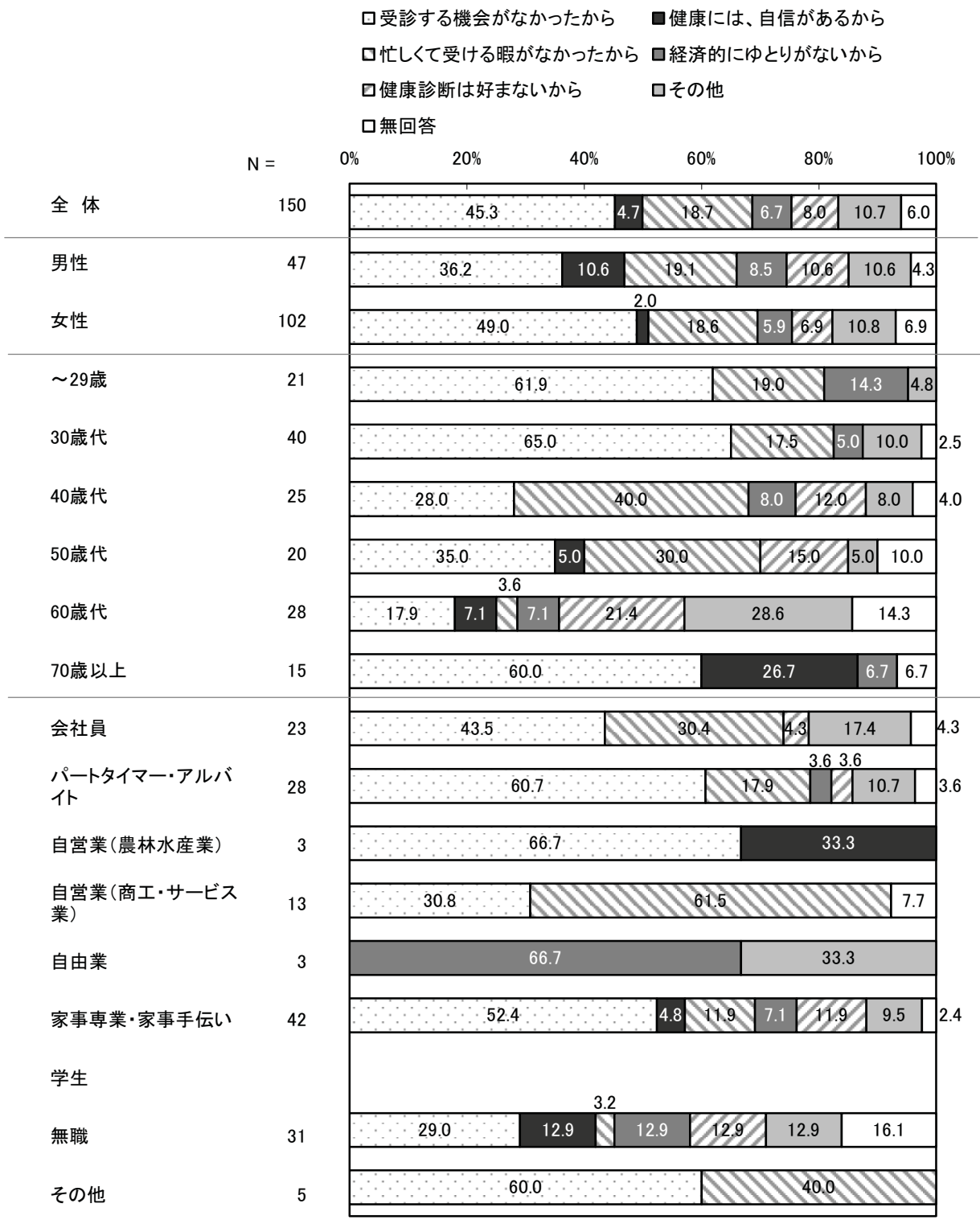
前回調査結果と比較すると、「健康診断は好まないから」の割合が低くなっている。





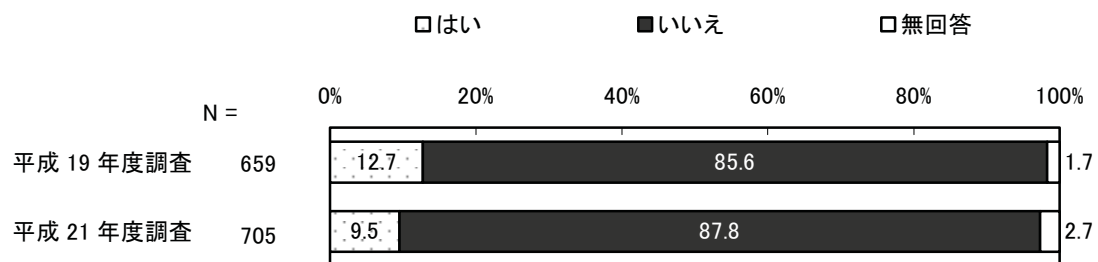
男女別にみると、男性に比べ女性で「受診する機会がなかったから」の割合が高くなっている。  
 年齢別にみると、30歳代以下、70歳以上で「受診する機会がなかったから」、40歳代で「忙しくて受ける暇がなかったから」の割合が高くなっている。

職業別にみると、会社員で「忙しくて受ける暇がなかったから」、パートタイマー・アルバイト、家事専業・家事手伝いで「受診する機会がなかったから」の割合が高くなっている。



問16. あなたの家庭に、常時介護の必要な方はいますか。次の中から1つ選んで○印をつけて下さい。

「はい」の割合が9.5%、「いいえ」の割合が87.8%となっている。  
 前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

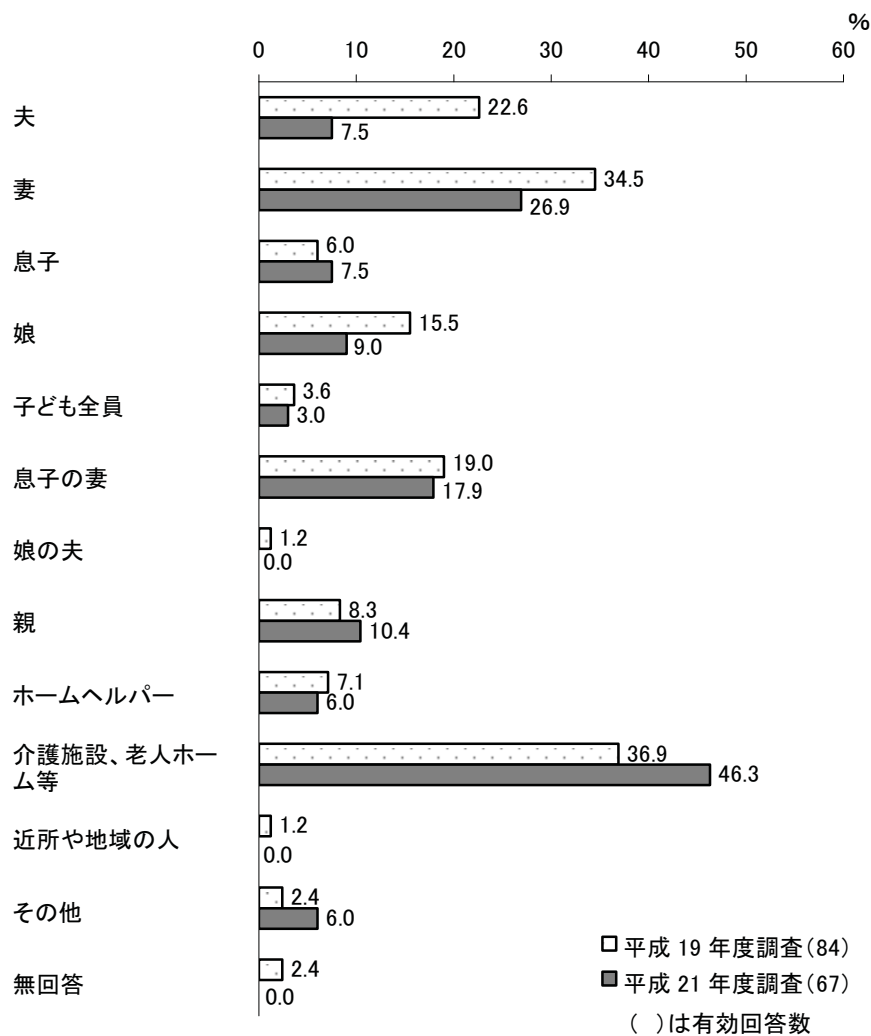


問16で「1. はい」と答えた方にお聞きします。

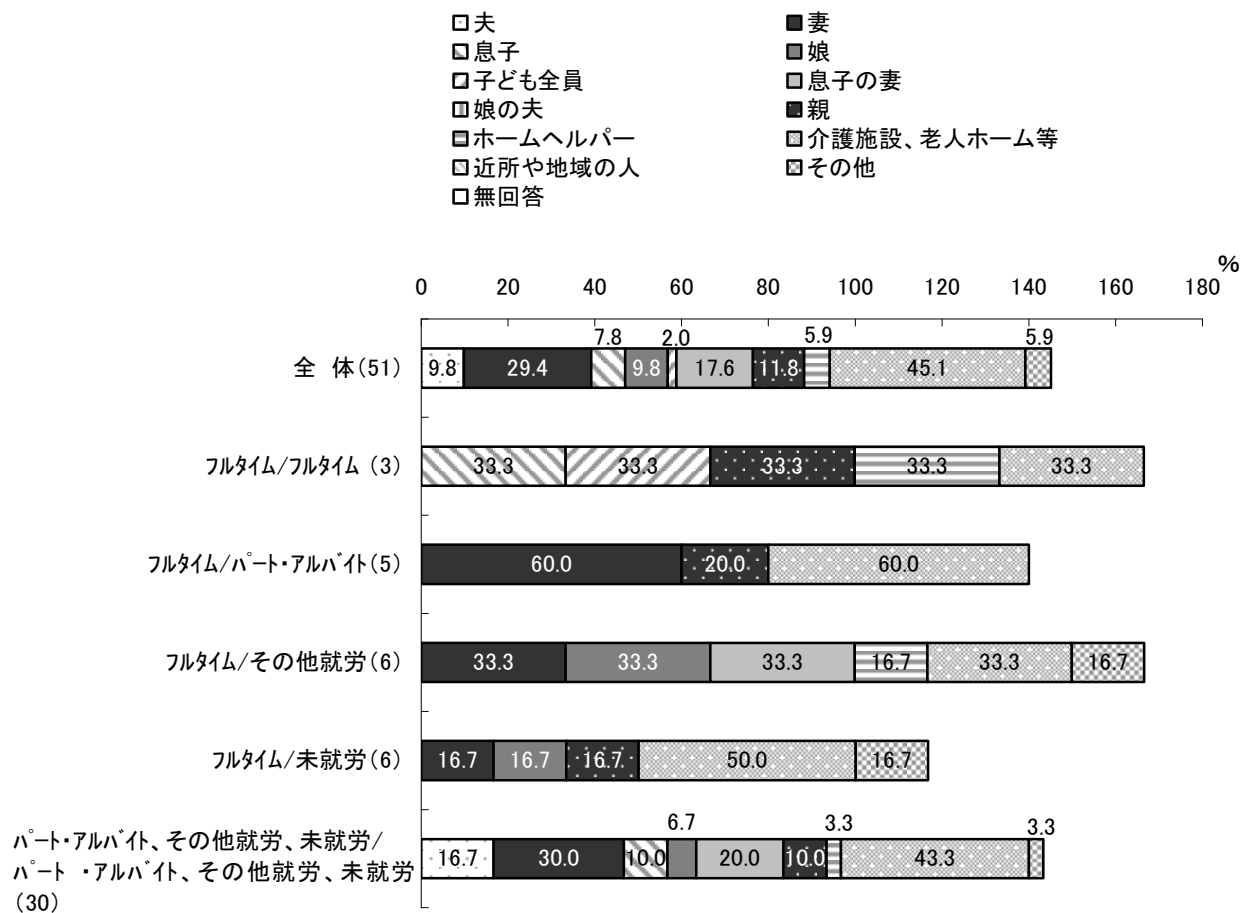
問16-1. その方の世話は誰がしていますか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。(※介護を受ける人からみた続柄でお答えください。)

「介護施設、老人ホーム等」の割合が46.3%と最も高く、次いで「妻」の割合が26.9%、「息子の妻」の割合が17.9%となっている。

前回調査結果と比較すると、「介護施設、老人ホーム等」の割合が高く、「妻」、「娘」、「夫」の割合が低くなっている。



職業別にみると、パート・アルバイト、その他就労、未就労/パート・アルバイト、その他就労、未就労では、「介護施設、老人ホーム等」の割合が高くなっている。

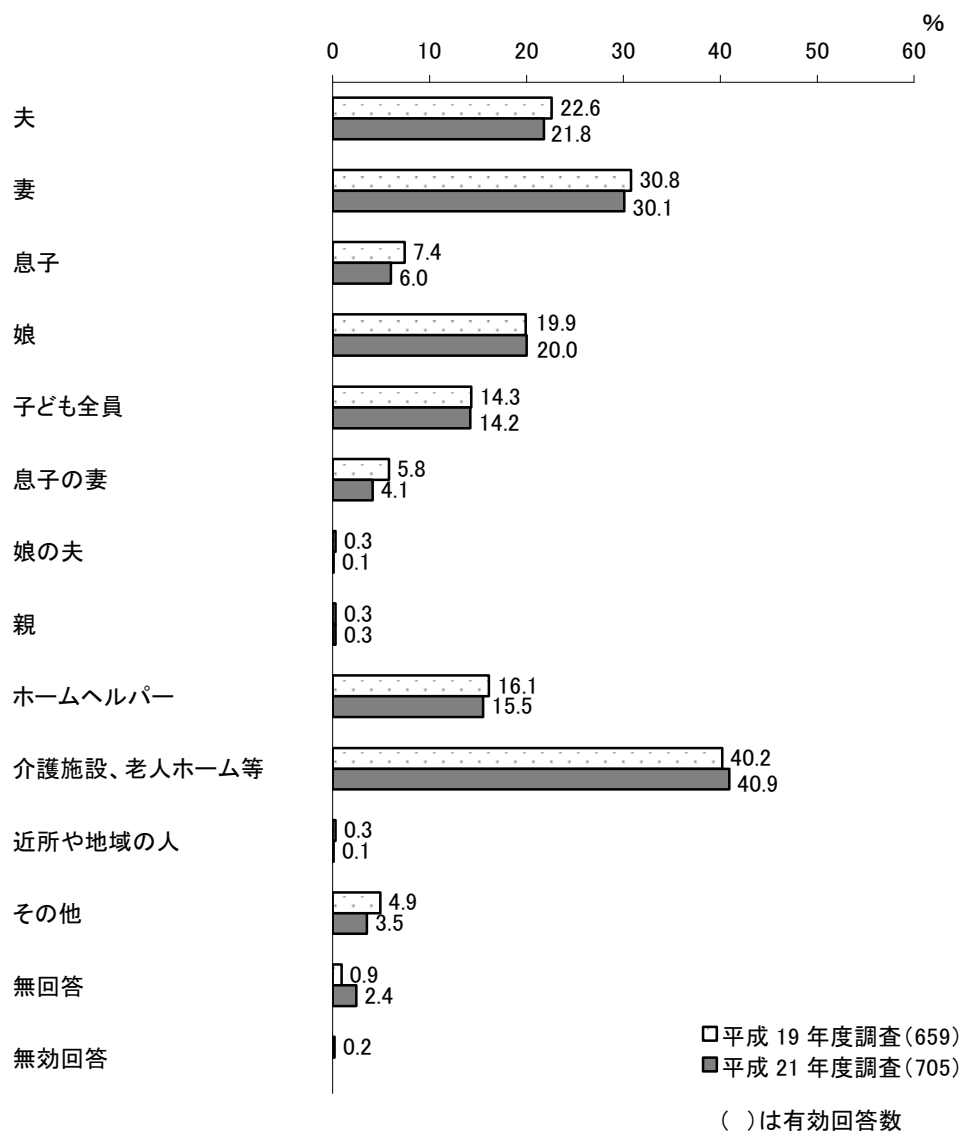


( )は有効回答数

問17. あなたは将来、誰に介護してほしいと思いますか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。

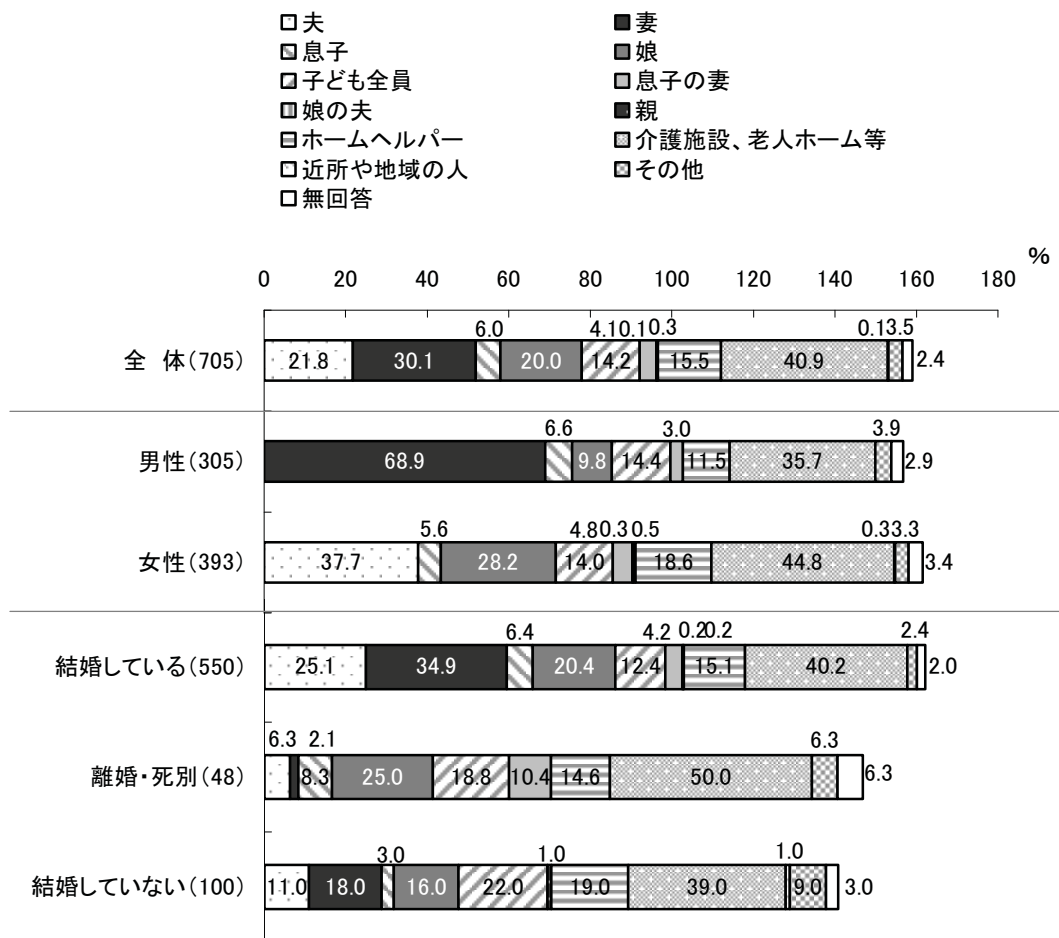
「介護施設、老人ホーム等」の割合が40.9%と最も高く、次いで「妻」の割合が30.1%、「夫」の割合が21.8%、「娘」の割合が20.0%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。



男女別にみると、女性に比べ男性で配偶者の介護を希望する割合が高くなっている。また、男性に比べ女性で「娘」、「介護施設、老人ホーム等」の割合が高くなっている。

婚姻別にみると、結婚している人で配偶者の介護を希望する割合が高くなっている。また、結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない人で「介護施設、老人ホーム等」の割合が高くなっている。



( )は有効回答数

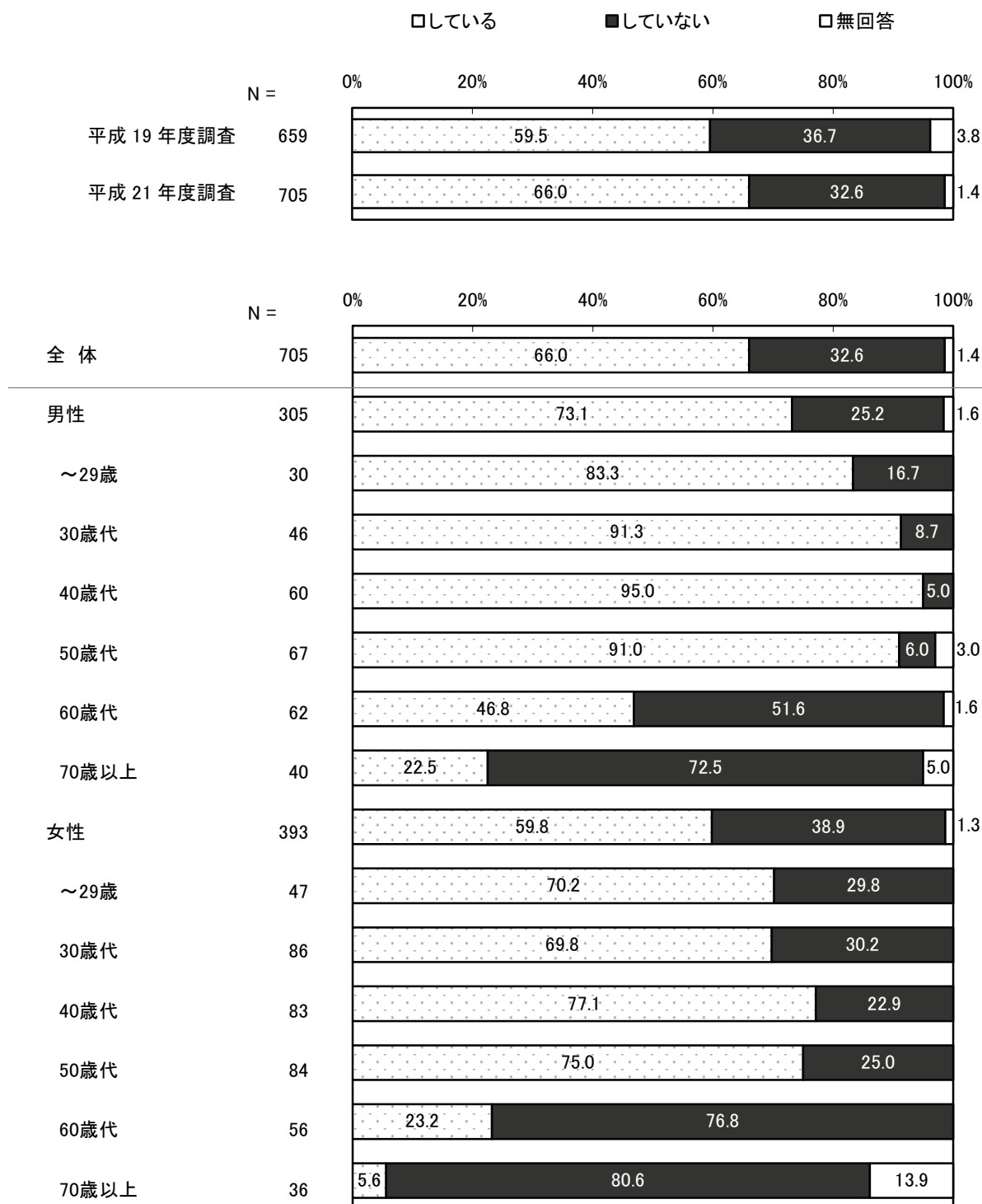
## (7) 就労について

問18. あなたは現在、収入を得る仕事（産前・産後休暇、育児・介護休業中も含む）をしていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「している」の割合が66.0%、「していない」の割合が32.6%となっている。

前回調査結果と比較すると、「している」の割合が高くなっている。

男女年齢別にみると、女性の40歳代、50歳代に比べ30歳代以下で就労している人の割合が低くなっている。

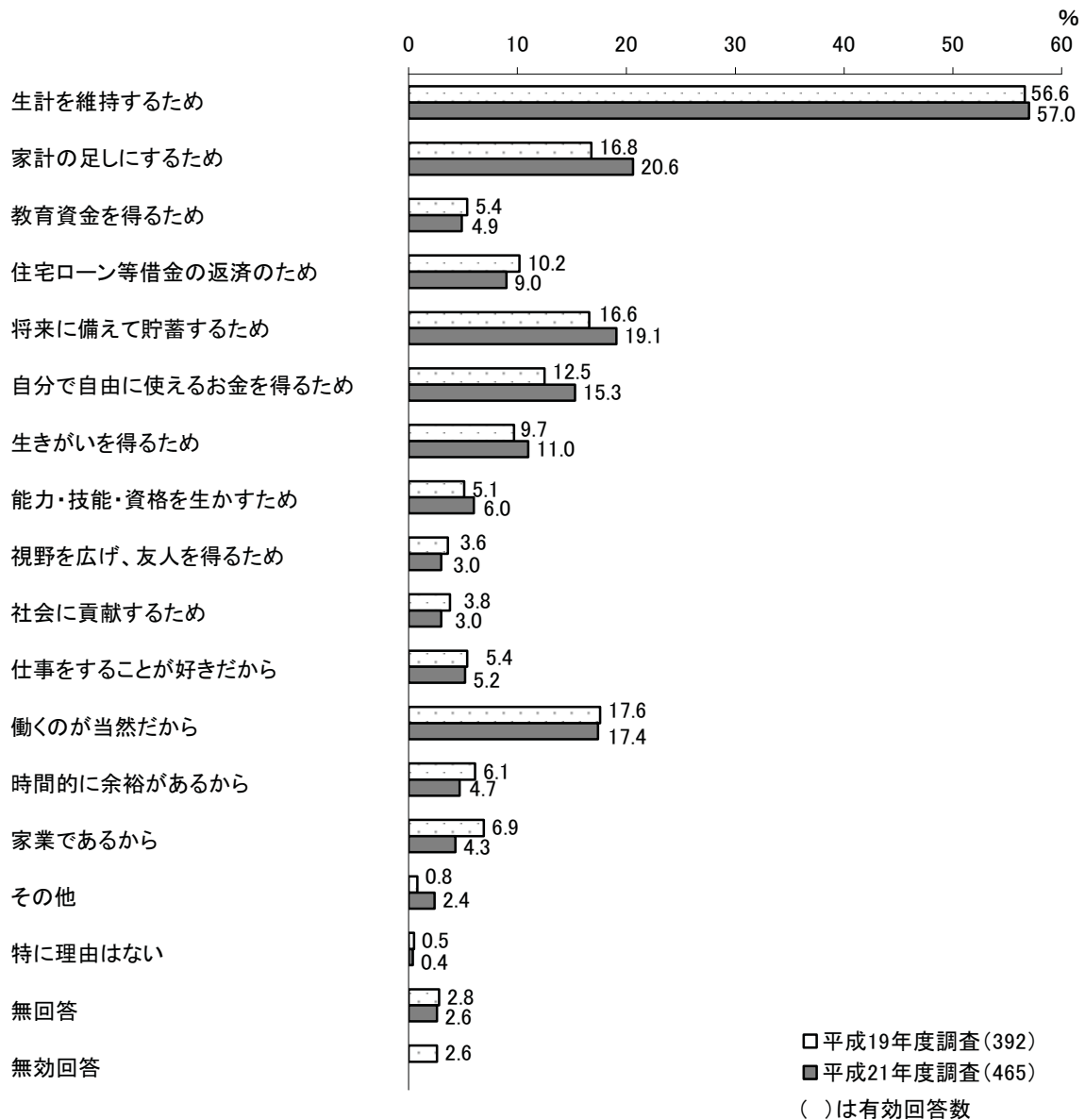


問18で「1. している」と答えた方にお聞きします。

問18-1. あなたが働いているのはどのような理由からですか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。

「生計を維持するため」の割合が57.0%と最も高く、次いで「家計の足しにするため」の割合が20.6%、「将来に備えて貯蓄するため」の割合が19.1%となっている。

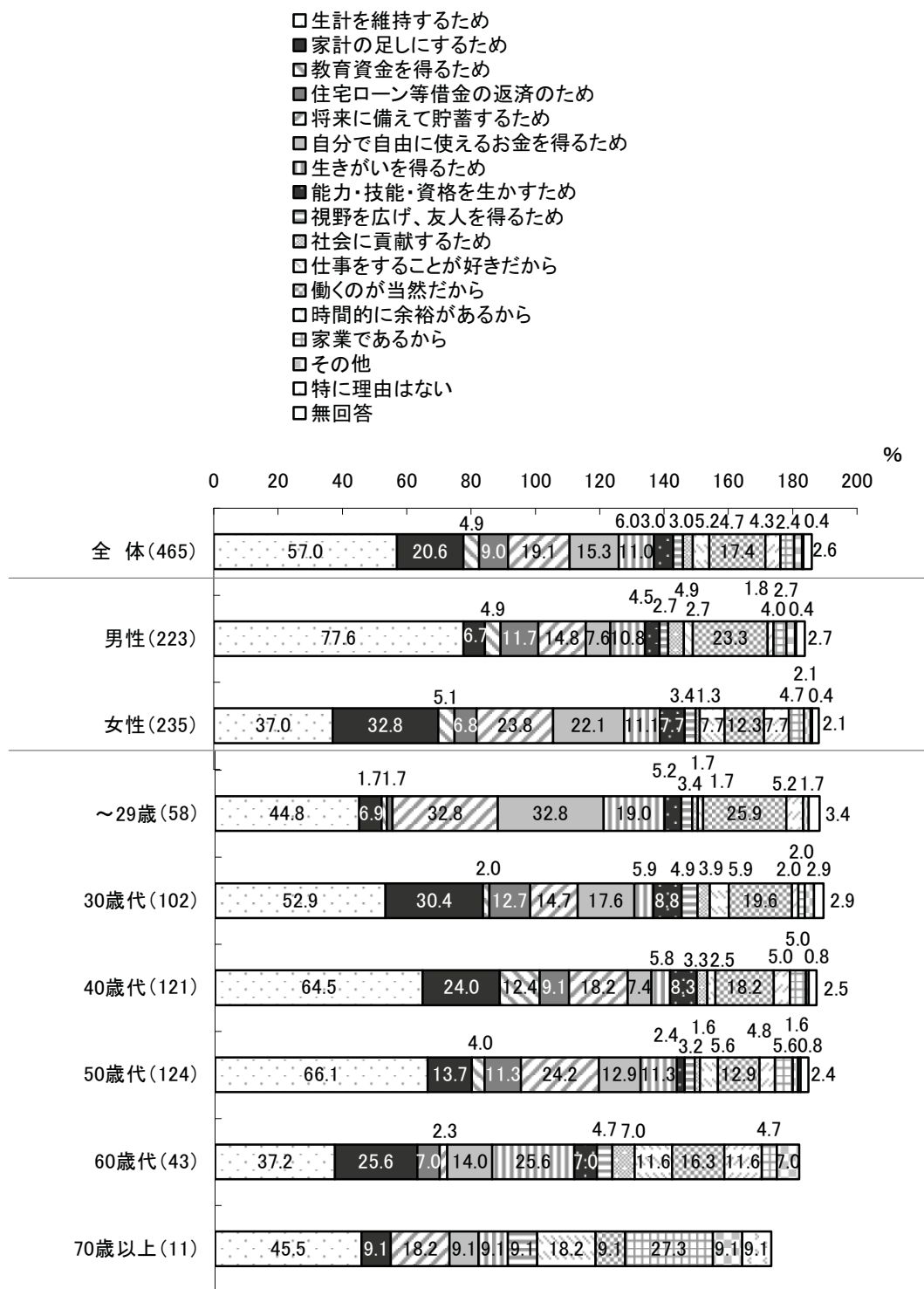
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。





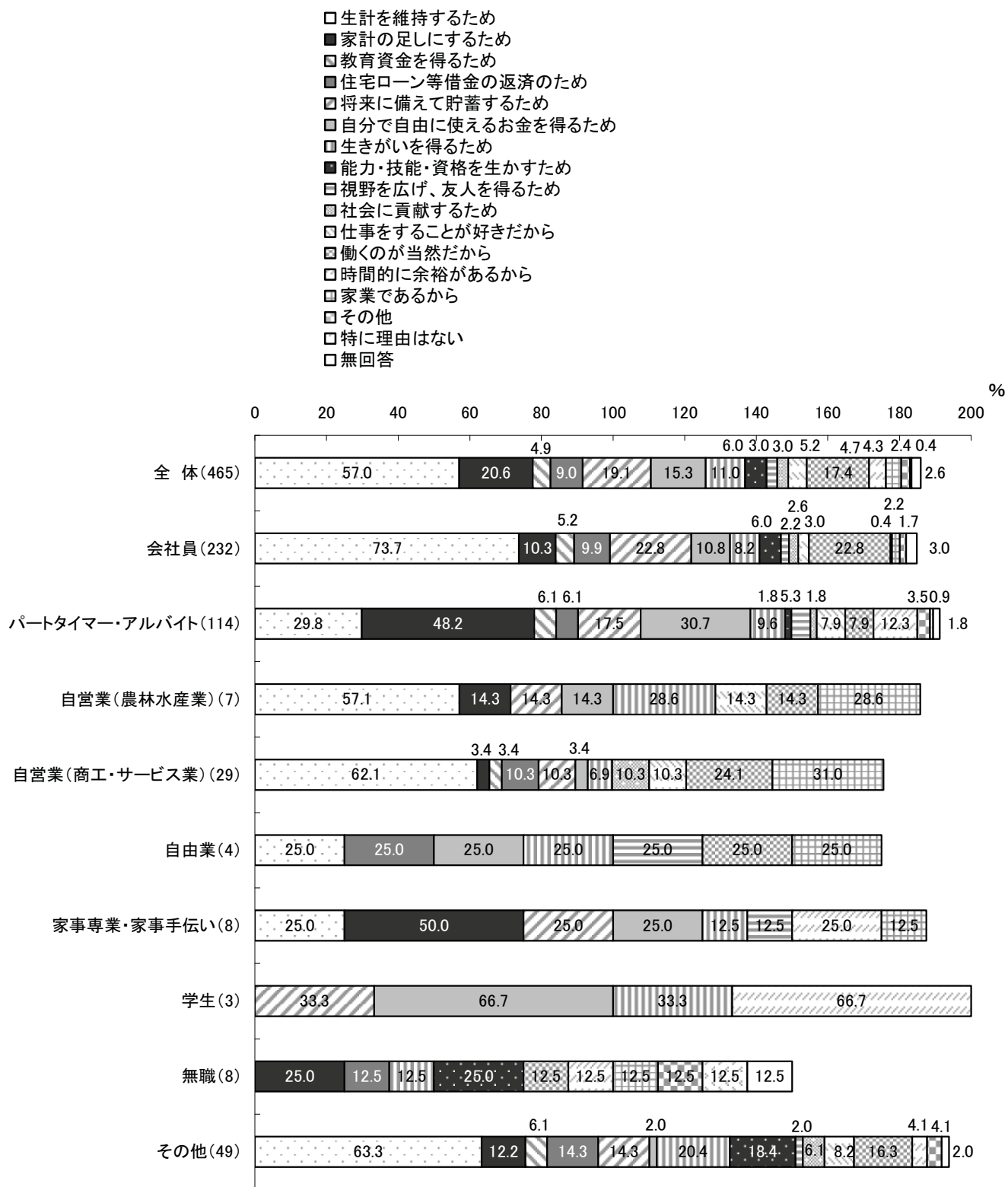
男女別にみると、女性に比べ男性で「生計を維持するため」、「働くのが当然だから」の割合が高くなっている。また、男性に比べ女性で「家計の足しにするため」、「将来に備えて貯蓄するため」、「自分で自由に使えるお金を得るため」、「時間的に余裕があるから」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、他の年代に比べ 30 歳未満で「将来に備えて貯蓄するため」、「自分で自由に使えるお金を得るため」、「働くのが当然だから」、30 歳代で「家計の足しにするため」、40 歳代、50 歳代で「生計を維持するため」、60 歳代で「生きがいを得るため」の割合が高くなっている。



( )は有効回答数

職業別にみると、会社員で「生計を維持するため」、パートタイマー・アルバイトで「家計の足しにするため」、  
「自分で自由に使えるお金を得るため」の割合が高くなっている。



( )は有効回答数

問18で「1. している」と答えた方にお聞きます。

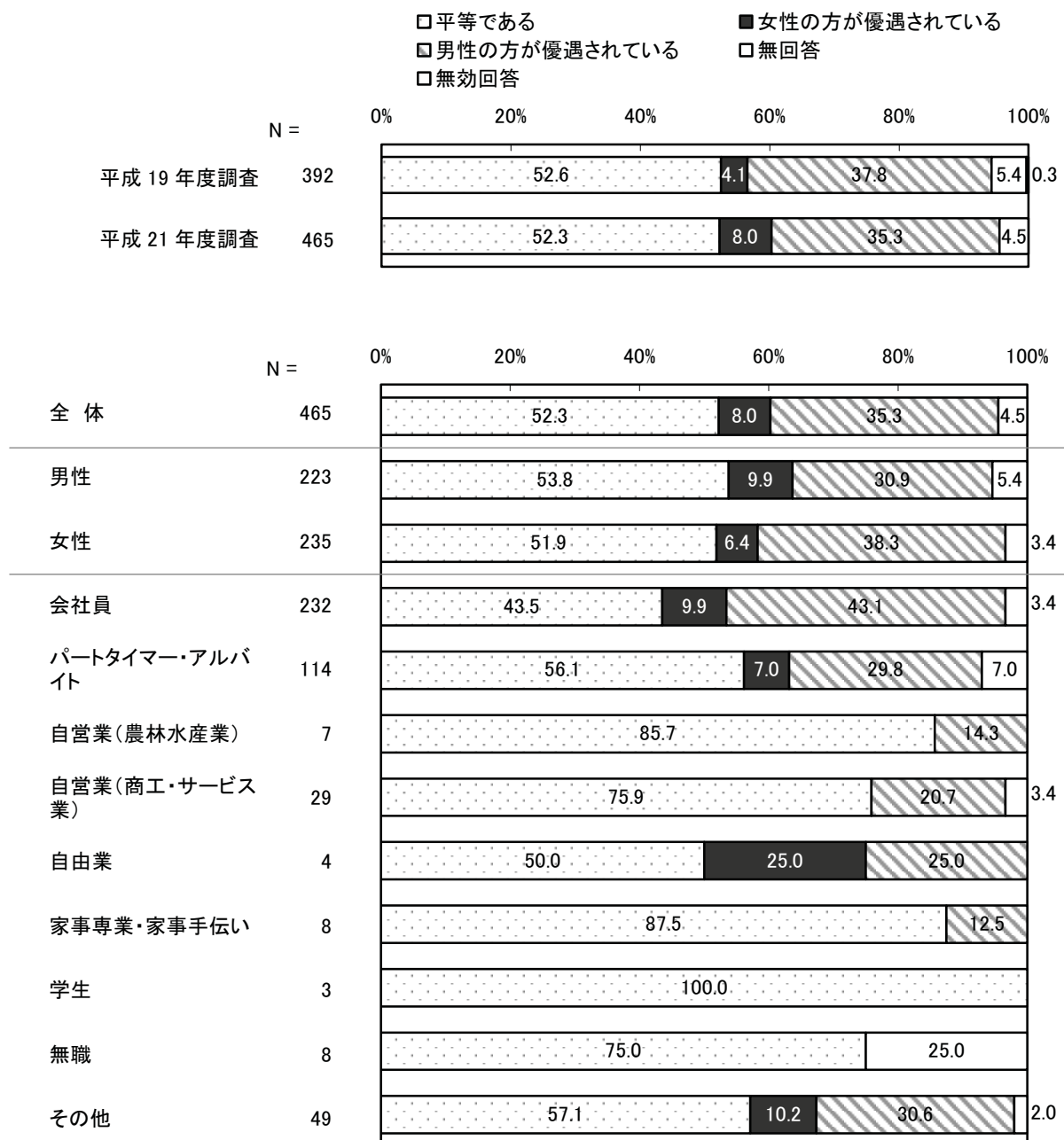
問18-2. あなたの働いているところでは、男性と女性は平等だと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「平等である」の割合が 52.3%と半数を占めているが、「男性の方が優遇されている」の割合が 35.3%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

男女別にみると、男性に比べ女性で「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっている。

職業別にみると、自営業（商工・サービス業）で「平等である」、会社員で「男性の方が優遇されている」の割合が高くなっている。

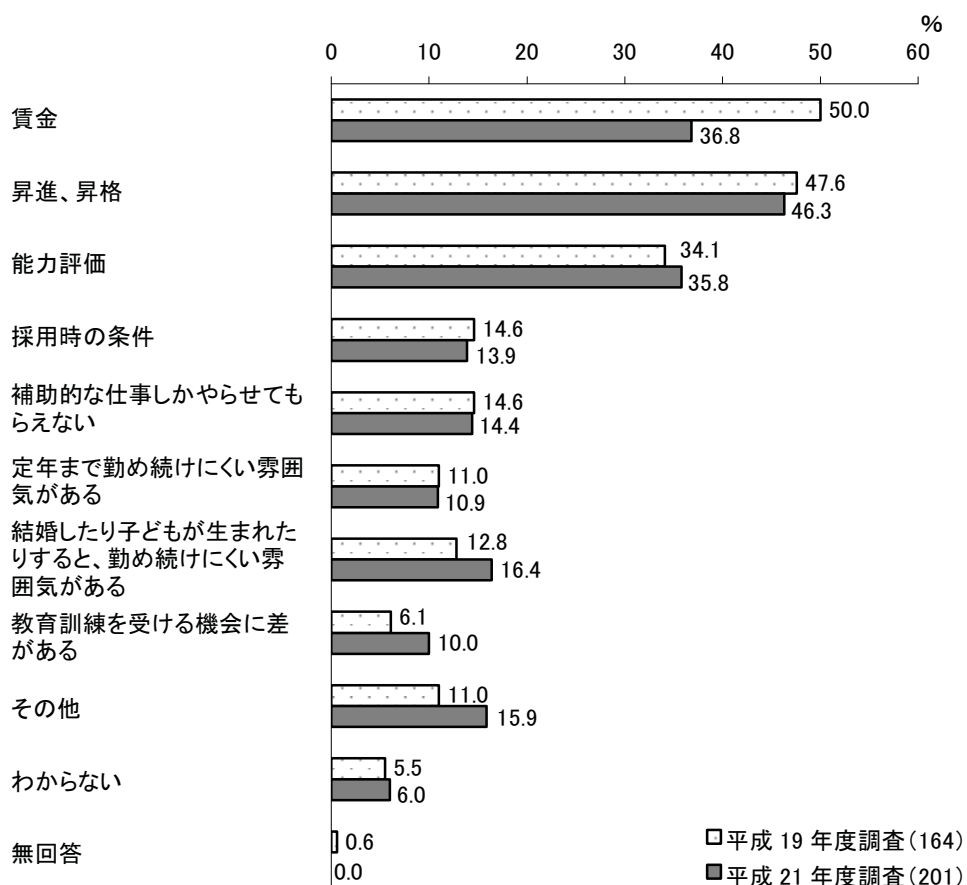


問18-2で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と答えた方にお聞きます。

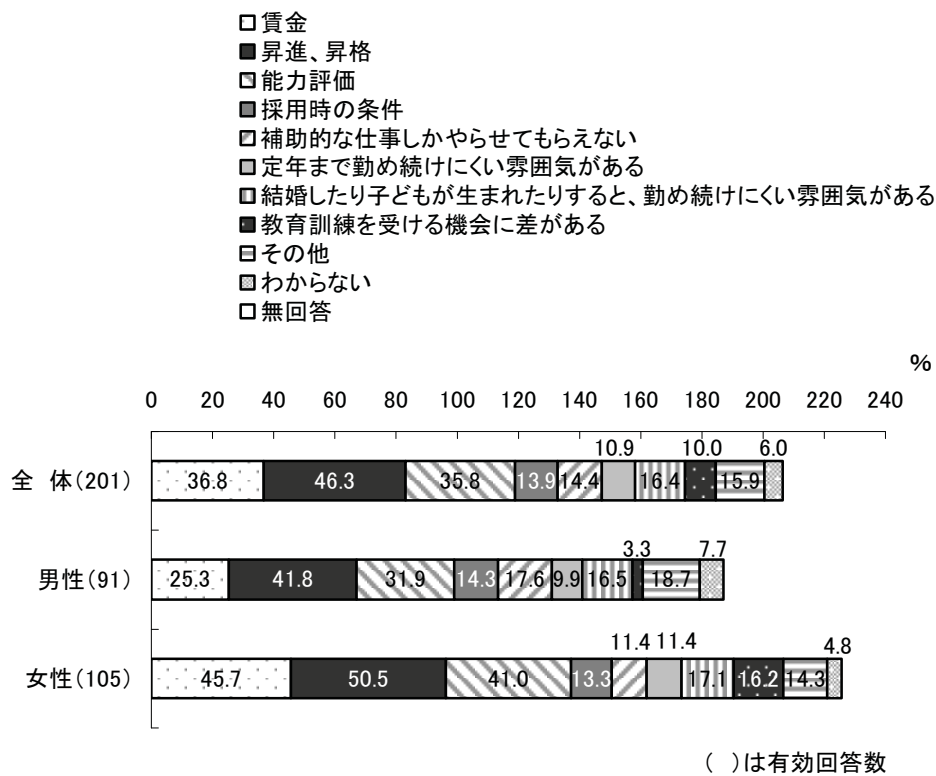
問18-3. あなたが働いているところで、男女が平等だと思わないのはどのようなことですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

「昇進、昇格」の割合が46.3%と最も高く、次いで「賃金」の割合が36.8%、「能力評価」の割合が35.8%となっている。

前回調査結果と比較すると、「賃金」の割合が大幅に低くなっている。



男女別にみると、女性に比べ男性で「補助的な仕事しかやらせてもらえない」の割合が高くなっている。また、男性に比べ女性で「賃金」、「昇進、昇格」、「能力評価」、「教育訓練を受ける機会に差がある」の割合が高くなっている。



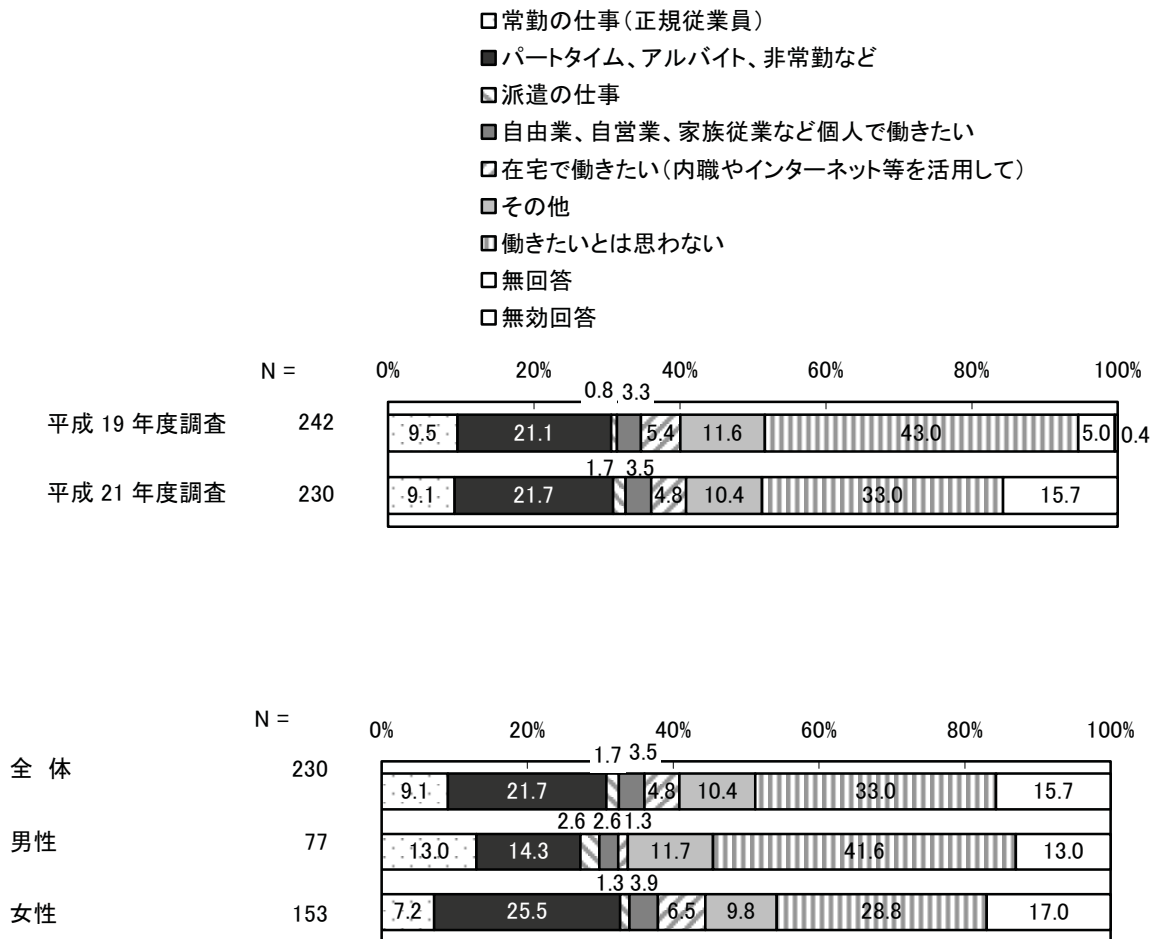
問18で「2. していない」と答えた方にお聞きします。

問18-4. 今後適当な仕事があれば働きたいですか。働きたい仕事の形を、次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「働きたいとは思わない」の割合が33.0%と最も高く、次いで「パートタイム、アルバイト、非常勤など」の割合が21.7%、「常勤の仕事（正規従業員）」の割合が9.1%となっている。

前回調査結果と比較すると、「働きたいとは思わない」の割合が大幅に低くなっている。

男女別にみると、女性に比べ男性で「常勤の仕事（正規従業員）」、「働きたいとは思わない」の割合が高くなっている。また、男性に比べ女性で「パートタイム、アルバイト、非常勤など」、「在宅で働きたい（内職やインターネット等を活用して）」の割合が高くなっている。

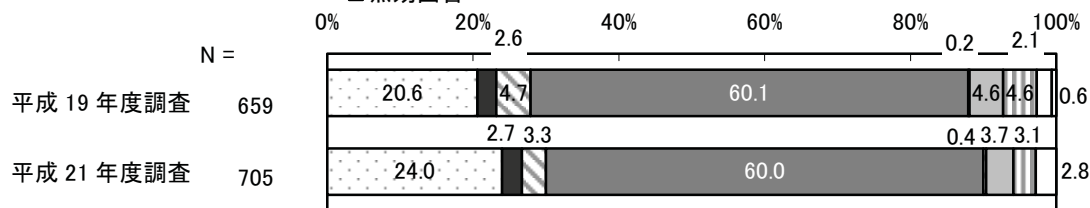


問19. 女性が職業をもつことについてあなたはどのように思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい」の割合が60.0%と最も高く、次いで「結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい」の割合が24.0%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

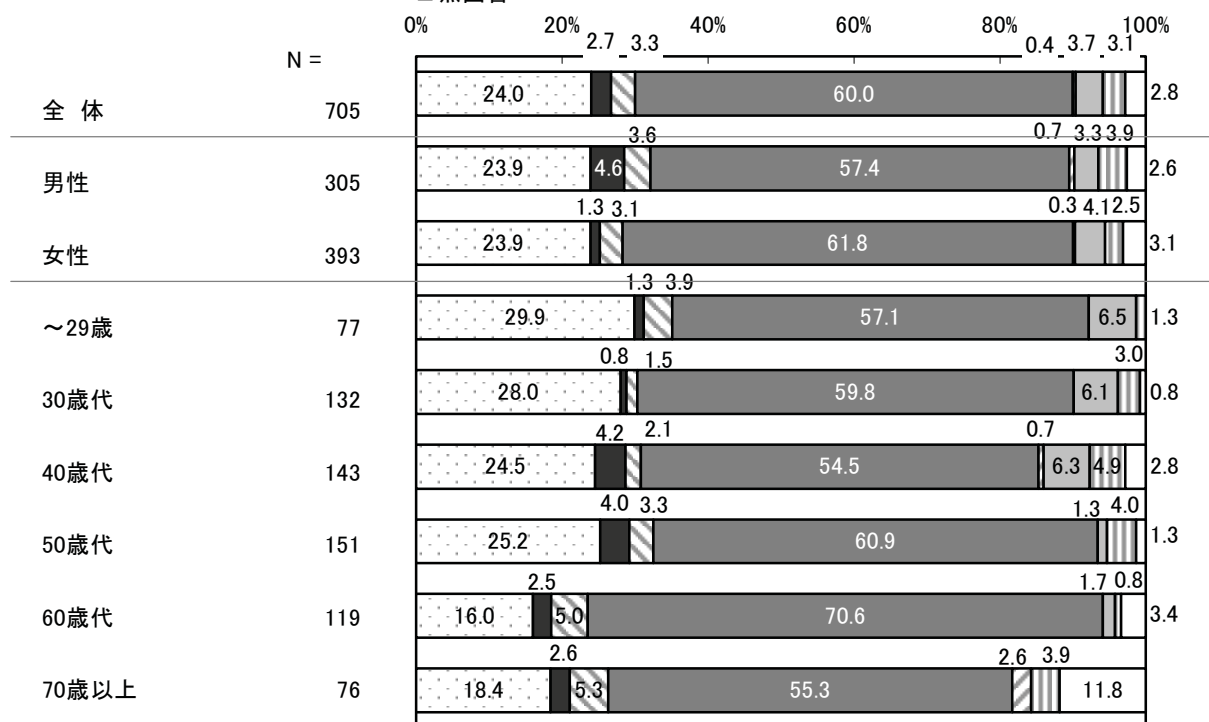
- 結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい
- 結婚するまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい
- 結婚して子どもができるまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい
- 結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい
- 職業は一生もたない方がいい
- その他
- わからない
- 無回答
- 無効回答



男女別には大きな差異はみられない。

年齢別にみると、60歳以上に比べ、50歳以下で「結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい」、60歳代で「結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもち方がいい」の割合が高くなっている。

- 結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい
- 結婚するまでは職業をもちが、その後はもたない方がいい
- 結婚して子どもができるまでは職業をもちが、その後はもたない方がいい
- 結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもち方がいい
- 職業は一生もたない方がいい
- その他
- わからない
- 無回答

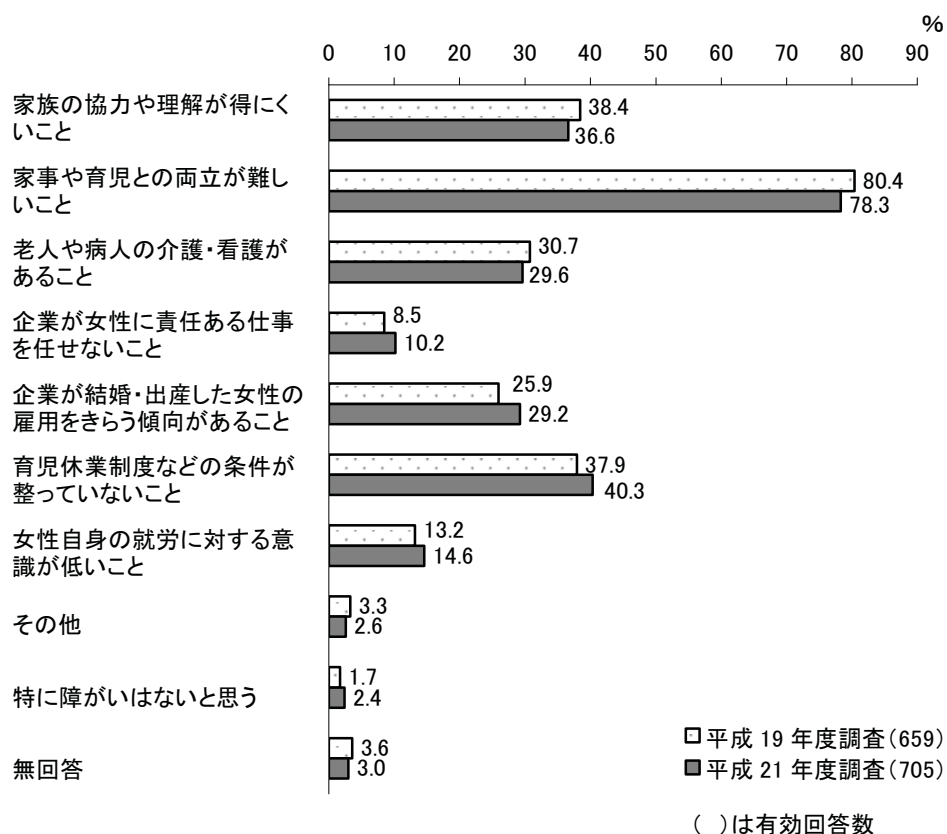




問20. 女性が働き続けていくうえで、大きな障がいになっているのは何だと思えますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

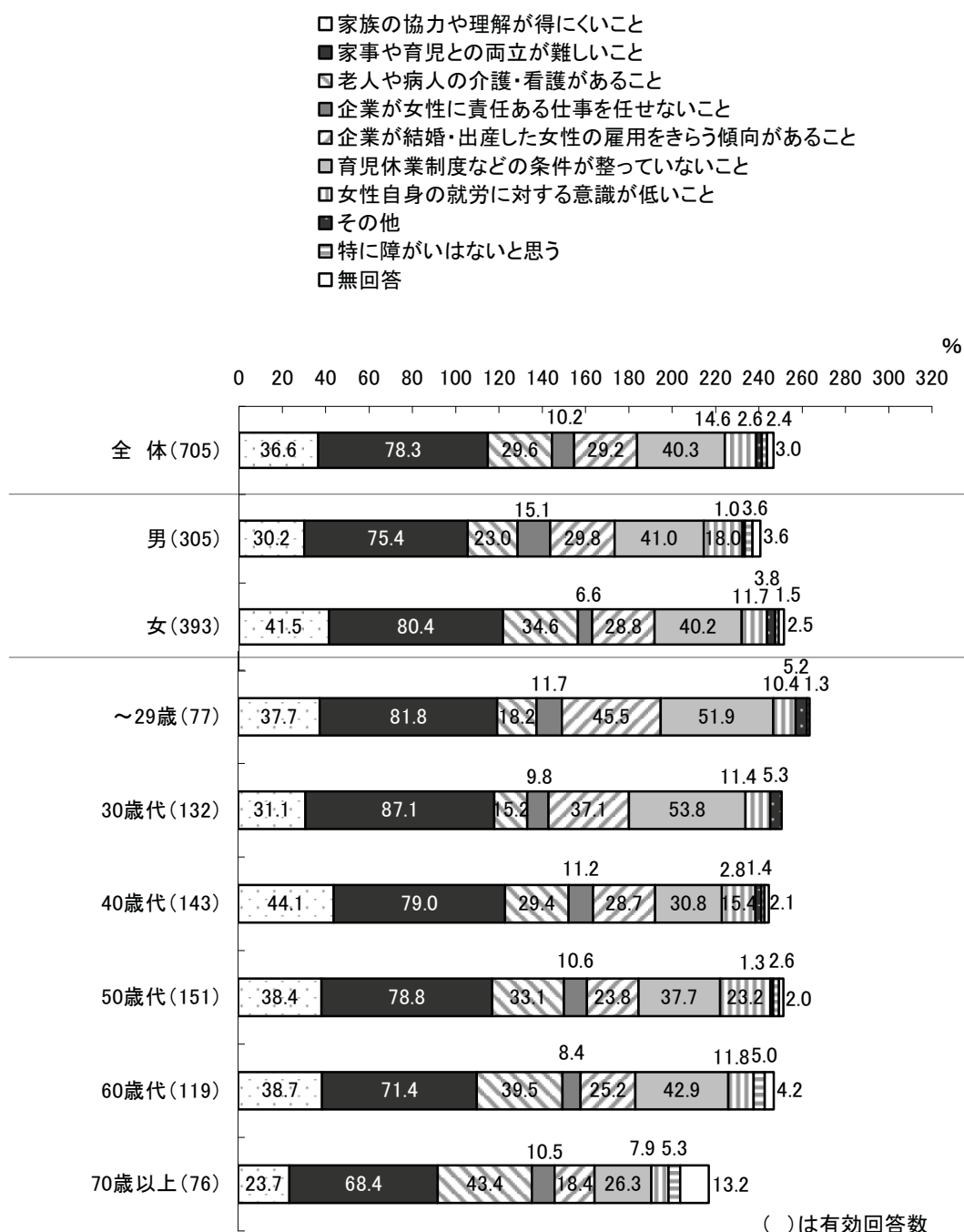
「家事や育児との両立が難しいこと」の割合が78.3%と最も高く、次いで「育児休業制度などの条件が整っていないこと」の割合が40.3%、「家族の協力や理解が得にくいこと」の割合が36.6%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

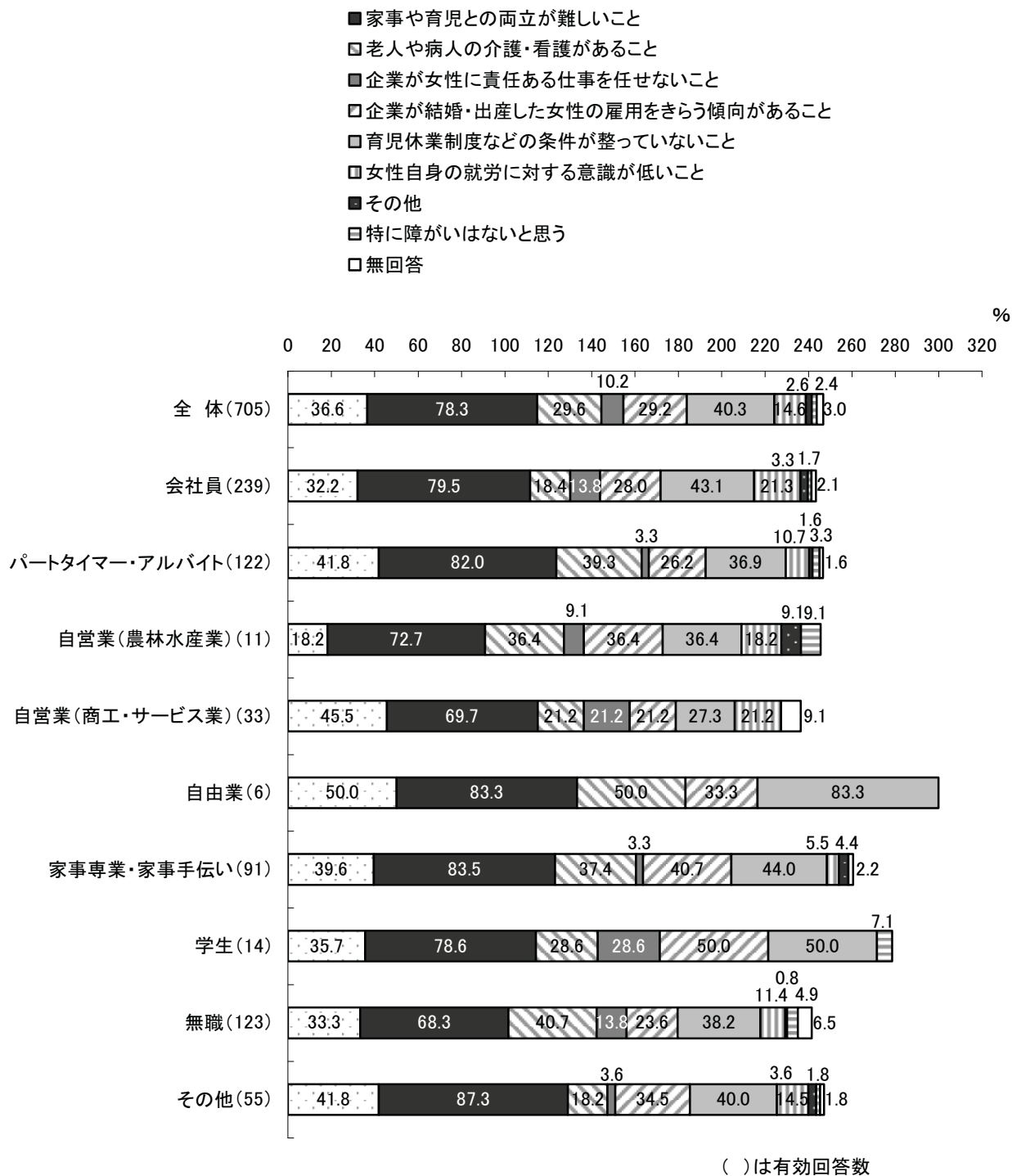


男女別にみると、女性に比べ男性で「企業が女性に責任ある仕事を任せないこと」、「女性自身の就労に対する意識が低いこと」の割合が高くなっている。また、男性に比べ女性で「家族の協力や理解が得にくいこと」、「家事や育児との両立が難しいこと」、「老人や病人の介護・看護があること」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、他の年代に比べ、30歳代以下で「企業が結婚・出産した女性の雇用をきらう傾向があること」、「育児休業制度などの条件が整っていないこと」、30歳代で「家事や育児との両立が難しいこと」、40歳代で「家族の協力や理解が得にくいこと」の割合が高くなっている。また、30歳代以上で年齢が高くなるにつれて「老人や病人の介護・看護があること」の割合が高くなっている。



職業別にみると、会社員で「企業が女性に責任ある仕事を任せないこと」、「育児休業制度などの条件が整っていないこと」、「女性自身の就労に対する意識が低いこと」の割合が高くなっている。また、家事専業・家事手伝いでも「育児休業制度などの条件が整っていないこと」の割合が高くなっている。



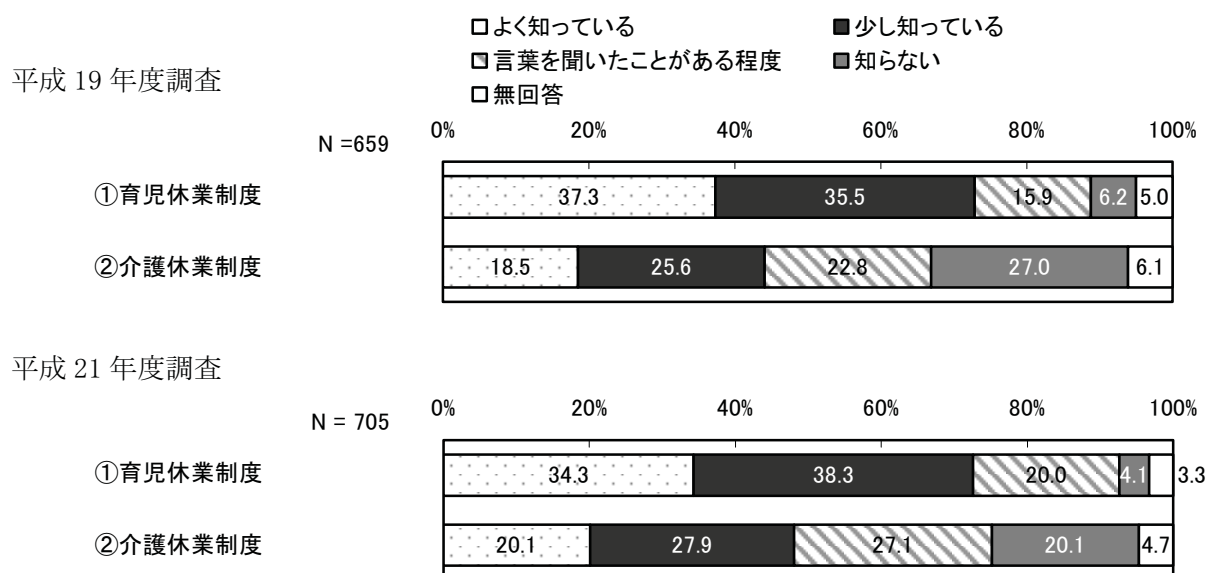
問 2 1. あなたは、次の制度の内容についてご存知ですか。また実際に取得したことがありますか。それぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

育児休業制度の内容については、「少し知っている」の割合が 38.3%と最も高く、次いで「よく知っている」の割合が 34.3%、「言葉を聞いたことがある程度」の割合が 20.0%、「知らない」の割合が 4.1%となっている。

介護休業制度の内容については、「少し知っている」の割合が 27.9%と最も高く、次いで「言葉を聞いたことがある程度」の割合が 27.1%、「よく知っている」、「知らない」の割合がともに 20.1%となっている。

前回調査結果と比較すると、介護休業制度では、「知らない」の割合が低くなっている。

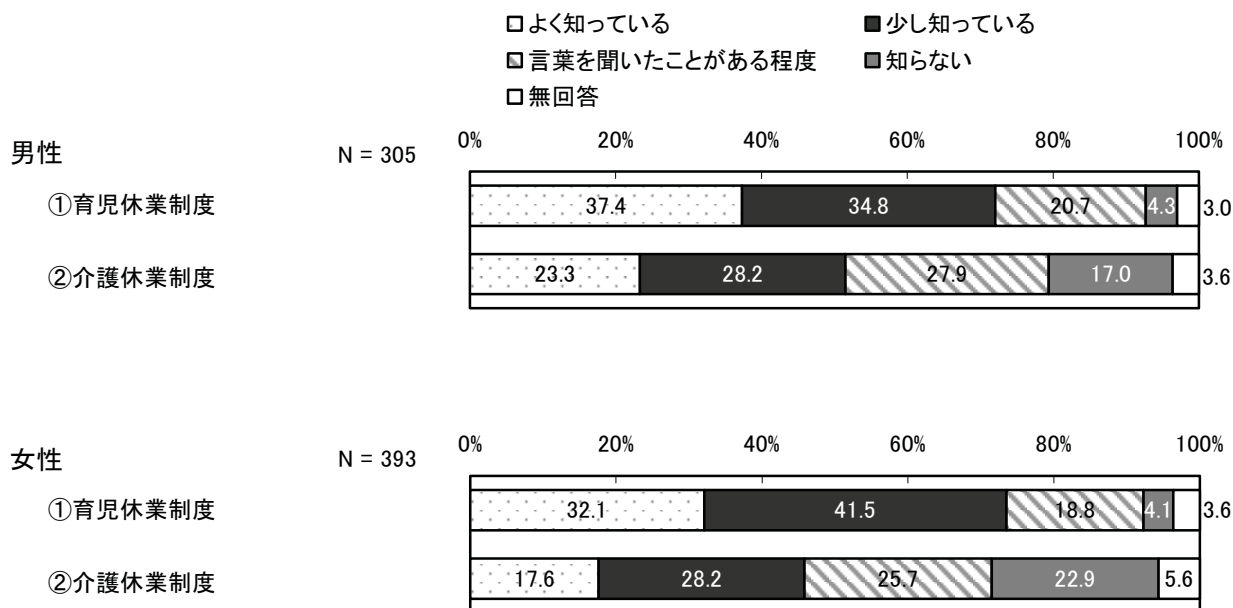
### ○内容



育児休業制度の内容について男女別にみると、女性に比べ男性で「よく知っている」の割合が高く、男性に比べ女性で「少し知っている」の割合が高くなっている。

介護休業制度の内容について男女別にみると、女性に比べ男性で「よく知っている」の割合が高く、男性に比べ女性で「知らない」の割合が高くなっている。

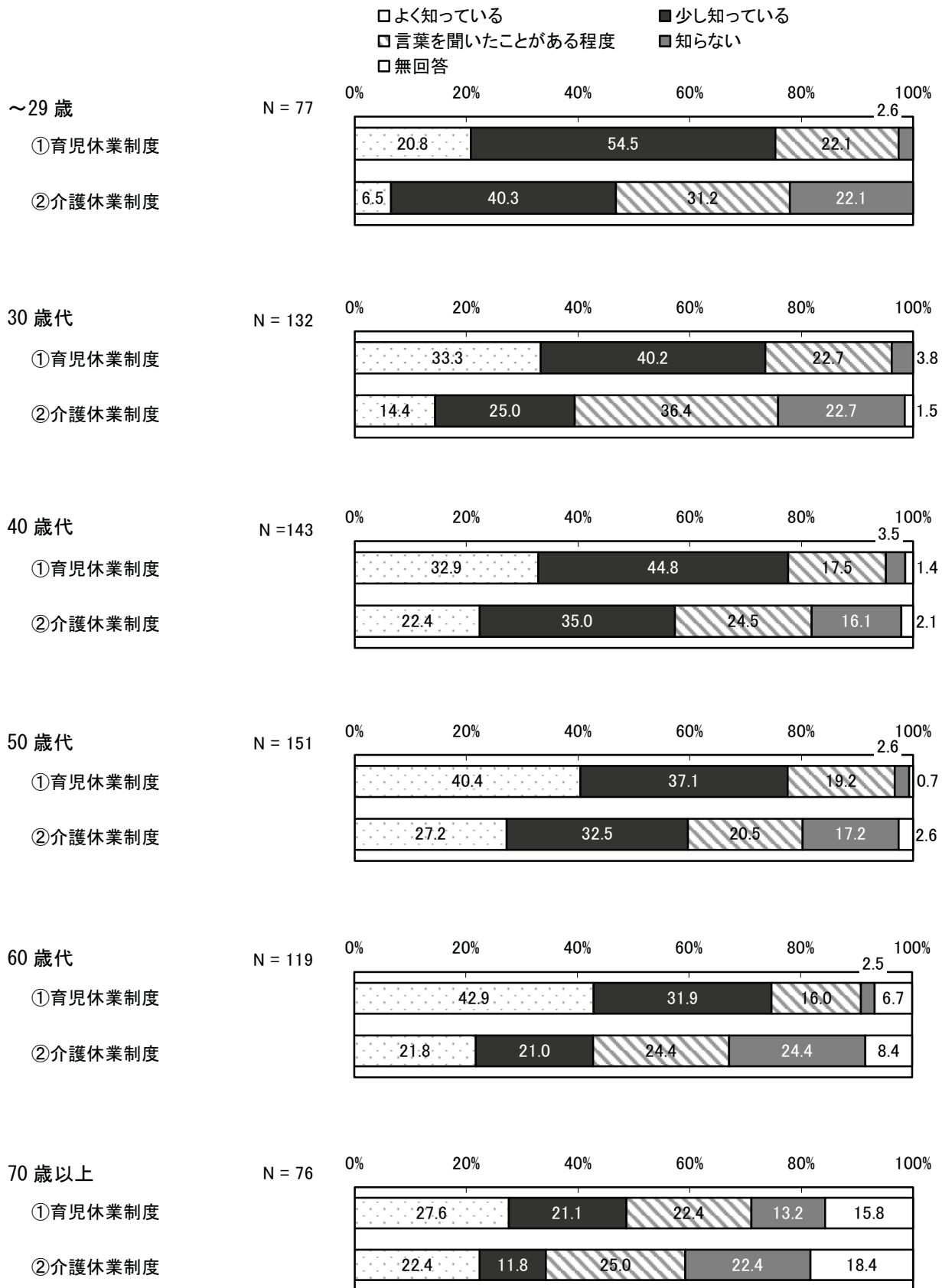
**【男女別】**



育児休業制度の内容について年齢別にみると、他の年代に比べ、30歳未満で「少し知っている」、50歳代、60歳代で「よく知っている」の割合が高くなっている。

介護休業制度の内容について年齢別にみると、他の年代に比べ、30歳未満で「少し知っている」、30歳代以下で「言葉を聞いたことがある程度」の割合が高くなっている。

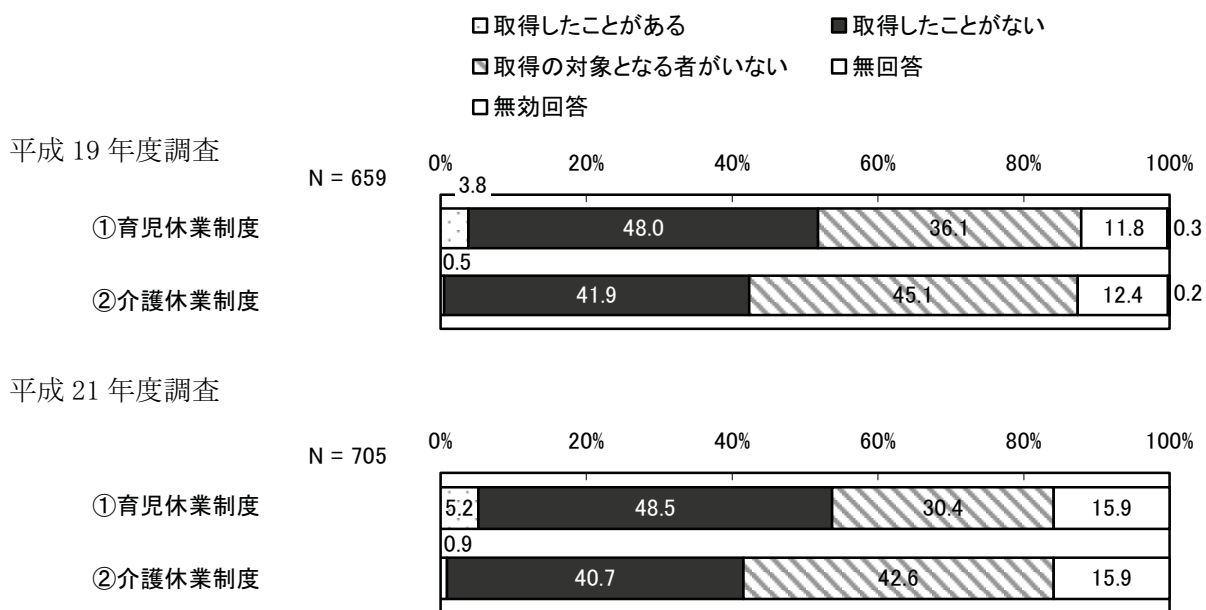
【年齢別】



育児休業制度、介護休業制度の取得状況については、ともに「取得したことがある」の割合が低く、それぞれ5.2%、0.9%に留まっている。

前回調査結果では、「取得したことがある」の割合が育児休業制度で3.8%、介護休業制度で0.5%であったのに比べると、わずかに高くなっている。

### ○取得

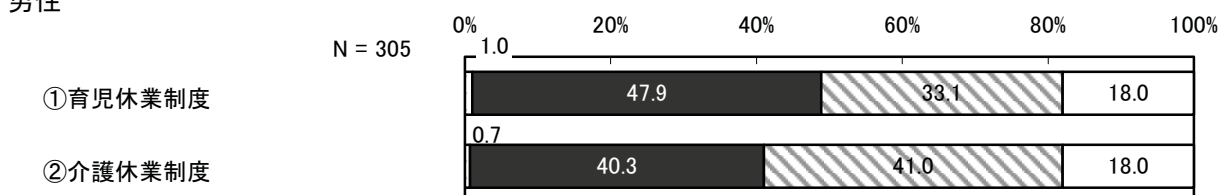


育児休業制度の取得状況について男女別にみると、「取得したことがある」の割合は男性で1.0%、女性で8.7%となっている。

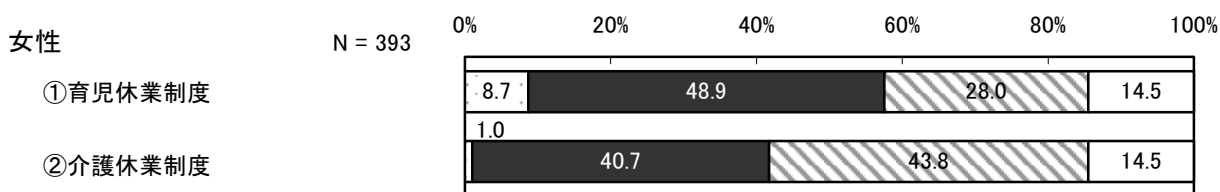
介護休業制度の取得状況について男女別にみると、「取得したことがある」の割合は男性で0.7%、女性で1.0%となっている。

### 【男女別】

#### 男性



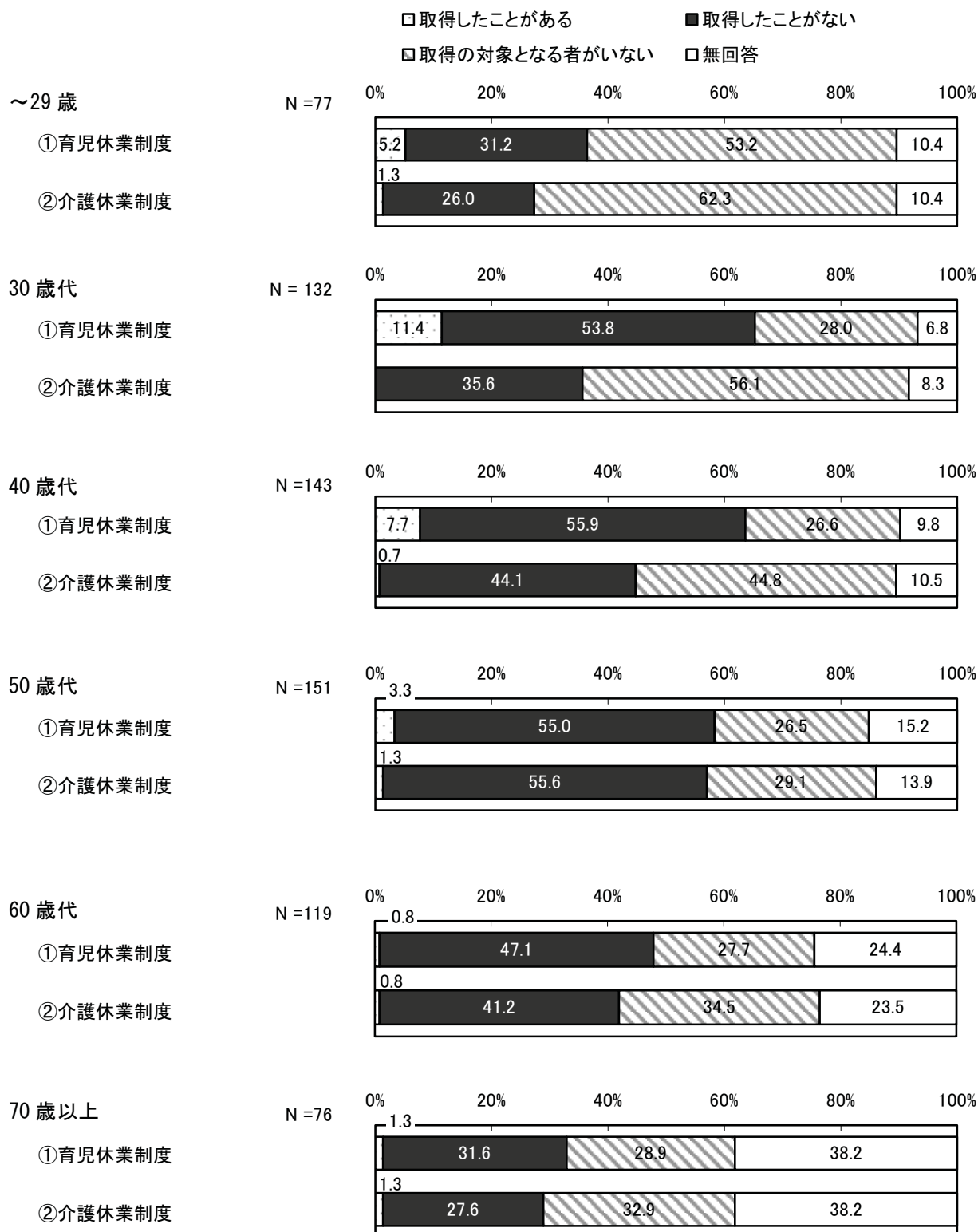
#### 女性



育児休業制度の取得状況について年齢別にみると、「取得したことがある」の割合は30歳代で11.4%、40歳代で7.7%となっている。

介護休業制度の取得状況について年齢別にみると、「取得したことがある」の割合は30歳未満で1.3%、40歳代で0.7%、50歳代で1.3%、60歳代で0.8%、70歳以上で1.3%となっている。

【年齢別】





## (8) ワーク・ライフ・バランスについて

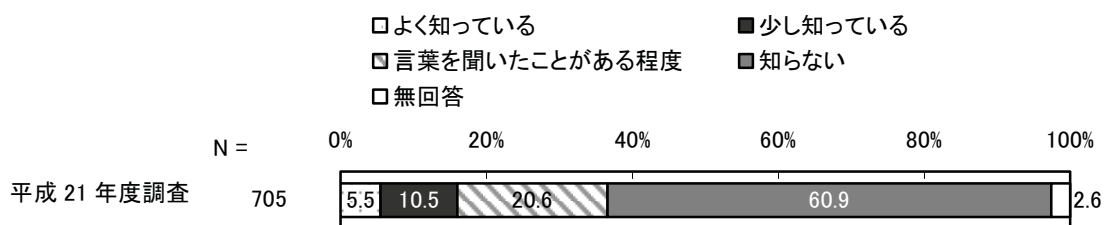
問22. あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、ご存知ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

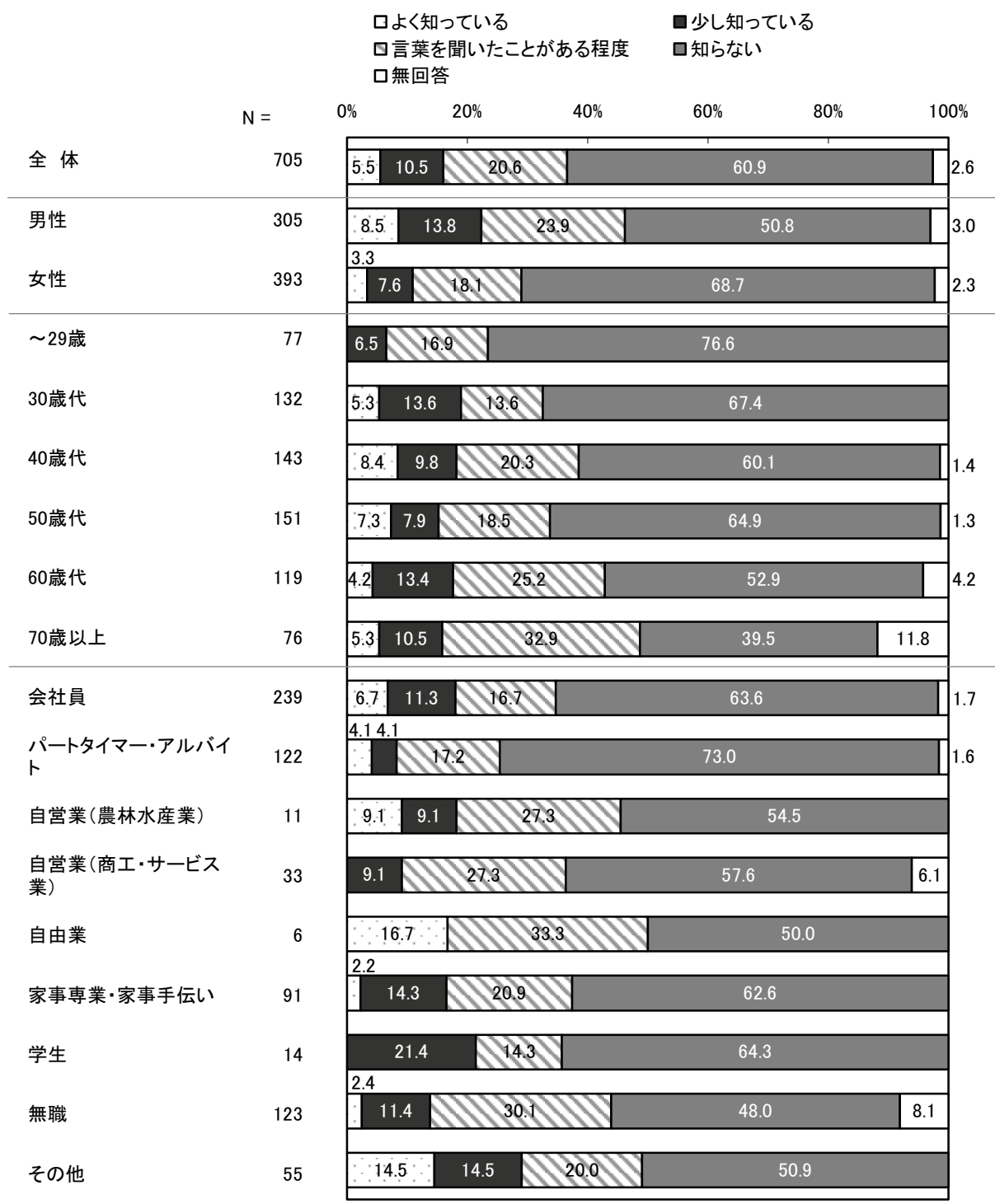
「知らない」の割合が60.9%と最も高くなっており、次いで「言葉を聞いたことがある程度」の割合が20.6%、「少し知っている」の割合が10.5%となっている。

男女別にみると、女性に比べ男性で「よく知っている」と「少し知っている」をあわせた割合が高くなっている。

年齢別にみると、30歳未満に比べ30歳代以上で「よく知っている」と「少し知っている」をあわせた割合が高くなっている。

職業別にみると、パートタイマー・アルバイト、自営業（商工・サービス業）で「よく知っている」と「少し知っている」をあわせた割合が低くなっている。





問23. 生活の中での、仕事、家庭生活、地域・個人の優先度について、あなたの「希望」と「現実」をお答えください。

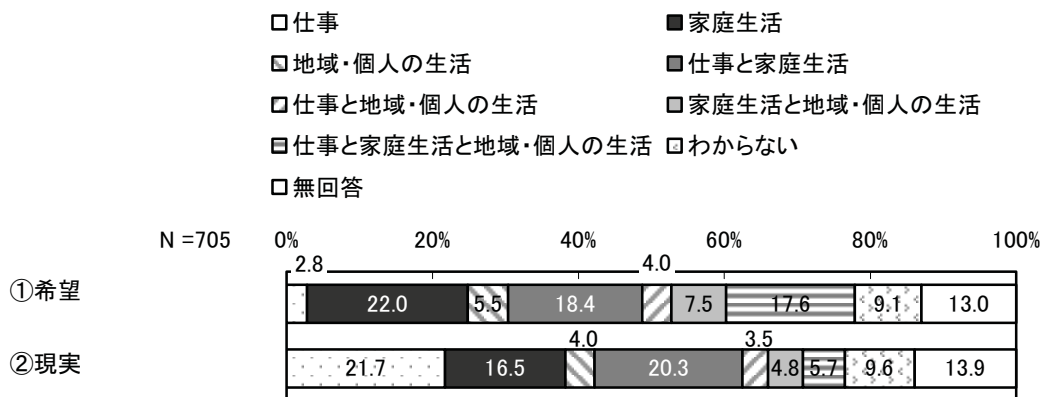
①、②のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

※専業主婦など、仕事についていない方は、家庭生活と地域・個人の生活の関係についてお答えください。

希望については、「家庭生活」の割合が22.0%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活」の割合が18.4%、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」の割合が17.6%となっている。

現実については、「仕事」の割合が21.7%と最も高く、次いで「仕事と家庭生活」の割合が20.3%、「家庭生活」の割合が16.5%となっている。

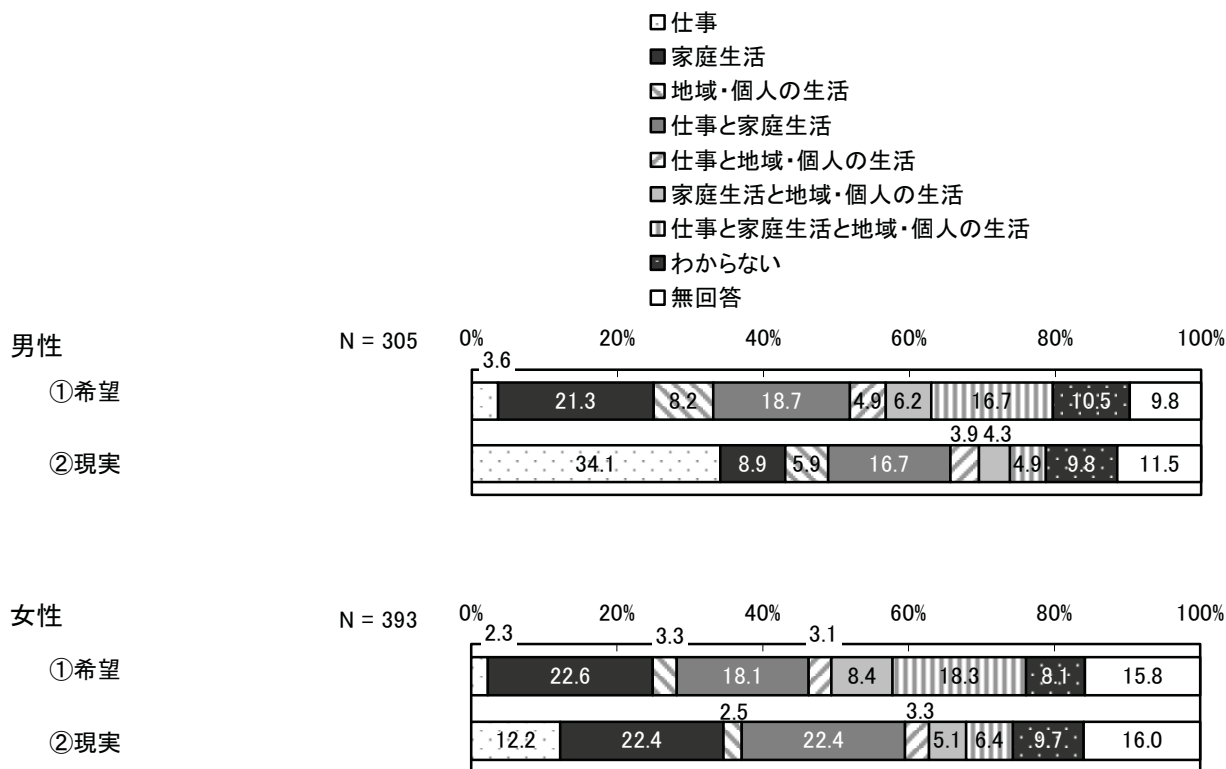
また、希望に比べ現実では、「仕事」の割合が高く、「家庭生活」、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」の割合が低くなっている。



※平成21年度新規調査

男女別にみると、男性では現実と比べ希望で「家庭生活」の割合が高いが、希望と比べ現実で「仕事」の割合が高くなっている。女性では現実と比べ希望で「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」の割合が高いが、希望と比べ現実で「仕事」、「仕事と家庭生活」の割合が高くなっている。

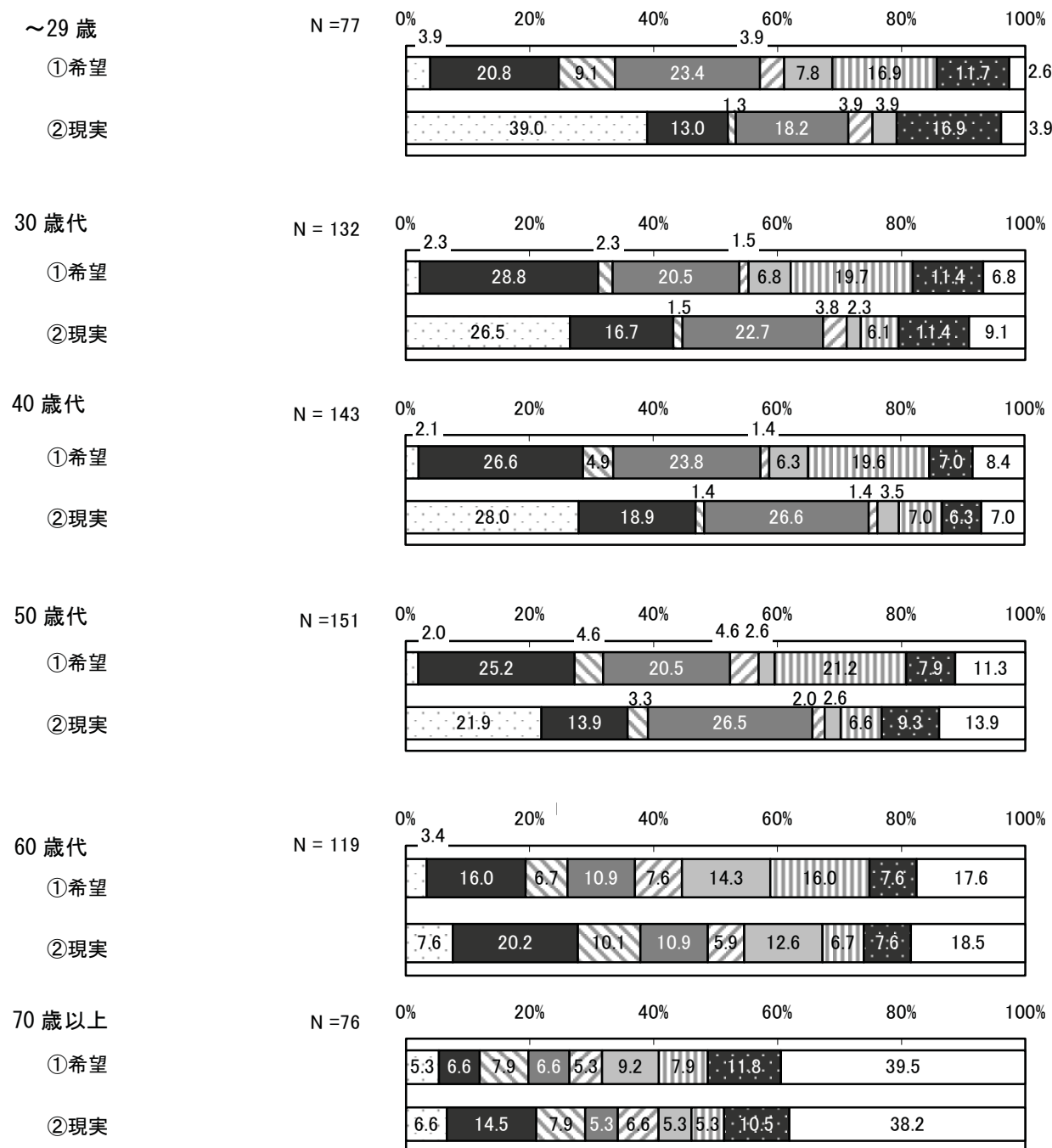
【男女別】



年齢別にみると、50歳代以下では現実に比べ希望で「家庭生活」、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」の割合が高いが、希望に比べ現実で「仕事」の割合が高くなっている。また、30歳代～50歳代では、希望に比べ現実で「仕事と家庭生活」の割合が高くなっている。

【年齢別】

- 仕事
- 家庭生活
- ▨ 地域・個人の生活
- 仕事と家庭生活
- ▨ 仕事と地域・個人の生活
- ▨ 家庭生活と地域・個人の生活
- ▨ 仕事と家庭生活と地域・個人の生活
- わからない
- 無回答



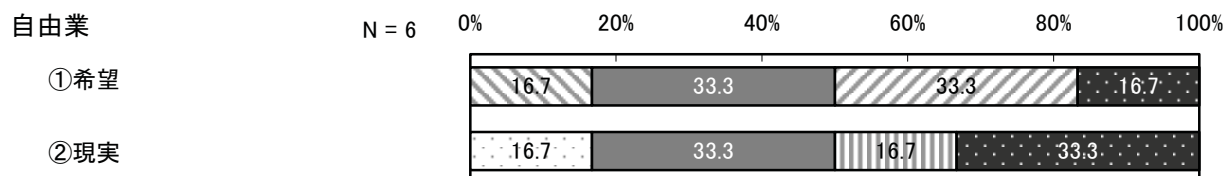
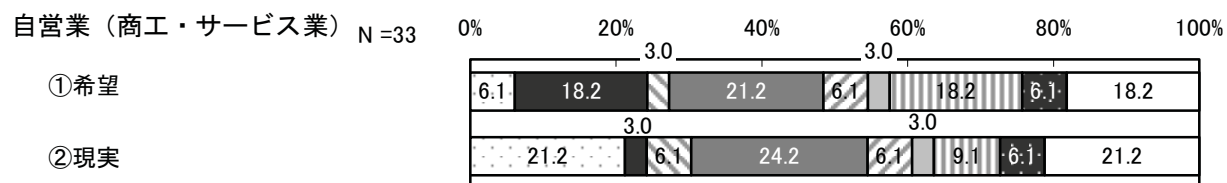
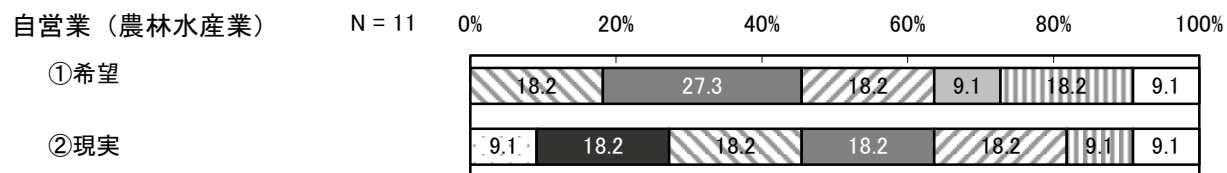
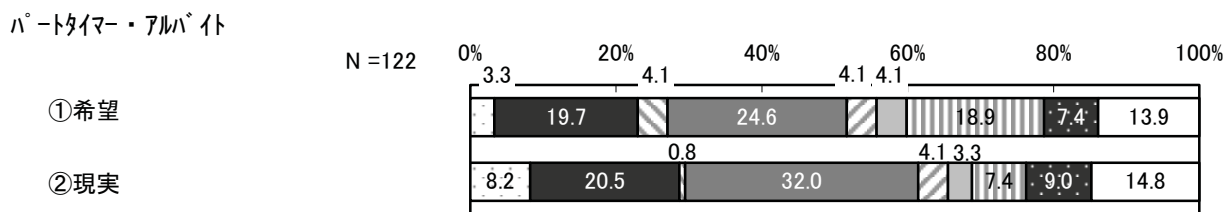
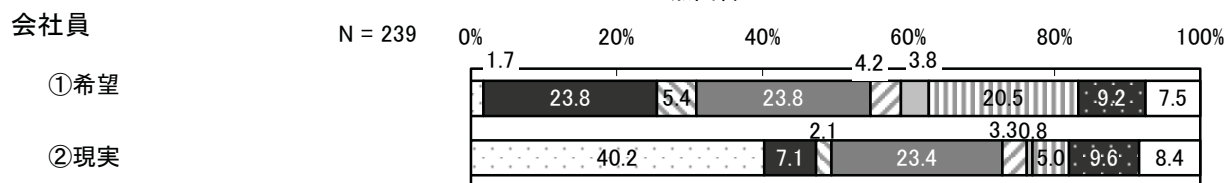
職業別にみると、会社員、自営（商工・サービス業）では現実に比べ希望で「家庭生活」、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」の割合が高いが、希望に比べ現実で「仕事」の割合が高くなっている。

パートタイマー・アルバイトでは、現実に比べ希望で「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」の割合が高いが、希望に比べ現実で「仕事と家庭生活」の割合が高くなっている。

家事専業・家事手伝いでは、「家庭生活と地域・個人の生活」、「仕事と家庭生活と地域・個人の生活」の割合が高いが、希望に比べ現実で「家庭生活」の割合が高くなっている。

【職業別】

- 仕事
- 家庭生活
- ▨ 地域・個人の生活
- 仕事と家庭生活
- ▨ 仕事と地域・個人の生活
- ▨ 家庭生活と地域・個人の生活
- ▨ 仕事と家庭生活と地域・個人の生活
- わからない
- 無回答



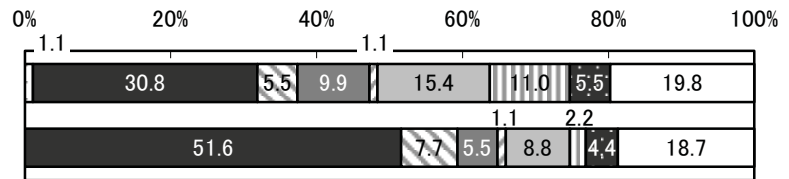
- 仕事
- 家庭生活
- 地域・個人の生活
- 仕事と家庭生活
- 仕事と地域・個人の生活
- 家庭生活と地域・個人の生活
- 仕事と家庭生活と地域・個人の生活
- わからない
- 無回答

家事専業・家事手伝い

N = 91

①希望

②現実

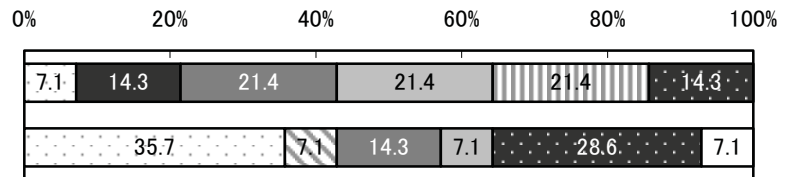


学生

N = 14

①希望

②現実

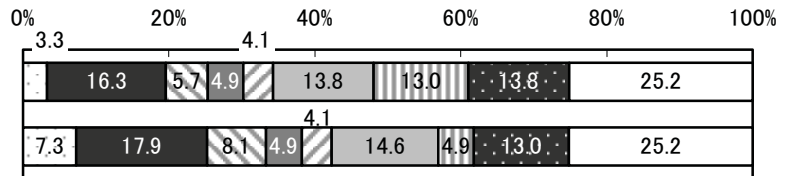


無職

N = 123

①希望

②現実

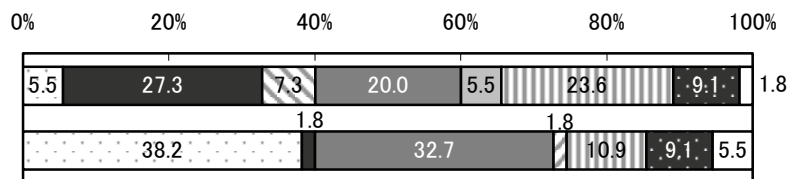


その他

N = 55

①希望

②現実



(9) ドメスティック・バイオレンスなどについて

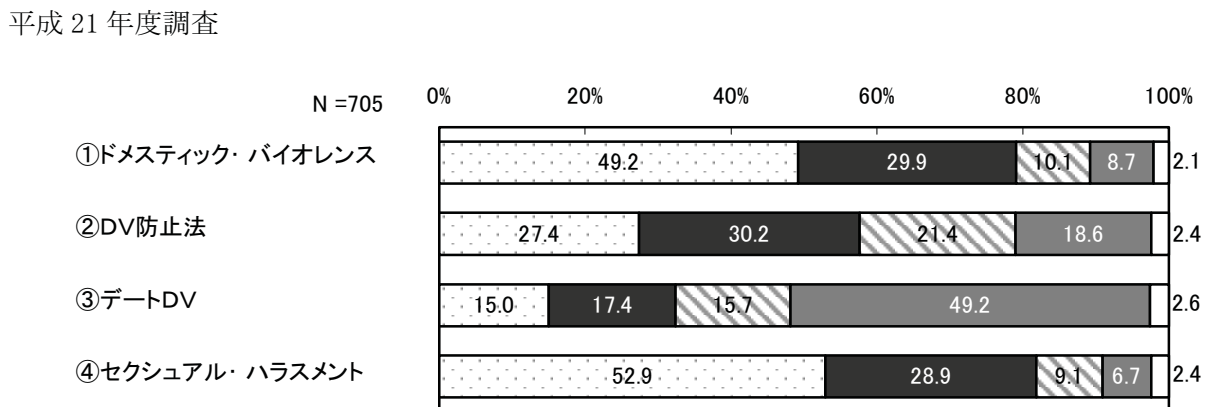
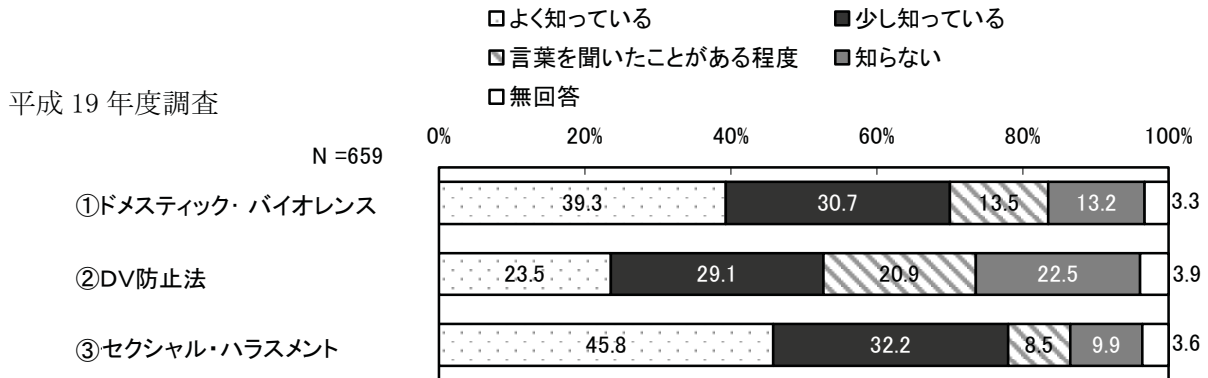
問24. あなたは、次の言葉および法律の内容についてご存知ですか。

①～④のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

「①ドメスティック・バイオレンス」と「④セクシュアル・ハラスメント」では、「よく知っている」の割合が最も高く、それぞれ49.2%、52.9%となっている。それに対し、「③デートDV」では、「知らない」の割合が49.2%と最も高くなっている。

「②DV防止法」では、「少し知っている」の割合が30.2%と最も高く、次いで「よく知っている」の割合が27.4%となっており、「よく知っている」と「少し知っている」をあわせた割合が57.6%となっている。

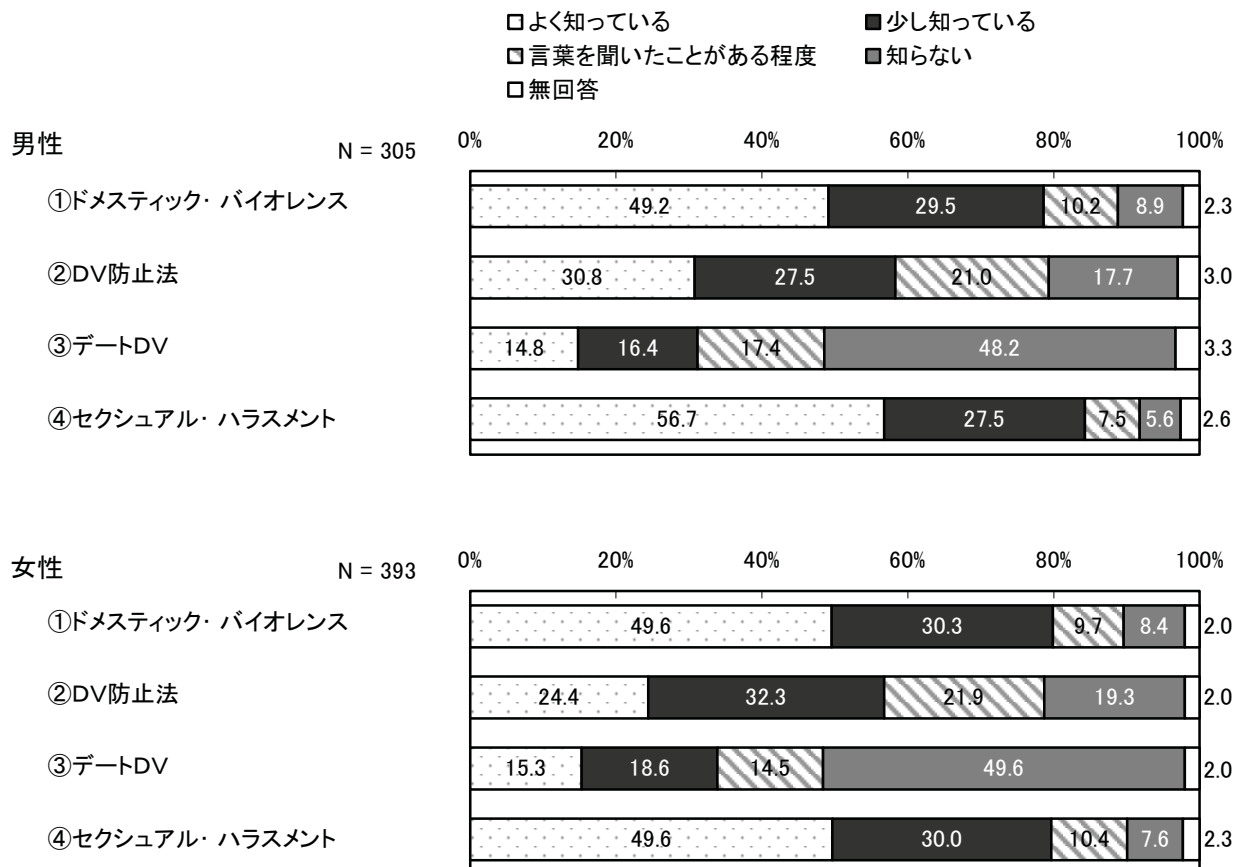
前回調査結果と比較すると、前回の調査には含まれていなかった「③デートDV」をのぞいたすべての項目で「よく知っている」の割合が高くなっている。





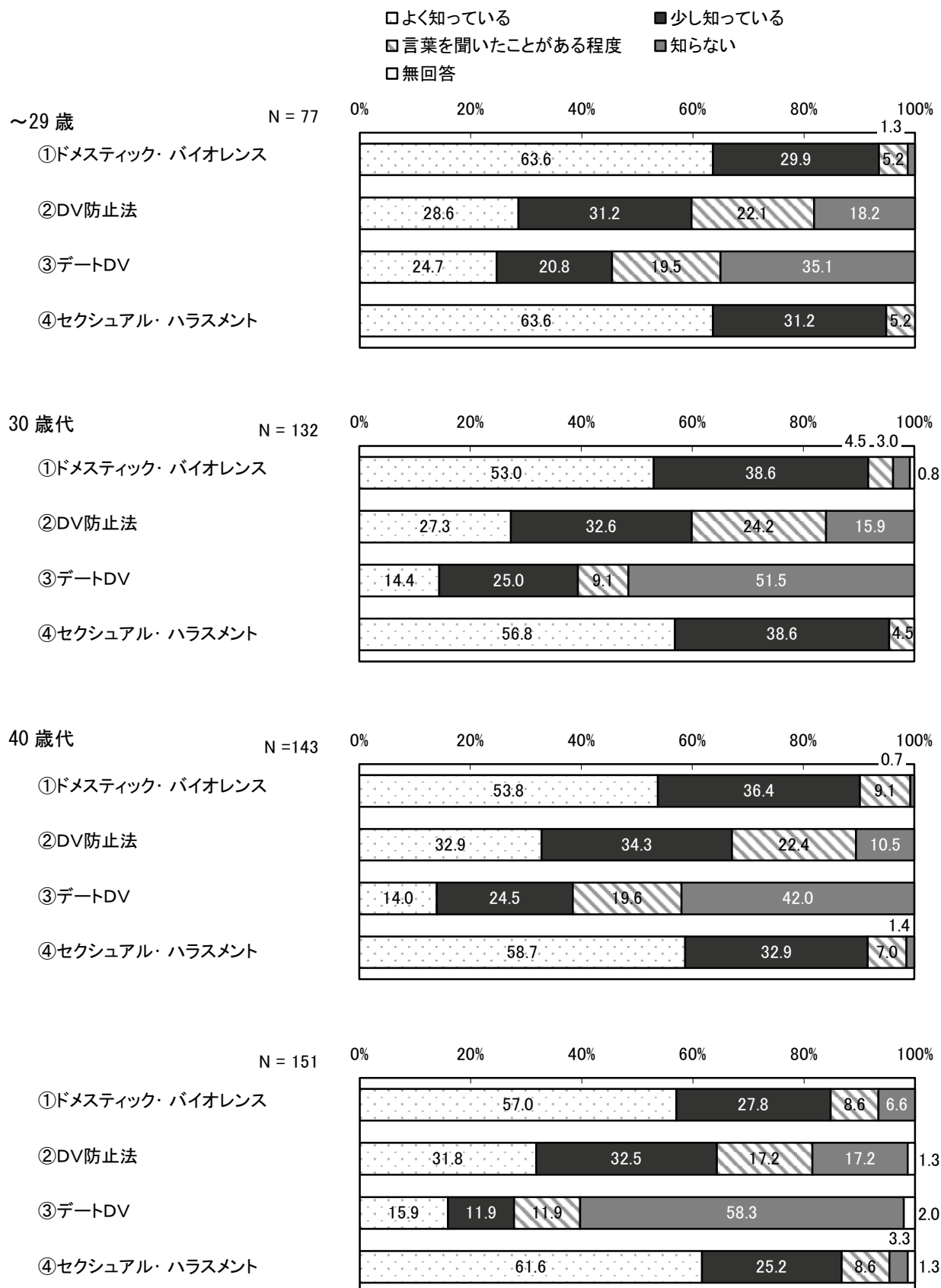
男女別には大きな差異はみられない。

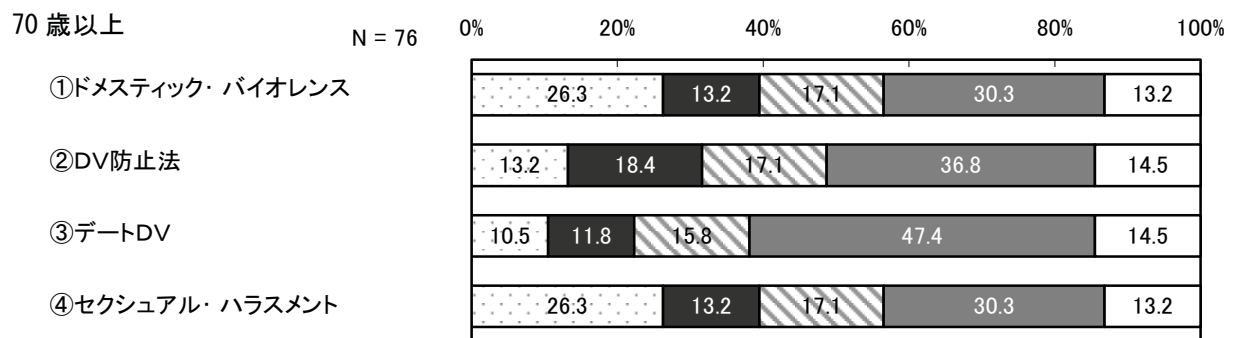
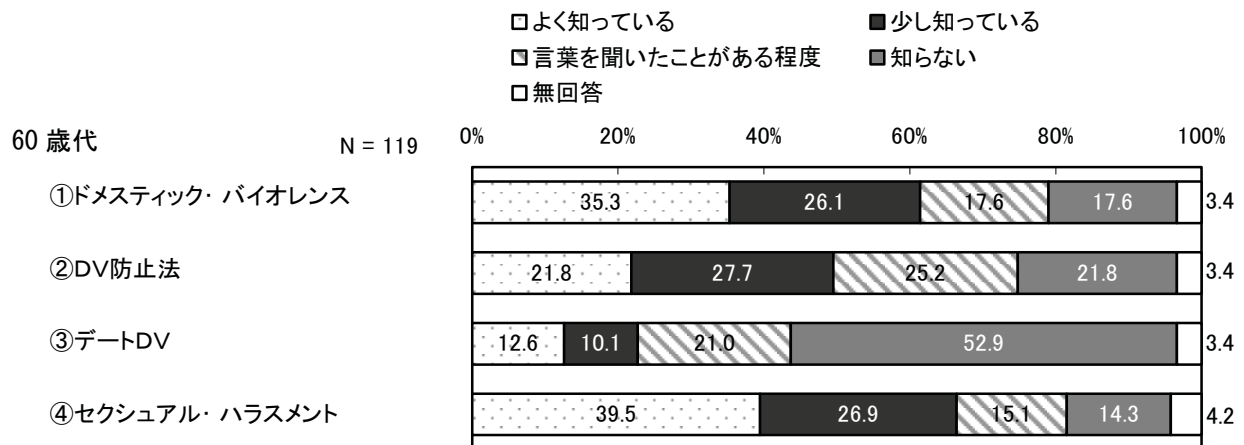
【男女別】



年齢別にみると、すべての項目で年齢が高くなるにつれて「よく知っている」と「少し知っている」をあわせた割合が低くなる傾向がある。

【年齢別】



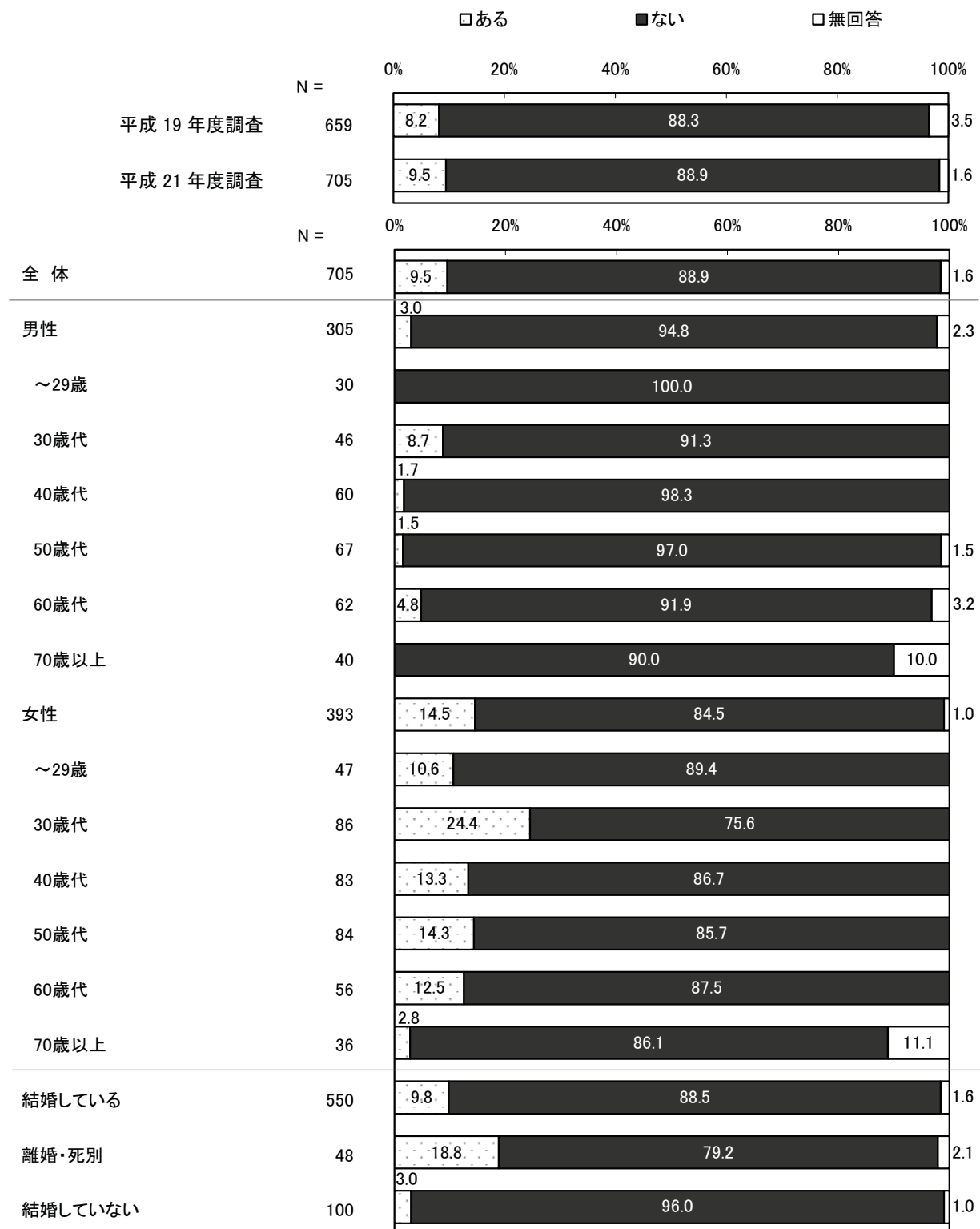


問25. あなたはこれまでに、結婚相手や恋人から暴力を受けた経験がありますか。次の中から選んで○印をつけてください。

「ある」の割合が9.5%、「ない」の割合が88.9%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

男女年齢別にみると、男性に比べ女性で「ある」の割合が高くなっており、他の年代に比べ女性の30歳代で「ある」の割合が高くなっている。



問25で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問25-1. その暴力はどのようなものでしたか。これまでの状況に関して①～⑬のそれぞれについて、1 つずつ選んで○印をつけてください。また、現在の状況についても同様に、1 つずつ選んで○印をつけてください。

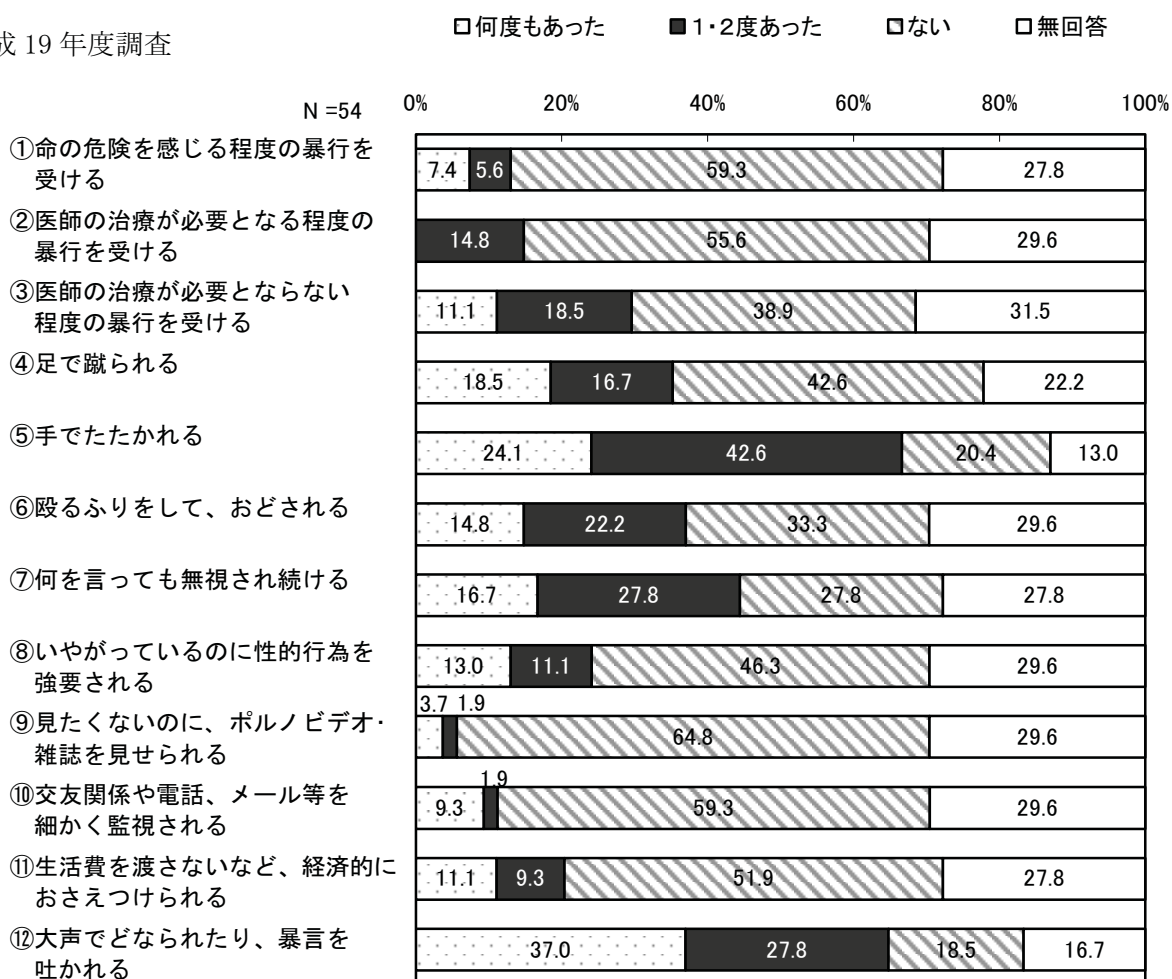
これまでに「何度もあった」の割合が最も高いのは、「⑫大声でどなられたり、暴言を吐かれる」で61.2%となっており、前回調査結果と比較しても、大幅に高くなっている。

「④足で蹴られる」、「⑤手でたたかれる」、「⑥殴るふりをして、おどされる」では、「何度もあった」と「1・2度あった」をあわせた割合が高く、約5割以上を占めている。

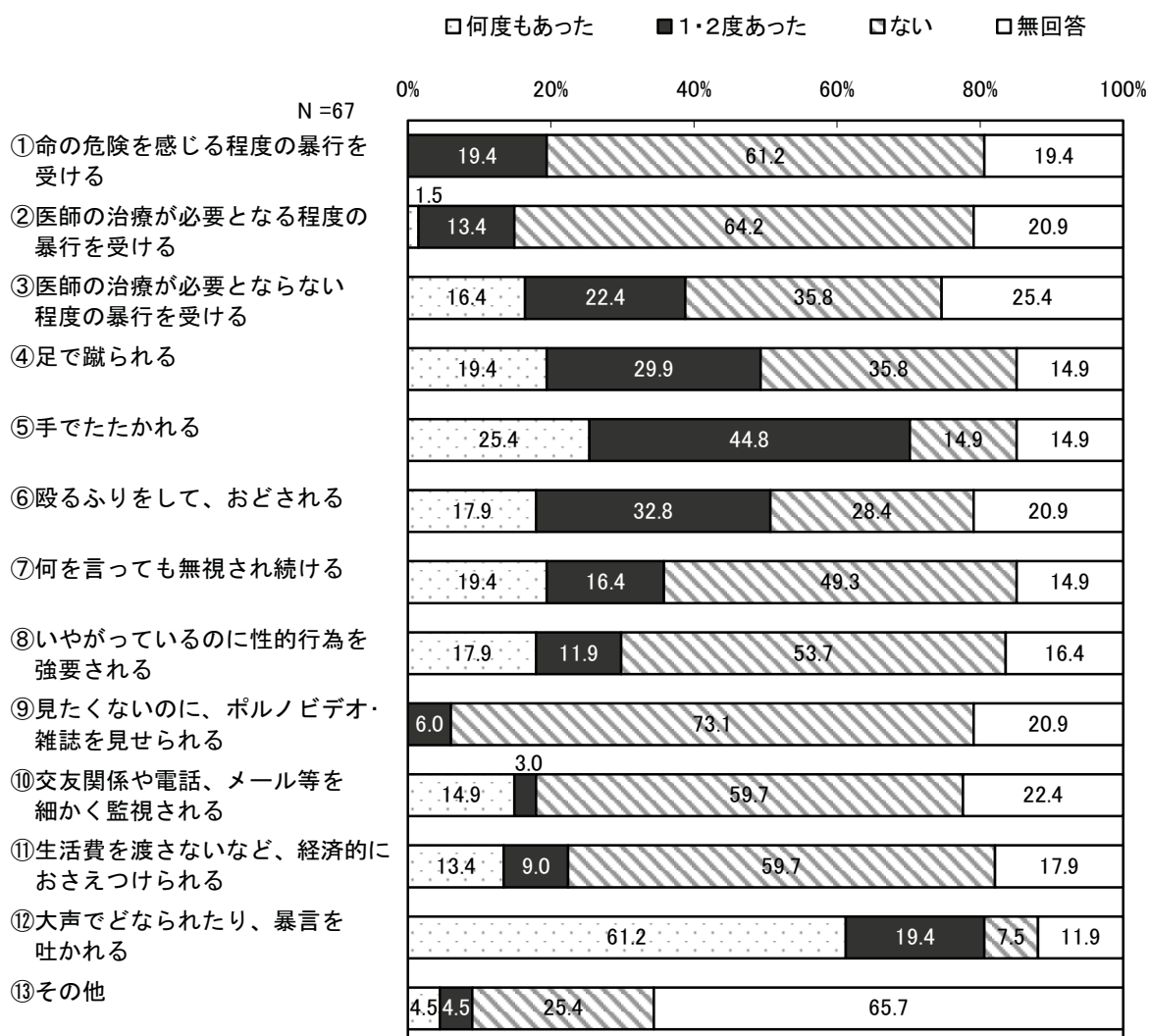
前回調査結果と比較すると、「③医師の治療が必要とならない程度の暴行を受ける」、「⑩交友関係や電話、メール等を細かく監視される」では、「何度もあった」の割合が高くなっている。

### ○これまで

平成19年度調査



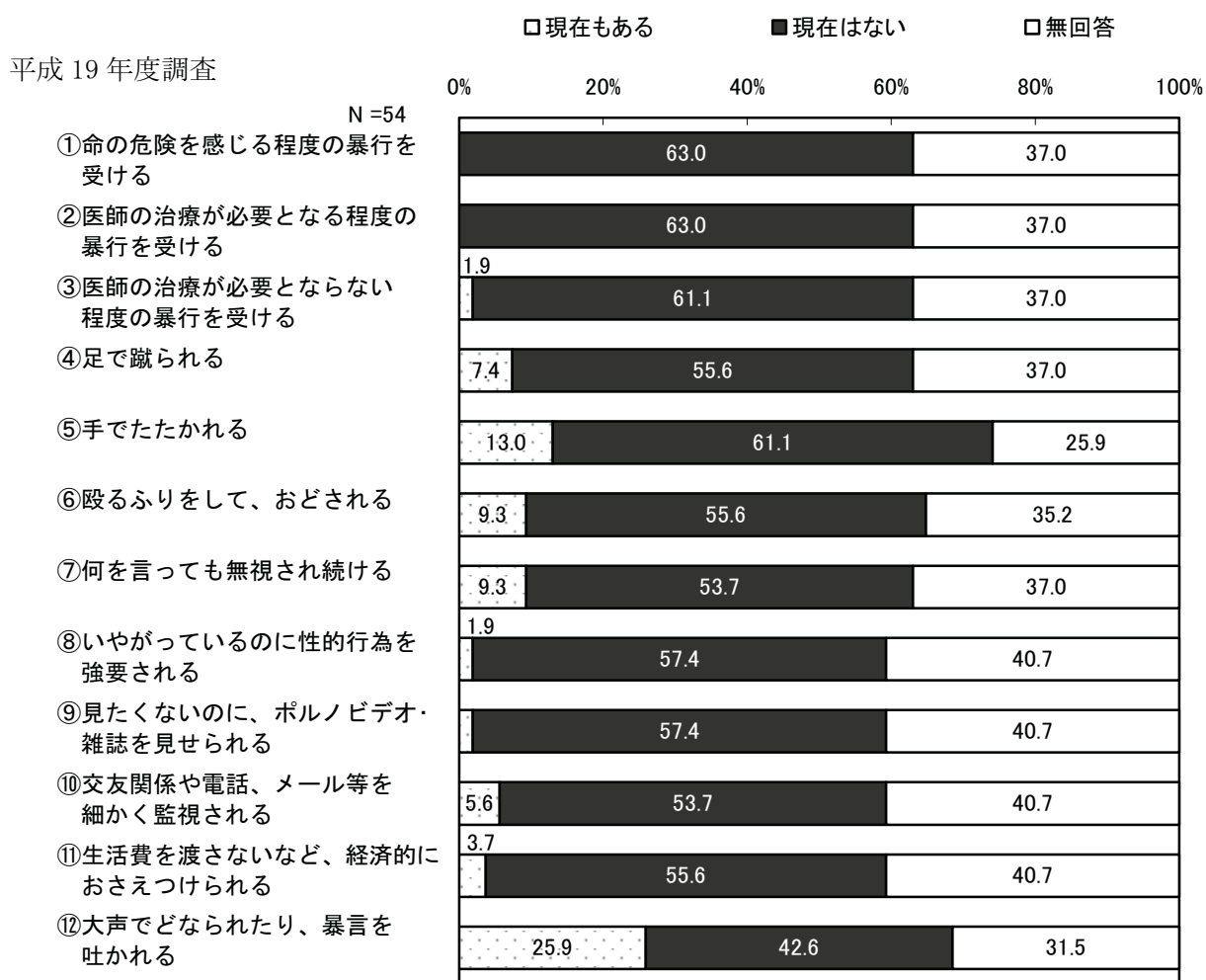
平成 21 年度調査

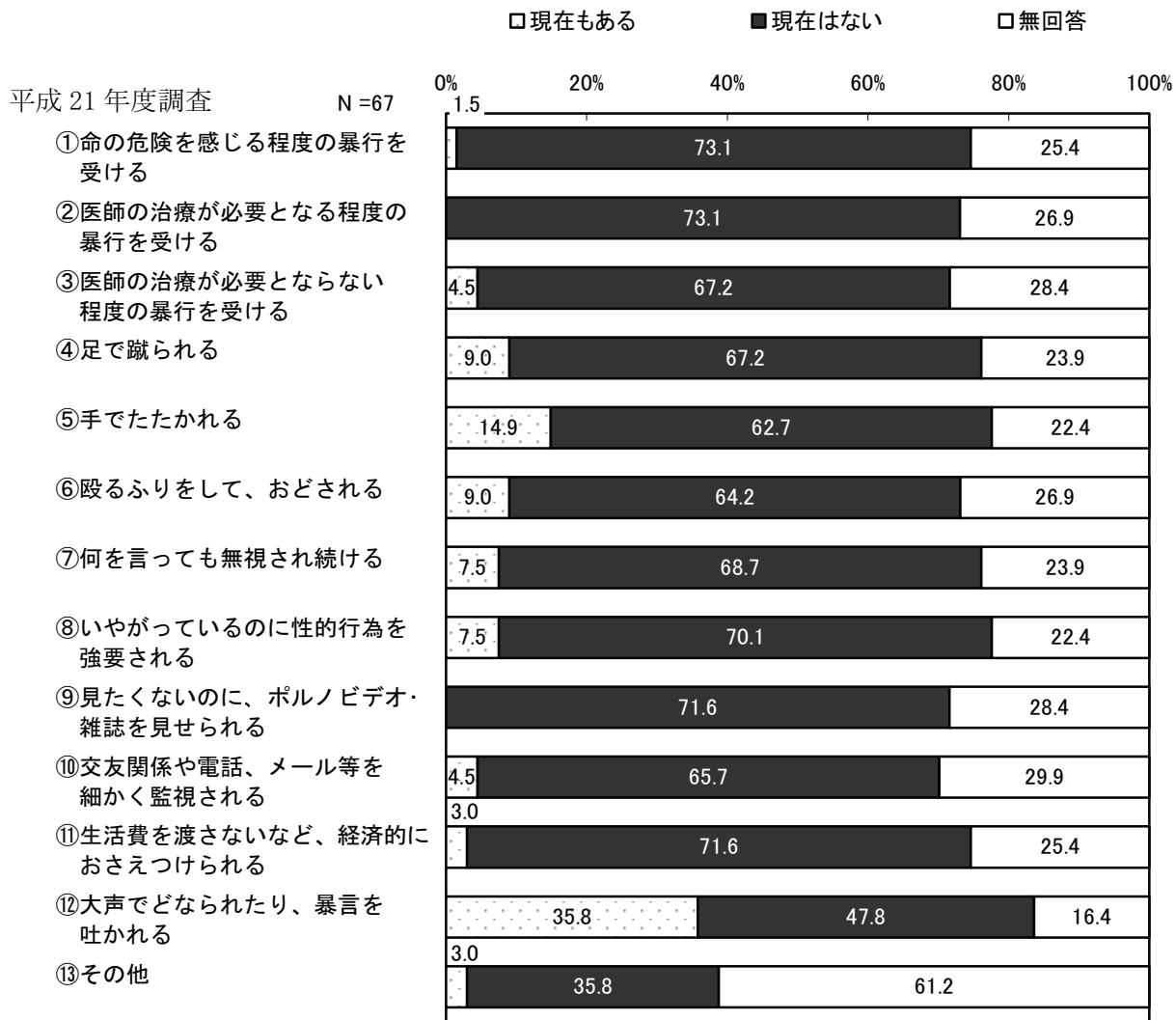


現在の状況については、「現在もある」の割合が最も高いのは、「⑫大声でどなられたり、暴言を吐かれる」で35.8%となっており、前回調査結果と比較しても、大幅に高くなっている。

他の分野では、前回調査結果と比較すると、「⑧いやがっているのに性的行為を強要される」の割合が高くなっている。

○現在





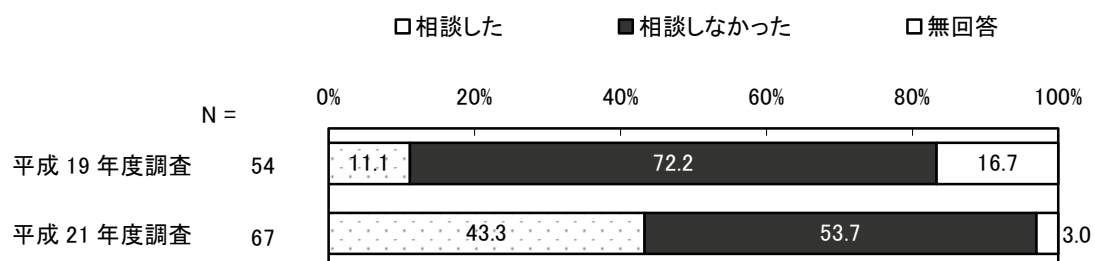


問25で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問25-2. 暴力を受けたとき誰かに相談しましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「相談しなかった」の割合が53.7%と半数を占めており、「相談した」の割合が43.3%となっている。

前回調査結果と比較すると、「相談した」の割合が大幅に高くなっている。

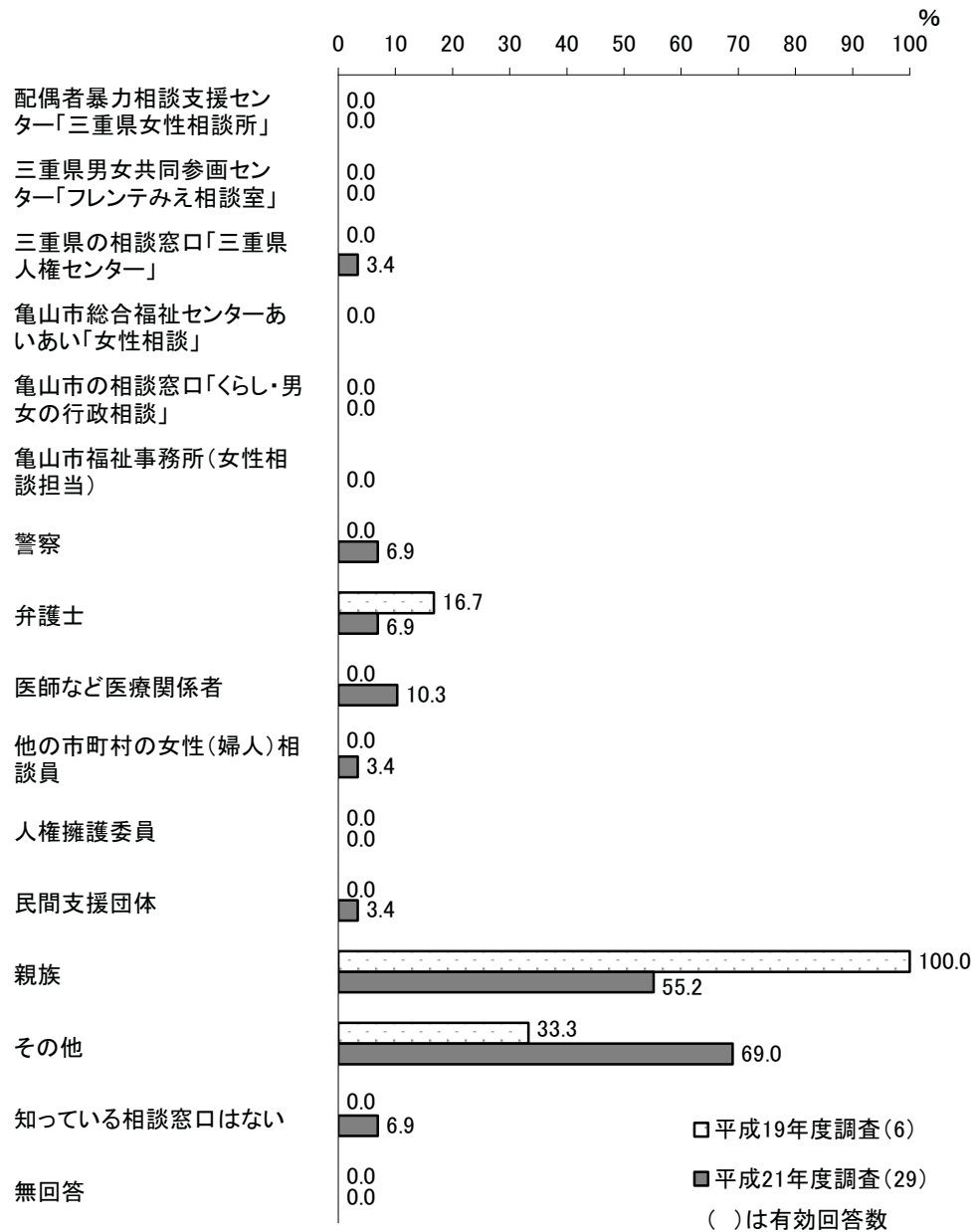


問25-2で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします。

問25-3. どのような所および人に相談しましたか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

「友人・知人」の割合が69.0%と最も高く、次いで「親族」の割合が55.2%となっている。

前回調査結果と比較すると、「友人・知人」の割合が大幅に高く、「親族」、「弁護士」の割合が大幅に低くなっている。また、「医師など医療関係者」、「警察」、「三重県の相談窓口「三重県人権センター」」、「民間支援団体」の割合が高くなっている。



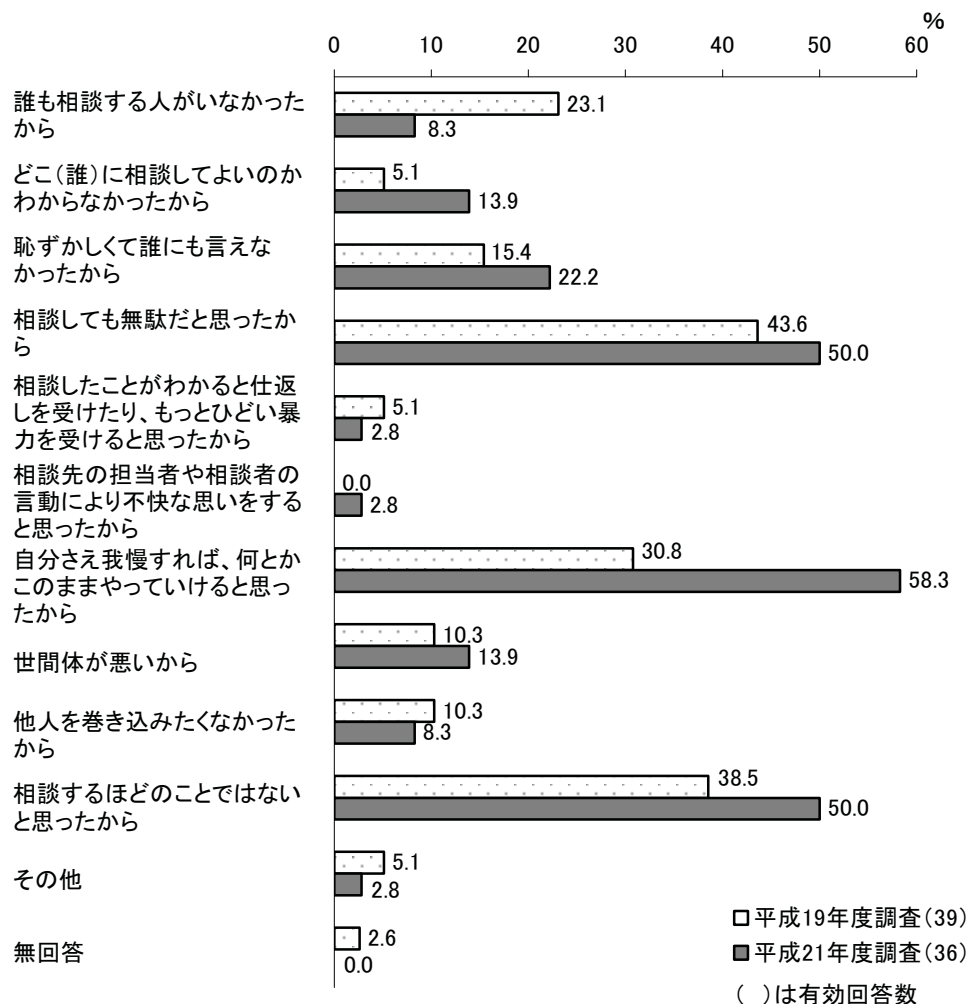
※「亀山市総合福祉センターあいあい「女性相談」は平成21年度調査にはありません。「亀山市福祉事務所(女性相談担当)」は平成19年度調査にはありません。  
※平成19年度調査では、「他の市町村の女性(婦人)相談員」は「婦人相談員」

問25-2で「2. 相談しなかった」と答えた方にお聞きします。

問25-4. どこ（誰）にも相談しなかったのはなぜですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」の割合が58.3%と最も高く、次いで「相談しても無駄だと思ったから」、「相談するほどのことではないと思ったから」の割合がともに50.0%となっている。

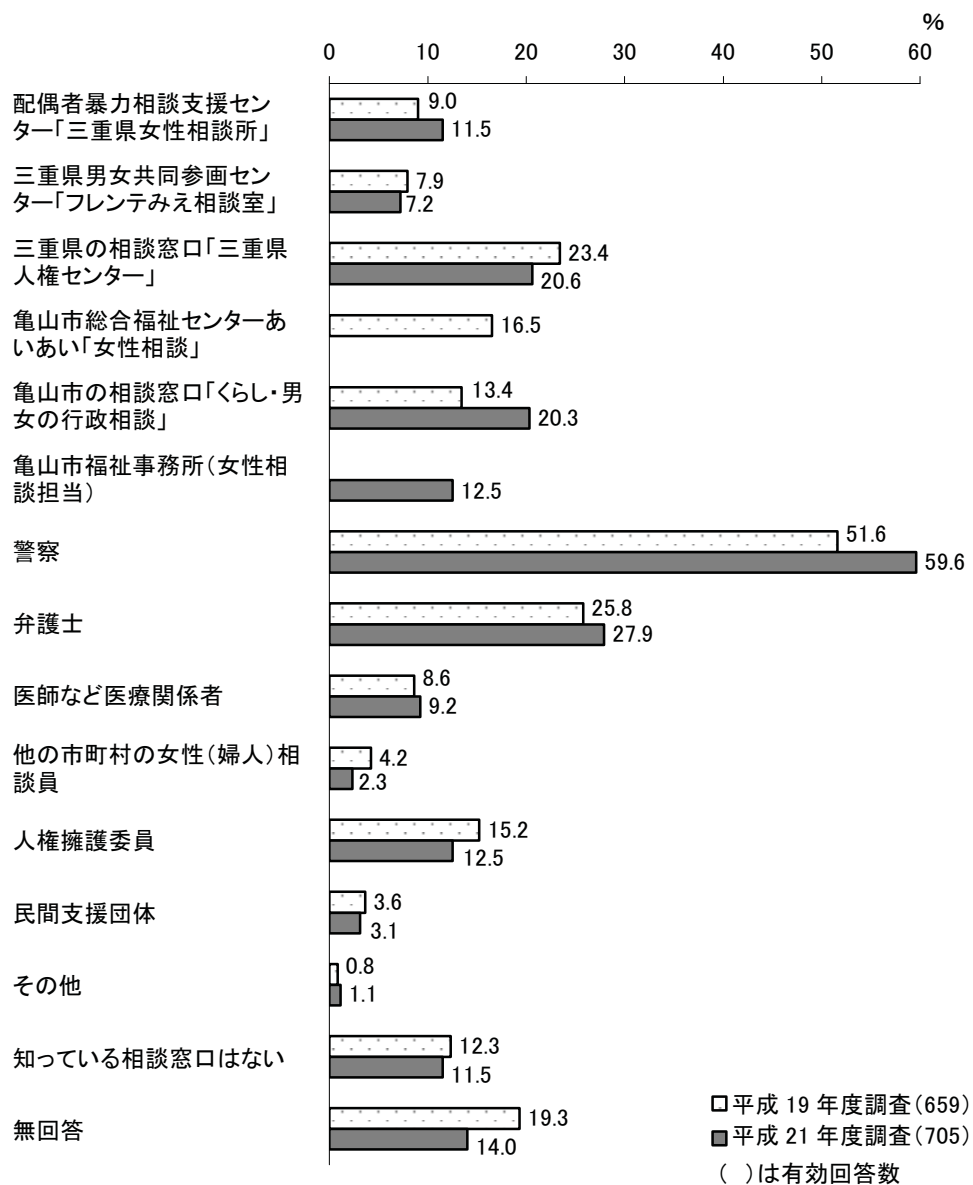
前回調査結果と比較すると、「自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから」、「相談しても無駄だと思ったから」、「相談するほどのことではないと思ったから」、「恥ずかしくて誰にも言えなかったから」、「どこ（誰）に相談してよいのかわからなかったから」の割合が大幅に高くなっている。一方で「誰も相談する人がいなかったから」の割合が大幅に低くなっている。



問26. 結婚相手や恋人から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者などの窓口のなかで、そのような相談ができることを知っていたものについて、次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

「警察」の割合が59.6%と最も高く、次いで「弁護士」の割合が27.9%、「三重県の相談窓口「三重県人権センター」」の割合が20.6%、「亀山市の相談窓口「くらし・男女の行政相談」」の割合が20.3%となっている。

前回調査結果と比較すると、「警察」、「亀山市の相談窓口「くらし・男女の行政相談」」の割合が高くなっており、他の項目では、大きな変化はみられない。

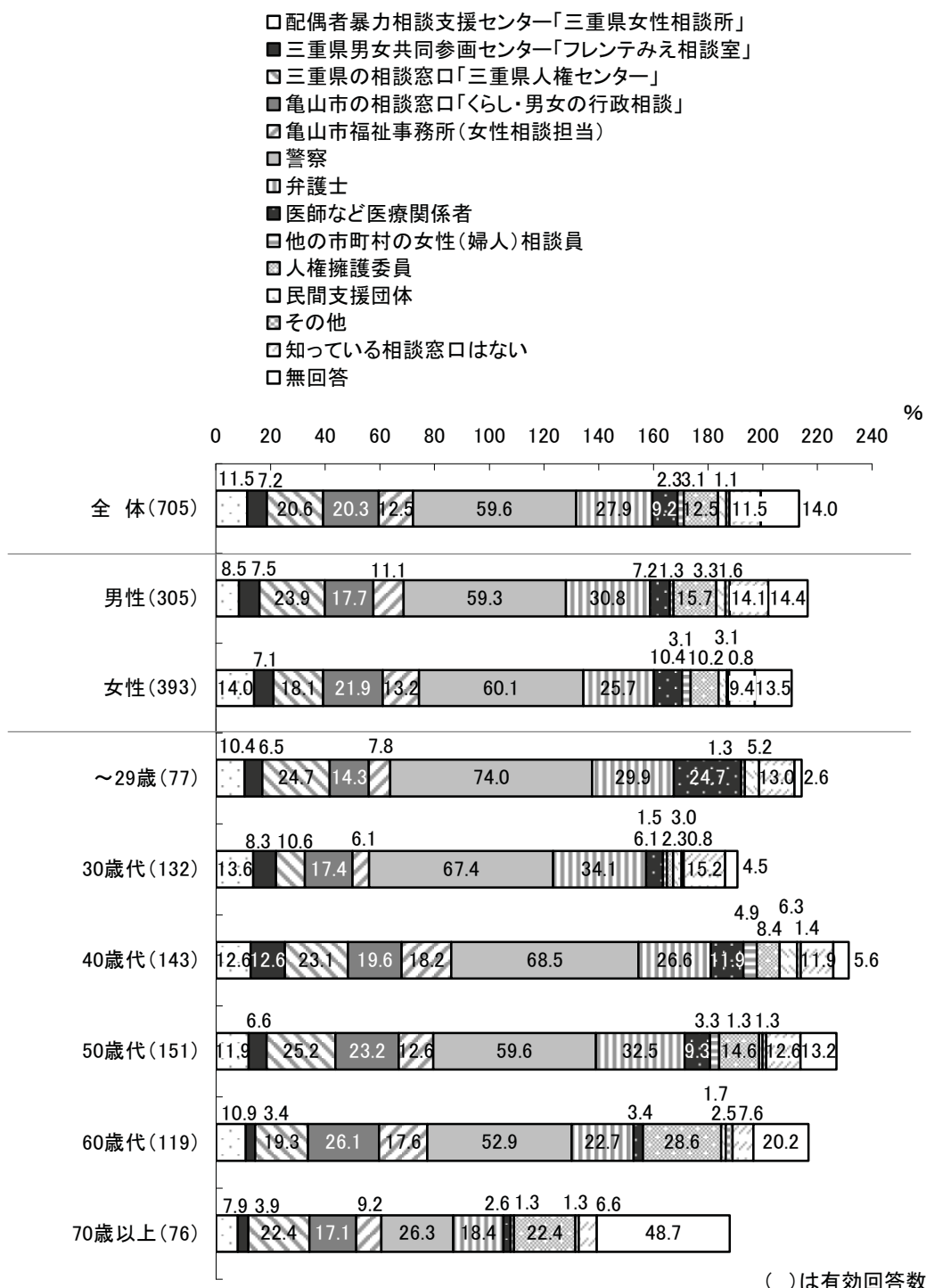


※平成19年度調査では、「他の市町村の女性(婦人)相談員」は「婦人相談員」

※「亀山市総合福祉センターあいあい「女性相談」」は平成21年度調査にはありません。「亀山市福祉事務所(女性相談担当)」は平成19年度調査にはありません。

男女別にみると、女性に比べ男性で「三重県の相談窓口「三重県人権センター」、「弁護士」、「人権擁護委員」の割合が高くなっている。また、男性に比べ女性で「配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」の割合が高くなっている。また、「知っている相談窓口はない」の割合は女性に比べ男性で高い。

年齢別にみると、「三重県の相談窓口「三重県人権センター」の割合は、他の年代に比べ30歳代で認知度が低く、「亀山市の相談窓口「くらし・男女の行政相談」の割合は、60歳代以下で年齢が高くなるにつれて認知度が高く、「亀山市福祉事務所（女性相談担当）」の割合は、他の年代に比べ30歳代以下で認知度が低く、「警察」の割合は、40歳代以下で認知度が高くなっている。また、「知っている相談窓口はない」の割合は、他の年代に比べ50歳代以上で高くなっている。

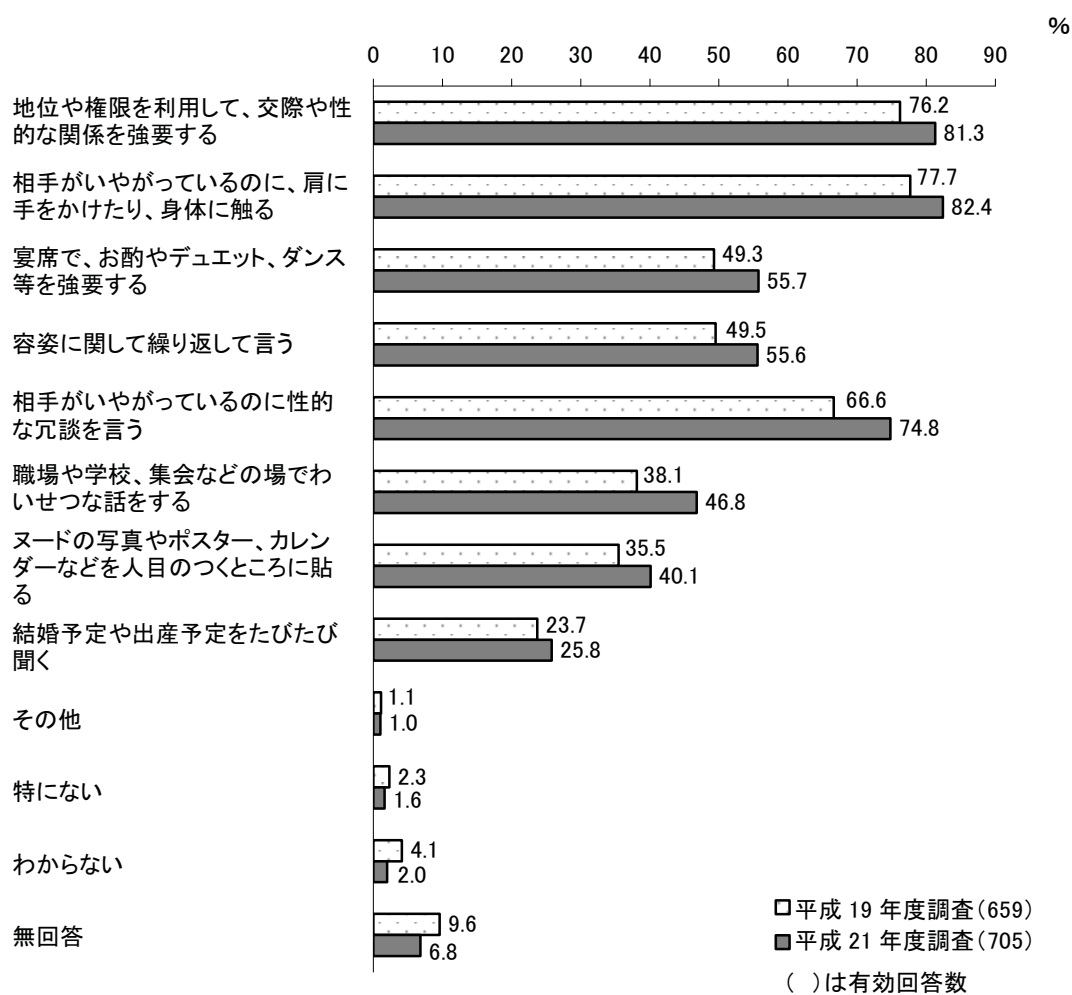


( )は有効回答数

問27. あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

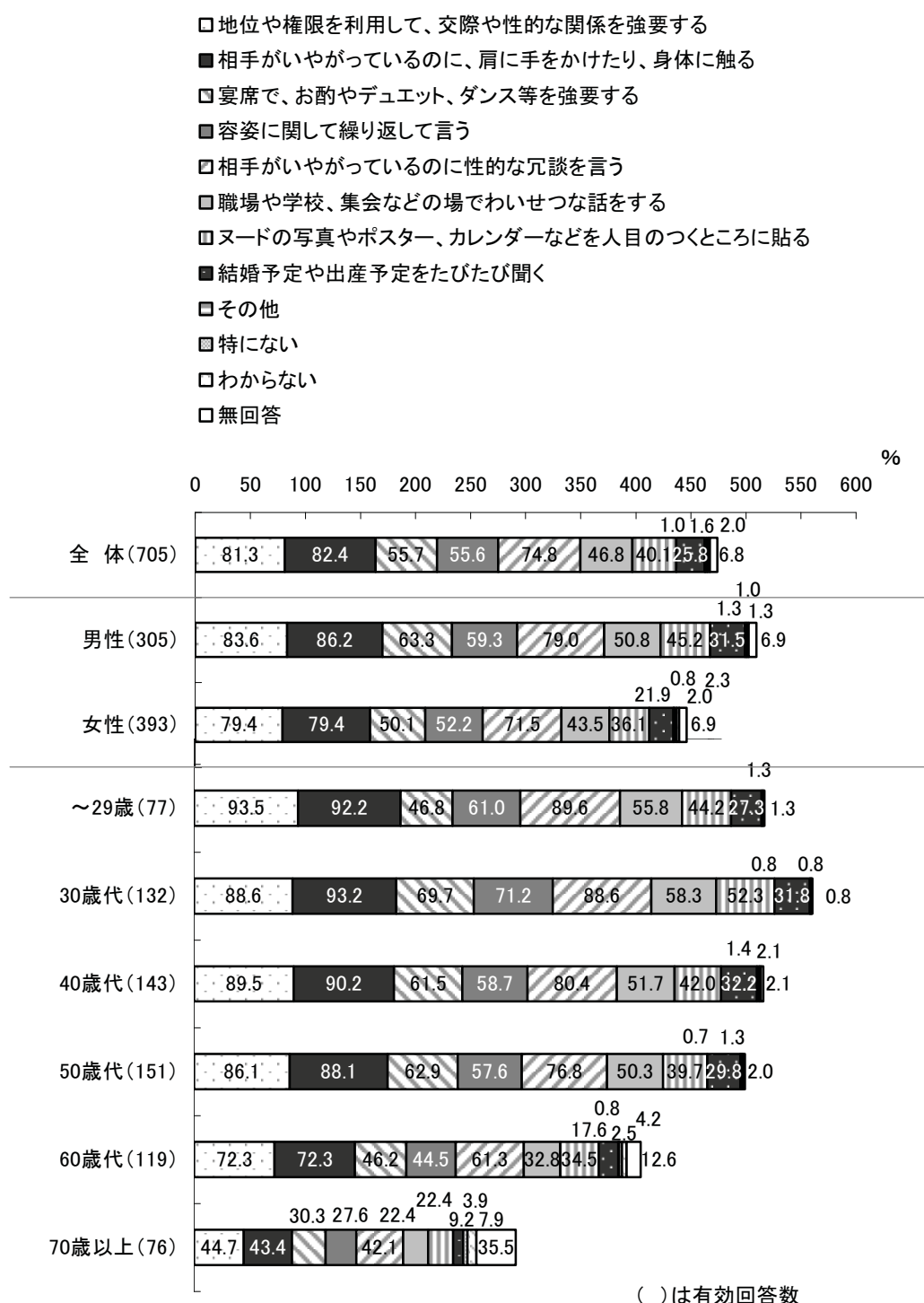
「相手がいやがっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る」の割合が82.4%と最も高く、次いで「地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する」の割合が81.3%、「相手がいやがっているのに性的な冗談を言う」の割合が74.8%となっている。

前回調査結果と比較すると、いずれの項目も割合が高くなっている。



男女別にみると、女性に比べ男性で概ねすべての項目の割合が高くなっている。

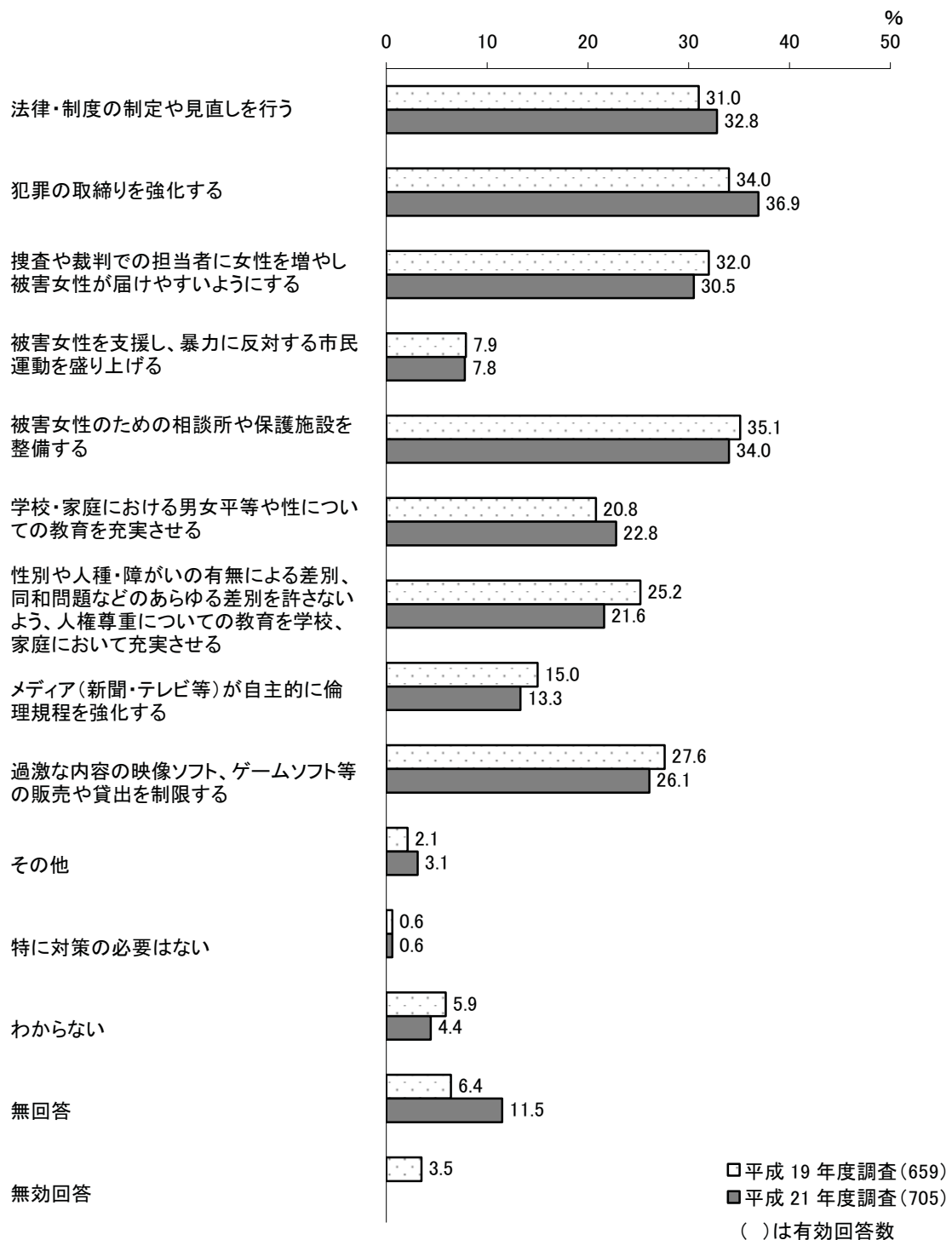
年齢別にみると、「地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する」の割合は、他の年代に比べ30歳未満で高く、「相手がいやがっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る」の割合は、他の年代に比べ40歳代以下で高く、「宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する」、「容姿に関して繰り返して言う」、「相手がいやがっているのに性的な冗談を言う」の割合は、30歳代以上で高くなっている。また、他の年代に比べ60歳代以上ですべての項目で低くなっている。



問28. 近年において、性犯罪や売買春（いわゆる「援助交際」を含む）、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等についての関心が高まっていますが、このようなことをなくすためにはどうしたらよいと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

「犯罪の取締りを強化する」の割合が36.9%と最も高く、次いで「被害女性のための相談所や保護施設を整備する」の割合が34.0%、「法律・制度の制定や見直しを行う」の割合が32.8%、「捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする」の割合が30.5%となっている。

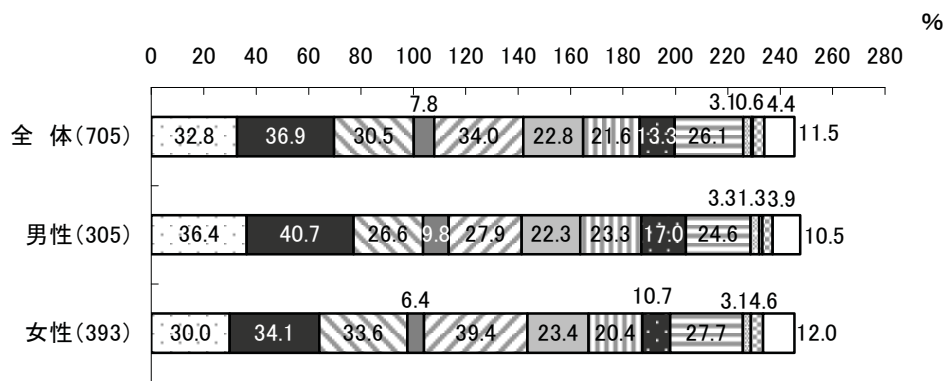
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。





男女別にみると、女性に比べ男性で「法律・制度の制定や見直しを行う」、「犯罪の取締りを強化する」、「メディア（新聞・テレビ等）が自主的に倫理規程を強化する」の割合が高くなっている。また、男性に比べ女性で「捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする」、「被害女性のための相談所や保護施設を整備する」の割合が高くなっている。

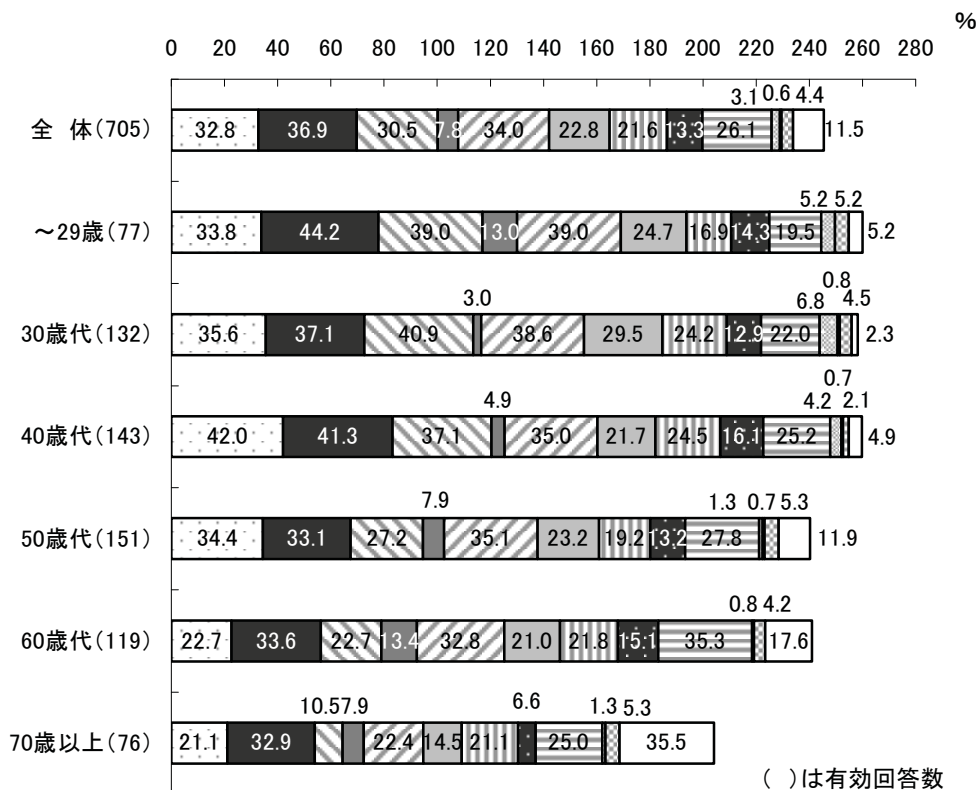
- 法律・制度の制定や見直しを行う
- 犯罪の取締りを強化する
- 捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする
- 被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
- 被害女性のための相談所や保護施設を整備する
- 学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる
- 性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などのあらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を学校、家庭において充実させる
- メディア（新聞・テレビ等）が自主的に倫理規程を強化する
- 過激な内容の映像ソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する
- その他
- 特に対策の必要はない
- わからない
- 無回答



( )は有効回答数

年齢別にみると、「法律・制度の制定や見直しを行う」の割合は、他の年代に比べ 40 歳代で高く、「捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする」の割合は、他の年代に比べ 40 歳代以下で高く、「過激な内容の映像ソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する」の割合は、他の年代に比べ 60 歳代で高くなっている。

- 法律・制度の制定や見直しを行う
- 犯罪の取締りを強化する
- 捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする
- 被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
- 被害女性のための相談所や保護施設を整備する
- 学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる
- 性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などのあらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を学校、家庭において充実させる
- メディア(新聞・テレビ等)が自主的に倫理規程を強化する
- 過激な内容の映像ソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する
- その他
- 特に対策の必要はない
- わからない
- 無回答



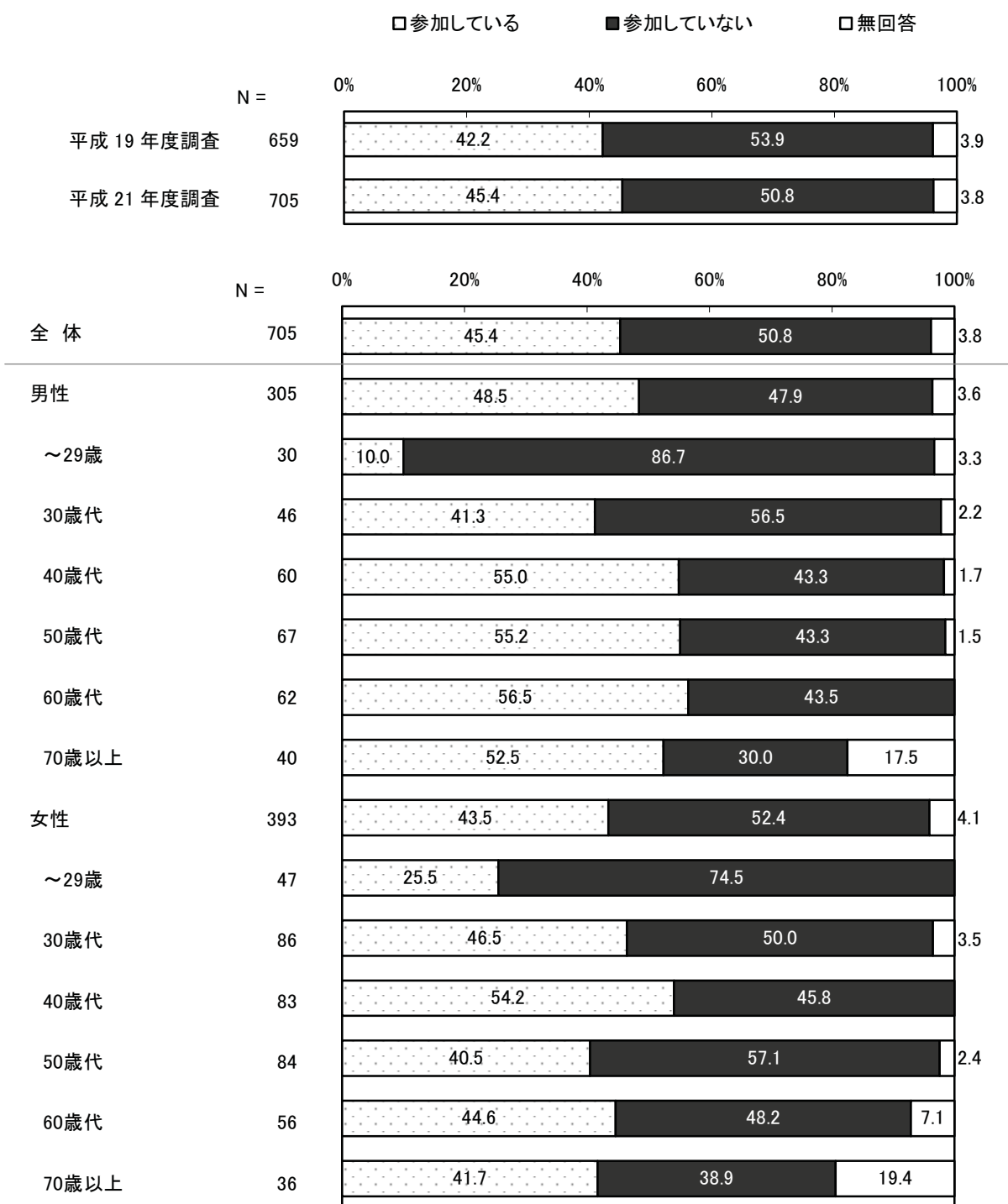
## (10) 社会参加について

問29. あなたは現在、地域における社会活動に参加していますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

「参加していない」の割合が50.8%と半数を占めており、「参加している」の割合が45.4%となっている。

前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。

男女年齢別にみると、女性に比べ男性で「参加している」の割合が高くなっており、他の年代に比べ男女ともに30歳代未満で「参加している」の割合が低くなっている。



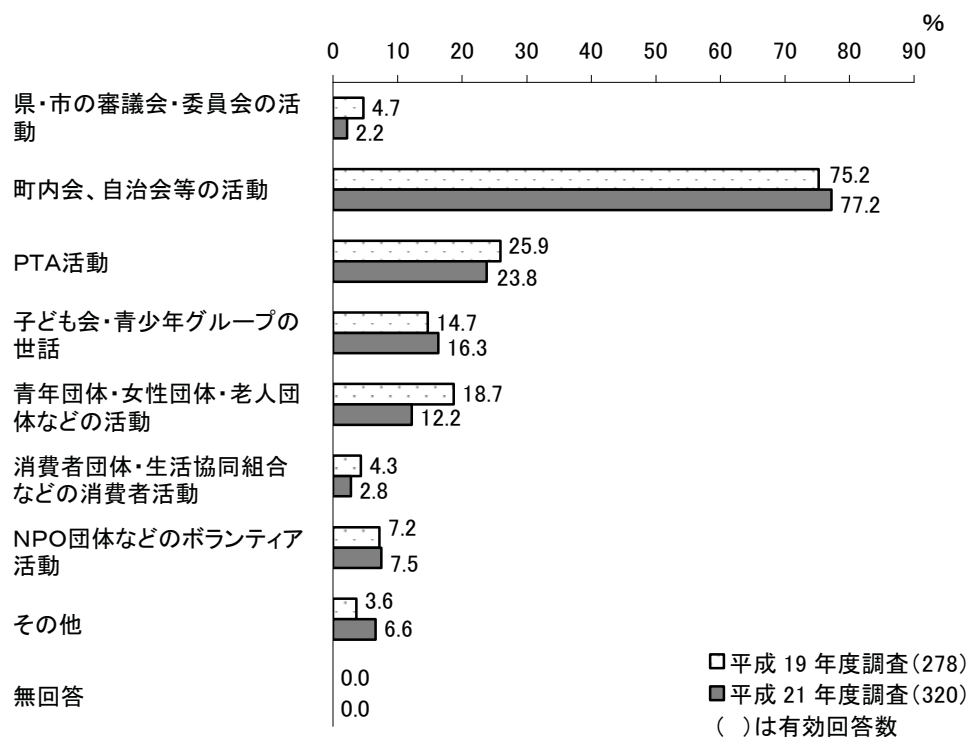
問29で「1. 参加している」と答えた方にお聞きします。

問29-1. あなたが参加している社会活動はどのようなものですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

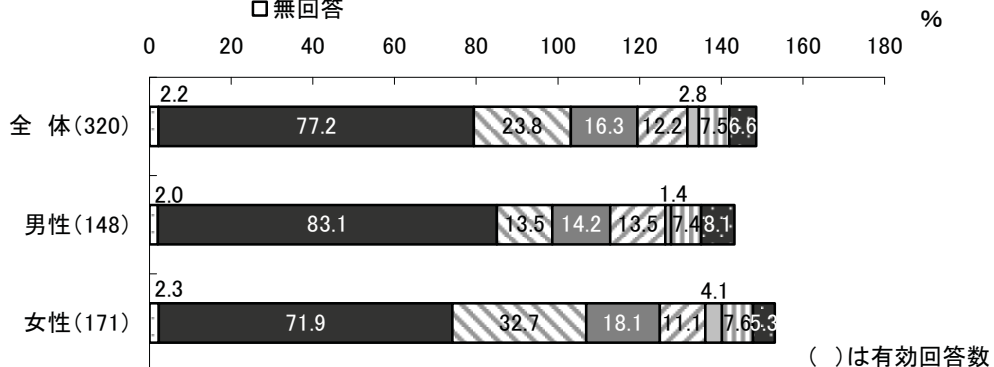
「町内会、自治会等の活動」の割合が77.2%と最も高く、次いで「PTA活動」の割合が23.8%、「子ども会・青少年グループの世話」の割合が16.3%となっている。

前回調査結果と比較すると、「青年団体・女性団体・老人団体などの活動」の割合が低くなっている。

男女別にみると、女性に比べ男性で「町内会、自治会等の活動」の割合が高くなっている。また、男性に比べ女性で「PTA活動」の割合が高くなっている。



- 県・市の審議会・委員会の活動
- 町内会、自治会等の活動
- ▨ PTA活動
- ▩ 子ども会・青少年グループの世話
- ▧ 青年団体・女性団体・老人団体などの活動
- ▦ 消費者団体・生活協同組合などの消費者活動
- ▥ NPO団体などのボランティア活動
- その他
- 無回答

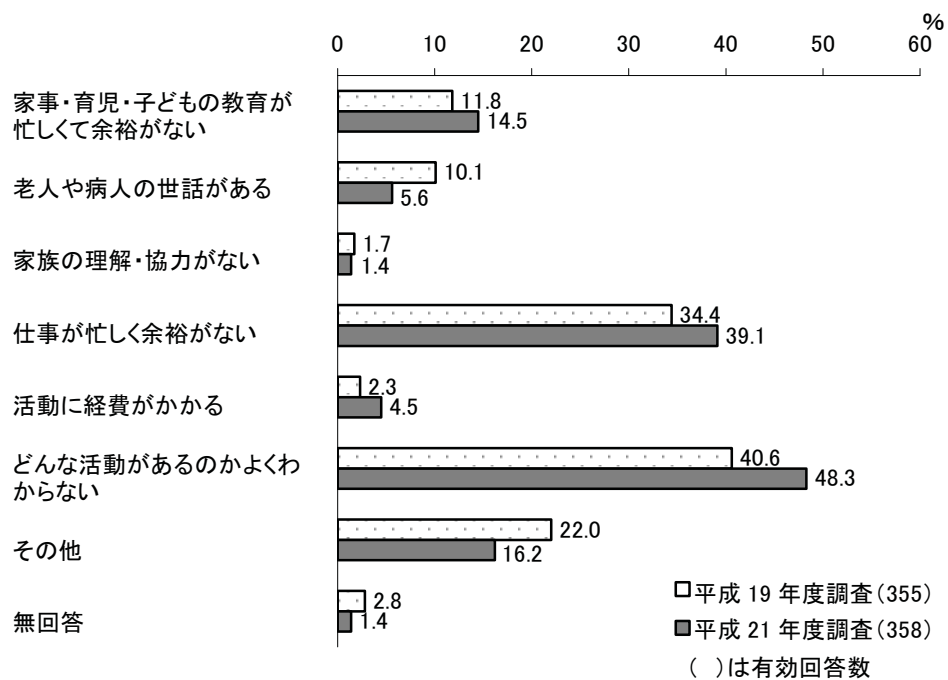


問29で「2. 参加していない」と答えた方にお聞きします。

問29-2. 社会活動に参加していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

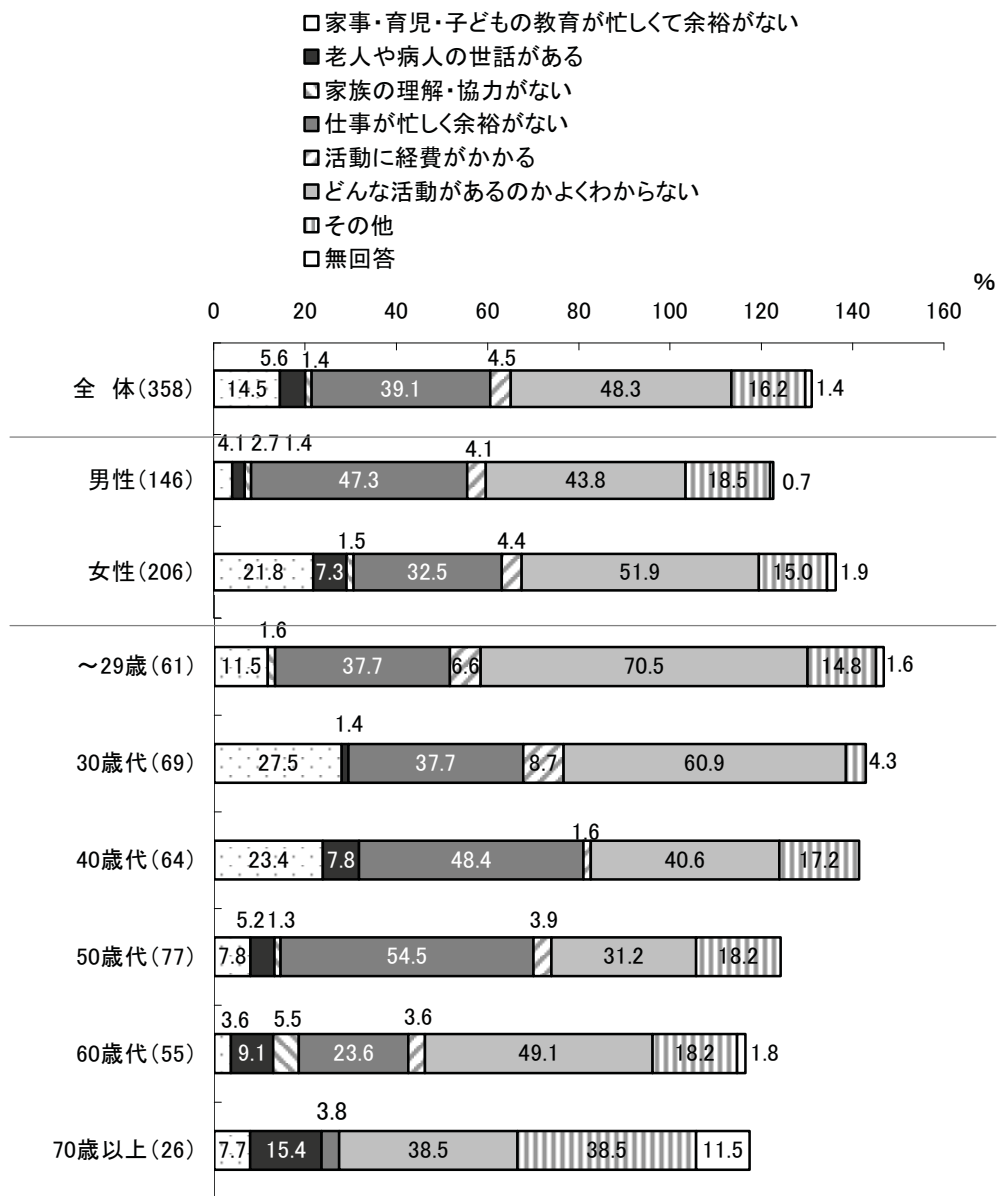
「どんな活動があるのかよくわからない」の割合が48.3%と最も高く、次いで「仕事が忙しく余裕がない」の割合が39.1%となっている。

前回調査結果と比較すると、「どんな活動があるのかよくわからない」の割合が高くなっている。



男女別にみると、女性に比べ男性で「仕事が忙しく余裕がない」の割合が高くなっている。また、男性に比べ女性で「家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない」、「どんな活動があるのかよくわからない」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、他の年代に比べ30歳代以下で「どんな活動があるのかよくわからない」、他の年代に比べ30歳代、40歳代で「家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない」、他の年代に比べ40歳代、50歳代で「仕事が忙しく余裕がない」の割合が高くなっている。

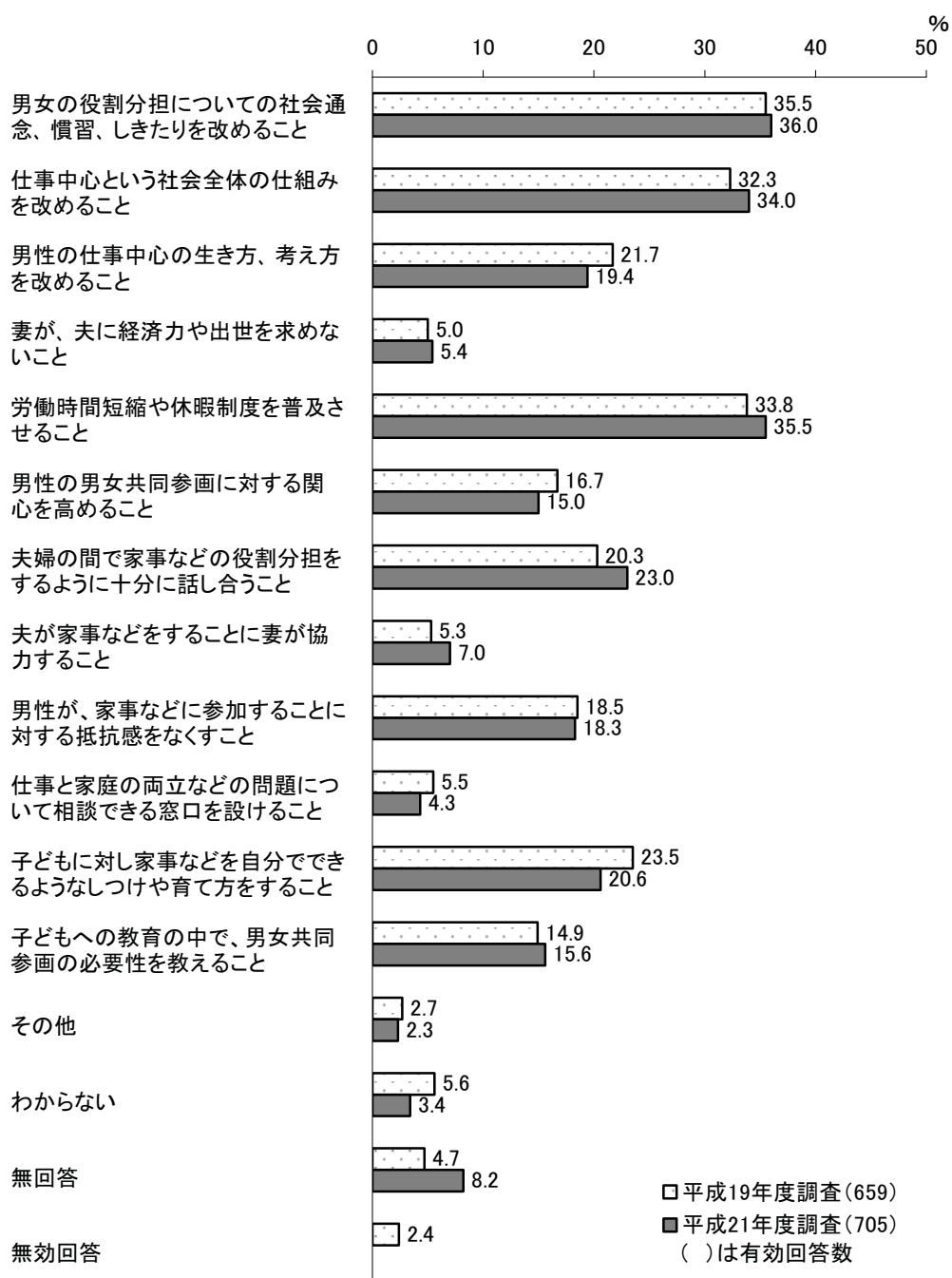


( )は有効回答数

問30. 今後、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」の割合が36.0%と最も高く、次いで「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」の割合が35.5%、「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」の割合が34.0%となっている。

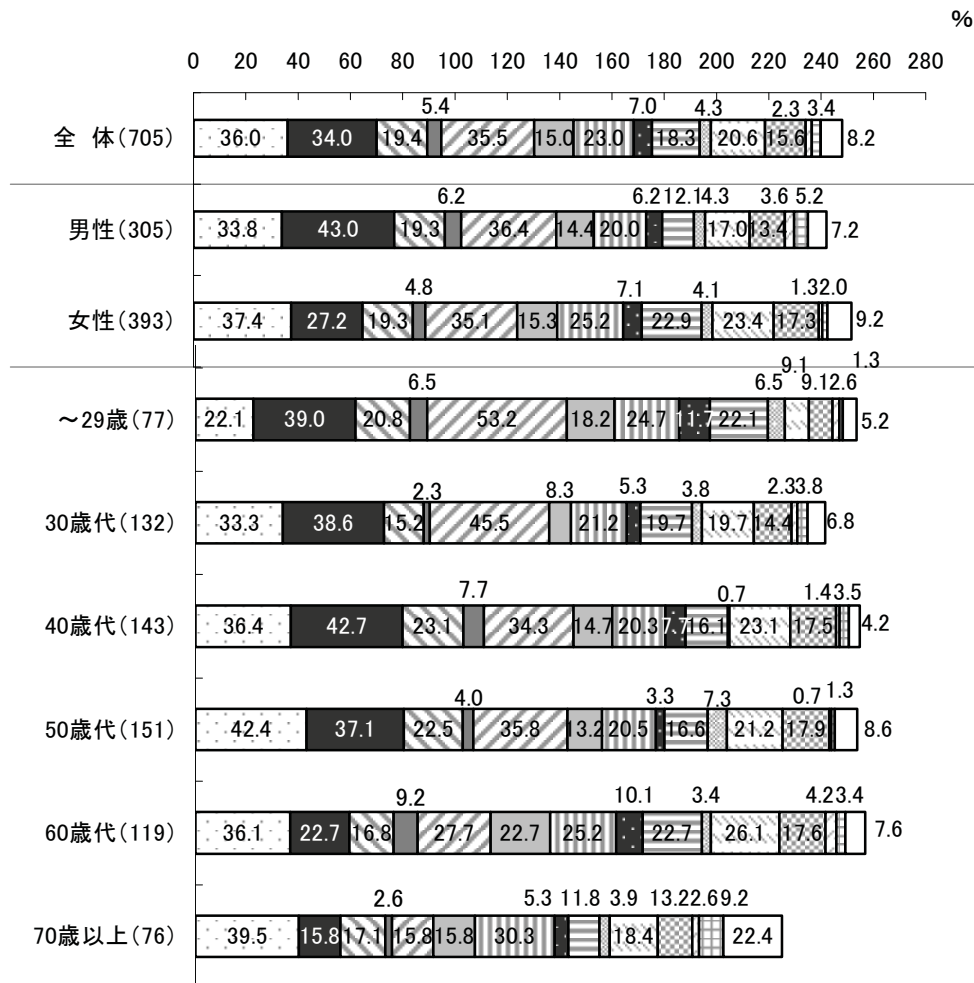
前回調査結果と比較すると、大きな変化はみられない。



男女別にみると、女性に比べ男性で「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」の割合が高くなっている。また、男性に比べ女性で「夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと」、「男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと」、「子どもに対し家事などを自分でできるようなしつけや育て方をすること」の割合が高くなっている。

年齢別にみると、他の年代に比べ50歳代以下で「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」、「労働時間短縮や休暇制度を普及させること」の割合が高くなっている。また、他の年代に比べ70歳以上で「夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと」の割合が高くなっている。

- 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
- 仕事中心という社会全体の仕組みを改めること
- ▨ 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
- ▩ 妻が、夫に経済力や出世を求めないこと
- ▧ 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
- ▦ 男性の男女共同参画に対する関心を高めること
- ▤ 夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと
- ▣ 夫が家事などをすることに妻が協力すること
- ▢ 男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと
- 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
- 子どもに対し家事などを自分でできるようなしつけや育て方をすること
- ▧ 子どもへの教育の中で、男女共同参画の必要性を教えること
- その他
- わからない
- 無回答



( )は有効回答数

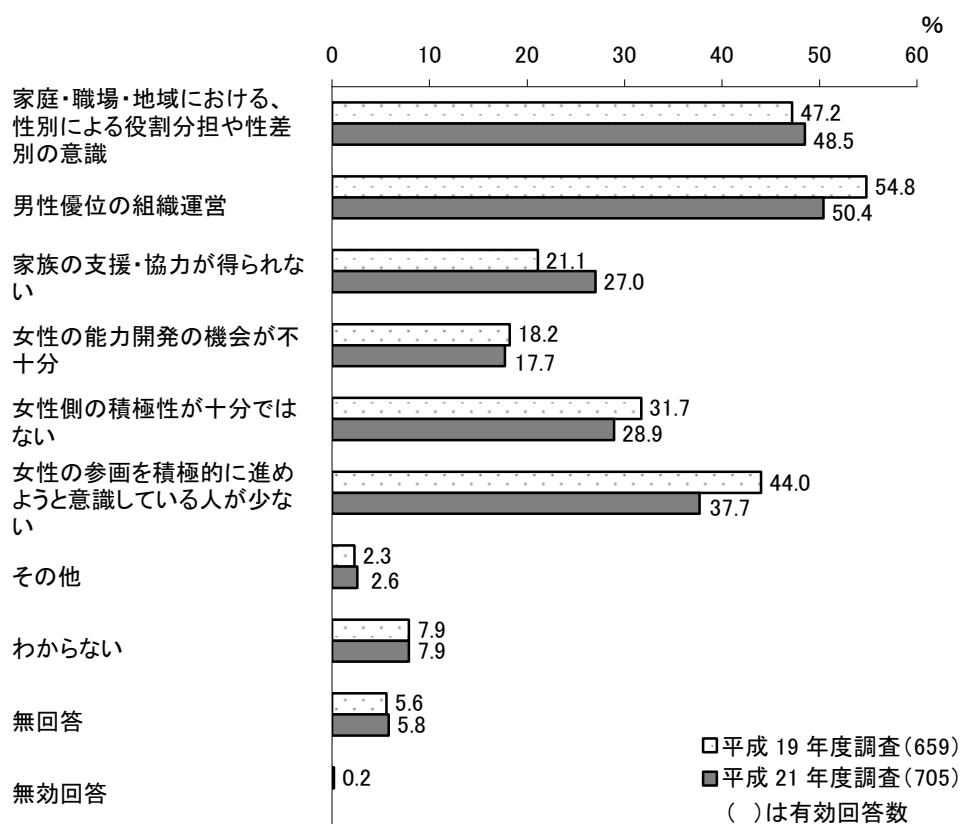


### (11) 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて

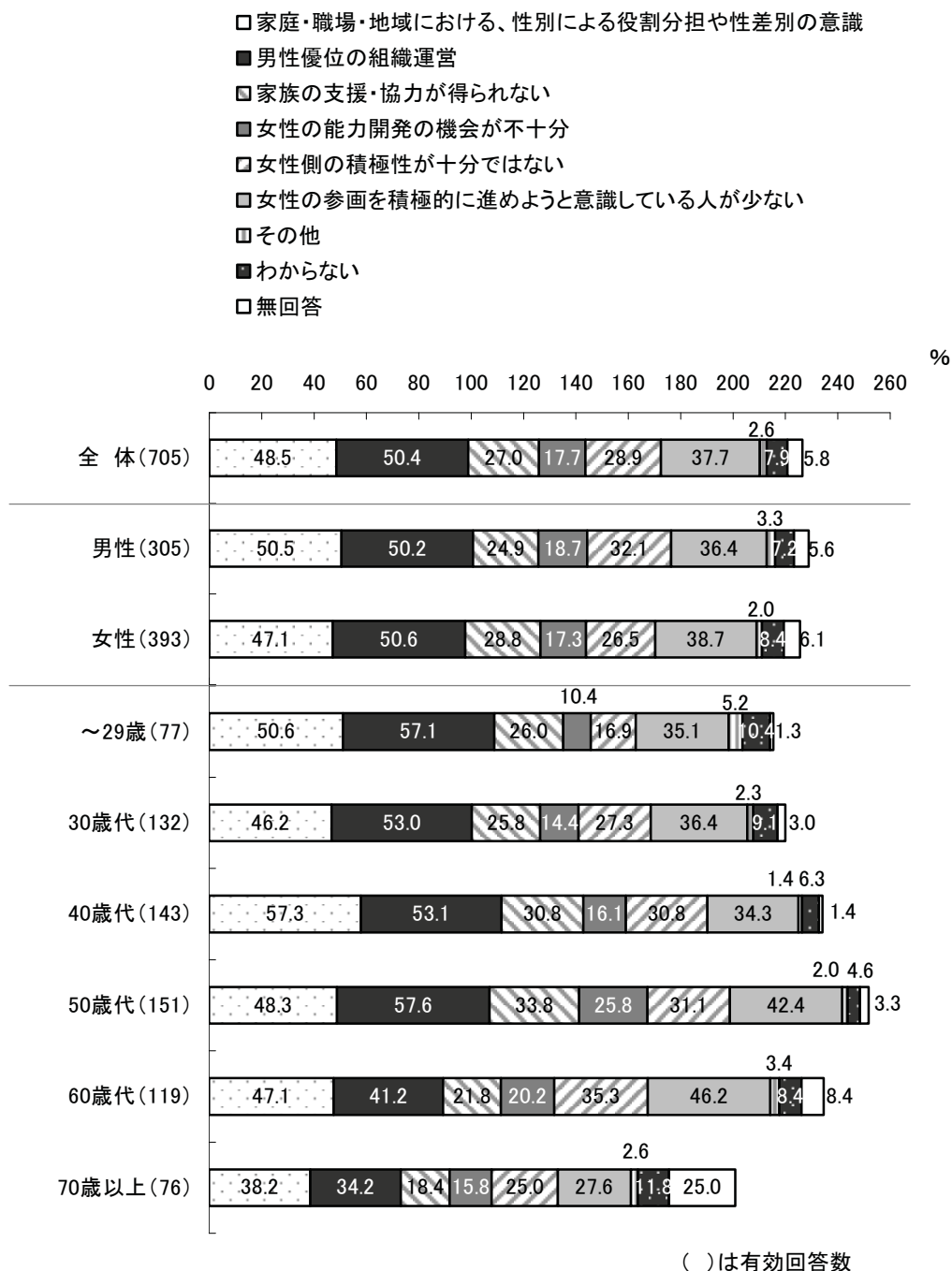
問31. 政治や行政における、政策の企画や方針決定の過程への女性の参画は、徐々に改善はされているものの、依然として少ないのが現状です。あなたは、このような女性の参画が少ない状況は何が原因だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

「男性優位の組織運営」の割合が50.4%と最も高く、次いで「家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識」の割合が48.5%、「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」の割合が37.7%となっている。

前回調査結果と比較すると、「女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない」の割合が低く、「家族の支援・協力が得られない」の割合が高くなっている。



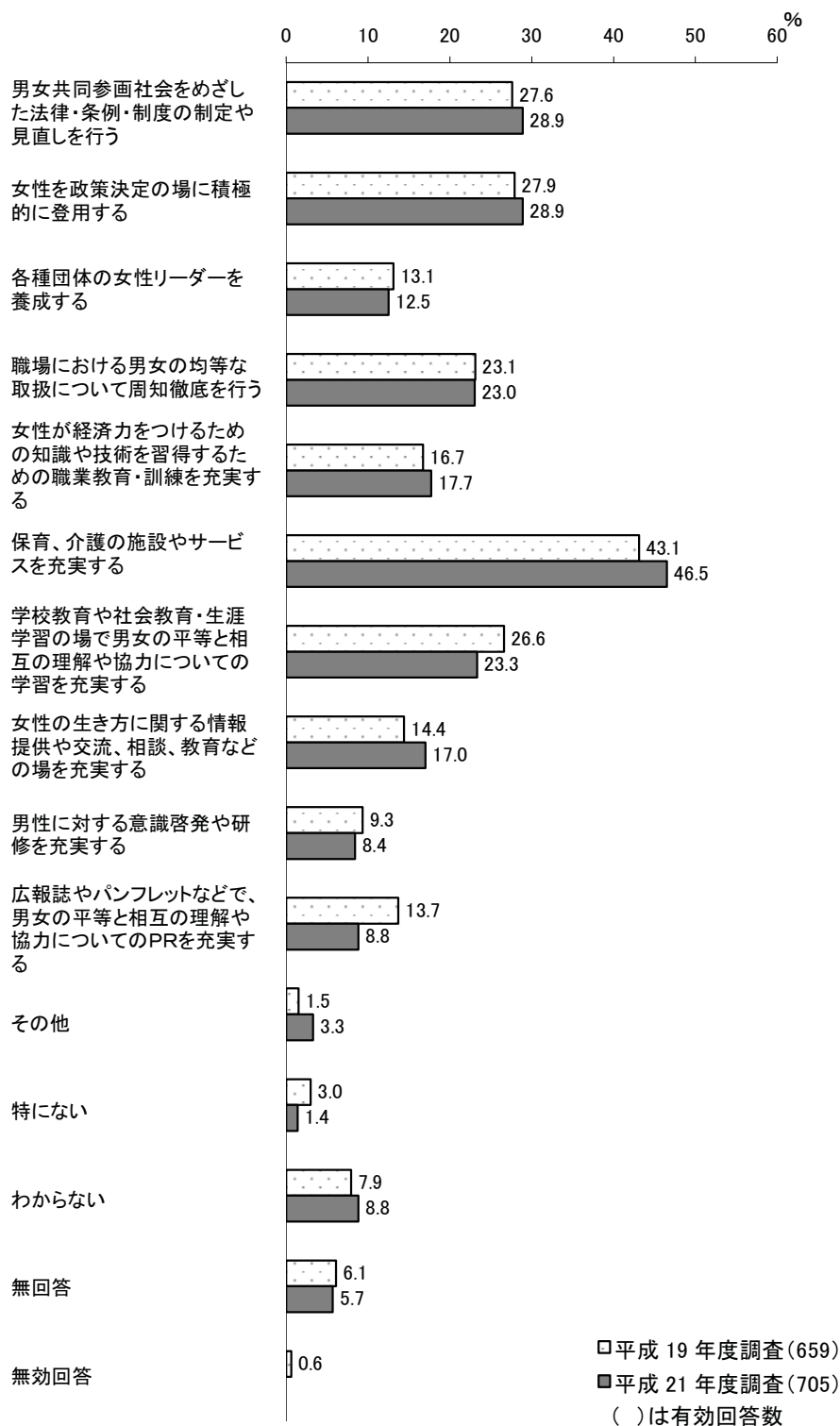
男女別にみると、女性に比べ男性で「女性側の積極性が十分ではない」の割合が高くなっている。年齢別にみると、他の年代に比べ50歳代以下で「男性優位の組織運営」の割合が高くなっている。また、60歳代以下で年齢が高くなるにつれて「女性側の積極性が十分ではない」の割合が高くなっている。他の年代に比べ40歳代で「家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識」、50歳代で「女性の能力開発の機会が不十分」、50歳代、60歳代で「女性の参画を積極的に進めよう」と意識している人が少ない」の割合が高くなっている。



問3 2. 男女共同参画社会を実現するために、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

「保育、介護の施設やサービスを充実する」の割合が46.5%と最も高く、次いで「男女共同参画社会をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う」、「女性を政策決定の場に積極的に登用する」の割合がともに28.9%となっている。

前回調査結果と比較すると、「広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてのPRを充実する」の割合が低くなっている。





## 参考資料

### 1 集計表

#### (1) 単純集計表

##### ①あなた自身のことについて

問1. あなたの性別をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
男	305	43.3%
女	393	55.7%
無回答	7	1.0%
有効回答数	705	100.0%

問2. あなたの年齢をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
～29歳	77	10.9%
30歳代	132	18.7%
40歳代	143	20.3%
50歳代	151	21.4%
60歳代	119	16.9%
70歳以上	76	10.8%
無回答	7	1.0%
有効回答数	705	100.0%

問3. あなたが現在生活しているご家庭の家族構成をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
単身世帯（あなただけ）	30	4.3%
1世代世帯（夫婦だけ）	153	21.7%
2世代世帯（夫婦と子、夫婦と親、親と子など）	363	51.5%
3世代世帯（祖父母と夫婦と子、親と子と孫など）	126	17.9%
その他	27	3.8%
無回答	6	0.9%
有効回答数	705	100.0%

問4. あなたのお住まいの地区をお答えください。次の中から選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
亀山地区	291	41.3%
昼生地区	23	3.3%
野登地区	42	6.0%
神辺地区	29	4.1%
白川地区	15	2.1%
川崎地区	79	11.2%
井田川地区	132	18.7%
関地区・坂下地区	70	9.9%
加太地区	16	2.3%
無回答	8	1.1%
有効回答数	705	100.0%

問5. あなたの職業をお答えください。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
会社員	239	33.9%
パートタイマー・アルバイト	122	17.3%
自営業（農林水産業）	11	1.6%
自営業（商工・サービス業）	33	4.7%
自由業	6	0.9%
家事専業・家事手伝い	91	12.9%
学生	14	2.0%
無職	123	17.4%
その他	55	7.8%
無回答	11	1.6%
有効回答数	705	100.0%

問6. あなたは結婚していますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
結婚している	550	78.0%
結婚していたが、離婚・死別などで現在は夫・妻はいない	48	6.8%
結婚していない	100	14.2%
無回答	7	1.0%
有効回答数	705	100.0%

問6で「1. 結婚している」と答えた方にお聞きします。

問6-1. あなたの配偶者の職業は何ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
会社員	205	37.3%
パートタイマー・アルバイト	77	14.0%
自営業（農林水産業）	12	2.2%
自営業（商工・サービス業）	35	6.4%
自由業	1	0.2%
家事専業・家事手伝い	39	7.1%
学生	-	-
無職	138	25.1%
その他	35	6.4%
無回答	8	1.5%
有効回答数	550	100.0%

## ②男女平等について

問7. あなたは、次の分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。①～⑧のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

### ①家庭のなかで

	回答数	比率
男性の方が優遇されている	120	17.0%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	257	36.5%
平等である	241	34.2%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	25	3.5%
女性の方が優遇されている	12	1.7%
わからない	30	4.3%
無回答	20	2.8%
有効回答数	705	100.0%

### ②職場のなかで

	回答数	比率
男性の方が優遇されている	118	16.7%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	267	37.9%
平等である	148	21.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	34	4.8%
女性の方が優遇されている	11	1.6%
わからない	62	8.8%
無回答	65	9.2%
有効回答数	705	100.0%

### ③学校のなかで

	回答数	比率
男性の方が優遇されている	16	2.3%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	57	8.1%
平等である	349	49.5%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	24	3.4%
女性の方が優遇されている	4	0.6%
わからない	156	22.1%
無回答	99	14.0%
有効回答数	705	100.0%

### ④地域のなかで

	回答数	比率
男性の方が優遇されている	78	11.1%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	252	35.7%
平等である	204	28.9%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	33	4.7%
女性の方が優遇されている	3	0.4%
わからない	94	13.3%
無回答	41	5.8%
有効回答数	705	100.0%

### ⑤社会通念や風潮で

	回答数	比率
男性の方が優遇されている	116	16.5%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	330	46.8%
平等である	112	15.9%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	34	4.8%
女性の方が優遇されている	11	1.6%
わからない	57	8.1%
無回答	45	6.4%
有効回答数	705	100.0%

### ⑥法律や制度の上で

	回答数	比率
男性の方が優遇されている	63	8.9%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	200	28.4%
平等である	261	37.0%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	37	5.2%
女性の方が優遇されている	19	2.7%
わからない	78	11.1%
無回答	47	6.7%
有効回答数	705	100.0%

### ⑦政治（政策決定）の場で

	回答数	比率
男性の方が優遇されている	134	19.0%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	284	40.3%
平等である	154	21.8%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	11	1.6%
女性の方が優遇されている	5	0.7%
わからない	75	10.6%
無回答	42	6.0%
有効回答数	705	100.0%

### ⑧社会全体で

	回答数	比率
男性の方が優遇されている	98	13.9%
どちらかといえば男性の方が優遇されている	350	49.6%
平等である	125	17.7%
どちらかといえば女性の方が優遇されている	27	3.8%
女性の方が優遇されている	11	1.6%
わからない	57	8.1%
無回答	37	5.2%
有効回答数	705	100.0%

問 8. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどう思いますか。次の中から 1 つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
同感する	67	9.5%
どちらかといえば同感する	255	36.2%
どちらかといえば同感しない	155	22.0%
同感しない	170	24.1%
わからない	44	6.2%
無回答	14	2.0%
有効回答数	705	100.0%

### ③男女共同参画社会について

問 9. あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。次の中から 1 つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
知っている	348	49.4%
聞いたことはあるが、意味は知らなかった	208	29.5%
知らなかった	142	20.1%
無回答	7	1.0%
有効回答数	705	100.0%

問 10. あなたの家庭では、家庭生活について、男女の間でどのように分担していますか。①～⑬のそれぞれについて、1 つずつ選んで○印をつけてください。

#### ①食事の支度

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	484	68.7%
女性が中心だが、男性も手伝う	139	19.7%
女性と男性が同程度	24	3.4%
男性が中心だが、女性も手伝う	3	0.4%
ほとんど男性がしている	6	0.9%
その他	3	0.4%
自分のみ（単身者）	34	4.8%
無回答	12	1.7%
有効回答数	705	100.0%

#### ②食事の後片付け

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	438	62.1%
女性が中心だが、男性も手伝う	160	22.7%
女性と男性が同程度	36	5.1%
男性が中心だが、女性も手伝う	9	1.3%
ほとんど男性がしている	8	1.1%
その他	4	0.6%
自分のみ（単身者）	34	4.8%
無回答	16	2.3%
有効回答数	705	100.0%

#### ③家の掃除

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	360	51.1%
女性が中心だが、男性も手伝う	206	29.2%
女性と男性が同程度	64	9.1%
男性が中心だが、女性も手伝う	14	2.0%
ほとんど男性がしている	4	0.6%
その他	5	0.7%
自分のみ（単身者）	34	4.8%
無回答	18	2.6%
有効回答数	705	100.0%



#### ④入浴の準備、風呂場の掃除

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	328	46.5%
女性が中心だが、男性も手伝う	175	24.8%
女性と男性が同程度	71	10.1%
男性が中心だが、女性も手伝う	34	4.8%
ほとんど男性がしている	38	5.4%
その他	7	1.0%
自分のみ（単身者）	34	4.8%
無回答	18	2.6%
有効回答数	705	100.0%

#### ⑤日常の買い物

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	355	50.4%
女性が中心だが、男性も手伝う	217	30.8%
女性と男性が同程度	61	8.7%
男性が中心だが、女性も手伝う	9	1.3%
ほとんど男性がしている	9	1.3%
その他	4	0.6%
自分のみ（単身者）	34	4.8%
無回答	16	2.3%
有効回答数	705	100.0%

#### ⑥日常の家計管理

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	457	64.8%
女性が中心だが、男性も手伝う	74	10.5%
女性と男性が同程度	60	8.5%
男性が中心だが、女性も手伝う	26	3.7%
ほとんど男性がしている	29	4.1%
その他	8	1.1%
自分のみ（単身者）	33	4.7%
無回答	18	2.6%
有効回答数	705	100.0%

#### ⑦日常のゴミ捨て

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	306	43.4%
女性が中心だが、男性も手伝う	114	16.2%
女性と男性が同程度	54	7.7%
男性が中心だが、女性も手伝う	54	7.7%
ほとんど男性がしている	121	17.2%
その他	7	1.0%
自分のみ（単身者）	32	4.5%
無回答	17	2.4%
有効回答数	705	100.0%

#### ⑧洗濯

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	506	71.8%
女性が中心だが、男性も手伝う	89	12.6%
女性と男性が同程度	38	5.4%
男性が中心だが、女性も手伝う	6	0.9%
ほとんど男性がしている	7	1.0%
その他	3	0.4%
自分のみ（単身者）	34	4.8%
無回答	22	3.1%
有効回答数	705	100.0%

⑨高額な商品の購入決定

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	51	7.2%
女性が中心だが、男性も手伝う	62	8.8%
女性と男性が同程度	287	40.7%
男性が中心だが、女性も手伝う	117	16.6%
ほとんど男性がしている	124	17.6%
その他	7	1.0%
自分のみ（単身者）	34	4.8%
無回答	23	3.3%
有効回答数	705	100.0%

⑩生活費の確保

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	118	16.7%
女性が中心だが、男性も手伝う	27	3.8%
女性と男性が同程度	118	16.7%
男性が中心だが、女性も手伝う	173	24.5%
ほとんど男性がしている	205	29.1%
その他	7	1.0%
自分のみ（単身者）	33	4.7%
無回答	24	3.4%
有効回答数	705	100.0%

⑪PTAや地域の行事参加

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	118	16.7%
女性が中心だが、男性も手伝う	119	16.9%
女性と男性が同程度	198	28.1%
男性が中心だが、女性も手伝う	88	12.5%
ほとんど男性がしている	70	9.9%
その他	34	4.8%
自分のみ（単身者）	33	4.7%
無回答	45	6.4%
有効回答数	705	100.0%

⑫親戚とのつきあい

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	60	8.5%
女性が中心だが、男性も手伝う	91	12.9%
女性と男性が同程度	340	48.2%
男性が中心だが、女性も手伝う	107	15.2%
ほとんど男性がしている	39	5.5%
その他	16	2.3%
自分のみ（単身者）	33	4.7%
無回答	19	2.7%
有効回答数	705	100.0%

⑬近所とのつきあい

	回答数	比率
ほとんど女性がしている	116	16.5%
女性が中心だが、男性も手伝う	155	22.0%
女性と男性が同程度	269	38.2%
男性が中心だが、女性も手伝う	68	9.6%
ほとんど男性がしている	24	3.4%
その他	23	3.3%
自分のみ（単身者）	33	4.7%
無回答	17	2.4%
有効回答数	705	100.0%

問 11. あなたは、もし一人暮らし生活になったら、炊事、洗濯、掃除などの家事全般ができますか。  
次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない	463	65.7%
炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る	158	22.4%
炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る	62	8.8%
その他	9	1.3%
無回答	13	1.8%
有効回答数	705	100.0%

#### ④子育てについて

問 12. 子育てについて、あなたのご意見にもっとも近いものはどれですか。①～⑦のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

##### ①子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい

	回答数	比率
そう思う	358	50.8%
どちらかといえばそう思う	235	33.3%
どちらかといえばそう思わない	43	6.1%
そう思わない	33	4.7%
わからない	18	2.6%
無回答	18	2.6%
有効回答数	705	100.0%

##### ②子どもの世話の大部分は、男親にもできる

	回答数	比率
そう思う	141	20.0%
どちらかといえばそう思う	265	37.6%
どちらかといえばそう思わない	153	21.7%
そう思わない	102	14.5%
わからない	22	3.1%
無回答	22	3.1%
有効回答数	705	100.0%

##### ③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい

	回答数	比率
そう思う	196	27.8%
どちらかといえばそう思う	232	32.9%
どちらかといえばそう思わない	78	11.1%
そう思わない	98	13.9%
わからない	69	9.8%
無回答	32	4.5%
有効回答数	705	100.0%

##### ④男の子は家事ができるように育てるのがよい

	回答数	比率
そう思う	267	37.9%
どちらかといえばそう思う	315	44.7%
どちらかといえばそう思わない	46	6.5%
そう思わない	39	5.5%
わからない	19	2.7%
無回答	19	2.7%
有効回答数	705	100.0%

##### ⑤女の子は家事ができるように育てるのがよい

	回答数	比率
そう思う	501	71.1%
どちらかといえばそう思う	164	23.3%
どちらかといえばそう思わない	7	1.0%
そう思わない	4	0.6%
わからない	10	1.4%
無回答	19	2.7%
有効回答数	705	100.0%

⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい

	回答数	比率
そう思う	531	75.3%
どちらかといえばそう思う	134	19.0%
どちらかといえばそう思わない	7	1.0%
そう思わない	6	0.9%
わからない	9	1.3%
無回答	18	2.6%
有効回答数	705	100.0%

⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい

	回答数	比率
そう思う	343	48.7%
どちらかといえばそう思う	281	39.9%
どちらかといえばそう思わない	35	5.0%
そう思わない	12	1.7%
わからない	15	2.1%
無回答	19	2.7%
有効回答数	705	100.0%

問 13. あなたは、子育てに関する地域活動に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
子ども見守り活動	82	11.6%
P T A役員や子ども会などの委員活動	287	40.7%
スポーツ少年団などの指導活動	75	10.6%
ファミリーサポートセンターの活動	11	1.6%
いきいきキッズの活動	6	0.9%
教育協議会の活動	50	7.1%
その他	14	2.0%
特になし	309	43.8%
無回答	29	4.1%
有効回答数	705	100.0%

問 14. 出生率の低下が社会問題となっていますが、あなたは何が原因だと思いますか。次の中から主なものを3つまでを選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
結婚しない人が増えているから	407	57.7%
晩婚化が進むなど、年齢的な理由から	267	37.9%
出産・子育ての身体的・心理的負担が大きいから	174	24.7%
出産・子育てにお金がかかるから	325	46.1%
仕事と子育ての両立がむずかしいから	302	42.8%
子育てに結婚相手の協力がなから	35	5.0%
地域の子育てサービス不足など、子育てをする社会環境がよくないから	149	21.1%
子育て以外に時間を使いたいと考える人が増えているから	187	26.5%
その他	29	4.1%
わからない	4	0.6%
無回答	18	2.6%
有効回答数	705	100.0%

⑤健康・介護について

問 15. あなたは、平成20年度（平成20年4月～平成21年3月）の1年間で、病院および職場、学校等での健康診断を受診しましたか。次の中から1つを選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
受診した	550	78.0%
受診していない	150	21.3%
無回答	5	0.7%
有効回答数	705	100.0%

問 15 で「2. 受診していない」と答えた方にお聞きします。

問 15-1. なぜ、受診しなかったのですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
受診する機会がなかったから	68	45.3%
健康には、自信があるから	7	4.7%
忙しくて受ける暇がなかったから	28	18.7%
経済的にゆとりがないから	10	6.7%
健康診断は好まないから	12	8.0%
その他	16	10.7%
無回答	9	6.0%
有効回答数	150	100.0%

問 16. あなたの家庭に、常時介護の必要な方はいますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
はい	67	9.5%
いいえ	619	87.8%
無回答	19	2.7%
有効回答数	705	100.0%

問 16 で「1. はい」と答えた方にお聞きします。

問 16-1. その方の世話は誰がしていますか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。 ※介護を受ける人からみた続柄

	回答数	比率
夫	5	7.5%
妻	18	26.9%
息子	5	7.5%
娘	6	9.0%
子ども全員	2	3.0%
息子の妻	12	17.9%
娘の夫	-	-
親	7	10.4%
ホームヘルパー	4	6.0%
介護施設、老人ホーム等	31	46.3%
近所や地域の人	-	-
その他	4	6.0%
有効回答数	67	100.0%

問 17. あなたは将来、誰に介護してほしいと思いますか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
夫	154	21.8%
妻	212	30.1%
息子	42	6.0%
娘	141	20.0%
子ども全員	100	14.2%
息子の妻	29	4.1%
娘の夫	1	0.1%
親	2	0.3%
ホームヘルパー	109	15.5%
介護施設、老人ホーム等	288	40.9%
近所や地域の人	1	0.1%
その他	25	3.5%
無回答	17	2.4%
有効回答数	705	100.0%

⑥就労について

問 18. あなたは現在、収入を得る仕事（産前・産後休暇、育児・介護休業中も含む）をしていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
している	465	66.0%
していない	230	32.6%
無回答	10	1.4%
有効回答数	705	100.0%

問 18で「1. している」と答えた方にお聞きします。

問 18-1. あなたが働いているのはどのような理由からですか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
生計を維持するため	265	57.0%
家計の足しにするため	96	20.6%
教育資金を得るため	23	4.9%
住宅ローン等借金の返済のため	42	9.0%
将来に備えて貯蓄するため	89	19.1%
自分で自由に使えるお金を得るため	71	15.3%
生きがいを得るため	51	11.0%
能力・技能・資格を生かすため	28	6.0%
視野を広げ、友人を得るため	14	3.0%
社会に貢献するため	14	3.0%
仕事をするのが好きだから	24	5.2%
働くのが当然だから	81	17.4%
時間的に余裕があるから	22	4.7%
家業であるから	20	4.3%
その他	11	2.4%
特に理由はない	2	0.4%
無回答	12	2.6%
有効回答数	465	100.0%

問 18で「1. している」と答えた方にお聞きします。

問 18-2. あなたの働いているところでは、男性と女性は平等だと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
平等である	243	52.3%
女性の方が優遇されている	37	8.0%
男性の方が優遇されている	164	35.3%
無回答	21	4.5%
有効回答数	465	100.0%

問 18-2で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と答えた方にお聞きします。

問 18-3. あなたが働いているところで、男女が平等だと思わないのはどのようなことですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
賃金	74	36.8%
昇進、昇格	93	46.3%
能力評価	72	35.8%
採用時の条件	28	13.9%
補助的な仕事しかやらせてもらえない	29	14.4%
定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	22	10.9%
結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある	33	16.4%
教育訓練を受ける機会に差がある	20	10.0%
その他	32	15.9%
わからない	12	6.0%
有効回答数	201	100.0%

問 18 で「2. していない」と答えた方にお聞きします。

問 18-4. 今後適当な仕事があれば働きたいですか。働きたい仕事の形を、次の中から 1 つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
常勤の仕事（正規従業員）	21	9.1%
パートタイム、アルバイト、非常勤など	50	21.7%
派遣の仕事	4	1.7%
自由業、自営業、家族従業など個人で働きたい	8	3.5%
在宅で働きたい（内職やインターネット等を活用して）	11	4.8%
その他	24	10.4%
働きたいとは思わない	76	33.0%
無回答	36	15.7%
有効回答数	230	100.0%

問 19. 女性が職業をもつことについてあなたはどのように思いますか。次の中から 1 つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい	169	24.0%
結婚するまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい	19	2.7%
結婚して子どもができるまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい	23	3.3%
結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい	423	60.0%
職業は一生もたない方がいい	3	0.4%
その他	26	3.7%
わからない	22	3.1%
無回答	20	2.8%
有効回答数	705	100.0%

問 20. 女性が働き続けていくうえで、大きな障がいになっているのは何だと思えますか。次の中から主なものを 3 つまで選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
家族の協力や理解が得にくいこと	258	36.6%
家事や育児との両立が難しいこと	552	78.3%
老人や病人の介護・看護があること	209	29.6%
企業が女性に責任ある仕事を任せないこと	72	10.2%
企業が結婚・出産した女性の雇用をきらう傾向があること	206	29.2%
育児休業制度などの条件が整っていないこと	284	40.3%
女性自身の就労に対する意識が低いこと	103	14.6%
その他	18	2.6%
特に障がいはないと思う	17	2.4%
無回答	21	3.0%
有効回答数	705	100.0%

問 21. あなたは、次の制度の内容についてご存知ですか。それぞれについて、1 つずつ選んで○印をつけてください。

①育児休業制度

	回答数	比率
よく知っている	242	34.3%
少し知っている	270	38.3%
言葉を聞いたことがある程度	141	20.0%
知らない	29	4.1%
無回答	23	3.3%
有効回答数	705	100.0%

## ②介護休業制度

	回答数	比率
よく知っている	142	20.1%
少し知っている	197	27.9%
言葉を聞いたことがある程度	191	27.1%
知らない	142	20.1%
無回答	33	4.7%
有効回答数	705	100.0%

問 21. また実際に取得したことがありますか。それぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

### ①育児休業制度

	回答数	比率
取得したことがある	37	5.2%
取得したことがない	342	48.5%
取得の対象となる者がいない	214	30.4%
無回答	112	15.9%
有効回答数	705	100.0%

### ②介護休業制度

	回答数	比率
取得したことがある	6	0.9%
取得したことがない	287	40.7%
取得の対象となる者がいない	300	42.6%
無回答	112	15.9%
有効回答数	705	100.0%

## ⑦ワーク・ライフ・バランスについて

問 22. あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、ご存知ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
よく知っている	39	5.5%
少し知っている	74	10.5%
言葉を聞いたことがある程度	145	20.6%
知らない	429	60.9%
無回答	18	2.6%
有効回答数	705	100.0%

問 23. 生活の中での、仕事、家庭生活、地域・個人の優先度について、あなたの「希望」と「現実」をお答えください。①、②のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

### ①希望

	回答数	比率
仕事	20	2.8%
家庭生活	155	22.0%
地域・個人の生活	39	5.5%
仕事と家庭生活	130	18.4%
仕事と地域・個人の生活	28	4.0%
家庭生活と地域・個人の生活	53	7.5%
仕事と家庭生活と地域・個人の生活	124	17.6%
わからない	64	9.1%
無回答	92	13.0%
有効回答数	705	100.0%



## ②現実

	回答数	比率
仕事	153	21.7%
家庭生活	116	16.5%
地域・個人の生活	28	4.0%
仕事と家庭生活	143	20.3%
仕事と地域・個人の生活	25	3.5%
家庭生活と地域・個人の生活	34	4.8%
仕事と家庭生活と地域・個人の生活	40	5.7%
わからない	68	9.6%
無回答	98	13.9%
有効回答数	705	100.0%

## ⑧ドメスティック・バイオレンスなどについて

問 24. あなたは、次の言葉および法律の内容についてご存知ですか。①～④のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

### ①ドメスティック・バイオレンス

	回答数	比率
よく知っている	347	49.2%
少し知っている	211	29.9%
言葉を聞いたことがある程度	71	10.1%
知らない	61	8.7%
無回答	15	2.1%
有効回答数	705	100.0%

### ②DV防止法

	回答数	比率
よく知っている	193	27.4%
少し知っている	213	30.2%
言葉を聞いたことがある程度	151	21.4%
知らない	131	18.6%
無回答	17	2.4%
有効回答数	705	100.0%

### ③デートDV

	回答数	比率
よく知っている	106	15.0%
少し知っている	123	17.4%
言葉を聞いたことがある程度	111	15.7%
知らない	347	49.2%
無回答	18	2.6%
有効回答数	705	100.0%

### ④セクシュアル・ハラスメント

	回答数	比率
よく知っている	373	52.9%
少し知っている	204	28.9%
言葉を聞いたことがある程度	64	9.1%
知らない	47	6.7%
無回答	17	2.4%
有効回答数	705	100.0%

問 25. あなたはこれまでに、結婚相手や恋人から暴力を受けた経験がありますか。次の中から選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
ある	67	9.5%
ない	627	88.9%
無回答	11	1.6%
有効回答数	705	100.0%

問 25-1. 問 25で「1. ある」と答えた方にお聞きします。その暴力はどのようなものでしたか。

これまでの状況に関して①～③のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

これまで

①命の危険を感じる程度の暴行を受ける

	回答数	比率
何度もあった	-	-
1・2度あった	13	19.4%
ない	41	61.2%
無回答	13	19.4%
有効回答数	67	100.0%

②医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける

	回答数	比率
何度もあった	1	1.5%
1・2度あった	9	13.4%
ない	43	64.2%
無回答	14	20.9%
有効回答数	67	100.0%

③医師の治療が必要とならない程度の暴行を受ける

	回答数	比率
何度もあった	11	16.4%
1・2度あった	15	22.4%
ない	24	35.8%
無回答	17	25.4%
有効回答数	67	100.0%

④足で蹴られる

	回答数	比率
何度もあった	13	19.4%
1・2度あった	20	29.9%
ない	24	35.8%
無回答	10	14.9%
有効回答数	67	100.0%

⑤手でたたかれる

	回答数	比率
何度もあった	17	25.4%
1・2度あった	30	44.8%
ない	10	14.9%
無回答	10	14.9%
有効回答数	67	100.0%

⑥殴るふりをして、おどされる

	回答数	比率
何度もあった	12	17.9%
1・2度あった	22	32.8%
ない	19	28.4%
無回答	14	20.9%
有効回答数	67	100.0%

⑦何を言っても無視され続ける

	回答数	比率
何度もあった	13	19.4%
1・2度あった	11	16.4%
ない	33	49.3%
無回答	10	14.9%
有効回答数	67	100.0%

⑧いやがっているのに性的行為を強要される

	回答数	比率
何度もあった	12	17.9%
1・2度あった	8	11.9%
ない	36	53.7%
無回答	11	16.4%
有効回答数	67	100.0%

⑨見たくないのに、ポルノビデオ・雑誌を見せられる

	回答数	比率
何度もあった	-	-
1・2度あった	4	6.0%
ない	49	73.1%
無回答	14	20.9%
有効回答数	67	100.0%

⑩交友関係や電話、メール等を細かく監視される

	回答数	比率
何度もあった	10	14.9%
1・2度あった	2	3.0%
ない	40	59.7%
無回答	15	22.4%
有効回答数	67	100.0%

⑪生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる

	回答数	比率
何度もあった	9	13.4%
1・2度あった	6	9.0%
ない	40	59.7%
無回答	12	17.9%
有効回答数	67	100.0%

⑫大声でどなられたり、暴言を吐かれる

	回答数	比率
何度もあった	41	61.2%
1・2度あった	13	19.4%
ない	5	7.5%
無回答	8	11.9%
有効回答数	67	100.0%

⑬その他

	回答数	比率
何度もあった	3	4.5%
1・2度あった	3	4.5%
ない	17	25.4%
無回答	44	65.7%
有効回答数	67	100.0%

現在

①命の危険を感じる程度の暴行を受ける

	回答数	比率
現在もある	1	1.5%
現在はない	49	73.1%
無回答	17	25.4%
有効回答数	67	100.0%

②医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける

	回答数	比率
現在もある	-	-
現在はない	49	73.1%
無回答	18	26.9%
有効回答数	67	100.0%

③医師の治療が必要とならない程度の暴行を受ける

	回答数	比率
現在もある	3	4.5%
現在はない	45	67.2%
無回答	19	28.4%
有効回答数	67	100.0%

④足で蹴られる

	回答数	比率
現在もある	6	9.0%
現在はない	45	67.2%
無回答	16	23.9%
有効回答数	67	100.0%

⑤手でたたかれる

	回答数	比率
現在もある	10	14.9%
現在はない	42	62.7%
無回答	15	22.4%
有効回答数	67	100.0%

⑥殴るふりをして、おどされる

	回答数	比率
現在もある	6	9.0%
現在はない	43	64.2%
無回答	18	26.9%
有効回答数	67	100.0%

⑦何を言っても無視され続ける

	回答数	比率
現在もある	5	7.5%
現在はない	46	68.7%
無回答	16	23.9%
有効回答数	67	100.0%

⑧いやがっているのに性的行為を強要される

	回答数	比率
現在もある	5	7.5%
現在はない	47	70.1%
無回答	15	22.4%
有効回答数	67	100.0%

⑨見たくないのに、ポルノビデオ・雑誌を見せられる

	回答数	比率
現在もある	-	-
現在はない	48	71.6%
無回答	19	28.4%
有効回答数	67	100.0%

⑩交友関係や電話、メール等を細かく監視される

	回答数	比率
現在もある	3	4.5%
現在はない	44	65.7%
無回答	20	29.9%
有効回答数	67	100.0%

⑪生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる

	回答数	比率
現在もある	2	3.0%
現在はない	48	71.6%
無回答	17	25.4%
有効回答数	67	100.0%

⑫大声でどなられたり、暴言を吐かれる

	回答数	比率
現在もある	24	35.8%
現在はない	32	47.8%
無回答	11	16.4%
有効回答数	67	100.0%

⑬その他

	回答数	比率
現在もある	2	3.0%
現在はない	24	35.8%
無回答	41	61.2%
有効回答数	67	100.0%

問 25 で「1. ある」と答えた方にお聞きします。

問 25-2. 暴力を受けたとき誰かに相談しましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
相談した	29	43.3%
相談しなかった	36	53.7%
無回答	2	3.0%
有効回答数	67	100.0%

問 25-2 で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします。

問 25-3. どのような所および人に相談しましたか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」	-	-
三重県男女共同参画センター「フレンドみえ相談室」	-	-
三重県の相談窓口「三重県人権センター」	1	3.4%
亀山市の相談窓口「くらし・男女の行政相談」	-	-
亀山市福祉事務所（女性相談担当）	-	-
警察	2	6.9%
弁護士	2	6.9%
医師など医療関係者	3	10.3%
他の市町村の女性（婦人）相談員	1	3.4%
人権擁護委員	-	-
民間支援団体	1	3.4%
親族	16	55.2%
友人・知人	20	69.0%
その他	2	6.9%
有効回答数	29	100.0%

問 25-2で「2. 相談しなかった」と答えた方にお聞きします。

問 25-4. どこ（誰）にも相談しなかったのはなぜですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
誰も相談する人がいなかったから	3	8.3%
どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから	5	13.9%
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	8	22.2%
相談しても無駄だと思ったから	18	50.0%
相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	1	2.8%
相談先の担当者や相談者の言動により不快な思いをすと思ったから	1	2.8%
自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから	21	58.3%
世間体が悪いから	5	13.9%
他人を巻き込みたくなかったから	3	8.3%
相談するほどのことではないと思ったから	18	50.0%
その他	1	2.8%
有効回答数	36	100.0%

問 26. 結婚相手や恋人から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者などの窓口のなかで、そのような相談ができることを知っていたものについて、次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」	81	11.5%
三重県男女共同参画センター「フレンドみえ相談室」	51	7.2%
三重県の相談窓口「三重県人権センター」	145	20.6%
亀山市の相談窓口「くらし・男女の行政相談」	143	20.3%
亀山市福祉事務所（女性相談担当）	88	12.5%
警察	420	59.6%
弁護士	197	27.9%
医師など医療関係者	65	9.2%
他の市町村の女性（婦人）相談員	16	2.3%
人権擁護委員	88	12.5%
民間支援団体	22	3.1%
その他	8	1.1%
知っている相談窓口はない	81	11.5%
無回答	99	14.0%
有効回答数	705	100.0%

問 27. あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する	573	81.3%
相手がいやがっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る	581	82.4%
宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する	393	55.7%
容姿に関して繰り返して言う	392	55.6%
相手がいやがっているのに性的な冗談を言う	527	74.8%
職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする	330	46.8%
ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目のつくところに貼る	283	40.1%
結婚予定や出産予定をたびたび聞く	182	25.8%
その他	7	1.0%
特にない	11	1.6%
わからない	14	2.0%
無回答	48	6.8%
有効回答数	705	100.0%

問 28. 近年において、性犯罪や売買春（いわゆる「援助交際」を含む）、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等についての関心が高まっていますが、このようなことをなくすためにはどうしたらよいと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
法律・制度の制定や見直しを行う	231	32.8%
犯罪の取締りを強化する	260	36.9%
捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする	215	30.5%
被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる	55	7.8%
被害女性のための相談所や保護施設を整備する	240	34.0%
学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる	161	22.8%
性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などのあらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を学校、家庭において充実させる	152	21.6%
メディア（新聞・テレビ等）が自主的に倫理規程を強化する	94	13.3%
過激な内容の映像ソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する	184	26.1%
その他	22	3.1%
特に対策の必要はない	4	0.6%
わからない	31	4.4%
無回答	81	11.5%
有効回答数	705	100.0%

問 29. あなたは現在、地域における社会活動に参加していますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
参加している	320	45.4%
参加していない	358	50.8%
無回答	27	3.8%
有効回答数	705	100.0%

問 29 で「1. 参加している」と答えた方にお聞きします。

問 29-1. あなたが参加している社会活動はどのようなものですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
県・市の審議会・委員会の活動	7	2.2%
町内会、自治会等の活動	247	77.2%
P T A 活動	76	23.8%
子ども会・青少年グループの世話	52	16.3%
青年団体・女性団体・老人団体などの活動	39	12.2%
消費者団体・生活協同組合などの消費者活動	9	2.8%
N P O 団体などのボランティア活動	24	7.5%
その他	21	6.6%
有効回答数	320	100.0%

### ⑨社会参加について

問 29 で「2. 参加していない」と答えた方にお聞きします。

問 29-2. 社会活動に参加していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない	52	14.5%
老人や病人の世話がある	20	5.6%
家族の理解・協力がでない	5	1.4%
仕事が忙しくて余裕がない	140	39.1%
活動に経費がかかる	16	4.5%
どんな活動があるのかよくわからない	173	48.3%
その他	58	16.2%
無回答	5	1.4%
有効回答数	358	100.0%

問 30. 今後、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	254	36.0%
仕事中心という社会全体の仕組みを改めること	240	34.0%
男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること	137	19.4%
妻が、夫に経済力や出世を求めないこと	38	5.4%
労働時間短縮や休暇制度を普及させること	250	35.5%
男性の男女共同参画に対する関心を高めること	106	15.0%
夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと	162	23.0%
夫が家事などをすることに妻が協力すること	49	7.0%
男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと	129	18.3%
仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること	30	4.3%
子どもに対し家事などを自分でできるようなしつけや育て方をする	145	20.6%
子どもへの教育の中で、男女共同参画の必要性を教えること	110	15.6%
その他	16	2.3%
わからない	24	3.4%
無回答	58	8.2%
有効回答数	705	100.0%

⑩男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて

問 31. 政治や行政における、政策の企画や方針決定の過程への女性の参画は、徐々に改善はされているものの、依然として少ないのが現状です。あなたは、このような女性の参画が少ない状況は何が原因だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識	342	48.5%
男性優位の組織運営	355	50.4%
家族の支援・協力が得られない	190	27.0%
女性の能力開発の機会が不十分	125	17.7%
女性側の積極性が十分ではない	204	28.9%
女性の参画を積極的に進めよう意識している人が少ない	266	37.7%
その他	18	2.6%
わからない	56	7.9%
無回答	41	5.8%
有効回答数	705	100.0%

問 32. 男女共同参画社会を実現するために、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

	回答数	比率
男女共同参画社会をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う	204	28.9%
女性を政策決定の場に積極的に登用する	204	28.9%
各種団体の女性リーダーを養成する	88	12.5%
職場における男女の均等な取扱いについて周知徹底を行う	162	23.0%
女性が経済力をつけるための知識や技術を習得するための職業教育・訓練を充実する	125	17.7%
保育、介護の施設やサービスを充実する	328	46.5%
学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	164	23.3%
女性の生き方に関する情報提供や交流、相談、教育などの場を充実する	120	17.0%
男性に対する意識啓発や研修を充実する	59	8.4%
広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてのPRを充実する	62	8.8%
その他	23	3.3%
特になし	10	1.4%
わからない	62	8.8%
無回答	40	5.7%
有効回答数	705	100.0%



(2) クロス集計表

①男女平等について

問7. あなたは、次の分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。①～⑧のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

【男】

	男性の方が優遇されている		どちらかといえば男性の方が優遇されている		平等である		どちらかといえば女性の方が優遇されている		女性の方が優遇されている		わからない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①家庭のなかで	37	12.1%	98	32.1%	131	43.0%	15	4.9%	4	1.3%	14	4.6%	6	2.0%	305	100.0%
②職場のなかで	31	10.2%	117	38.4%	75	24.6%	25	8.2%	7	2.3%	24	7.9%	26	8.5%	305	100.0%
③学校のなかで	6	2.0%	18	5.9%	160	52.5%	15	4.9%	1	0.3%	60	19.7%	45	14.8%	305	100.0%
④地域のなかで	21	6.9%	94	30.8%	119	39.0%	25	8.2%	1	0.3%	32	10.5%	13	4.3%	305	100.0%
⑤社会通念や風潮で	29	9.5%	145	47.5%	64	21.0%	22	7.2%	9	3.0%	22	7.2%	14	4.6%	305	100.0%
⑥法律や制度の上で	15	4.9%	65	21.3%	158	51.8%	19	6.2%	15	4.9%	22	7.2%	11	3.6%	305	100.0%
⑦政治(政策決定)の場で	31	10.2%	117	38.4%	107	35.1%	8	2.6%	4	1.3%	26	8.5%	12	3.9%	305	100.0%
⑧社会全体で	23	7.5%	148	48.5%	77	25.2%	18	5.9%	8	2.6%	18	5.9%	13	4.3%	305	100.0%

【女】

	男性の方が優遇されている		どちらかといえば男性の方が優遇されている		平等である		どちらかといえば女性の方が優遇されている		女性の方が優遇されている		わからない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①家庭のなかで	83	21.1%	158	40.2%	110	28.0%	10	2.5%	8	2.0%	15	3.8%	9	2.3%	393	100.0%
②職場のなかで	86	21.9%	150	38.2%	72	18.3%	9	2.3%	4	1.0%	38	9.7%	34	8.7%	393	100.0%
③学校のなかで	10	2.5%	39	9.9%	188	47.8%	9	2.3%	3	0.8%	95	24.2%	49	12.5%	393	100.0%
④地域のなかで	57	14.5%	158	40.2%	85	21.6%	7	1.8%	2	0.5%	61	15.5%	23	5.9%	393	100.0%
⑤社会通念や風潮で	87	22.1%	184	46.8%	47	12.0%	12	3.1%	2	0.5%	35	8.9%	26	6.6%	393	100.0%
⑥法律や制度の上で	48	12.2%	135	34.4%	102	26.0%	18	4.6%	4	1.0%	55	14.0%	31	7.9%	393	100.0%
⑦政治(政策決定)の場で	102	26.0%	166	42.2%	47	12.0%	3	0.8%	1	0.3%	49	12.5%	25	6.4%	393	100.0%
⑧社会全体で	75	19.1%	202	51.4%	47	12.0%	9	2.3%	3	0.8%	38	9.7%	19	4.8%	393	100.0%

問8. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどう思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
同感する	41	13.4%	26	6.6%	67	9.5%
どちらかといえば同感する	120	39.3%	134	34.1%	255	36.2%
どちらかといえば同感しない	51	16.7%	103	26.2%	155	22.0%
同感しない	67	22.0%	103	26.2%	170	24.1%
わからない	21	6.9%	23	5.9%	44	6.2%
無回答	5	1.6%	4	1.0%	14	2.0%
全体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

②男女共同参画社会について

問9. あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
知っている	17	56.7%	19	41.3%	27	45.0%	34	50.7%	40	64.5%	26	65.0%	163	53.4%
聞いたことはあるが、意味は知らなかった	9	30.0%	9	19.6%	23	38.3%	19	28.4%	15	24.2%	11	27.5%	86	28.2%
知らなかった	4	13.3%	18	39.1%	10	16.7%	14	20.9%	6	9.7%	3	7.5%	55	18.0%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1.6%	-	-	1	0.3%
全体	30	100.0%	46	100.0%	60	100.0%	67	100.0%	62	100.0%	40	100.0%	305	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
知っている	25	53.2%	28	32.6%	45	54.2%	38	45.2%	30	53.6%	17	47.2%	184	46.8%
聞いたことはあるが、意味は知らなかった	14	29.8%	25	29.1%	24	28.9%	30	35.7%	15	26.8%	13	36.1%	121	30.8%
知らなかった	8	17.0%	33	38.4%	14	16.9%	16	19.0%	11	19.6%	5	13.9%	87	22.1%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2.8%	1	0.3%
全体	47	100.0%	86	100.0%	83	100.0%	84	100.0%	56	100.0%	36	100.0%	393	100.0%

問 10. あなたの家庭では、家庭生活について、男女の間でどのように分担していますか。①～⑬のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

【男】

	ほとんど女性がしている		女性が中心だが、男性も手伝う		女性と男性が同程度		男性が中心だが、女性も手伝う		ほとんど男性がしている		その他		自分のみ(単身者)		無回答	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①食事の支度	190	62.3%	71	23.3%	13	4.3%	-	-	5	1.6%	1	0.3%	21	6.9%	4	1.3%
②食事の後片付け	167	54.8%	75	24.6%	22	7.2%	6	2.0%	6	2.0%	1	0.3%	21	6.9%	7	2.3%
③家の掃除	130	42.6%	100	32.8%	34	11.1%	8	2.6%	4	1.3%	1	0.3%	21	6.9%	7	2.3%
④入浴の準備、風呂場の掃除	121	39.7%	73	23.9%	34	11.1%	17	5.6%	28	9.2%	3	1.0%	21	6.9%	8	2.6%
⑤日常の買い物	122	40.0%	105	34.4%	39	12.8%	5	1.6%	6	2.0%	1	0.3%	21	6.9%	6	2.0%
⑥日常の家計管理	190	62.3%	26	8.5%	33	10.8%	15	4.9%	13	4.3%	-	-	20	6.6%	8	2.6%
⑦日常のゴミ捨て	116	38.0%	52	17.0%	23	7.5%	25	8.2%	61	20.0%	2	0.7%	20	6.6%	6	2.0%
⑧洗濯	202	66.2%	45	14.8%	17	5.6%	4	1.3%	5	1.6%	-	-	21	6.9%	11	3.6%
⑨高額な商品の購入決定	25	8.2%	26	8.5%	127	41.6%	46	15.1%	48	15.7%	2	0.7%	21	6.9%	10	3.3%
⑩生活費の確保	50	16.4%	12	3.9%	57	18.7%	70	23.0%	82	26.9%	3	1.0%	20	6.6%	11	3.6%
⑪PTAや地域の行事参加	37	12.1%	41	13.4%	100	32.8%	35	11.5%	39	12.8%	13	4.3%	20	6.6%	20	6.6%
⑫親戚とのつきあい	21	6.9%	31	10.2%	149	48.9%	46	15.1%	22	7.2%	6	2.0%	20	6.6%	10	3.3%
⑬近所とのつきあい	38	12.5%	56	18.4%	131	43.0%	36	11.8%	14	4.6%	4	1.3%	20	6.6%	6	2.0%

	総計	
	回答数	比率
①食事の支度	305	100.0%
②食事の後片付け	305	100.0%
③家の掃除	305	100.0%
④入浴の準備、風呂場の掃除	305	100.0%
⑤日常の買い物	305	100.0%
⑥日常の家計管理	305	100.0%
⑦日常のゴミ捨て	305	100.0%
⑧洗濯	305	100.0%
⑨高額な商品の購入決定	305	100.0%
⑩生活費の確保	305	100.0%
⑪PTAや地域の行事参加	305	100.0%
⑫親戚とのつきあい	305	100.0%
⑬近所とのつきあい	305	100.0%

【女】

	ほとんど女性がしている		女性が中心だが、男性も手伝う		女性と男性が同程度		男性が中心だが、女性も手伝う		ほとんど男性がしている		その他		自分のみ(単身者)		無回答	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①食事の支度	288	73.3%	68	17.3%	11	2.8%	3	0.8%	1	0.3%	2	0.5%	12	3.1%	8	2.0%
②食事の後片付け	266	67.7%	84	21.4%	14	3.6%	3	0.8%	2	0.5%	3	0.8%	12	3.1%	9	2.3%
③家の掃除	224	57.0%	106	27.0%	30	7.6%	6	1.5%	-	-	4	1.0%	12	3.1%	11	2.8%
④入浴の準備、風呂場の掃除	203	51.7%	101	25.7%	37	9.4%	16	4.1%	10	2.5%	4	1.0%	12	3.1%	10	2.5%
⑤日常の買い物	229	58.3%	111	28.2%	21	5.3%	4	1.0%	3	0.8%	3	0.8%	12	3.1%	10	2.5%
⑥日常の家計管理	262	66.7%	48	12.2%	26	6.6%	11	2.8%	16	4.1%	8	2.0%	12	3.1%	10	2.5%
⑦日常のゴミ捨て	187	47.6%	62	15.8%	30	7.6%	28	7.1%	59	15.0%	5	1.3%	12	3.1%	10	2.5%
⑧洗濯	300	76.3%	42	10.7%	21	5.3%	2	0.5%	2	0.5%	3	0.8%	12	3.1%	11	2.8%
⑨高額な商品の購入決定	26	6.6%	36	9.2%	156	39.7%	69	17.6%	76	19.3%	5	1.3%	12	3.1%	13	3.3%
⑩生活費の確保	64	16.3%	15	3.8%	61	15.5%	101	25.7%	123	31.3%	4	1.0%	12	3.1%	13	3.3%
⑪PTAや地域の行事参加	79	20.1%	77	19.6%	97	24.7%	53	13.5%	31	7.9%	21	5.3%	12	3.1%	23	5.9%
⑫親戚とのつきあい	39	9.9%	57	14.5%	188	47.8%	61	15.5%	17	4.3%	10	2.5%	12	3.1%	9	2.3%
⑬近所とのつきあい	76	19.3%	98	24.9%	136	34.6%	32	8.1%	10	2.5%	18	4.6%	12	3.1%	11	2.8%

	総計	
	回答数	比率
①食事の支度	393	100.0%
②食事の後片付け	393	100.0%
③家の掃除	393	100.0%
④入浴の準備、風呂場の掃除	393	100.0%
⑤日常の買い物	393	100.0%
⑥日常の家計管理	393	100.0%
⑦日常のゴミ捨て	393	100.0%
⑧洗濯	393	100.0%
⑨高額な商品の購入決定	393	100.0%
⑩生活費の確保	393	100.0%
⑪PTAや地域の行事参加	393	100.0%
⑫親戚とのつきあい	393	100.0%
⑬近所とのつきあい	393	100.0%

問 11. あなたは、もし一人暮らし生活になったら、炊事、洗濯、掃除などの家事全般ができますか。  
次の中から1つ選んで○印をつけてください。

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない	14	46.7%	25	54.3%	30	50.0%	27	40.3%	20	32.3%	11	27.5%	127	41.6%
炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る	11	36.7%	15	32.6%	21	35.0%	23	34.3%	27	43.5%	14	35.0%	111	36.4%
炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る	5	16.7%	6	13.0%	9	15.0%	13	19.4%	11	17.7%	12	30.0%	56	18.4%
その他	-	-	-	-	-	-	3	4.5%	-	-	2	5.0%	5	1.6%
無回答	-	-	-	-	-	-	1	1.5%	4	6.5%	1	2.5%	6	2.0%
全 体	30	100.0%	46	100.0%	60	100.0%	67	100.0%	62	100.0%	40	100.0%	305	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない	28	59.6%	77	89.5%	79	95.2%	77	91.7%	48	85.7%	21	58.3%	331	84.2%
炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る	14	29.8%	6	7.0%	3	3.6%	6	7.1%	7	12.5%	10	27.8%	46	11.7%
炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る	4	8.5%	1	1.2%	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.3%
その他	-	-	1	1.2%	-	-	1	1.2%	-	-	2	5.6%	4	1.0%
無回答	1	2.1%	1	1.2%	1	1.2%	-	-	1	1.8%	3	8.3%	7	1.8%
全 体	47	100.0%	86	100.0%	83	100.0%	84	100.0%	56	100.0%	36	100.0%	393	100.0%

### ③子育てについて

問 12. 子育てについて、あなたのご意見にもっとも近いものはどれですか。①～⑦のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

【男】

	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		わからない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	178	58.4%	85	27.9%	14	4.6%	14	4.6%	5	1.6%	9	3.0%	305	100.0%
②子どもの世話の大部分は、男親にもできる	40	13.1%	96	31.5%	85	27.9%	64	21.0%	9	3.0%	11	3.6%	305	100.0%
③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	56	18.4%	87	28.5%	41	13.4%	64	21.0%	41	13.4%	16	5.2%	305	100.0%
④男の子は家事ができるように育てるのがよい	87	28.5%	135	44.3%	34	11.1%	26	8.5%	12	3.9%	11	3.6%	305	100.0%
⑤女の子は家事ができるように育てるのがよい	195	63.9%	85	27.9%	5	1.6%	3	1.0%	6	2.0%	11	3.6%	305	100.0%
⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	227	74.4%	56	18.4%	4	1.3%	4	1.3%	3	1.0%	11	3.6%	305	100.0%
⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	128	42.0%	131	43.0%	23	7.5%	6	2.0%	7	2.3%	10	3.3%	305	100.0%

【女】

	そう思う		どちらかといえばそう思う		どちらかといえばそう思わない		そう思わない		わからない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	175	44.5%	149	37.9%	29	7.4%	19	4.8%	12	3.1%	9	2.3%	393	100.0%
②子どもの世話の大部分は、男親にもできる	100	25.4%	166	42.2%	67	17.0%	36	9.2%	13	3.3%	11	2.8%	393	100.0%
③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	137	34.9%	143	36.4%	36	9.2%	33	8.4%	28	7.1%	16	4.1%	393	100.0%
④男の子は家事ができるように育てるのがよい	177	45.0%	177	45.0%	11	2.8%	13	3.3%	7	1.8%	8	2.0%	393	100.0%
⑤女の子は家事ができるように育てるのがよい	299	76.1%	79	20.1%	2	0.5%	1	0.3%	4	1.0%	8	2.0%	393	100.0%
⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	298	75.8%	77	19.6%	3	0.8%	2	0.5%	6	1.5%	7	1.8%	393	100.0%
⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	211	53.7%	147	37.4%	12	3.1%	6	1.5%	8	2.0%	9	2.3%	393	100.0%

問 13. あなたは、子育てに関する地域活動に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子ども見守り活動	-	-	2	4.3%	2	3.3%	6	9.0%	12	19.4%	10	25.0%	32	10.5%
P T A役員や子ども会などの委員活動	-	-	6	13.0%	27	45.0%	33	49.3%	21	33.9%	3	7.5%	90	29.5%
スポーツ少年団などの指導活動	1	3.3%	1	2.2%	17	28.3%	14	20.9%	11	17.7%	-	-	44	14.4%
ファミリーサポートセンターの活動	-	-	-	-	2	3.3%	2	3.0%	-	-	-	-	4	1.3%
いきいきキッズの活動	-	-	-	-	1	1.7%	1	1.5%	-	-	-	-	2	0.7%
教育協議会の活動	-	-	2	4.3%	7	11.7%	3	4.5%	5	8.1%	2	5.0%	19	6.2%
その他	1	3.3%	-	-	1	1.7%	1	1.5%	2	3.2%	1	2.5%	6	2.0%
特にない	26	86.7%	38	82.6%	22	36.7%	25	37.3%	26	41.9%	19	47.5%	156	51.1%
無回答	2	6.7%	-	-	-	-	-	-	3	4.8%	8	20.0%	13	4.3%
全 体	30	100.0%	46	100.0%	60	100.0%	67	100.0%	62	100.0%	40	100.0%	305	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
子ども見守り活動	6	12.8%	7	8.1%	6	7.2%	8	9.5%	17	30.4%	6	16.7%	50	12.7%
P T A役員や子ども会などの委員活動	3	6.4%	26	30.2%	67	80.7%	63	75.0%	26	46.4%	10	27.8%	195	49.6%
スポーツ少年団などの指導活動	1	2.1%	4	4.7%	14	16.9%	8	9.5%	4	7.1%	-	-	31	7.9%
ファミリーサポートセンターの活動	-	-	1	1.2%	2	2.4%	1	1.2%	2	3.6%	1	2.8%	7	1.8%
いきいきキッズの活動	1	2.1%	-	-	1	1.2%	-	-	2	3.6%	-	-	4	1.0%
教育協議会の活動	-	-	2	2.3%	19	22.9%	7	8.3%	2	3.6%	1	2.8%	31	7.9%
その他	2	4.3%	2	2.3%	1	1.2%	1	1.2%	-	-	1	2.8%	7	1.8%
特にない	35	74.5%	53	61.6%	13	15.7%	16	19.0%	18	32.1%	13	36.1%	149	37.9%
無回答	2	4.3%	2	2.3%	1	1.2%	2	2.4%	2	3.6%	7	19.4%	16	4.1%
全 体	47	100.0%	86	100.0%	83	100.0%	84	100.0%	56	100.0%	36	100.0%	393	100.0%

問 14. 出生率の低下が社会問題となっていますが、あなたは何が原因だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
結婚しない人が増えているから	178	58.4%	224	57.0%	407	57.7%
晩婚化が進むなど、年齢的な理由から	108	35.4%	156	39.7%	267	37.9%
出産・子育ての身体的・心理的負担が大きいから	77	25.2%	95	24.2%	174	24.7%
出産・子育てにお金がかかるから	140	45.9%	183	46.6%	325	46.1%
仕事と子育ての両立がむずかしいから	118	38.7%	180	45.8%	302	42.8%
子育てに結婚相手の協力がいないから	8	2.6%	27	6.9%	35	5.0%
地域の子育てサービス不足など、子育てをする社会環境がよくないから	65	21.3%	84	21.4%	149	21.1%
子育て以外に時間を使いたいと考える人が増えているから	69	22.6%	118	30.0%	187	26.5%
その他	17	5.6%	12	3.1%	29	4.1%
わからない	2	0.7%	2	0.5%	4	0.6%
無回答	11	3.6%	7	1.8%	18	2.6%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

#### ④健康・介護について

問 15. あなたは、平成20年度（平成20年4月～平成21年3月）の1年間で、病院および職場、学校等での健康診断を受診しましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
受診した	255	83.6%	289	73.5%	550	78.0%
受診していない	47	15.4%	102	26.0%	150	21.3%
無回答	3	1.0%	2	0.5%	5	0.7%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

問 15 で「2. 受診していない」と答えた方にお聞きします。

問 15-1. なぜ、受診しなかったのですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
受診する機会がなかったから	17	36.2%	50	49.0%	68	45.3%
健康には、自信があるから	5	10.6%	2	2.0%	7	4.7%
忙しくて受ける暇がなかったから	9	19.1%	19	18.6%	28	18.7%
経済的にゆとりがないから	4	8.5%	6	5.9%	10	6.7%
健康診断は好まないから	5	10.6%	7	6.9%	12	8.0%
その他	5	10.6%	11	10.8%	16	10.7%
無回答	2	4.3%	7	6.9%	9	6.0%
全 体	47	100.0%	102	100.0%	150	100.0%

問 16. あなたの家庭に、常時介護の必要な方はいますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
はい	2	6.7%	1	2.2%	7	11.7%	9	13.4%	8	12.9%	6	15.0%	33	10.8%
いいえ	28	93.3%	45	97.8%	53	88.3%	56	83.6%	50	80.6%	30	75.0%	262	85.9%
無回答	-	-	-	-	-	-	2	3.0%	4	6.5%	4	10.0%	10	3.3%
全 体	30	100.0%	46	100.0%	60	100.0%	67	100.0%	62	100.0%	40	100.0%	305	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
はい	2	4.3%	6	7.0%	5	6.0%	5	6.0%	6	10.7%	7	19.4%	31	7.9%
いいえ	45	95.7%	80	93.0%	77	92.8%	77	91.7%	46	82.1%	27	75.0%	353	89.8%
無回答	-	-	-	-	1	1.2%	2	2.4%	4	7.1%	2	5.6%	9	2.3%
全 体	47	100.0%	86	100.0%	83	100.0%	84	100.0%	56	100.0%	36	100.0%	393	100.0%

問 16 で「1. はい」と答えた方にお聞きします。

問 16-1. その方の世話は誰がしていますか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。 ※介護を受ける人からみた続柄

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
夫	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12.5%	-	-	1	3.0%
妻	-	-	-	-	2	28.6%	2	22.2%	2	25.0%	3	50.0%	9	27.3%
息子	-	-	-	-	-	-	-	-	2	25.0%	1	16.7%	3	9.1%
娘	-	-	-	-	1	14.3%	-	-	1	12.5%	-	-	2	6.1%
子ども全員	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12.5%	-	-	1	3.0%
息子の妻	-	-	-	-	-	-	-	-	1	12.5%	1	16.7%	2	6.1%
娘の夫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
親	-	-	1	100.0%	2	28.6%	-	-	-	-	2	33.3%	5	15.2%
ホームヘルパー	1	50.0%	-	-	1	14.3%	1	11.1%	-	-	-	-	3	9.1%
介護施設、老人ホーム等	1	50.0%	-	-	3	42.9%	8	88.9%	3	37.5%	1	16.7%	16	48.5%
近所や地域の人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	-	-	-	-	1	11.1%	-	-	-	-	1	3.0%
全 体	2	100.0%	1	100.0%	7	100.0%	9	100.0%	8	100.0%	6	100.0%	33	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
夫	-	-	-	-	1	20.0%	-	-	-	-	-	-	4	12.9%
妻	-	-	2	33.3%	-	-	1	20.0%	3	50.0%	2	28.6%	8	25.8%
息子	-	-	-	-	1	20.0%	-	-	-	-	1	14.3%	2	6.5%
娘	-	-	1	16.7%	-	-	2	40.0%	1	16.7%	-	-	4	12.9%
子ども全員	-	-	1	16.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3.2%
息子の妻	1	50.0%	1	16.7%	2	40.0%	2	40.0%	2	33.3%	1	14.3%	9	29.0%
娘の夫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
親	-	-	-	-	1	20.0%	-	-	1	16.7%	-	-	2	6.5%
ホームヘルパー	-	-	1	16.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3.2%
介護施設、老人ホーム等	2	100.0%	2	33.3%	2	40.0%	2	40.0%	4	66.7%	2	28.6%	14	45.2%
近所や地域の人	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	-	-	1	16.7%	-	-	-	-	-	-	1	14.3%	2	6.5%
全 体	2	100.0%	6	100.0%	5	100.0%	5	100.0%	6	100.0%	7	100.0%	31	100.0%

問 17. あなたは将来、誰に介護してほしいと思いますか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
夫	-	-	148	37.7%	154	21.8%
妻	210	68.9%	-	-	212	30.1%
息子	20	6.6%	22	5.6%	42	6.0%
娘	30	9.8%	111	28.2%	141	20.0%
子ども全員	44	14.4%	55	14.0%	100	14.2%
息子の妻	9	3.0%	19	4.8%	29	4.1%
娘の夫	-	-	1	0.3%	1	0.1%
親	-	-	2	0.5%	2	0.3%
ホームヘルパー	35	11.5%	73	18.6%	109	15.5%
介護施設、老人ホーム	109	35.7%	176	44.8%	288	40.9%
近所や地域の人	-	-	1	0.3%	1	0.1%
その他	12	3.9%	13	3.3%	25	3.5%
無回答	9	2.9%	12	3.4%	17	2.4%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

### ⑤就労について

問 18. あなたは現在、収入を得る仕事（産前・産後休暇、育児・介護休業中も含む）をしていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
している	25	83.3%	42	91.3%	57	95.0%	61	91.0%	29	46.8%	9	22.5%	223	73.1%
していない	5	16.7%	4	8.7%	3	5.0%	4	6.0%	32	51.6%	29	72.5%	77	25.2%
無回答	-	-	-	-	-	-	2	3.0%	1	1.6%	2	5.0%	5	1.6%
全 体	30	100.0%	46	100.0%	60	100.0%	67	100.0%	62	100.0%	40	100.0%	305	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
している	33	70.2%	60	69.8%	64	77.1%	63	75.0%	13	23.2%	2	5.6%	235	59.8%
していない	14	29.8%	26	30.2%	19	22.9%	21	25.0%	43	76.8%	29	80.6%	153	38.9%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	13.9%	5	1.3%
全 体	47	100.0%	86	100.0%	83	100.0%	84	100.0%	56	100.0%	36	100.0%	393	100.0%

問 18 で「1. している」と答えた方にお聞きします。

問 18-1. あなたが働いているのはどのような理由からですか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
生計を維持するため	173	77.6%	87	37.0%	265	57.0%
家計の足しにするため	15	6.7%	77	32.8%	96	20.6%
教育資金を得るため	11	4.9%	12	5.1%	23	4.9%
住宅ローン等借金の返済のため	26	11.7%	16	6.8%	42	9.0%
将来に備えて貯蓄するため	33	14.8%	56	23.8%	89	19.1%
自分で自由に使えるお金を得るため	17	7.6%	52	22.1%	71	15.3%
生きがいを得るため	24	10.8%	26	11.1%	51	11.0%
能力・技能・資格を生かすため	10	4.5%	18	7.7%	28	6.0%
視野を広げ、友人を得るため	6	2.7%	8	3.4%	14	3.0%
社会に貢献するため	11	4.9%	3	1.3%	14	3.0%
仕事をすることが好きだから	6	2.7%	18	7.7%	24	5.2%
働くのが当然だから	52	23.3%	29	12.3%	81	17.4%
時間的に余裕があるから	4	1.8%	18	7.7%	22	4.7%
家業であるから	9	4.0%	11	4.7%	20	4.3%
その他	6	2.7%	5	2.1%	11	2.4%
特に理由はない	1	0.4%	1	0.4%	2	0.4%
無回答	6	2.7%	5	2.1%	12	2.6%
全 体	223	100.0%	235	100.0%	465	100.0%

問 18 で「1. している」と答えた方にお聞きします。

問 18-2. あなたの働いているところでは、男性と女性は平等だと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
平等である	120	53.8%	122	51.9%	243	52.3%
女性の方が優遇されている	22	9.9%	15	6.4%	37	8.0%
男性の方が優遇されている	69	30.9%	90	38.3%	164	35.3%
無回答	12	5.4%	8	3.4%	21	4.5%
全 体	223	100.0%	235	100.0%	465	100.0%

問 18-2 で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と答えた方にお聞きします。

問 18-3. あなたが働いているところで、男女が平等だと思わないのはどのようなことですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
賃金	23	25.3%	48	45.7%	74	36.8%
昇進、昇格	38	41.8%	53	50.5%	93	46.3%
能力評価	29	31.9%	43	41.0%	72	35.8%
採用時の条件	13	14.3%	14	13.3%	28	13.9%
補助的な仕事しかやらせてもらえない	16	17.6%	12	11.4%	29	14.4%
定年まで勤め続けにくい雰囲気がある	9	9.9%	12	11.4%	22	10.9%
結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある	15	16.5%	18	17.1%	33	16.4%
教育訓練を受ける機会に差がある	3	3.3%	17	16.2%	20	10.0%
その他	17	18.7%	15	14.3%	32	15.9%
わからない	7	7.7%	5	4.8%	12	6.0%
全 体	91	100.0%	105	100.0%	201	100.0%



問 18 で「2. していない」と答えた方にお聞きします。

問 18-4. 今後適当な仕事があれば働きたいですか。働きたい仕事の形を、次の中から 1 つ選んで

○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
常勤の仕事（正規従業員）	10	13.0%	11	7.2%	21	9.1%
パートタイム、アルバイト、非常勤など	11	14.3%	39	25.5%	50	21.7%
派遣の仕事	2	2.6%	2	1.3%	4	1.7%
自由業、自営業、家族従業など個人で働きたい	2	2.6%	6	3.9%	8	3.5%
在宅で働きたい（内職やインターネット等を活用して）	1	1.3%	10	6.5%	11	4.8%
その他	9	11.7%	15	9.8%	24	10.4%
働きたいとは思わない	32	41.6%	44	28.8%	76	33.0%
無回答	10	13.0%	26	17.0%	36	15.7%
全 体	77	100.0%	153	100.0%	230	100.0%

問 19. 女性が職業をもつことについてあなたはどのように思いますか。次の中から 1 つ選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
結婚して子どもが生まれた後も、職業をもち続ける方がいい	73	23.9%	94	23.9%	169	24.0%
結婚するまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい	14	4.6%	5	1.3%	19	2.7%
結婚して子どもができるまでは職業をもつが、その後はもたない方がいい	11	3.6%	12	3.1%	23	3.3%
結婚や子育てなどで一時的にやめるが、子育ての時期が過ぎたら再び職業をもつ方がいい	175	57.4%	243	61.8%	423	60.0%
職業は一生もたない方がいい	2	0.7%	1	0.3%	3	0.4%
その他	10	3.3%	16	4.1%	26	3.7%
わからない	12	3.9%	10	2.5%	22	3.1%
無回答	8	2.6%	12	3.1%	20	2.8%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

問 20. 女性が働き続けていくうえで、大きな障がいになっているのは何だと思いますか。次の中から主なものを 3 つまで選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
家族の協力や理解が得にくいこと	92	30.2%	163	41.5%	258	36.6%
家事や育児との両立が難しいこと	230	75.4%	316	80.4%	552	78.3%
老人や病人の介護・看護があること	70	23.0%	136	34.6%	209	29.6%
企業が女性に責任ある仕事を任せないこと	46	15.1%	26	6.6%	72	10.2%
企業が結婚・出産した女性の雇用をきらう傾向があること	91	29.8%	113	28.8%	206	29.2%
育児休業制度などの条件が整っていないこと	125	41.0%	158	40.2%	284	40.3%
女性自身の就労に対する意識が低いこと	55	18.0%	46	11.7%	103	14.6%
その他	3	1.0%	15	3.8%	18	2.6%
特に障がいはないと思う	11	3.6%	6	1.5%	17	2.4%
無回答	11	3.6%	10	2.5%	21	3.0%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

問 21. あなたは、次の制度の内容についてご存知ですか。それぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

【男】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①育児休業制度	114	37.4%	106	34.8%	63	20.7%	13	4.3%	9	3.0%	305	100.0%
②介護休業制度	71	23.3%	86	28.2%	85	27.9%	52	17.0%	11	3.6%	305	100.0%

【女】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①育児休業制度	126	32.1%	163	41.5%	74	18.8%	16	4.1%	14	3.6%	393	100.0%
②介護休業制度	69	17.6%	111	28.2%	101	25.7%	90	22.9%	22	5.6%	393	100.0%

問 21. また実際に取得したことがありますか。それぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

【男】

	取得したことがある		取得したことがない		取得の対象となる者がいない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①育児休業制度	3	1.0%	146	47.9%	101	33.1%	55	18.0%	305	100.0%
②介護休業制度	2	0.7%	123	40.3%	125	41.0%	55	18.0%	305	100.0%

【女】

	取得したことがある		取得したことがない		取得の対象となる者がいない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①育児休業制度	34	8.7%	192	48.9%	110	28.0%	57	14.5%	393	100.0%
②介護休業制度	4	1.0%	160	40.7%	172	43.8%	57	14.5%	393	100.0%

## ⑥ワーク・ライフ・バランスについて

問 22. あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、ご存知ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
よく知っている	26	8.5%	13	3.3%	39	5.5%
少し知っている	42	13.8%	30	7.6%	74	10.5%
言葉を聞いたことがある程度	73	23.9%	71	18.1%	145	20.6%
知らない	155	50.8%	270	68.7%	429	60.9%
無回答	9	3.0%	9	2.3%	18	2.6%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

問 23. 生活の中での、仕事、家庭生活、地域・個人の優先度について、あなたの「希望」と「現実」をお答えください。①、②のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

【男】

	仕事		家庭生活		地域・個人の生活		仕事と家庭生活		仕事と地域・個人の生活		家庭生活と地域・個人の生活		仕事と家庭生活と地域・個人の生活		わからない	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①希望	11	3.6%	65	21.3%	25	8.2%	57	18.7%	15	4.9%	19	6.2%	51	16.7%	32	10.5%
②現実	104	34.1%	27	8.9%	18	5.9%	51	16.7%	12	3.9%	13	4.3%	15	4.9%	30	9.8%

	無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率
①希望	30	9.8%	305	100.0%
②現実	35	11.5%	305	100.0%

【女】

	仕事		家庭生活		地域・個人の生活		仕事と家庭生活		仕事と地域・個人の生活		家庭生活と地域・個人の生活		仕事と家庭生活と地域・個人の生活		わからない	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①希望	9	2.3%	89	22.6%	13	3.3%	71	18.1%	12	3.1%	33	8.4%	72	18.3%	32	8.1%
②現実	48	12.2%	88	22.4%	10	2.5%	88	22.4%	13	3.3%	20	5.1%	25	6.4%	38	9.7%

	無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率
①希望	62	15.8%	393	100.0%
②現実	63	16.0%	393	100.0%

⑦ドメスティック・バイオレンスなどについて

問 24. あなたは、次の言葉および法律の内容についてご存知ですか。①～④のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

【男】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①ドメスティック・バイオレンス	150	49.2%	90	29.5%	31	10.2%	27	8.9%	7	2.3%	305	100.0%
②DV防止法	94	30.8%	84	27.5%	64	21.0%	54	17.7%	9	3.0%	305	100.0%
③デートDV	45	14.8%	50	16.4%	53	17.4%	147	48.2%	10	3.3%	305	100.0%
④セクシュアル・ハラスメント	173	56.7%	84	27.5%	23	7.5%	17	5.6%	8	2.6%	305	100.0%

【女】

	よく知っている		少し知っている		言葉を聞いたことがある程度		知らない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①ドメスティック・バイオレンス	195	49.6%	119	30.3%	38	9.7%	33	8.4%	8	2.0%	393	100.0%
②DV防止法	96	24.4%	127	32.3%	86	21.9%	76	19.3%	8	2.0%	393	100.0%
③デートDV	60	15.3%	73	18.6%	57	14.5%	195	49.6%	8	2.0%	393	100.0%
④セクシュアル・ハラスメント	195	49.6%	118	30.0%	41	10.4%	30	7.6%	9	2.3%	393	100.0%

問 25. あなたはこれまでに、結婚相手や恋人から暴力を受けた経験がありますか。次の中から選んで○印をつけてください。

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
ある	-	-	4	8.7%	1	1.7%	1	1.5%	3	4.8%	-	-	9	3.0%
ない	30	100.0%	42	91.3%	59	98.3%	65	97.0%	57	91.9%	36	90.0%	289	94.8%
無回答	-	-	-	-	-	-	1	1.5%	2	3.2%	4	10.0%	7	2.3%
全体	30	100.0%	46	100.0%	60	100.0%	67	100.0%	62	100.0%	40	100.0%	305	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
ある	5	10.6%	21	24.4%	11	13.3%	12	14.3%	7	12.5%	1	2.8%	57	14.5%
ない	42	89.4%	65	75.6%	72	86.7%	72	85.7%	49	87.5%	31	86.1%	332	84.5%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	11.1%	4	1.0%
全体	47	100.0%	86	100.0%	83	100.0%	84	100.0%	56	100.0%	36	100.0%	393	100.0%

問 25-1. 問 25で「1. ある」と答えた方にお聞きします。その暴力はどのようなものでしたか。

これまでの状況に関して①～⑬のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

<これまで>  
【男】

	何度もあった		1・2度あった		ない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①命の危険を感じる程度の暴行を受ける	-	-	2	22.2%	5	55.6%	2	22.2%	9	100.0%
②医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける	-	-	-	-	7	77.8%	2	22.2%	9	100.0%
③医師の治療が必要とされない程度の暴行を受ける	-	-	2	22.2%	4	44.4%	3	33.3%	9	100.0%
④足で蹴られる	-	-	4	44.4%	3	33.3%	2	22.2%	9	100.0%
⑤手でたたかれる	-	-	5	55.6%	2	22.2%	2	22.2%	9	100.0%
⑥殴るふりをして、おどされる	-	-	2	22.2%	5	55.6%	2	22.2%	9	100.0%
⑦何を言っても無視され続ける	-	-	5	55.6%	3	33.3%	1	11.1%	9	100.0%
⑧いやがっているのに性的行為を強要される	-	-	1	11.1%	6	66.7%	2	22.2%	9	100.0%
⑨見たくないのに、ポルノビデオ・雑誌を見せられる	-	-	-	-	7	77.8%	2	22.2%	9	100.0%
⑩交友関係や電話、メール等を細かく監視される	-	-	1	11.1%	6	66.7%	2	22.2%	9	100.0%
⑪生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる	-	-	-	-	7	77.8%	2	22.2%	9	100.0%
⑫大声でどなられたり、暴言を吐かれる	2	22.2%	4	44.4%	2	22.2%	1	11.1%	9	100.0%
⑬その他	1	11.1%	-	-	3	33.3%	5	55.6%	9	100.0%

<これまで>  
【女】

	何度もあった		1・2度あった		ない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①命の危険を感じる程度の暴行を受ける	-	-	11	19.3%	36	63.2%	10	17.5%	57	100.0%
②医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける	1	1.8%	9	15.8%	36	63.2%	11	19.3%	57	100.0%
③医師の治療が必要とされない程度の暴行を受ける	11	19.3%	13	22.8%	20	35.1%	13	22.8%	57	100.0%
④足で蹴られる	13	22.8%	16	28.1%	21	36.8%	7	12.3%	57	100.0%
⑤手でたたかれる	17	29.8%	25	43.9%	8	14.0%	7	12.3%	57	100.0%
⑥殴るふりをして、おどされる	12	21.1%	20	35.1%	14	24.6%	11	19.3%	57	100.0%
⑦何を言っても無視され続ける	13	22.8%	6	10.5%	30	52.6%	8	14.0%	57	100.0%
⑧いやがっているのに性的行為を強要される	12	21.1%	7	12.3%	30	52.6%	8	14.0%	57	100.0%
⑨見たくないのに、ポルノビデオ・雑誌を見せられる	-	-	4	7.0%	42	73.7%	11	19.3%	57	100.0%
⑩交友関係や電話、メール等を細かく監視される	10	17.5%	1	1.8%	34	59.6%	12	21.1%	57	100.0%
⑪生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる	9	15.8%	6	10.5%	33	57.9%	9	15.8%	57	100.0%
⑫大声でどなられたり、暴言を吐かれる	38	66.7%	9	15.8%	3	5.3%	7	12.3%	57	100.0%
⑬その他	2	3.5%	3	5.3%	14	24.6%	38	66.7%	57	100.0%

<現在>

【男】

	現在もある		現在はない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①命の危険を感じる程度の暴行を受ける	1	11.1%	5	55.6%	3	33.3%	9	100.0%
②医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける	-	-	6	66.7%	3	33.3%	9	100.0%
③医師の治療が必要としない程度の暴行を受ける	1	11.1%	5	55.6%	3	33.3%	9	100.0%
④足で蹴られる	3	33.3%	3	33.3%	3	33.3%	9	100.0%
⑤手でたたかれる	3	33.3%	3	33.3%	3	33.3%	9	100.0%
⑥殴るふりをして、おどされる	1	11.1%	4	44.4%	4	44.4%	9	100.0%
⑦何を言っても無視され続ける	2	22.2%	6	66.7%	1	11.1%	9	100.0%
⑧いやがっているのに性的行為を強要される	1	11.1%	5	55.6%	3	33.3%	9	100.0%
⑨見たくないのに、ポルノビデオ・雑誌を見せられる	-	-	6	66.7%	3	33.3%	9	100.0%
⑩交友関係や電話、メール等を細かく監視される	1	11.1%	5	55.6%	3	33.3%	9	100.0%
⑪生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる	-	-	6	66.7%	3	33.3%	9	100.0%
⑫大声でどなられたり、暴言を吐かれる	5	55.6%	3	33.3%	1	11.1%	9	100.0%
⑬その他	1	11.1%	2	22.2%	6	66.7%	9	100.0%

<現在>

【女】

	現在もある		現在はない		無回答		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
①命の危険を感じる程度の暴行を受ける	-	-	44	77.2%	13	22.8%	57	100.0%
②医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける	-	-	43	75.4%	14	24.6%	57	100.0%
③医師の治療が必要としない程度の暴行を受ける	2	3.5%	40	70.2%	15	26.3%	57	100.0%
④足で蹴られる	3	5.3%	42	73.7%	12	21.1%	57	100.0%
⑤手でたたかれる	7	12.3%	39	68.4%	11	19.3%	57	100.0%
⑥殴るふりをして、おどされる	5	8.8%	39	68.4%	13	22.8%	57	100.0%
⑦何を言っても無視され続ける	3	5.3%	40	70.2%	14	24.6%	57	100.0%
⑧いやがっているのに性的行為を強要される	4	7.0%	42	73.7%	11	19.3%	57	100.0%
⑨見たくないのに、ポルノビデオ・雑誌を見せられる	-	-	42	73.7%	15	26.3%	57	100.0%
⑩交友関係や電話、メール等を細かく監視される	2	3.5%	39	68.4%	16	28.1%	57	100.0%
⑪生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる	2	3.5%	42	73.7%	13	22.8%	57	100.0%
⑫大声でどなられたり、暴言を吐かれる	19	33.3%	28	49.1%	10	17.5%	57	100.0%
⑬その他	1	1.8%	22	38.6%	34	59.6%	57	100.0%

問 25 で「1. ある」と答えた方にお聞きます。

問 25-2. 暴力を受けたとき誰かに相談しましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
相談した	-	-	1	25.0%	1	100.0%	-	-	-	-	-	-	2	22.2%
相談しなかった	-	-	3	75.0%	-	-	1	100.0%	3	100.0%	-	-	7	77.8%
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	-	-	4	100.0%	1	100.0%	1	100.0%	3	100.0%	-	-	9	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
相談した	2	40.0%	13	61.9%	6	54.5%	4	33.3%	2	28.6%	-	-	27	47.4%
相談しなかった	3	60.0%	8	38.1%	5	45.5%	7	58.3%	5	71.4%	-	-	28	49.1%
無回答	-	-	-	-	-	-	1	8.3%	-	-	1	100.0%	2	3.5%
全 体	5	100.0%	21	100.0%	11	100.0%	12	100.0%	7	100.0%	1	100.0%	57	100.0%

問 25-2で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします。

問 25-3. どのような所および人に相談しましたか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ相談室」	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県の相談窓口「三重県人権センター」	-	-	-	-	1	100.0%	-	-	-	-	-	-	1	50.0%
亀山市の相談窓口「くらし・男女の行政相談」	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亀山市福祉事務所（女性相談担当）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
警察	-	-	-	-	1	100.0%	-	-	-	-	-	-	1	50.0%
弁護士	-	-	-	-	1	100.0%	-	-	-	-	-	-	1	50.0%
医師など医療関係者	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
他の市町村の女性（婦人）相談員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
人権擁護委員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
民間支援団体	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
親族	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
友人・知人	-	-	1	100.0%	-	-	-	-	-	-	-	-	1	50.0%
その他	-	-	-	-	1	100.0%	-	-	-	-	-	-	1	50.0%
全 体	-	-	1	100.0%	1	100.0%	-	-	-	-	-	-	2	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ相談室」	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
三重県の相談窓口「三重県人権センター」	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亀山市の相談窓口「くらし・男女の行政相談」	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
亀山市福祉事務所（女性相談担当）	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
警察	-	-	1	7.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3.7%
弁護士	-	-	1	7.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3.7%
医師など医療関係者	-	-	-	-	2	33.3%	-	-	1	50.0%	-	-	3	11.1%
他の市町村の女性（婦人）相談員	-	-	-	-	1	16.7%	-	-	-	-	-	-	1	3.7%
人権擁護委員	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
民間支援団体	-	-	-	-	1	16.7%	-	-	-	-	-	-	1	3.7%
親族	2	100.0%	5	38.5%	4	66.7%	3	75.0%	2	100.0%	-	-	16	59.3%
友人・知人	2	100.0%	10	76.9%	4	66.7%	3	75.0%	-	-	-	-	19	70.4%
その他	-	-	1	7.7%	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3.7%
全 体	2	100.0%	13	100.0%	6	100.0%	4	100.0%	2	100.0%	-	-	27	100.0%

問 25-2で「2. 相談しなかった」と答えた方にお聞きします。

問 25-4. どこ（誰）にも相談しなかったのはなぜですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
誰も相談する人がいなかったから	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	-	-	-	-	-	-	1	100.0%	-	-	-	-	1	14.3%
相談しても無駄だと思ったから	-	-	1	33.3%	-	-	1	100.0%	2	66.7%	-	-	4	57.1%
相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
相談先の担当者や相談者の言動により不快な思いをすと思ったから	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから	-	-	1	33.3%	-	-	1	100.0%	2	66.7%	-	-	4	57.1%
世間体が悪いから	-	-	-	-	-	-	1	100.0%	-	-	-	-	1	14.3%
他人を巻き込みたくなかったから	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
相談するほどのことではないと思ったから	-	-	1	33.3%	-	-	-	-	3	100.0%	-	-	4	57.1%
その他	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
全 体	-	-	3	100.0%	-	-	1	100.0%	3	100.0%	-	-	7	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
誰も相談する人がいなかったから	-	-	1	12.5%	1	20.0%	1	14.3%	-	-	-	-	3	10.7%
どこ（誰）に相談してよいかわからなかったから	-	-	2	25.0%	1	20.0%	2	28.6%	-	-	-	-	5	17.9%
恥ずかしくて誰にも言えなかったから	1	33.3%	-	-	3	60.0%	2	28.6%	1	20.0%	-	-	7	25.0%
相談しても無駄だと思ったから	2	66.7%	3	37.5%	3	60.0%	4	57.1%	2	40.0%	-	-	14	50.0%
相談したことがわかると仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けると思ったから	-	-	-	-	1	20.0%	-	-	-	-	-	-	1	3.6%
相談先の担当者や相談者の言動により不快な思いをすと思ったから	-	-	-	-	1	20.0%	-	-	-	-	-	-	1	3.6%
自分さえ我慢すれば、何とかこのままやっていけると思ったから	2	66.7%	5	62.5%	3	60.0%	5	71.4%	2	40.0%	-	-	17	60.7%
世間体が悪いから	1	33.3%	-	-	2	40.0%	1	14.3%	-	-	-	-	4	14.3%
他人を巻き込みたくなかったから	-	-	-	-	-	-	2	28.6%	-	-	-	-	2	7.1%
相談するほどのことではないと思ったから	2	66.7%	5	62.5%	2	40.0%	2	28.6%	2	40.0%	-	-	13	46.4%
その他	-	-	1	12.5%	-	-	-	-	-	-	-	-	1	3.6%
全 体	3	100.0%	8	100.0%	5	100.0%	7	100.0%	5	100.0%	-	-	28	100.0%

問 26. 結婚相手や恋人から暴力を受けたときに相談できる機関や関係者などの窓口のなかで、そのような相談ができることを知っていたものについて、次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」	26	8.5%	55	14.0%	81	11.5%
三重県男女共同参画センター「フレンテみえ相談室」	23	7.5%	28	7.1%	51	7.2%
三重県の相談窓口「三重県人権センター」	73	23.9%	71	18.1%	145	20.6%
亀山市の相談窓口「くらし・男女の行政相談」	54	17.7%	86	21.9%	143	20.3%
亀山市福祉事務所（女性相談担当）	34	11.1%	52	13.2%	88	12.5%
警察	181	59.3%	236	60.1%	420	59.6%
弁護士	94	30.8%	101	25.7%	197	27.9%
医師など医療関係者	22	7.2%	41	10.4%	65	9.2%
他の市町村の女性（婦人）相談員	4	1.3%	12	3.1%	16	2.3%
人権擁護委員	48	15.7%	40	10.2%	88	12.5%
民間支援団体	10	3.3%	12	3.1%	22	3.1%
その他	5	1.6%	3	0.8%	8	1.1%
知っている相談窓口はない	43	14.1%	37	9.4%	81	11.5%
無回答	44	14.4%	53	13.5%	99	14.0%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

問 27. あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する	255	83.6%	312	79.4%	573	81.3%
相手がいやがっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る	263	86.2%	312	79.4%	581	82.4%
宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する	193	63.3%	197	50.1%	393	55.7%
容姿に関して繰り返して言う	181	59.3%	205	52.2%	392	55.6%
相手がいやがっているのに性的な冗談を言う	241	79.0%	281	71.5%	527	74.8%
職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする	155	50.8%	171	43.5%	330	46.8%
ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目のつくところに貼る	138	45.2%	142	36.1%	283	40.1%
結婚予定や出産予定をたびたび聞く	96	31.5%	86	21.9%	182	25.8%
その他	4	1.3%	3	0.8%	7	1.0%
特にない	3	1.0%	8	2.0%	11	1.6%
わからない	4	1.3%	9	2.3%	14	2.0%
無回答	21	6.9%	27	6.9%	48	6.8%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%



問 28. 近年において、性犯罪や売買春（いわゆる「援助交際」を含む）、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等についての関心が高まっていますが、このようなことをなくすためにはどうしたらよいと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
法律・制度の制定や見直しを行う	111	36.4%	118	30.0%	231	32.8%
犯罪の取締りを強化する	124	40.7%	134	34.1%	260	36.9%
捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする	81	26.6%	132	33.6%	215	30.5%
被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる	30	9.8%	25	6.4%	55	7.8%
被害女性のための相談所や保護施設を整備する	85	27.9%	155	39.4%	240	34.0%
学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる	68	22.3%	92	23.4%	161	22.8%
性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などのあらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を学校、家庭において充実させる	71	23.3%	80	20.4%	152	21.6%
メディア（新聞・テレビ等）が自主的に倫理規程を強化する	52	17.0%	42	10.7%	94	13.3%
過激な内容の映像ソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する	75	24.6%	109	27.7%	184	26.1%
その他	10	3.3%	12	3.1%	22	3.1%
特に対策の必要はない	4	1.3%	-	-	4	0.6%
わからない	12	3.9%	18	4.6%	31	4.4%
無回答	32	10.5%	47	12.0%	81	11.5%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

問 29. あなたは現在、地域における社会活動に参加していますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

【男】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
参加している	3	10.0%	19	41.3%	33	55.0%	37	55.2%	35	56.5%	21	52.5%	148	48.5%
参加していない	26	86.7%	26	56.5%	26	43.3%	29	43.3%	27	43.5%	12	30.0%	146	47.9%
無回答	1	3.3%	1	2.2%	1	1.7%	1	1.5%	-	-	7	17.5%	11	3.6%
全 体	30	100.0%	46	100.0%	60	100.0%	67	100.0%	62	100.0%	40	100.0%	305	100.0%

【女】

	～29歳		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳以上		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
参加している	12	25.5%	40	46.5%	45	54.2%	34	40.5%	25	44.6%	15	41.7%	171	43.5%
参加していない	35	74.5%	43	50.0%	38	45.8%	48	57.1%	27	48.2%	14	38.9%	206	52.4%
無回答	-	-	3	3.5%	-	-	2	2.4%	4	7.1%	7	19.4%	16	4.1%
全 体	47	100.0%	86	100.0%	83	100.0%	84	100.0%	56	100.0%	36	100.0%	393	100.0%

問 29 で「1. 参加している」と答えた方にお聞きします。

問 29-1. あなたが参加している社会活動はどのようなものですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
県・市の審議会・委員会の活動	3	2.0%	4	2.3%	7	2.2%
町内会、自治会等の活動	123	83.1%	123	71.9%	247	77.2%
P T A活動	20	13.5%	56	32.7%	76	23.8%
子ども会・青少年グループの世話	21	14.2%	31	18.1%	52	16.3%
青年団体・女性団体・老人団体などの活動	20	13.5%	19	11.1%	39	12.2%
消費者団体・生活協同組合などの消費者活動	2	1.4%	7	4.1%	9	2.8%
N P O団体などのボランティア活動	11	7.4%	13	7.6%	24	7.5%
その他	12	8.1%	9	5.3%	21	6.6%
全 体	148	100.0%	171	100.0%	320	100.0%

### ⑧社会参加について

問 29 で「2. 参加していない」と答えた方にお聞きします。

問 29-2. 社会活動に参加していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない	6	4.1%	45	21.8%	52	14.5%
老人や病人の世話がある	4	2.7%	15	7.3%	20	5.6%
家族の理解・協力が無い	2	1.4%	3	1.5%	5	1.4%
仕事が忙しく余裕がない	69	47.3%	67	32.5%	140	39.1%
活動に経費がかかる	6	4.1%	9	4.4%	16	4.5%
どんな活動があるのかよくわからない	64	43.8%	107	51.9%	173	48.3%
その他	27	18.5%	31	15.0%	58	16.2%
無回答	1	0.7%	4	1.9%	5	1.4%
全 体	146	100.0%	206	100.0%	358	100.0%

問 30. 今後、男性・女性が共に、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること	103	33.8%	147	37.4%	254	36.0%
仕事中心という社会全体の仕組みを改めること	131	43.0%	107	27.2%	240	34.0%
男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること	59	19.3%	76	19.3%	137	19.4%
妻が、夫に経済力や出世を求めないこと	19	6.2%	19	4.8%	38	5.4%
労働時間短縮や休暇制度を普及させること	111	36.4%	138	35.1%	250	35.5%
男性の男女共同参画に対する関心を高めること	44	14.4%	60	15.3%	106	15.0%
夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと	61	20.0%	99	25.2%	162	23.0%
夫が家事などをすることに妻が協力すること	19	6.2%	28	7.1%	49	7.0%
男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと	37	12.1%	90	22.9%	129	18.3%
仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること	13	4.3%	16	4.1%	30	4.3%
子どもに対し家事などを自分でできるようなしつけや育て方をすること	52	17.0%	92	23.4%	145	20.6%
子どもへの教育の中で、男女共同参画の必要性を教えること	41	13.4%	68	17.3%	110	15.6%
その他	11	3.6%	5	1.3%	16	2.3%
わからない	16	5.2%	8	2.0%	24	3.4%
無回答	22	7.2%	36	9.2%	58	8.2%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

⑨男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて

問 31. 政治や行政における、政策の企画や方針決定の過程への女性の参画は、徐々に改善はされているものの、依然として少ないのが現状です。あなたは、このような女性の参画が少ない状況は何が原因だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識	154	50.5%	185	47.1%	342	48.5%
男性優位の組織運営	153	50.2%	199	50.6%	355	50.4%
家族の支援・協力が得られない	76	24.9%	113	28.8%	190	27.0%
女性の能力開発の機会が不十分	57	18.7%	68	17.3%	125	17.7%
女性側の積極性が十分ではない	98	32.1%	104	26.5%	204	28.9%
女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない	111	36.4%	152	38.7%	266	37.7%
その他	10	3.3%	8	2.0%	18	2.6%
わからない	22	7.2%	33	8.4%	56	7.9%
無回答	17	5.6%	24	6.1%	41	5.8%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

問 32. 男女共同参画社会を実現するために、今後、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

	男		女		総計	
	回答数	比率	回答数	比率	回答数	比率
男女共同参画社会をめざした法律・条例・制度の制定や見直しを行う	94	30.8%	109	27.7%	204	28.9%
女性を政策決定の場に積極的に登用する	96	31.5%	107	27.2%	204	28.9%
各種団体の女性リーダーを養成する	45	14.8%	43	10.9%	88	12.5%
職場における男女の均等な取扱について周知徹底を行う	71	23.3%	89	22.6%	162	23.0%
女性が経済力をつけるための知識や技術を習得するための職業教育・訓練を充実する	43	14.1%	80	20.4%	125	17.7%
保育、介護の施設やサービスを充実する	117	38.4%	209	53.2%	328	46.5%
学校教育や社会教育・生涯学習の場で男女の平等と相互の理解や協力についての学習を充実する	67	22.0%	97	24.7%	164	23.3%
女性の生き方に関する情報提供や交流、相談、教育などの場を充実する	46	15.1%	72	18.3%	120	17.0%
男性に対する意識啓発や研修を充実する	20	6.6%	39	9.9%	59	8.4%
広報誌やパンフレットなどで、男女の平等と相互の理解や協力についてのPRを充実する	28	9.2%	34	8.7%	62	8.8%
その他	12	3.9%	11	2.8%	23	3.3%
特にない	5	1.6%	5	1.3%	10	1.4%
わからない	26	8.5%	33	8.4%	62	8.8%
無回答	23	7.5%	17	4.3%	40	5.7%
全 体	305	100.0%	393	100.0%	705	100.0%

## 2 自由記述

### (1) 自由記述回答の概要

#### ①男女共同参画について

すべてを男女平等にする共同参画ではなく、男女がお互いに人として尊重することが重要であり、男女のよさを活かした方がよいといった意見が最も多くみられた。

#### ②男女共同参画の推進について

男女共同参画の推進については、依然、高齢者の意識や職場における意識の変化は難しく、意識啓発や教育が必要であるといった意見がみられた。

また、行政による条例の見直しやPRなど効果のある周知を継続して行うことを望む意見もみられた。

#### ③男女共同参画は望ましいが、現実には厳しい

家庭、地域、職場、年代間など、様々な場面で固定的性別役割分担意識が根強く残っていることを実感し、男女共同参画社会の実現の難しさを感じる意見が多くみられる。

#### ④男女共同参画に関する意識啓発や教育について

男女共同参画社会を実現するために、意識変化の必要性を掲げる意見がみられた。また、同時に次世代に向け、子どもへの男女共同参画についての教育の必要性についての意見もみられた。

#### ⑤保育・介護サービスの充実について

固定的性別役割分担意識により、育児や介護が必要となった場合、女性が職場を離れることを課題としており、保育・介護サービスの充実を要望する意見がみられた。

#### ⑥女性が働きやすい環境づくりについて

女性が働きやすい職場づくりについては、育児や介護との両立支援として、行政サービスとともに、職場での制度の整備や理解が求められている。

#### ⑦女性の意識改革や努力について

職場や地域活動など、あらゆる場面において、参画に対する女性自身の意識改革が望まれる意見がみられた。

#### ⑧男性も育児・子育てに参加について

男性の育児・子育てへの参画については、40歳代以下の女性からの意見となっており、育児休業制度の取得への課題や男性の子育て参加の意識の高揚を望む意見がみられた。

## (2) 自由記述回答 (分類別)

### ①男女共同参画がよいとは思わない。人として互いを認め合うことが重要である …… 17人

- ・男女共同参画はとても良いことだとは思いますが、男女が家庭内であまり平等になりすぎると、父としての威厳が低下して子どもが父親を対等に見るようになる恐れもあると思います。子どもが悪いことをしたら怒ってやめさせることができる父親の地位も必要だということを忘れないでほしいです。会社での女性の地位、社会での女性の地位という一部のことだけを見ているようにしか思えない部分もあります。男、女に生まれてきた以上、それぞれの役目がありどちらも代わりができないことを忘れずに活動してほしいです。(男性、～29歳、野登地区)
- ・男は仕事、女は家庭という意識が、昔の日本は強かったように思います。しかし、現在の日本ではそういった考えは間違いという意識が徐々に強くなってきているように思います。男と女が平等に仕事をし、よりよい社会を作っていくという点では、私も男女平等に対してとても賛成ですが、子どもを育てる、教育するという点では、やはり「男も女も同じ」というようにはならないのかと感じます。男性は男性のよさ、例えば、たくましさや強さなど、女性は女性のよさ、例えば温かさであったり、やわらかさなど、それぞれに子どもたちを感じてもらいたい男女のよさというものがあると私は考えます。ですから、男女が社会に出たとき、同等の立場に立つことは重要だと思いますが、それぞれよさを生かした役割を持つことが必要になってくると私は思います。また、女性が女性の役割を果たすためには、様々な助けが必要だと考えます。(女性、～29歳、神辺地区)
- ・男と女のそれぞれの特徴をよく認識した上で進めるべきです。くだらないことで差別と言ったり、権利ばかり主張したりするのはなく、男女が共に責任感を持って取り組めることが大切です。(男性、30歳代、亀山地区)
- ・相手を思いやる気持ちをまず家庭の中からこつこつと築いていくことが明るい社会に発展していくと思います。(男性、40歳代、野登地区)
- ・男も女も適材適所でのバランスが必要です。(女性、40歳代、野登地区)
- ・職場によっては逆に女性に気を使い過ぎていることもあります。男性には男性特有のよい部分があり、女性には女性のよい部分があるのでもっと上手に組み合わせることが大事です。履き違えていることも多い気がします。共同参画の意味の捉え方にもよると思います。(男性、40歳代、野登地区)
- ・性別により能力差はあまりないように思います。しかし差別というより何かしらの区分けがないとお互いを必要とせず、現在の非婚率上昇へと繋がるような気がします。何事もいうことが大切かと思えます。(男性、40歳代、野登地区)
- ・身近なところから(家庭内から)始めて、男だから女だからという域をこえて分担すれば、徐々に参画していけると思います。(女性、50歳代、野登地区)
- ・各家庭において話し合った結果ならば、男性に料理をしてもらったり、育児に参加させたりしなくても良いのではないのでしょうか。それぞれの得意とする部分で家庭、社会に参画していきたいと思っています。(女性、50歳代、神辺地区)

- ・男女に関係なく1人の人間として社会が評価できるようになるのが理想だと思います。そして完全平等ではなく、それぞれの性を認めた長所を生かせる仕事ができればよいのではないのでしょうか。身体面でも女性には筋肉が少ないので男性以上の力仕事は一般的には無理があるでしょうし、かといって女だから何でも無理と甘えるのは反対です。(女性、50歳代、昼生地区)
- ・男女共同参画が良いと言いますが、私はあまりそう思いません。こんなことを言う方がおかしいです。(男性、50歳代、神辺地区)
- ・男性と女性は人間としては平等だと思っています。しかし体の機能も違うし、体力も違います。それを証明するのはスポーツです。オリンピックではほとんどの競技が男女別で同じにすることはありません。それなのに社会、仕事だけ平等にするのはおかしいです。私は男女共同参画というものには反対です。女性には1か月に1度生理もあるし、負担もあります。男性と同じようにできるわけがありません。女性には子どもを産む力もあるし、お乳が出て育てることもできます。男性とは違います。昔のように男は仕事、女は家庭と決め付けるのはよくありませんが、料理を作り子どもに食べさせるのはやはり母親の役目だと思います。男女が何もかも平等にしようという世の中になってから余計に子どもが上手く育たなくなって何が起きるかわかりませんし、怖い事件などが起きようになってきたのではないかと思います。私はある程度昔の考え方には賛成です。(女性、50歳代、神辺地区)
- ・私が20代、30代の頃に比べると女性に対する意識は変わったと感じています。女性の唯一の大事な仕事は出産と育児です。最近の父親は子育てに積極的になり、家族での役割も積極的に行っていると思います。社会の協力も得られるようになっていきます。一律的に男性が女性がと問えることではなく、一人一人の意識の持ち方、考え方なのではないのでしょうか。例えば子育てを大事にし、専業主婦として生活する人がいれば、仕事に生きがいを見出し、仕事優先にする人もいます。人それぞれなのです。社会は男女関係なく、その人個人の力量を見極め職場での地位を与えるべきだと思います。年功序列で地位を決める社会には疑問を持っています。(女性、50歳代、昼生地区)
- ・こういう企画自体がおかしいです。人間、男にしかできないこともあれば、女性にしかできないこともあるので、あまり平等と意識しなくてもよいのではないのでしょうか。男女を比べるからいけないので、人間として扱ったらよいと思います。(男性、50歳代、亀山地区)
- ・男女共同参画に理解がなく、参加しないことは悪だというような風潮が見られます。個人、家庭の意志が重要で、押し付けるものではないと思います。(男性、60歳代、野登地区)
- ・女性の共同参画社会を広めると家庭が上手くいかず、子どもによい環境が生まれにくいのです。だから少年少女の不良化が進んでいるのです。(男性、60歳代、昼生地区)
- ・男女共同参画を進めることも大切だと思いますが、男性と女性には差があつて(体力とか持ち前)平等を強いるのはどうかとも思います。家庭の中で家族間の思いやり、社会での生き方を子ども達とも話し合い論じることも大切だと思うのです。お互いの持ち前を理解すれば相手を大切にすることができるのではないかと思うのですが。(女性、60歳代、昼生地区)

## ②男女共同参画の推進について …… 14人

- ・アンケートに答えても全く変化がなかったら答えるのも嫌になるので、少しでも何か変化がわかるように取り組んでほしいです。女性と男性はもともと違う役割を持っているということを踏まえた上で、社会で女性がんばっていける環境を作っていきたいので、市や行政からのアプローチを増やしてほしいです。役割というのは、男性は絶対に子どもは産めないことや女性は男性ほど力がないということです。(女性、～29歳、野登地区)
- ・私は大学でジェンダーについて学びましたが、女性は経済的自立を、男性は生活的自立をめざすべきだという結論に至りました。それを実現させるにはやはり行政がしっかり条例の見直しをしたり、企業の意識を徹底させるべきだと思います。(女性、～29歳、野登地区)
- ・今会社では男性社員が少ないので、女性社員が大方ラインに入って仕事をしていますが、男性は邪魔者扱いされ、夜勤に回されている現状です。会社などの男女差別をなくすには男女が働きやすい環境を作っていかななくてはならないと思います。1度亀山市にある全ての会社を視察してほしいです。(男性、～29歳、野登地区)
- ・男女共同参画の実現を期待しています。がんばって進めていってください。(女性、30歳代、野登地区)
- ・男女平等と力説するあまり、無理やり女を表に出させる必要はないと思います。強制させてまで男女平等をしないようにしてほしいです。(女性、30歳代、白川地区)
- ・広報誌など、どれくらいの人を読んでいるのでしょうか。男性のどれくらいが見ているのでしょうか。良いことが記載されていても見たり読まなければ伝わらないです。自分もほとんど見ていませんが。PRの方法も大切ではないでしょうか。(男性、40歳代、昼生地区)
- ・男女平等というと同じ働き方を女性に求めるような風潮を感じますが、長時間労働は人間的な生活が送れません。男性もアフターファイブが保障され、家族と過ごす時間を持てるようにすべきです。残業もあたり前のようにすべきとなると、やはり家庭生活に支障が出ます。そうすると昇格しなくてもとなってしまう。複雑にいろいろなことが絡み合っている今の風潮があるので、すぐには解消されないと思いますが、言い続けることは大切だと思います。目に見えた成果は表れないかもしれませんが、行政が推進してほしいことの1つです。(女性、40歳代、神辺地区)
- ・働くことがすなわち男女共同参画で「働き続けるためには」論が多いような気がします。企業に対しての育休制度やその取得率や保育園の数、そのような議論が多いのですが、それはほんの一部の企業で、その恩恵に与れるのは、わずかな人たちだけです。大部分の女性は、そのようなところには勤めていません。本当に求めていること、必要なことは何なのかをもう少し考える必要があります。思い込みの激しい年代の啓発よりも、学生たちに質のよい教育や啓発を行うほうが効果的ではないでしょうか。(女性、40歳代、昼生地区)
- ・男女が協力できる無理のない家庭、社会を作るべきだと思います。(女性、50歳代、野登地区)
- ・世の中女性の社会進出を促す方向に動いているのに政治がそれについていません。都合の良い控除の廃止等は積極的に実施しているのに、設備等の充実は全く図られていません。女性が



家庭に入るか、社会で活躍を求めるのか、何を選んでも十分な援助ができるようにもっと政治がしっかりしなければだめです。(男性、50歳代、神辺地区)

- ・私自身、レールの上を走るかのようにOLをして結婚、出産を機に会社を辞め、2人の子どもが小学校に上がるまで専業主婦をし、50歳を過ぎた今もパートで殆ど休みなしで働いています。おかげさまで何とか子育ても終わり、子どもも何とか横道にそれず育ってくれました。でも結局家庭が第一だったので、未だに正社員にもなれずにいます。娘が結婚したら今の中は不景気で、とても夫だけの収入ではやっていけません。妻も協力して、できれば一生仕事を続けていってほしいです。女としてもやりがいのある仕事(教師)なので。子どもが生まれたら、その時に愛情不足にならないように誰かが手助けをしてあげなければならないと思っています。それが身内、家族、地域等、みんなに助けられて子育てをしていくことが必要になります。お金のためだけではなく、世間に出ていろいろな苦勞をして、人が育っていくと思います。その時に男女共同参画社会が必要になってくると思います。亀山市も女性が子どもを産んでも、ずっと仕事を続けていけるようなシステムを充実してほしいです。(女性、50歳代、野登地区)
- ・本人の意識の問題であって、あればする、支えられればするという考え方ではなく、積極性があればできることです。(男性、60歳代、昼生地区)
- ・女性がリーダーになることにより、女性の感じていること、普段の生活の中で考えていることが、社会に生かされることは、とてもよいことだと思います。ただ、女性は感性に左右されやすいことがあるため、人選には気を配る必要があるように思います。(女性、60歳代、昼生地区)
- ・男女共同参画社会を実現するためには、各市町村で積極的にかつ定期的に知識や技能の他、相互理解ができるようセミナーや小集団活動に取り組むことができるよう、市政で取り計らってほしいです。(男性、70歳以上、野登地区)

### ③男女共同参画は望ましいが、現実には厳しい …… 8人

- ・法律や条例、制度を変えても結局それぞれの「考え方」を変えないと意味がないです。かといって、いきなり「今日から平等ですよ」と言われても古い考えを持って頑固になっている人の考えはそう簡単には変わらないだろうし、難しいです。私の職場は保育園なので、どうしても女性が多いのですが、男女平等だからといって男性保育士を配置するというのは違う気がします。男女で体つきも性質も違う訳ですから、男性向きの仕事、女性向きの仕事があっていいと思うのです。もちろん子どもが大好きな男性保育士も必要だと思います。全部が全部平等にしなくてもいいんじゃないかと私は考えています。あくまで私の職場の話なので他の職場では男女の差で悩んでいる人もいるのでしょうか。(女性、～29歳、神辺地区)
- ・法律で決めても実際の職場などでは男女が同じようになってはいないですし、今は世間の目も子育てに対してとても冷たく感じます。泣いているイコール虐待や早く抱っこしたらよいのにと目で見ている気がします。地域でも女性が働いていて男性が家にいることなどは、今でもいろいろ聞かれたり言われたりする社会だと思います。(女性、～29歳、野登地区)
- ・「男女平等」などという文句は随分前から世間(学校内でも)で言われていますが、未だに問題になります。それはきっと女性が子どもを産む以上もう無理なのだと思います。口だけ、表面だけ、上っ面だけ、そういうのはもう結構です。結局育児休暇だって男性は使えません。使える空

気ではない。会社は「やっています」みたいな表情で、でも無言の圧力があります。自由に使えます、だからダメなのです。絶対使いなさいにしなければいつまでたっても何も変わりません。くり返しです。(女性、30歳代、野登地区)

- ・田舎になるほど、まだまだ女性の仕事や家庭での立場に対する意見は祖父母が強いと思います。子どもの代に男女共同参画社会になってほしいと思います。亀山に転入して思ったことは、古くからの住民の方の保守的、他地区の考えへの閉鎖感を感じます。(女性、30歳代、野登地区)
- ・男性を主体とする職場で働いています。(大手テレビ工場の派遣会社) 職場ではセクシュアル・ハラスメントもかなりひどい状態ですが、それ以上にパワーハラスメントとモラルハラスメントがひどすぎて、毎日ビクビクして働いています。男女共同参画に関する情報は、いまひとつわかりませんが、未だにこの三種のハラスメントが日常的に行われている職場がある現状では、男女共同参画の実現はとて難しいと思います。(女性、30歳代、白川地区)
- ・女性が働くことに関して、ある程度の理解は得られているという実感はありますが、一方では家事育児など家庭一般も女性がしてあたり前だという意識も根強くあるのは事実です。男女ともに働いていることに差はないのですが、家事労働の大変さを理解している男性はほんの少数だと思います。どうしても正社員やフルパートでの仕事を希望したとしても、家のこともあるので半日ほどの仕事しかできないのが現実です。主人の親世代には、まだまだ男性が家事をすることに対して抵抗がある人も多く、実際、「主人が料理を作った。」となると義母から叱られることもあります。男性・女性の区別なく、自分のことは自分でできるように教えていくのが大切だと思います。私は娘も息子もいますが、1人の人間として、家事もできるように積極的に教えています。(女性、30歳代、野登地区)
- ・なかなか難しいと思います。私は現在47歳の主婦で会社員です。私は、結婚しても働いていました。でも妊娠して出産となると、結局仕事を辞めて、専業主婦になり、子どもを2人育てて10年間家にいました。仕事を継続していくのは、家庭の理解、夫の理解、会社の理解、社会の理解がないと無理に近いです。根本的に、妊娠出産は女の人しかできないから、負担は女の人の方が多と思います。女の人が男の人と同じレベルで仕事をしていこうと思うと、子どもは作れないと思います。私は10年間家にいて専業主婦をして、子育てをしてきましたが、とても充実していました。(女性、40歳代、野登地区)
- ・男女共同参画社会は必要であり推進しなければなりません。しかし日本古来の女は家庭を守ることも重要です。(男性、60歳代、神辺地区)

#### ④男女共同参画に関する意識啓発や教育が必要である …… 7人

- ・女性が働かなくてもよいとは思っていません。女性が働いたら家事などは分担して当然だと思いますが、理解してもらえないのが現実だと思います。また子どもがいるなら安心して預けられる場所、学童などが充実しなければ働くことができないと思います。制度や家庭内の理解が足りないこともあると思いますが、これからは担う子どもたちに男女平等の教育、お互いを尊重し合う気持ちなどを教えていく必要があると思います。(女性、30歳代、野登地区)
- ・田舎の方の人やお年寄りの方が特に「男が」という考え方が強く、女性を対等の立場と考えていないと思います。(女性、30歳代、神辺地区)

- ・女性が女性の足を引っ張る（子どものいる人が会社にいると周りが迷惑などと言われる）こともあります。子どもの頃からの教育、子どもたちを育てる大人たちの意識改革がなければどこかで常に傷つく人がいると思います。「自分さえよければ」という考えが横行する中、なかなか難しい問題だとは思いますが、市がこのように一歩ずつ前向きに考えて進めていくことはとても良いことと受けとめています。（女性、30歳代、野登地区）
- ・意識しない限り、家庭の中で「男女共同参画」について話す機会はないと思います。生活の基盤である職場での教育にも力を注いでほしいです。大手企業では実施されているのかもしれませんが、中小企業では考えるつもりも余裕もないのが現実でしょう。世の中のほとんどの男性が優位と教育されていて、今から覆すのは容易ではありませんが、手始めの一例として、ことさら男性優位の意識の強い高齢者の集まり等に訴えるのもよいのではないのでしょうか。年長者は年下に敬われるべきですが、それを身を持って示してほしいです。（女性、30歳代、昼生地区）
- ・男性と女性は本来違う部分も大きく、お互いのよい部分を生かし合い、協力していけるように学ぶ機会をもっと増やしていくべきだと思います。はっきりと思うことは、子育て期、特に幼少期など親と子の関わりの大切な時期などの仕事時間の短縮なども企業や社会全体で考えていってほしいです。男性も仕事時間が長くなると、家事育児にも協力できません。父親として育っていきません。女性も同じことが言えると思います。（女性、40歳代、野登地区）
- ・大変良いことだと思います。何事も協力と調和がうまく動けば、一人一人が幸福な気持ちになれます。（女性、60歳代、野登地区）
- ・やはり、職場における男女平等等の意識啓発が必要です。児童生徒への教育（次世代へつなげる）が大切だと思います。（男性、60歳代、野登地区）

#### ⑤保育・介護サービスの充実が必要である … 6人

- ・福祉に対しての充実および職場での男女雇用条件の平等を十分に周知していくようにしてみたら良いと思います。保育、介護のサービスを充実させるために人材をしっかりと確保して、サービスに支障がないように図っていくべきだと思います。（男性、～29歳、亀山地区）
- ・私は夫婦共に実家が遠く、子どもが小さい頃は主人も仕事や自分の趣味などで留守が多く、不安いっぱいの中子育てをしてきました。同じようなお母さんはたくさんいると思います。知らない土地でどんなサポートやサービスがあるかもわかりにくく、何も利用できませんでした。訪問やパンフレット、広報でのお知らせなどで、いろいろなサポートがあることなどをわかりやすく知らせてほしいです。そしてもっともっと世のお父さんが子育てに関わる社会になっていくよう働きかけてほしいです。（女性、30歳代、野登地区）
- ・子育て、介護などで女性が職場を離れるケースが大変多いと思います。早く何とかしてほしいです。将来、自分が子どもを産み、仕事もしていきたいので。（女性、30歳代、野登地区）
- ・保育園の園長である人間が母親に対して仕事が休みの時に子どもを休ませるよう強要する園があります。母親も一息つきたい時があるでしょうに、それはよいことなのでしょうか。仕事をしていない母親たちに対して、もう少し厳しくした方がよいのではないかと思います。保育に欠ける家庭を支援するというのを忘れないでいてほしいです。（女性、30歳代、野登地区）

- ・神辺地区には保育園はあるのに、学童保育はなく、小学校入学時には母親が仕事を辞めるしかありません。学童の充実化をお願いします。(男性、30歳代、野登地区)
- ・男女共同参画社会という、今は特に家の外に重点が置かれているような気がします。家事、育児、介護等の大切さ、大変さを認める社会、また、家庭で育児や介護等がしやすくなるよう、まず、そこに男女共同参画ということを重視すべきではないでしょうか。また、シングルでは特に大変なので、男女問わず、特にサービスを充実してほしいです。(女性、50歳代、神辺地区)

#### ⑥女性が働きやすい環境づくりが必要である … 5人

- ・結婚している女性が何の問題もなく働ける職場、家庭、社会になればと思います。今は残業ひとつにしても男性(主人)が優先だったり、飲み会にしてもそうです。育休についても取得すると、その後の仕事に影響すると言います。それは女性だって同じです。そういった主人の意識、社会の抵抗感へ怒りを感じます。(女性、～29歳、野登地区)
- ・結婚して子どもが生まれると、社会復帰がとても難しいです。一つめに、家事と育児の両立が難しいです。夫は妻の手伝い程度だから結局女性の負担になります。二つめに、保育園が不足しています。学童保育も不足しています。子どもが病気中の預け先がないなど地域サービスが足りません。仕事の時間などで左右されます。三つめに、職場の理解不足があります。学校行事の参加などほとんど女性任せです。五つめに、保育園の料金が高いです。がんばって働いても給料が保育料で消えます。働くことは嫌じゃないけれど、いろいろ考えると働ける場所も時間も限られてしまいます。(女性、30歳代、野登地区)
- ・私の妻はフルタイムで正社員として勤務しており、定時に帰ることがなかなか難しく、市内の保育所のお迎えもいつも18時過ぎになってしまう状態です。亀山市内の保育所は18時30分まで預かって頂けるそうですが、フルタイムで働く女性たちにとっては19時ごろまで延長を望みたいところではないでしょうか。実際多くの方が亀山市内の保育所では間に合わないで鈴鹿へ預けていると聞きます。女性が安心して働ける環境のベース作りも共同参画における1つの課題かと思えます。実際は世間で言われているほど働く女性を支える環境は整っていないのではないかと思います。(男性、40歳代、野登地区)
- ・女性も男性と同じように意欲ある人は、何でもできるようにかなり変わってきたと思います。男性だけでは収入が不足することから女性の方が家から出て働くことが多くなっていると思います。子育ては人生で大切な仕事であり、子育ての時期には社会全体が支援することが必要ではないでしょうか。(男性、60歳代、野登地区)
- ・女性が働きやすい環境に力を入れてほしいです。介護のために休みを取ることに、もっと職場の方でも理解してほしいと思います。(女性、70歳以上、野登地区)

#### ⑦女性の意識改革や努力も必要 … 5人

- ・男女共同参画に関してですが、男性の意識を変えることはもちろんですが、女性も意識を変えなければならないと思います。特に年配の女性は、自分自身も女性であるのに、女性に対して卑下した意識(女性はこうあるべきという考えや仕事を持つこと、男性が家事をするのはかわいそうといった考え)があるのが問題だと思います。(女性、30歳代、野登地区)

- ・社会全体の意識を変えていくことが大切だと思います。また男性批判をする女性が多いですが、女性自身も自己の能力を向上させるための勉強、努力をしていく必要があると思います。男性、女性お互いが長所を生かし合える、よりよい環境が望ましいです。(女性、40歳代、神辺地区)
- ・女性が働き、家庭の仕事、育児、介護等、また地域のこと全てを行うことは難しいと思います。家庭での家事分担や夫の考え方を改めていく必要はあると思いますが、亀山はまだまだで専業主婦の方も多く、男を立てる考えがありすぎです。男女共同参画を言う以上、もっと女性も働いて家事、育児、地区の参加などしていく必要があることを学べるようにしてください。(女性、50歳代、野登地区)
- ・男女共同参画について田舎では女性が自ら参画から逃げています。地区のいろいろな役職や参加について女性を指名すると逃げます。「私はこの会から辞退します」「参加しません」などの言葉が出ます。自ら参加を辞退する女性自身の自覚、積極性がほしいです。第二に男女が全て共同参画できないものもあります。そのようなことも考慮する必要があります。(男性、70歳以上、昼生地区)
- ・「女性だから」という意識がまだ強いのではないのでしょうか。(男性、70歳以上、昼生地区)

#### ⑧男性も育児・子育てに参加すべきである … 4人

- ・男性がもっと積極的に育児に参加できるような社会になってほしいと本当に思います。男性の育休制度を扱っている企業はとて少なく、共働きの家庭だと育児に関する面では女性の負担が大きすぎると思います。(女性、～29歳、野登地区)
- ・小学校、中学校のPTAの役員でもこれは父親から選んでくださいとか、この役はお母さんから選んでくださいとか、男・女の役がすでに決まっています。子どもの懇談会や授業参観、地域の行事なども同じように正社員として働いていても、休みを取るのは母親のほうが多いと思います。これは男性の意識の中で子どものことは母親に任すということが普通になっているからではないのでしょうか。同じように働いているのにと不満に思うことがあります。(女性、30歳代、野登地区)
- ・女性が仕事を続けるためには、職場での理解はもちろん必要ですが、何よりも家事育児の軽減が大切です。男性よりも女性のほうが家事育児のために仕事を休む必要性が多く、職場に迷惑をかけてしまう割合が高いためです。夫婦間での話し合いを密にし、家事育児の分担をスムーズに行うことで、夫婦ともに仕事と家庭を両立させ、有意義な生活を送ることができると私は考えます。社会全体が、男女ともに家事育児をこなすことが普通だと認められるようになってほしいと思います。(女性、30歳代、野登地区)
- ・男性の子育ての関わり方について、女性と同等に子どもの身の回りの世話をするのもよいけれど、子どもと一緒に体感する、経験する、感動する等、子どもの精神面の育成に深く関わってほしいです。子どもが小さい時から父親と精神面で太い絆ができていると成長していく時に出くわす様々な出来事に対して親子で立ち向かっていきやすいと思います。(女性、40歳代、野登地区)

### ⑨女性が社会参加しやすい環境づくりが必要である …… 3人

- ・このアンケート自体男性優位の既成概念に基づいた視点から作られています。男女平等に過敏になり過ぎているのではないのでしょうか。相手を敬う心があれば、相手の性別は問題ではないのではないですか。現代の女性は自分の興味のあることに対しては積極的に参画していると思います。女性が興味を示せる社会活動を行うことが重要なのではないのでしょうか。個々それぞれに能力を発揮できる分野はあると思います。その能力の持ち主の性別は問われるところではなく、加護のもとその能力を前面に出さず不平等を唱えるのもおかしいと思いますが、いかがでしょうか。目先の損得で、視野を広く持った女性にはまだあまりお目にかかっていません。(男性、40歳代、神辺地区)
- ・私は女性の潜在能力は男性以上だと常に思っています。特に家族構成によって参画できない方、それなりの地位を得て退職された女性の参画を掘り起こしたいものです。(男性、60歳代、昼生地区)
- ・男性中心の自治会活動の見直しを図り、女性の感性を生かした活動内容を考え、女性の意見を取り入れた地域活動を推進していくことを考えてほしいです。また市の職員の構成も他企業経験者等の育児が終了した女性の中途採用を取り組み、新しい風を吹き込んだ市作りを考えてほしい。(男性、60歳代、野登地区)

### ⑩教育や環境づくりが必要 …… 1人

- ・教育および周辺環境の充実のためへの政策的取り組みが必要です。(男性、50歳代、昼生地区)

### ⑪その他男女共同参画に関する意見 …… 11人

- ・男女共同参画という言葉が堅苦しく、馴染みにくい気がします。特にこれからの時代を生きてゆく子どもたちに、もっと興味をもってもらえるようなネーミングはないのでしょうか。(男性、30歳代、野登地区)
- ・日々の生活に追われているのでそれどころではありません。生活にゆとりがあれば共同参画できるのではないかと思います。(男性、40歳代、野登地区)
- ・夫を亡くし、朝から夜まで働き、休みは老人ホームへ義母を見に行き、もっとどうにかならぬのでしょうか。望んでも無駄ですが。(女性、40歳代、神辺地区)
- ・各種の審議会、委員会等に女性の参画を求めようとしていますが、同じ女性の登用となっていないのでしょうか。(男性、50歳代、野登地区)
- ・ボランティアグループの中にはトップの人たちの意識が強すぎて、気軽な気持ちで参加できないところがあるのではないのでしょうか。閉鎖的になり社会参加が重荷になります。(女性、50歳代、野登地区)
- ・男の頭(かしら)はキリストであり、女の頭は男であり、キリストの頭は神です。(聖書の言葉)妻達よ自分の夫に服しなさい(家庭の中でハンドルは2つ必要ない。頭(かしら)は夫である)夫たちよ、同じように知識に従って妻と共に住み弱い器である女性としてこれに誉れを配しなさい

い。子ども達よ、主と結ばれたあなた方の親に従順でありなさい。各家庭の成員が聖書の原則を守るなら平和な社会、家庭になるのではないのでしょうか。(女性、50歳代、白川地区)

- ・私たちの時代は戦後の教育でも長男の嫁となると男性の言うことを聞かざるを得ないことが多く、家族の生活も主人の収入だけで7人の生活を支えてきたと思います。それが時代は変わり、子ども達の時代になると、個々の生活だけで精一杯でまだ生活費を足してやらなければいけないような時もあります。何か昔の生活のほうがのんびりしていたような気がします。今の人達は気の毒に思います。(女性、60歳代、神辺地区)
- ・この調査記入に際しても自分はもう過去の人間(70歳)という意識が強く働いてしまっていますが、この年齢でも女性として、人間として参加できる機会があれば喜んで出かけたたいと願っています。(女性、60歳代、昼生地区)
- ・私どもの年代では未だ男尊女卑の感をひきずっているところがあります。家事は女性がするものと。息子夫婦は、息子ができることは手伝っているようです。私自身スッキリしないときもありますが、助け合うことで、女性が自分の時間を持てる等、時代の変化に対応していく時なのではないでしょうか。(女性、60歳代、昼生地区)
- ・大都市においては男女間の差はあまり見られませんが、当亀山地区においては、高齢者ほど封建的な考え方がきつくと、若い者の意見が通りません。各種会合等の参加は若年者を中心に進めていくほうがよいです。(男性、60歳代、昼生地区)
- ・家庭生活を充実させること、地域社会に対して積極的に協力すること、他人との和を持てる人間を養うことが必要です。(男性、70歳以上、昼生地区)

#### ⑫アンケートに関する意見 …… 10人

- ・男女共同参画と申されましてもぶしつけにこのようなアンケート用紙を送ってこられて、戸惑う人は多いと思います。結局何がしたいのかと思います。このようなアンケートがしたいのであれば日と時間を設けて食事会やお茶会などを企画されてみたらどうでしょうか。急にこんなアンケート、ほとんどがゴミ箱行きです。あなた方役人はどうしても上から目線で市民をみているのですが、たまには同じ目線で物事を考えられたらどうですか。きついことばかり言わせていただきましたが、私も亀山のことを考えてのことです。お許してください。(男性、30歳代、野登地区)
- ・本アンケートの中で、男女共同参画の必要性に対する説明文がほしかったです。アンケートに答えながら、必要かどうかよくわからないまま、答えていました。男女共同参画により、女性にとって、子育てはしやすくなりますが、出産はしにくくなると思います。女性が社会進出しやすくなると、それだけ婚期も遅れる気がするからです。よって、男女共同参画は、視点によって必要に感じたり、不要にも感じたりします。(男性、30歳代、野登地区)
- ・よくわからないアンケートでしたが、主旨がわかりません。このアンケートをとることによって、どうなるのでしょうか。何のためにアンケートを集計しているのでしょうか。税金の無駄ではないですか。(男性、40歳代、地区不明)
- ・質問が多すぎます。回答意欲がなくなってきました。(男性、50歳代、神辺地区)
- ・このアンケートは無意味です。(男性、50歳代、野登地区)
- ・亀山市男女共同参画基本計画の冊子があるのなら同封してほしかったです。どういう目的で調査

する必要があるのか全く示されていません。平成 18 年度制定の見直しとありますが、何がどう見直さなければならないのか全くわかりません。こんな調査を必要があるのかないのか全くわかりません。市民の声を広く聞くということであれば、何もかも公開して調査をお願いすべきではないかと思います。(男性、50 歳代、神辺地区)

- ・前ページに書いたのでくどくど言わない。こんなアンケートをとるより一軒一軒回ってゆっくり話をして事実を把握しなさい。(男性、60 歳代、昼生地区)
- ・このような市民意識調査を行うこと自体、女性差別を助長するのではないのでしょうか。女性からの積極的な社会、組織等への進出、参加が進まない限り、無駄なアンケートではないのでしょうか。このようなことに市民の税金を使っていないでもっと社会に役立つことをしてください。(男性、60 歳代、昼生地区)
- ・年齢 76 歳です。もっと若い人に出してください。(女性、70 歳以上、野登地区)
- ・老人にこのようなアンケートは不要だと思いました。(女性、70 歳以上、亀山地区)

### ⑬男女共同参画やアンケートとは関係のない意見 …… 6 人

- ・日本全体が忙し過ぎるように思う。忙し過ぎるから、人間がイライラし、子育てに悪影響を与えるし、社会にゆとりがないから、他人の生活を思いやることができません。仕事人間、滅私奉公という考え方から、家庭中心の生活が大切ということに、早くみなが気付かなければ、この国はだめになってしまうと思います。男だから仕事とか女だから家庭ということを通り越して、一人ひとりが職場で抱える仕事量が多過ぎるのが問題です。過去の経済的繁栄の復活を夢見て、働き過ぎている。みなが早めに帰宅することを可能とする仕事量と世の中の理解が必要だと思いますが、無理かもしれません。(男性、30 歳代、野登地区)
- ・経済が活性化され、様々な企業や職場の中で個人に対する評価がしっかりなされるような世の中、経済なり生産を行う企業に対しての報酬が向上していただけると良いのではないのでしょうか。(男性、30 歳代、昼生地区)
- ・今回のようなアンケートを実施するのは非常に重要かもしれませんが、まずは亀山市の住民税は大阪府八尾市の約 3 倍となっており、まずは住民税を大阪府八尾市並みの住民税に改善すべきです。いつまでも大手企業が亀山市にあり続けるということを前提で、物事を考え、経費の無駄遣いを行っていたのでは亀山市に在住する人がいなくなってしまうということを考えるべきです。そのためにはいつまでに住民税を何パーセント削減するかという計算を立て、実行に移すべきです。このような住民税の高い亀山市には住みたくありません。今住民が何を求めているかということを実際に考えるべきです。(男性、40 歳代、昼生地区)
- ・パワハラ市役所に何ができますか。(女性、40 歳代、野登地区)
- ・関係ないですが、変化や向上がないので要望したいです。子どもたちのためにもなるのですが、文化省など大きな問題として考えられるので、一意見では無理かもしれませんが、公立小学校は、一年ごとに担任が変わり、親の意見も言いやすく、変更されたり無理なときは理由を説明したりと、この地域ではよかったです。公立中学校は受験もあり、でも 1、2 年生は意見が言えますが、言えない空気で校長先生が主となり学校をよくするようにしてほしいものです。クラブの活性化を一元化し、朝練や雨の日の練習をあるように先生に任せているのでないクラブもあります。勉強も二人の先生がついたりしていますが、理解度はプリントを作るとか向上させるのが見えるよ



うに、理解していない子には、補習（あるが、少しの人か悪い点の人）を気にしないでみんなが受け入れるようにしてほしいです。教育委員会にでも話してもらえないでしょうか。また、教育についてのアンケートをしたらどうですか。（女性、40歳代、神辺地区）

- ・ 亀山は閉鎖的な地域性があります。将来的に生活は不安を感じますが、少しずつ風通しがよくなっていくように願っています。（女性、60歳代、野登地区）

### 3 調査票

## 男女共同参画に関する市民意識調査

—調査の趣旨とご協力をお願い—

平素は、市行政に格別のご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、亀山市では男女共同参画社会の実現に向け、平成20年度に亀山市男女共同参画推進条例「亀山市男女が生き生き輝く条例」を制定し、市民、事業者、各種活動団体、教育に携わる者が協働して、総合的かつ計画的な施策を展開しています。

また、条例制定に伴い平成18年度制定の「亀山市男女共同参画基本計画」の見直しを平成21年3月に行いました。そのような中、「亀山市男女共同参画基本計画」の進捗状況を確認するとともに、市民の皆さんの男女共同参画に関する意識や生活についてご意見をお聞かせいただきたいと存じます。

この調査は、無作為に抽出した満18歳以上の方1,500人の皆様にご協力をお願いしております。ご回答につきましては、無記名でご返信いただき、調査結果は全体として集計しますので、個人の情報がもれることはありません。率直なご意見をご記入いただきますようお願い申し上げます。

お忙しいところ、誠に恐縮ですが、このアンケートの趣旨をご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

平成21年7月

亀山市長 櫻井 義之

《調査票のご記入にあたってのお願い》

1. ご回答にあたっては、**あて名のご本人がお答えください。**
2. ご回答は、質問をよく読んで、あなたの状態や考え方にもっとも近いものを選んで番号に○印をつけてください。「その他」に当てはまる場合は、お手数ですが、なるべく具体的にその内容をご記入ください。
3. ご回答は、鉛筆、ボールペンなどではっきりとご記入ください。
4. ご記入いただきました調査票(この用紙)は、**7月31日(金)**までに、同封の返信用封筒に入れて、お名前を書かずに郵便ポストにご投函ください。(切手は、不要です)

\*この調査についての問合せ先

亀山市企画政策部行政改革室  
電話 84-5023 (直通)



## 男女平等について

問7. あなたは、次の分野において男女の地位が平等になっていると思いますか。  
①～⑧のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が	優 遇 さ れ て い る 男 性 の 方 が ど ち ら か と い え ば	平 等 で あ る	優 遇 さ れ て い る 女 性 の 方 が ど ち ら か と い え ば	優 遇 さ れ て い る 女 性 の 方 が	わ か ら な い
①家庭のなかで	1	2	3	4	5	6
②職場のなかで	1	2	3	4	5	6
③学校のなかで	1	2	3	4	5	6
④地域のなかで	1	2	3	4	5	6
⑤社会通念や風潮で	1	2	3	4	5	6
⑥法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
⑦政治(政策決定)の場で	1	2	3	4	5	6
⑧社会全体で	1	2	3	4	5	6

問8. 「男は仕事、女は家庭」という考え方がありますが、あなたはどのように思いますか。  
次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 同感する
2. どちらかといえば同感する
3. どちらかといえば同感しない
4. 同感しない
5. わからない

## 男女共同参画社会について

「男女共同参画社会」とは、  
「男女が性別にかかわらず、個性と能力を十分発揮する機会が確保されることにより、自らの意思によって社会の様々な分野における活動に参画し、共に責任を担う社会」のことです。

問9. あなたは、「男女共同参画社会」という言葉を知っていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 知っている
2. 聞いたことはあるが、意味は知らなかった
3. 知らなかった

## 家庭生活について

問10. あなたの家庭では、家庭生活について、男女の間でどのように分担していますか。  
①～⑬のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

	ほとんど女性がしている	女性が中心だが、男性も手伝う	女性と男性が同程度	男性が中心だが、女性も手伝う	ほとんど男性がしている	その他	自分のみ（単身者）
①食事の支度	1	2	3	4	5	6	7
②食事の後片付け	1	2	3	4	5	6	
③家の掃除	1	2	3	4	5	6	
④入浴の準備、風呂場の掃除	1	2	3	4	5	6	
⑤日常の買い物	1	2	3	4	5	6	
⑥日常の家計管理	1	2	3	4	5	6	
⑦日常のゴミ捨て	1	2	3	4	5	6	
⑧洗濯	1	2	3	4	5	6	
⑨高額な商品の購入決定	1	2	3	4	5	6	
⑩生活費の確保	1	2	3	4	5	6	
⑪PTAや地域の行事参加	1	2	3	4	5	6	
⑫親戚とのつきあい	1	2	3	4	5	6	
⑬近所とのつきあい	1	2	3	4	5	6	

問11. あなたは、もし一人暮らし生活になったら、炊事、洗濯、掃除などの家事全般ができますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 炊事、洗濯、掃除など1人で家事全般ができ、暮らしていくのに支障はない
2. 炊事、洗濯、掃除など少しはできるが、暮らしていくには少し支障が出る
3. 炊事、洗濯、掃除などあまりしたことがなく、暮らしていくには支障が出る
4. その他 ( )

## 子育てについて

問12. 子育てについて、あなたのご意見にもっとも近いものはどれですか。  
①～⑦のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

	そ う 思 う	そ ど ち ら か と い え ば 思 う	そ ど ち ら か と い え ば 思 わ な い	そ う 思 わ な い	わ か ら な い
①子どもが小さいうちは、母親は育児に専念したほうがよい	1	2	3	4	5
②子どもの世話の大部分は、男親にもできる	1	2	3	4	5
③必要があれば、子育て支援サービスを受けて子育てをしてもよい	1	2	3	4	5
④男の子は家事ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
⑤女の子は家事ができるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
⑥男の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	1	2	3	4	5
⑦女の子は経済的に自立できるように育てるのがよい	1	2	3	4	5

問13. あなたは、子育てに関する地域活動に参加したことがありますか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 子ども見守り活動       | 2. PTA役員や子ども会などの委員活動 |
| 3. スポーツ少年団などの指導活動 | 4. ファミリーサポートセンターの活動  |
| 5. いきいきキッズの活動     | 6. 教育協議会の活動          |
| 7. その他 ( )        | 8. 特にない              |

問14. 出生率の低下が社会問題となっていますが、あなたは何が原因だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. 結婚しない人が増えているから
2. 晩婚化が進むなど、年齢的な理由から
3. 出産・子育ての身体的・心理的負担が大きいから
4. 出産・子育てにお金がかかるから
5. 仕事と子育ての両立がむずかしいから
6. 子育てに結婚相手の協力がいないから
7. 地域の子育てサービス不足など、子育てをする社会環境がよくないから
8. 子育て以外に時間を使いたいと考える人が増えているから
9. その他 ( )
10. わからない

## 健康・介護について

問15. あなたは、平成20年度（平成20年4月～平成21年3月）の1年間で、病院および職場、学校等での健康診断を受診しましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 受診した（問16へ進む）
2. 受診していない



問15-1. 問15で「2. 受診していない」と答えた方にお聞きします。なぜ、受診しなかったのですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 受診する機会がなかったから
2. 健康には、自信があるから
3. 忙しくて受ける暇がなかったから
4. 経済的にゆとりがないから
5. 健康診断は好まないから
6. その他（ ）

問16. あなたの家庭に、常時介護の必要な方はいますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. はい
2. いいえ（問17へ進む）



問16-1. 問16で「1. はい」と答えた方にお聞きします。その方の世話は誰がしていますか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。（※介護を受ける人からみた続柄でお答えください。）

1. 夫
2. 妻
3. 息子
4. 娘
5. 子ども全員
6. 息子の妻
7. 娘の夫
8. 親
9. ホームヘルパー
10. 介護施設、老人ホーム等
11. 近所や地域の人
12. その他（ ）

問17. あなたは将来、誰に介護してほしいと思いますか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。

1. 夫
2. 妻
3. 息子
4. 娘
5. 子ども全員
6. 息子の妻
7. 娘の夫
8. 親
9. ホームヘルパー
10. 介護施設、老人ホーム等
11. 近所や地域の人
12. その他（ ）

## 就労について

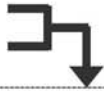
問18. あなたは現在、収入を得る仕事（産前・産後休暇、育児・介護休業中も含む）をしていますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. している
  2. していない (問18-4へ進む)
- 

問18-1. 問18で「1. している」と答えた方にお聞きます。あなたが働いているのはどのような理由からですか。次の中から主なものを2つまで選んで○印をつけてください。

- |                   |                     |
|-------------------|---------------------|
| 1. 生計を維持するため      | 2. 家計の足しにするため       |
| 3. 教育資金を得るため      | 4. 住宅ローン等借金の返済のため   |
| 5. 将来に備えて貯蓄するため   | 6. 自分で自由に使えるお金を得るため |
| 7. 生きがいを得るため      | 8. 能力・技能・資格を生かすため   |
| 9. 視野を広げ、友人を得るため  | 10. 社会に貢献するため       |
| 11. 仕事をすることが好きだから | 12. 働くのが当然だから       |
| 13. 時間的に余裕があるから   | 14. 家業であるから         |
| 15. その他 ( )       |                     |
| 16. 特に理由はない       |                     |

問18-2. 問18で「1. している」と答えた方にお聞きます。あなたの働いているところでは、男性と女性は平等だと思いますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 平等である (問19へ進む)
  2. 女性の方が優遇されている
  3. 男性の方が優遇されている
- 

問18-3. 問18-2で「2. 女性の方が優遇されている」「3. 男性の方が優遇されている」と答えた方にお聞きます。あなたが働いているところで、男女が平等だと思わないのはどのようなことですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

- |                                    |                      |         |
|------------------------------------|----------------------|---------|
| 1. 賃金                              | 2. 昇進、昇格             | 3. 能力評価 |
| 4. 採用時の条件                          | 5. 補助的な仕事しかやらせてもらえない |         |
| 6. 定年まで勤め続けにくい雰囲気がある               |                      |         |
| 7. 結婚したり子どもが生まれたりすると、勤め続けにくい雰囲気がある |                      |         |
| 8. 教育訓練を受ける機会に差がある                 |                      |         |
| 9. その他 ( )                         |                      |         |
| 10. わからない                          |                      |         |

(問19へ)





問21. あなたは、次の制度の内容についてご存知ですか。また実際に取得したことがありますか。それぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

	内容を知っているか				取得したことがあるか		
	よく知っている	少し知っている	言葉聞いたことがある程度	知らない	取得したことがある	取得したことがない	取得の対象とならない
①育児休業制度	1	2	3	4	1	2	3
②介護休業制度	1	2	3	4	1	2	3

※育児休業制度—男女を問わず労働者が原則1歳に満たない子どもを養育するため、一定期間休業できる制度。

介護休業制度—労働者が高齢者等の介護のため、一定期間休業できる制度。

### ワーク・ライフ・バランスについて

問22. あなたは、「ワーク・ライフ・バランス」という言葉について、ご存知ですか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. よく知っている
2. 少し知っている
3. 言葉聞いたことがある程度
4. 知らない

※ ワーク・ライフ・バランスとは仕事と生活の調和を図ることです。

亀山市男女共同参画を推進する条例「亀山市男女が生き生き輝く条例」第3条の基本理念には、「男女がお互いに協力し合い、家事、育児、介護等の家庭生活と仕事、地域活動等の社会生活との両立に努めること」と定めています。

問23. 生活の中での、仕事、家庭生活、地域・個人の優先度について、あなたの「希望」と「現実」をお答えください。①、②のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

※専業主婦など、仕事についていない方は、家庭生活と地域・個人の生活の関係についてお答えください。

※「地域・個人の生活」とは地域での活動（PTA 活動 子ども会、自治会活動など）や自分の趣味のことをいいます。

	仕事	家庭生活	地域・個人の生活	仕事と家庭生活	仕事と地域・個人の生活	家庭生活と地域・個人の生活	仕事と家庭生活と地域・個人の生活	わからない
①希望	1	2	3	4	5	6	7	8
②現実	1	2	3	4	5	6	7	8

## ドメスティック・バイオレンスなどについて

問24. あなたは、次の言葉および法律の内容についてご存知ですか。①～④のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。

	よく知っている	少し知っている	言葉がある程度聞いた	知らない
①ドメスティック・バイオレンス	1	2	3	4
②DV防止法	1	2	3	4
③デートDV	1	2	3	4
④セクシュアル・ハラスメント	1	2	3	4

※ドメスティック・バイオレンス——(domestic violence) 配偶者、配偶者であった者、恋人及び同棲関係にある者に対する身体的、性的、精神的、経済的又は社会的暴力をいいます。略して、DVとも言われています。

DV防止法——ドメスティック・バイオレンス(DV)を防ぐため、2001(平成13)年に法的な措置として成立。正式名称「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」。

デートDV——中学・高校生や大学生などの若い世代間で、恋人などの親しい関係で起こる大人のDVと同じような身体的、性的、精神的、経済的又は社会的暴力をいいます。

セクシュアル・ハラスメント——(sexual harassment) 性的な言動により、他の者に不快感若しくは精神的苦痛を与えること又は相手方の生活環境を害することをいいます。

問25. あなたはこれまでに、結婚相手や恋人から暴力を受けた経験がありますか。次の中から選んで○印をつけてください。

1. ある

2. ない (問26へ進む)



問25-1. 問25で「1. ある」と答えた方にお聞きします。その暴力はどのようなものでしたか。これまでの状況に関して①～③のそれぞれについて、1つずつ選んで○印をつけてください。また、現在の状況についても同様に、1つずつ選んで○印をつけてください。

→次ページへつづく

	これまで			現在	
	何度もあった	1・2度あった	ない	現在もある	現在は無い
①命の危険を感じる程度の暴行を受ける	1	2	3	1	2
②医師の治療が必要となる程度の暴行を受ける	1	2	3	1	2
③医師の治療が必要とされない程度の暴行を受ける	1	2	3	1	2
④足で蹴られる	1	2	3	1	2
⑤手でたたかれる	1	2	3	1	2
⑥殴るふりをして、おどされる	1	2	3	1	2
⑦何を言っても無視され続ける	1	2	3	1	2
⑧いやがっているのに性的行為を強要される	1	2	3	1	2
⑨見たくないのに、ポルノビデオ・雑誌を見せられる	1	2	3	1	2
⑩交友関係や電話、メール等を細かく監視される	1	2	3	1	2
⑪生活費を渡さないなど、経済的におさえつけられる	1	2	3	1	2
⑫大声でどなられたり、暴言を吐かれる	1	2	3	1	2
⑬その他 ( )	1	2	3	1	2

問25-2. 問25で「1. ある」と答えた方にお聞きします。暴力を受けたとき誰かに相談しましたか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 相談した

2. 相談しなかった

問25-4へ

問25-3. 問25-2で「1. 相談した」と答えた方にお聞きします。どのような所および人に相談しましたか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

1. 配偶者暴力相談支援センター「三重県女性相談所」
2. 三重県男女共同参画センター「フレンデみえ相談室」
3. 三重県の相談窓口「三重県人権センター」
4. 亀山市の相談窓口「くらし・男女の行政相談」
5. 亀山市福祉事務所（女性相談担当）
6. 警察
7. 弁護士
8. 医師など医療関係者
9. 他の市町村の女性（婦人）相談員
10. 人権擁護委員
11. 民間支援団体
12. 親族
13. 友人・知人
14. その他 ( )



問27. あなたがセクシュアル・ハラスメントだと思うことはどれですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

1. 地位や権限を利用して、交際や性的な関係を強要する
2. 相手がいやがっているのに、肩に手をかけたり、身体に触る
3. 宴席で、お酌やデュエット、ダンス等を強要する
4. 容姿に関して繰り返して言う
5. 相手がいやがっているのに性的な冗談を言う
6. 職場や学校、集会などの場でわいせつな話をする
7. ヌードの写真やポスター、カレンダーなどを人目のつくところに貼る
8. 結婚予定や出産予定をたびたび聞く
9. その他 ( )
10. 特にない
11. わからない

問28. 近年において、性犯罪や売買春（いわゆる「援助交際」を含む）、ドメスティック・バイオレンス、セクシュアル・ハラスメント等についての関心が高まっていますが、このようなことをなくすためにはどうしたらよいと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. 法律・制度の制定や見直しを行う
2. 犯罪の取締りを強化する
3. 捜査や裁判での担当者に女性を増やし被害女性が届けやすいようにする
4. 被害女性を支援し、暴力に反対する市民運動を盛り上げる
5. 被害女性のための相談所や保護施設を整備する
6. 学校・家庭における男女平等や性についての教育を充実させる
7. 性別や人種・障がいの有無による差別、同和問題などのあらゆる差別を許さないよう、人権尊重についての教育を学校、家庭において充実させる
8. メディア（新聞・テレビ等）が自主的に倫理規程を強化する
9. 過激な内容の映像ソフト、ゲームソフト等の販売や貸出を制限する
10. その他 ( )
11. 特に対策の必要はない
12. わからない

## 社会参加について

問29. あなたは現在、地域における社会活動に参加していますか。次の中から1つ選んで○印をつけてください。

1. 参加している

2. 参加していない



問29-1. 問29で「1. 参加している」と答えた方にお聞きします。あなたが参加している社会活動はどのようなものですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

1. 県・市の審議会・委員会の活動
2. 町内会、自治会等の活動
3. PTA活動
4. 子ども会・青少年グループの世話
5. 青年団体・女性団体・老人団体などの活動
6. 消費者団体・生活協同組合などの消費者活動
7. NPO団体などのボランティア活動
8. その他 ( )

問29-2. 問29で「2. 参加していない」と答えた方にお聞きします。社会活動に参加していない理由は何ですか。次の中からあてはまるものすべてを選んで○印をつけてください。

1. 家事・育児・子どもの教育が忙しくて余裕がない
2. 老人や病人の世話がある
3. 家族の理解・協力がでない
4. 仕事が忙しく余裕がない
5. 活動に経費がかかる
6. どんな活動があるのかよくわからない
7. その他 ( )

問30. 今後、男性・女性がともに、家事、子育て、教育、介護および地域活動などに積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. 男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること
2. 仕事中心という社会全体の仕組みを改めること
3. 男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること
4. 妻が、夫に経済力や出世を求めないこと
5. 労働時間短縮や休暇制度を普及させること
6. 男性の男女共同参画に対する関心を高めること
7. 夫婦の間で家事などの役割分担をするように十分に話し合うこと
8. 夫が家事などをするに妻が協力すること
9. 男性が、家事などに参加することに対する抵抗感をなくすこと
10. 仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること
11. 子どもに対し家事などを自分でできるようなしつけや育て方をする事
12. 子どもへの教育の中で、男女共同参画の必要性を教えること
13. その他 ( )
14. わからない

### 男女共同参画社会の実現に向けた取り組みについて

問31. 政治や行政における、政策の企画や方針決定の過程への女性の参画は、徐々に改善はされているものの、依然として少ないのが現状です。あなたは、このような女性の参画が少ない状況は何が原因だと思いますか。次の中から主なものを3つまで選んで○印をつけてください。

1. 家庭・職場・地域における、性別による役割分担や性差別の意識
2. 男性優位の組織運営
3. 家族の支援・協力が得られない
4. 女性の能力開発の機会が不十分
5. 女性側の積極性が十分ではない
6. 女性の参画を積極的に進めようと意識している人が少ない
7. その他 ( )
8. わからない







男女共同参画に関する市民意識調査  
結果報告書

平成 21 年 10 月 発行

亀山市 企画政策部 行政改革課

〒519-0195

三重県亀山市本丸町 577 番地

T E L 0595-84-5023

F A X 0595-82-9685